

世田谷区における外国人区民の意識・実態調査
報告書

令和4（2022）年12月
世田谷区

はじめに

区は、全ての人が多様性を認め合い、人権が尊重される地域社会の実現を目指し、平成 30 年 3 月に「世田谷区多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例」を制定いたしました。

また、平成 31 年 3 月には多文化共生施策を総合的かつ計画的に推進するため、「世田谷区多文化共生プラン」（以下「プラン」という。）を策定いたしました。このプランは「誰もが共に参画・活躍でき、人権が尊重され、安心・安全に暮らせる多文化共生のまち せたがや」を基本理念としており、区は、この基本理念に則って様々な多文化共生施策に取り組んでいます。

この間、国では「出入国管理及び難民認定法」の改正法の施行をはじめ、「日本語教育の推進に関する法律」の施行、「地域における多文化共生推進プラン」の改訂など、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備が進められました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染が拡大している国・地域間の出入国制限が行われ、帰国困難者や失業等による困窮者が増加するなど、多文化共生を取り巻く社会経済情勢は、大きく変化してまいりました。こうした中で、現在のプランは令和 5 年度末をもって終了することから、区内在住の外国人の生活状況並びに区に対しての満足度及びニーズを把握し、次期プランの策定に向けた基礎資料とするため、「世田谷区における外国人区民の意識・実態調査」を実施いたしました。

今回の調査結果を次期プランの策定に役立てるとともに、より一層の施策の充実に努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、お忙しい中ご回答いただきました区民の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和 4 年 12 月

世田谷区生活文化政策部
文化・国際課

目 次

I. 概 要	1
I-1. 調査目的	3
I-2. 調査概要	3
(1) 調査地域	3
(2) 調査対象・対象数	3
(3) 調査方法	3
(4) 調査時期	3
(5) 調査機関	3
(6) 調査票	3
(7) 調査の項目	4
I-3. 回収数・回収率	4
I-4. 報告書の見方	5
I-5. 設問別のクロス集計一覧	6
II. 調査結果	9
II-1. あなた（回答者）について	11
(1) 性 別	11
(2) 年 齢	13
(3) 国籍・地域	15
(4) 職 業	18
(5) 日本での在留資格	21
(6) 日本での在住期間	22
(7) 世田谷区での在住期間	22
(8) 同居人	24
II-2. ことばについて	25
(1) 自由に使えることば	25
(2) 日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル	26
(3) 日本語の勉強	39
(4) 日本語を勉強する目的・理由	42
(5) 日本語教室や日本語学校の探し方	42
(6) 日本語の勉強意欲	43
(7) 日本語の勉強をしない理由	43
(8) 参加してみたい日本語教室	44

目 次

II-3. 日常生活について	49
(1) 世田谷区の住みやすさ	49
(2) 日常生活での困りごと	51
(3) 住居を探すときに困ったこと	54
(4) 病院を利用する際に困ったこと	57
(5) 出産や子育てで困ったこと	58
(6) 子どもを園・学校に通わせる（通させた）うえで困ったこと	59
(7) 働くうえで困ったこと	60
(8) 新型コロナの影響で困ったこと	61
(9) 困りごとの相談先	64
(10) 日本人との付き合い	66
(11) 偏見や差別	67
(12) どのようなときに、偏見や差別を感じたか	68
(13) 情報の入手方法	70
(14) 普段利用しているSNS	82
(15) 行政からほしい情報	83
(16) 行政からの発信	89
(17) 避難場所認知度	93
(18) 災害時の対策	95
(19) 世田谷区に望む災害対策	97
(20) 外国人に対する生活支援の充実	98
(21) 外国人に対する偏見や差別の減少	102
II-4. 行政サービスについて	106
(1) 世田谷区役所利用時に困ったこと	106
(2) 世田谷区に期待する取組み	108
(3) 外国人向け出版物・サービス	112
(4) 利用したい外国人相談窓口	125
(5) 専門家に相談したい内容	126
II-5. 交流活動について	134
(1) 交流活動の有無・希望	134
(2) している（してみたい）交流や活動	146
(3) 自治会・町会の加入状況	146
(4) 団体（コミュニティ・グループ）への参加状況	149
(5) 参加しているコミュニティやグループ	150
(6) 地域活動時に必要なサポート	151
III. その他	154
III-1. 世田谷区への意見要望（自由記述まとめ）	156
III-2. 調査票	160

I. 概 要

I. 概要

I-1. 調査目的

世田谷区在住の外国人の標準的な生活状況並びに区に対しての満足度及びニーズを量的調査により明らかにすることで、在住外国人の傾向の把握、外国人支援策の充実を図るための基礎資料とする。

I-2. 調査概要

(1) 調査地域

世田谷区全域を調査地域とし、総合支所管内を単位として5地域（①世田谷・②北沢・③玉川・④砧・⑤烏山）に分類した。

(2) 調査対象・対象数

令和4年4月1日時点、世田谷区内に在住する18歳以上の外国籍区民2,000人
5地域内訳

①世田谷：523人 ②北沢：424人 ③玉川：521人 ④砧：289人 ⑤烏山：243人
対象者の抽出方法は層化二段無作為抽出法とした。

(3) 調査方法

郵便及びオンラインによるアンケート調査

(4) 調査時期

令和4（2022）年6月7日（火）から同年6月28日（火）まで

(5) 調査機関

株式会社 日本デイリー通信社

(6) 調査票

①郵便

日本語版の他、4言語（英語・中国語（簡体字及び繁体字）・ハングル）の調査票を準備した。
また、調査票表紙の二次元コードから、タイ語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、フィリピン語、ネパール語、インドネシア語の調査票にアクセスできるようにした。

A4サイズ19ページ ※日本語版調査票巻末添付

②オンライン

日本語及び英語の回答フォームを準備した。

(7) 調査の項目

- ①回答者の属性について
性別、年齢、国籍・地域、職業、在留資格、在住期間、家族など
- ②ことばについて
日本語能力、日本語の勉強方法や場所など
- ③日常生活について
住宅、医療、出産・子育て、教育、就労、災害、困りごと、情報入手方法、
偏見や差別に関する事など
- ④行政サービスについて
区の外国人施策の認知度、行政サービスについてのニーズなど
- ⑤交流活動について
交流活動についての意識、属するコミュニティ、自治会や町会の加入状況など

I-3. 回収数・回収率

回収数・回収率などは以下の通りであった。

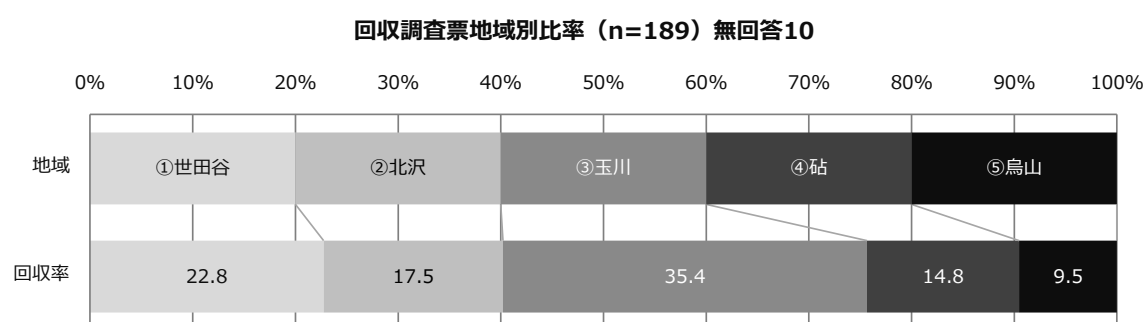
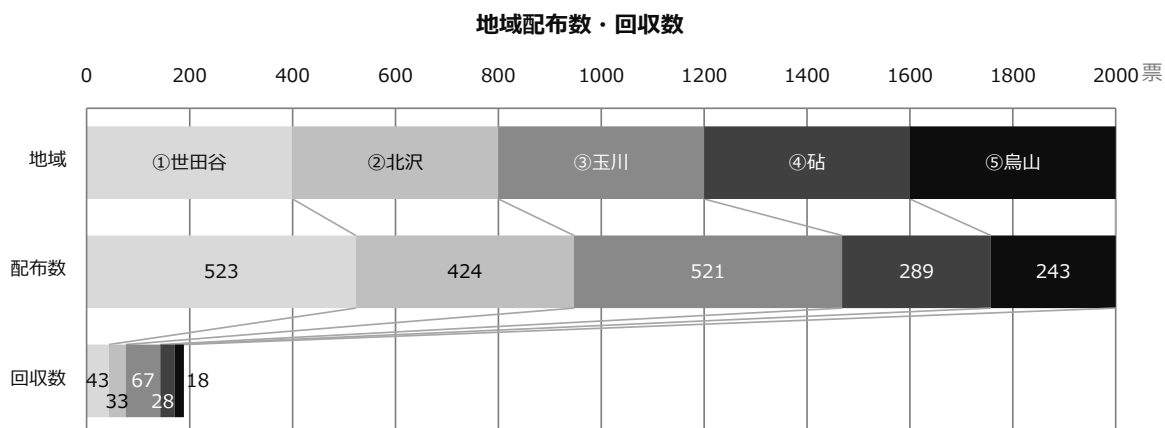
■ 全体配布数・回収数・回収率

	全体	男性	女性	その他	性別記入なし
調査数	2,000	1,005	995	-	-
未着数	35	-	-	-	-
有効回収数	199	90	106	-	3
回収率 (%)	10.1	9.0	10.7	-	-

■ 地域別配布数・回収数・回収率

	(n) 割合 (%)	①世田谷	②北沢	③玉川	④砧	⑤烏山
配布数	1,965	523	424	521	289	243
(%)	100	26.6	21.6	26.5	14.7	12.4
回収数	189	43	33	67	28	18
(%)	100	22.8	17.5	35.4	14.8	9.5
調査票言語 日本語	86	18	15	30	12	11
英語	57	13	12	19	8	5
中国語簡体字	19	6	1	7	5	0
中国語繁体字	8	2	1	3	1	1
ハングル	5	1	1	2	0	1
回収率 (%)	-	8.2	7.8	12.9	9.7	7.4

※回収数 199 及び調査票言語日本語数 2,000 には地域不明 10 を含めている。



I-4. 報告書の見方

本書の集計結果表記規則を以下に記載する。

- 調査対象者（母集団 N = 2,000）に対し、199 件の回答を得た。（n = 199）
表及びグラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数として示す。
- 「n」を基に算出した回答率は「%」で表記し、小数点第 2 位を四捨五入している。
そのため、内訳合計が全体の計に一致しないことがあるが、表記上は「100.0」としている。
- 各設問において回答が無かったものは「無回答」として、「n」に含めず、表外に数値として表記している（単純集計のみ）。なお、3つ以内に○を付ける設問で、4つ以上に○を付けて回答するなど、回答方法に誤りがある場合は「無効回答」とし、「無回答」に含めることとする。
- グラフ内割合表記において、全ての値について表記することを原則としているが、紙面制約上省略しているもの（0.0%など）が一部ある。
- クロス集計における「n」は、その設問における分析項目の無回答者数を含むため、内訳合計に一致しないことがある。
- クロス集計による分析において、分析軸の項目母数が 10 未満のものは、全体比率と顕著な差がある選択肢であっても本文中ではふれていないことがある。
- 複数回答可の設問における表及びグラフについて、回答件数の合計は「n」を超え、また回答比率の合計は100.0%を超えた表記となっている。

I-5. 設問別のクロス集計一覧

本書では、調査結果に対し、『年齢』『居住地域』『国籍・地域』『在留資格』『職業』『在住期間』『調査票言語』の7つの項目の中から選んでクロス集計をかけたデータを掲載している。設問ごとのクロス集計内訳については以下の表のとおり。

(1) あなた（回答者）について	クロス集計						
	年齢	居住地域	国籍・地域	在留資格	職業	在住期間	調査票言語
設問							
F1. 性別		○	○				
F2. 年齢		○	○				
F3. 国籍・地域		○					
F4. 職業			○	○			
F5. 日本での在留資格							
F6. 日本での在住期間			○				
F7. 世田谷区での在住期間			○				
F8. 同居人							

(2) ことばについて	クロス集計						
	年齢	居住地域	国籍・地域	在留資格	職業	在住期間	調査票言語
設問							
Q1. 不自由なく使えることば							
Q2. 日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル			○	○		○	○
Q3. 日本語を勉強する方法や場所						○	○
(A) 日本語を勉強する理由							
(B) 日本語教室をどのような方法で探したか							
(C) 日本語の勉強意向							
(D) 日本語の勉強をしない理由							
Q4. 参加したくなる日本語教室				○	○	○	

(3) 日常生活について	クロス集計						
	年齢	居住地	国籍・地域	在留資格	職業	在住期間	調査票言語
設問							
Q5. 世田谷区の住みやすさ			○				
Q6. 日常生活での困りごと			○				
Q7. 住居を探すときに困ったこと			○				○
Q8. 病院を利用する際に困ったこと							
Q9. 出産や子育てで困ったこと							
Q10. 子どもを園・学校に通わせる(通わせた)うえで困ったこと							
Q11. 働くうえで困ったこと							
Q12. 新型コロナで困ったこと						○	○
Q13. 困りごとの相談先			○				
Q14. 日本人との付き合い							
Q15. 偏見や差別			○				
(A) どのようなときに偏見や差別を感じたか			○				
Q16. 情報の入手方法	○						
(A) 普段利用しているSNS							
Q17. 行政からほしい情報	○			○			
Q18. 行政からの情報発信方法	○			○			○
Q19. 避難場所認知度		○					○
Q20. 災害時の対策			○				
Q21. 世田谷区に望む災害対策							
Q22. 外国人に対する生活支援の充実			○	○		○	○
Q23. 外国人に対する偏見や差別の減少			○	○		○	○

(4) 行政サービスについて	クロス集計						
	年齢	居住地	国籍・地域	在留資格	職業	在住期間	調査票言語
設問							
Q24. 世田谷区役所利用時に困ったこと			○				
Q25. 世田谷区に期待する取組み	○		○				
Q26. 外国人向け出版物・サービスの認知度・利用経験						○	
Q27. 利用したい外国人相談窓口							
Q28. 専門家に相談したい内容	○		○	○	○	○	○

(5) 交流活動について	クロス集計						
	年齢	居住地	国籍・地域	在留資格	職業	在住期間	調査票言語
設問							
Q29. 交流活動の有無・希望		○					
Q30. 自治会・町会への加入状況	○	○				○	
Q31. 団体(コミュニティ・グループ)への参加状況			○				
(A) 参加しているコミュニティやグループについて							
Q32. 地域活動時に必要なサポート			○				

II. 調查結果

Ⅱ 調査結果

Ⅱ-1. あなた（回答者）について

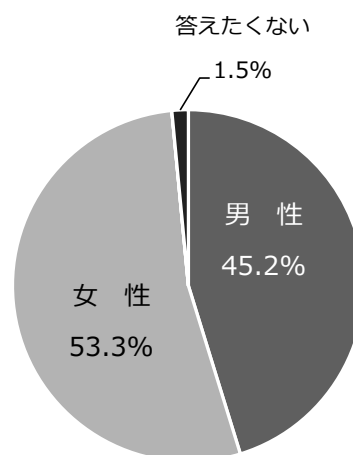
(1) 性別 【F 1. あなたの性別はどれですか（1つに○）。】

性別（n=199）無回答0

■ 『性別』 件数割合

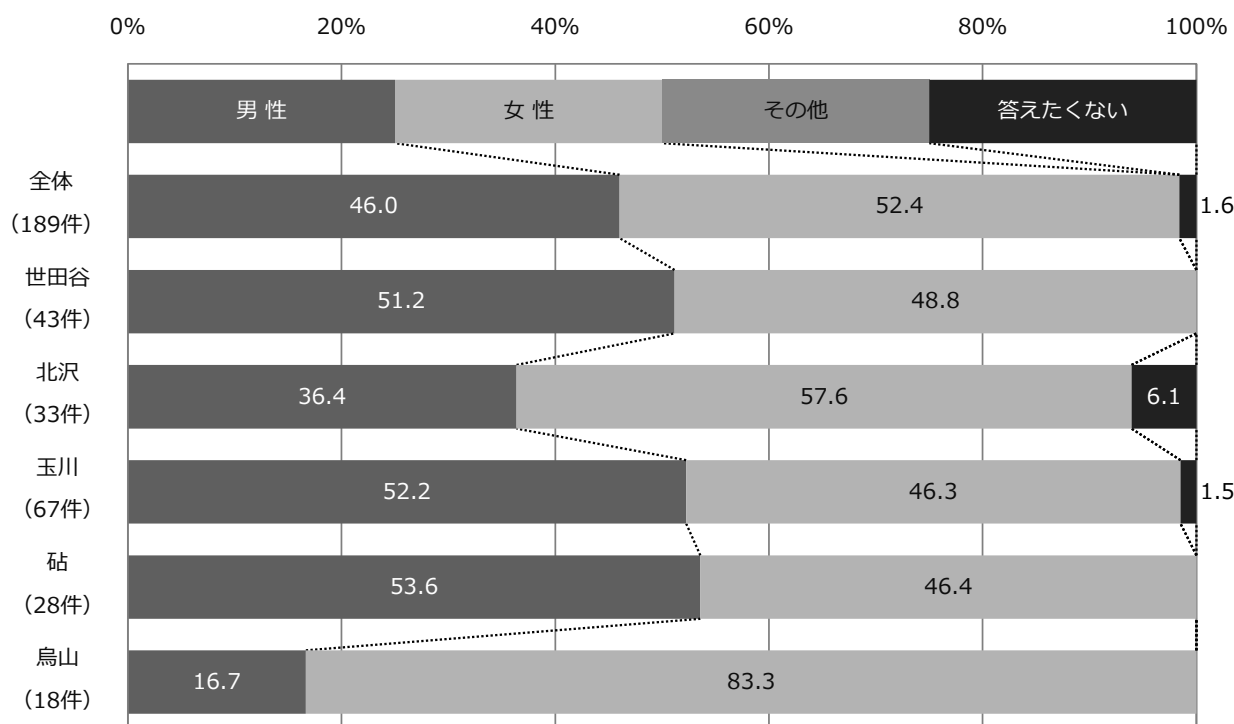
	件数	割合
男性	90	45.2
女性	106	53.3
その他	-	-
答えたくない	3	1.5
全体	199	100.0

※無回答0



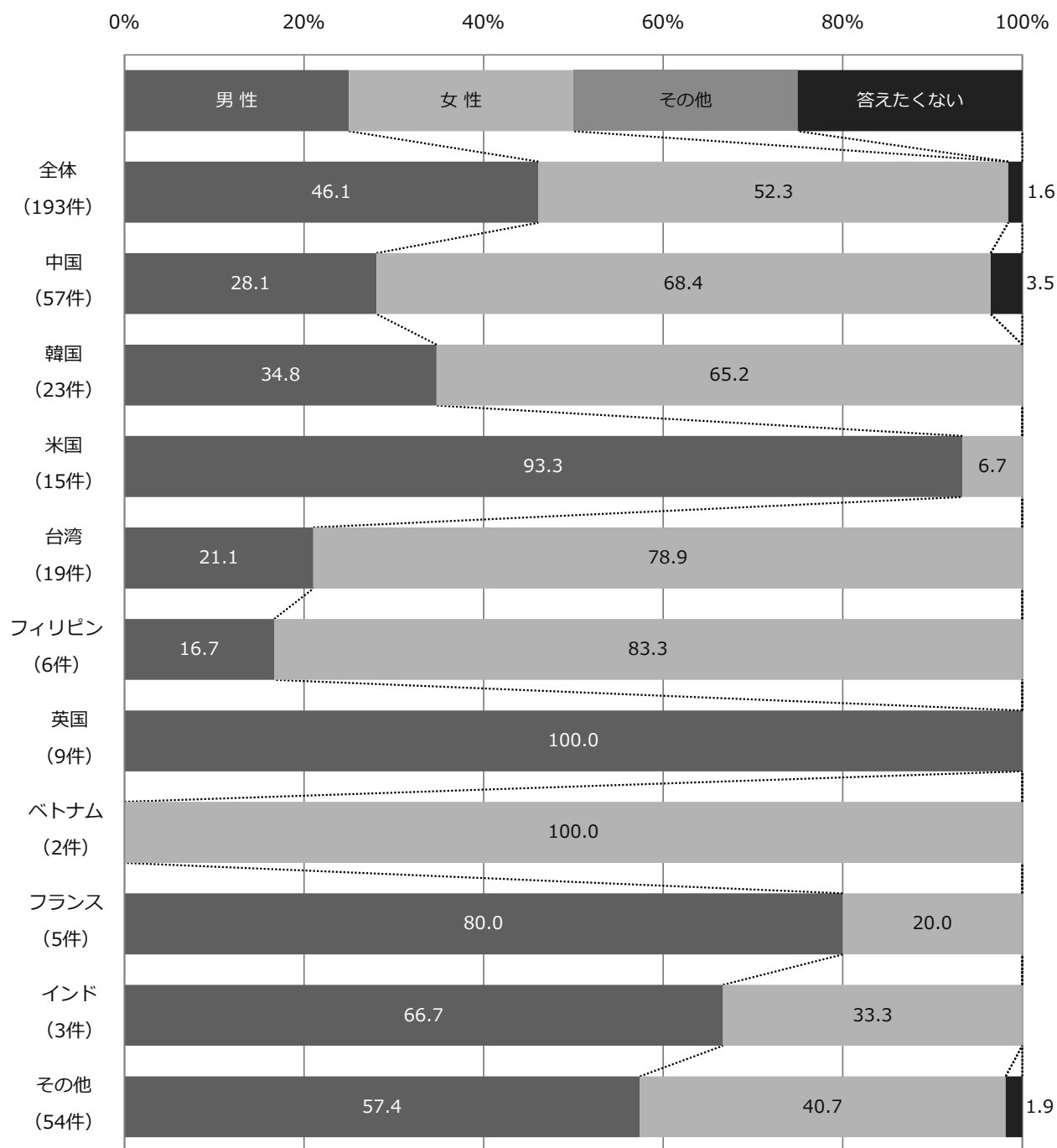
性別では、「男性」が90件・45.2%、「女性」が106件・53.3%と約4：5の割合で「女性」が多い。「答えたくない」が3件・1.5%であった。

■ 『性別』 居住地域割合



性別の居住地域別では、「男性」で見ると「砧」の53.6%が最も高く、「女性」で見ると「烏山」の83.3%が最も高かった。

■ 『性別』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

性別の国籍・地域別では、「米国」「英国」「フランス」「インド」では「男性」の割合が「女性」より高く、「中国」「韓国」「台湾」「フィリピン」「ベトナム」では「女性」の割合が高かった。「その他」では「男性」57.4%、「女性」40.7%である。

「男性」で割合が最も高いのが、「米国」の93.3%、次いで「韓国」の34.8%、「中国」が28.1%、「台湾」が21.1%と続いている。「女性」では、「台湾」の78.9%、「中国」が68.4%、「韓国」が65.2%の順で高かった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

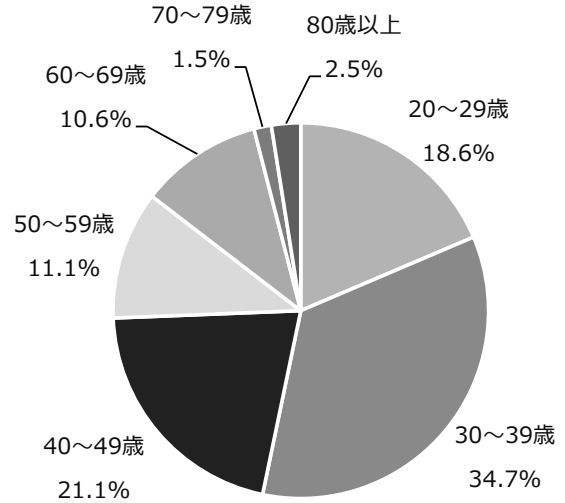
(2) 年 齢 【F 2. あなたの年齢はどれですか（1つに〇）。】

■ 『年齢』 件数割合

	件 数	割 合
18～19歳	-	-
20～29歳	37	18.6
30～39歳	69	34.7
40～49歳	42	21.1
50～59歳	22	11.1
60～69歳	21	10.6
70～79歳	3	1.5
80歳以上	5	2.5
全 体	199	100.0

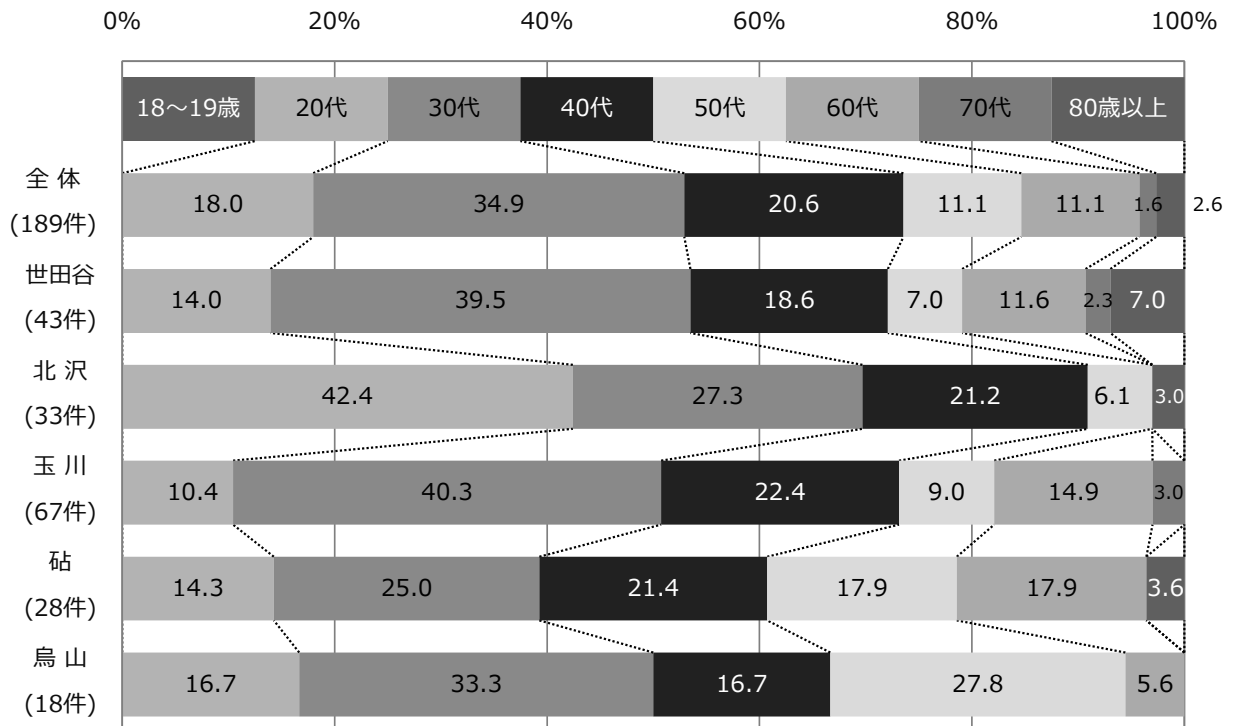
※無回答 0

年齢 (n=199) 無回答0



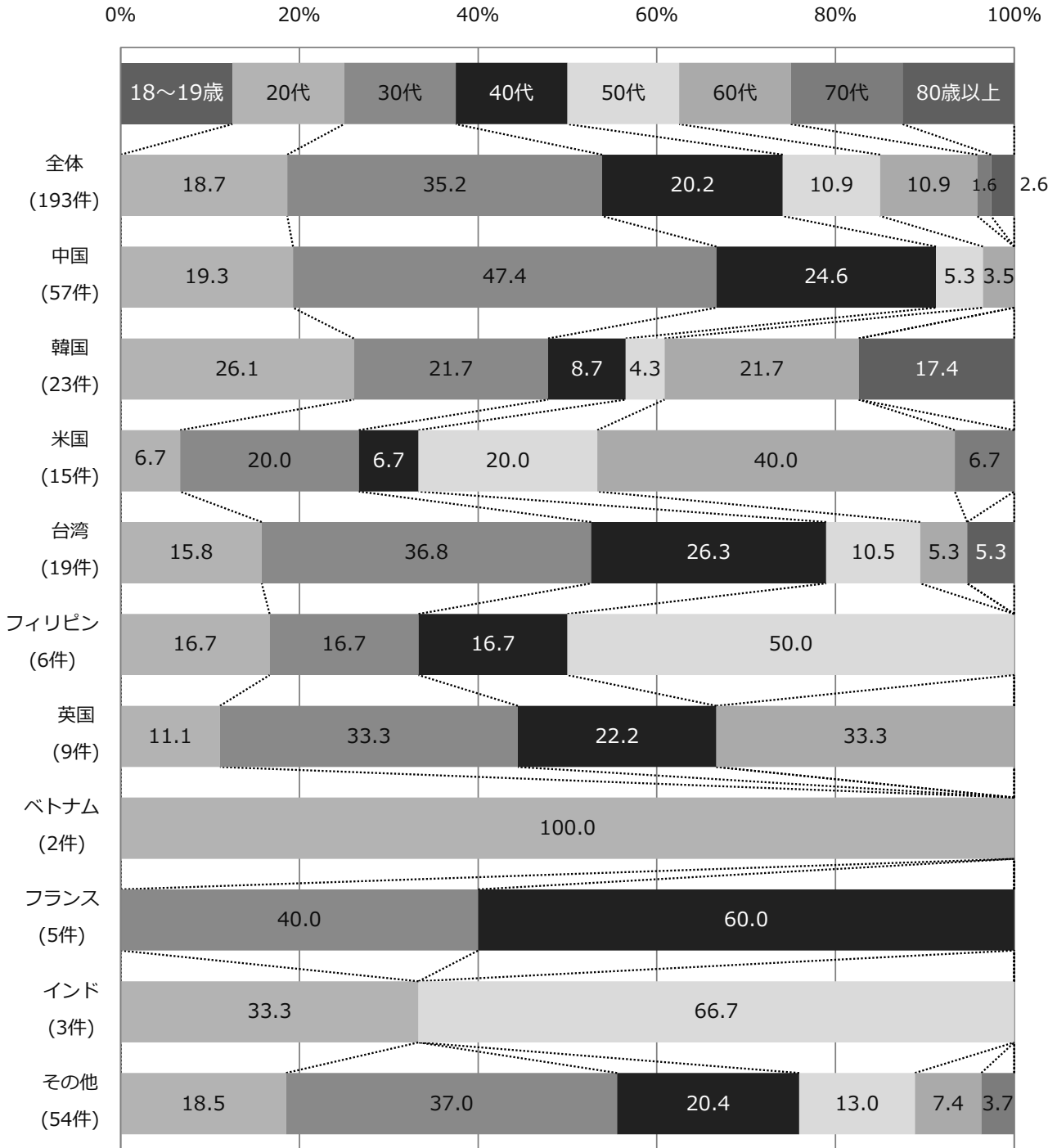
年齢では、「30～39歳」が69件・34.7%と最も多く、「40～49歳」が42件・21.1%、「20～29歳」が37件・18.6%、「50～59歳」が22件・11.1%、「60～69歳」が21件・10.6%と続いている。「80歳以上」は5件・2.5%、「70～79歳」は3件・1.5%であった。また、「18～19歳」は0件であった。

■ 『年齢』 居住地割合



年齢の居住地別では、年齢帯で最も母数の多い「30代」で見ると、「玉川」の40.3%が最も高く、次いで「世田谷」が39.5%であった。年齢帯で2番目に母数の多い「40代」で見ると、「玉川」が22.4%、「砧」が21.4%の順で高かった。「北沢」では、「20代」が42.4%で最も高かった。

■ 『年齢』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

年齢の国籍・地域別では、最も母数の多い「中国」で「30代」47.4%、「40代」24.6%、「20代」19.3%の順で高く、2番目に母数の多い「韓国」は「20代」26.1%、「30代」「60代」がともに21.7%、「80歳以上」17.4%の順で高い。

「20代」では「韓国」の26.1%、「30代」では「中国」の47.4%、「40代」では「台湾」の26.3%、「50代」では「米国」の20.0%がそれぞれ最も高かった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

「60代」以上の合算で見ると、「米国」が46.7%で最も高かった。

(3) 国籍・地域 【F 3. あなたの国籍・地域はどれですか。】

■ 『国籍・地域』 件数割合

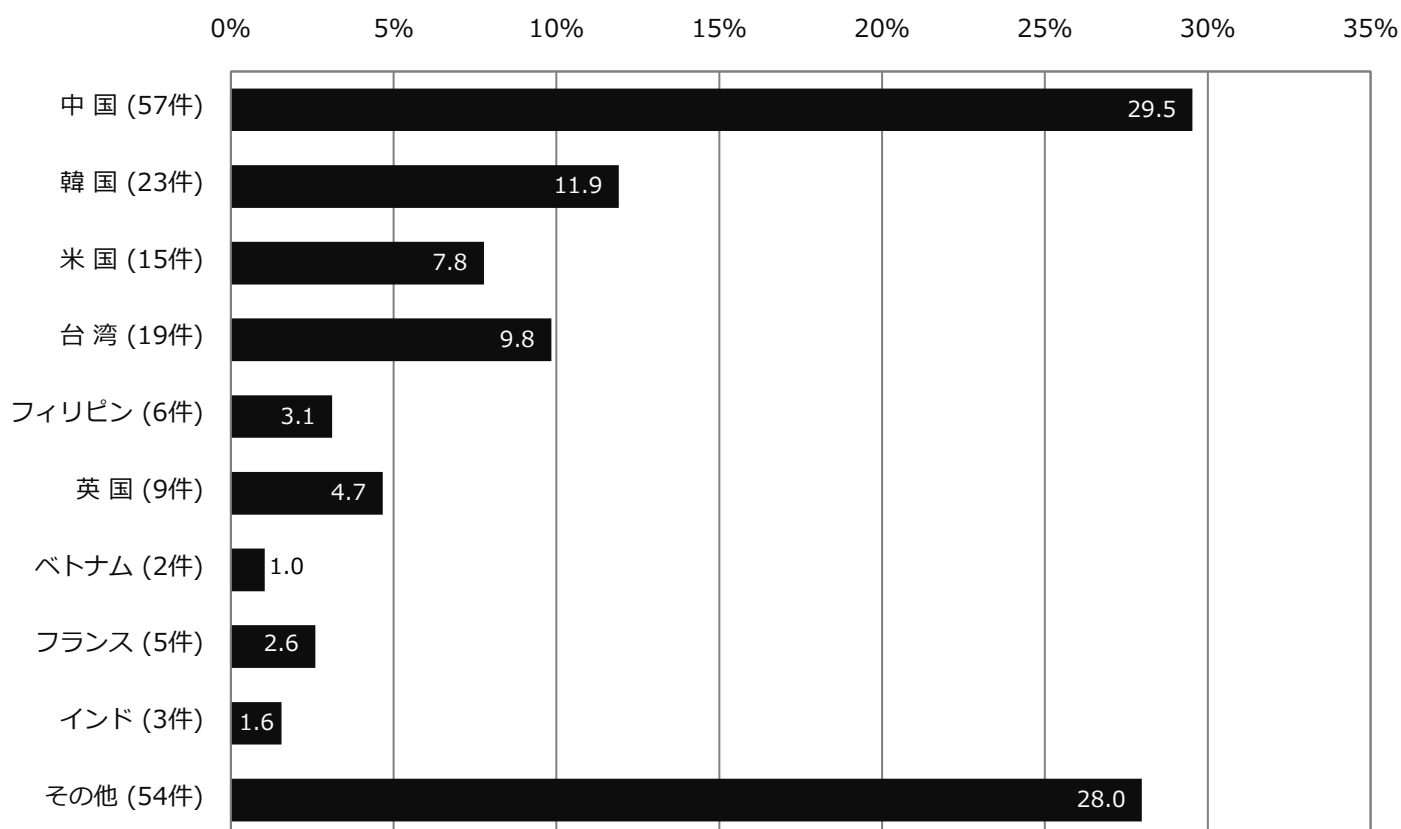
	件数	割合		件数	割合
中国	57	29.5	英国	9	4.7
韓国	23	11.9	ベトナム	2	1.0
米国	15	7.8	フランス	5	2.6
台湾	19	9.8	インド	3	1.6
フィリピン	6	3.1	その他	54	28.0
			全体	193	100.0

※無回答 6

※上記の回答肢は、世田谷区在住外国人数（令和4年4月1日時点）の上位の国籍・地域を掲載しています。

※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

国籍・地域 (n=193) 無回答6



※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

「中国」が57件・29.5%で最も多く、「韓国」が23件・11.9%、「台湾」が19件・9.8%、「米国」が15件・7.8%、「英国」が9件・4.7%、「フィリピン」が6件・3.1%と続いている。

■『国籍・地域』その他回答 54 件内、記述回答のあった 53 件の国籍・地域件数割合

	件数	割合		件数	割合
カナダ	7	3.6	アイルランド	1	0.5
ロシア	6	3.1	イスラエル	1	0.5
インドネシア	5	2.6	キューバ	1	0.5
タイ	4	2.1	ギリシャ	1	0.5
ドイツ	4	2.1	コスタリカ	1	0.5
オーストラリア	3	1.6	シンガポール	1	0.5
スイス	3	1.6	スリランカ	1	0.5
スペイン	2	1.0	他	12	6.2

※割合は（n=193）で算出。

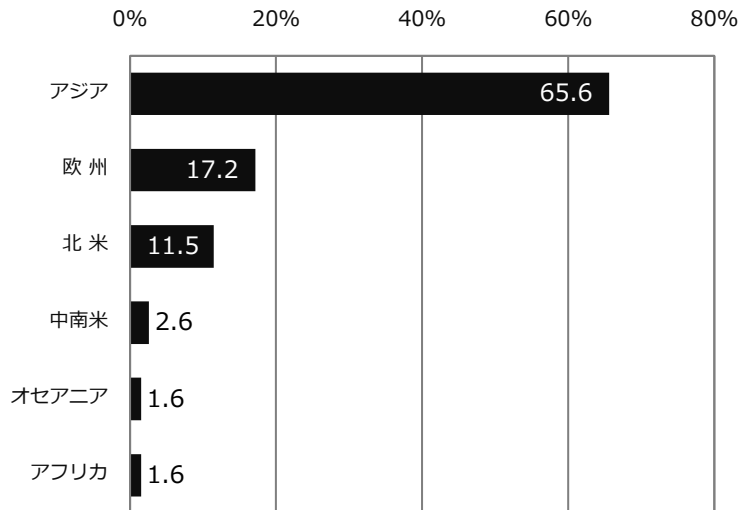
■全回答 192 件の地域別件数割合

	件数	割合
アジア	126	65.6
欧州	33	17.2
北米	22	11.5
中南米	5	2.6
オセアニア	3	1.6
アフリカ	3	1.6
合計	192	100.0

※無回答 6、国名回答辞退 1を含まない。

※割合は（n=192）で算出。

地域別（n=192）無回答6、国名回答辞退1



「その他」54件のうち記述回答のあった53件では、「カナダ」が7件で最も多く、「ロシア」6件、「インドネシア」5件、「タイ」「ドイツ」がともに4件、「オーストラリア」「スイス」がともに3件と続いている。

六大州を想定した地域別では、「中国」「韓国」を含む「アジア」が126件・65.6%と突出しており、「英国」「フランス」を含む「欧州」が33件・17.2%、「米国」「カナダ」の「北米」が22件・11.5%と続いている。「キューバ」「コスタリカ」を含む「中南米」は5件・2.6%、「オーストラリア」の「オセアニア」は、「アフリカ」と並び3件・1.6%であった。

■ 『国籍・地域』 居住地域割合

居住地域	n	中国	韓国	米国	台湾	フィリピン	英国	ベトナム	フランス	インド	その他
全体	183	29.0	12.6	8.2	8.7	3.3	4.9	1.1	2.7	1.1	28.4
世田谷	40	30.0	15.0	2.5	2.5	-	5.0	-	10.0	2.5	32.5
北沢	33	33.3	9.1	12.1	6.1	3.0	6.1	3.0	-	-	27.3
玉川	64	29.7	10.9	10.9	10.9	4.7	7.8	-	-	-	25.0
砧	28	28.6	17.9	7.1	3.6	3.6	-	-	3.6	3.6	32.1
烏山	18	16.7	11.1	5.6	27.8	5.6	-	5.6	-	-	27.8

※網掛けは各居住地域で割合が最も高い選択肢（「その他」は除く）。

※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

国籍・地域の居住地域別では、「世田谷」で「中国」30.0%、「韓国」15.0%、「フランス」10.0%の順、「北沢」で「中国」33.3%、「米国」12.1%、「韓国」9.1%の順、「玉川」で「中国」29.7%、「韓国」「米国」「台湾」ともに10.9%の順、「砧」で「中国」28.6%、「韓国」17.9%、「米国」7.1%の順、「烏山」で「台湾」27.8%、「中国」16.7%、「韓国」11.1%の順で割合が高かった。「烏山」以外の4地域では、いずれも「中国」の割合が最も高かった。

■ 『国籍・地域』 居住地域割合

居住地域	n	アジア	欧州	北米	中南米	オセアニア	アフリカ
全体	182	64.3	17.6	12.1	2.7	1.6	1.6
世田谷	40	67.5	22.5	5.0	-	2.5	2.5
北沢	32	65.6	21.9	12.5	-	-	-
玉川	64	57.8	17.2	17.2	6.3	1.6	-
砧	28	64.3	17.9	10.7	3.6	-	3.6
烏山	18	77.8	-	11.1	-	5.6	5.6

※網掛けは各居住地域で割合が最も高い選択肢。

六大州を想定した居住地域別では、いずれの居住地域でも「アジア」の割合が最も高く、「烏山」で77.8%、「世田谷」で67.5%であった。「欧州」でみると「世田谷」の22.5%が最も高く、「北米」では「玉川」の17.2%が最も高かった。

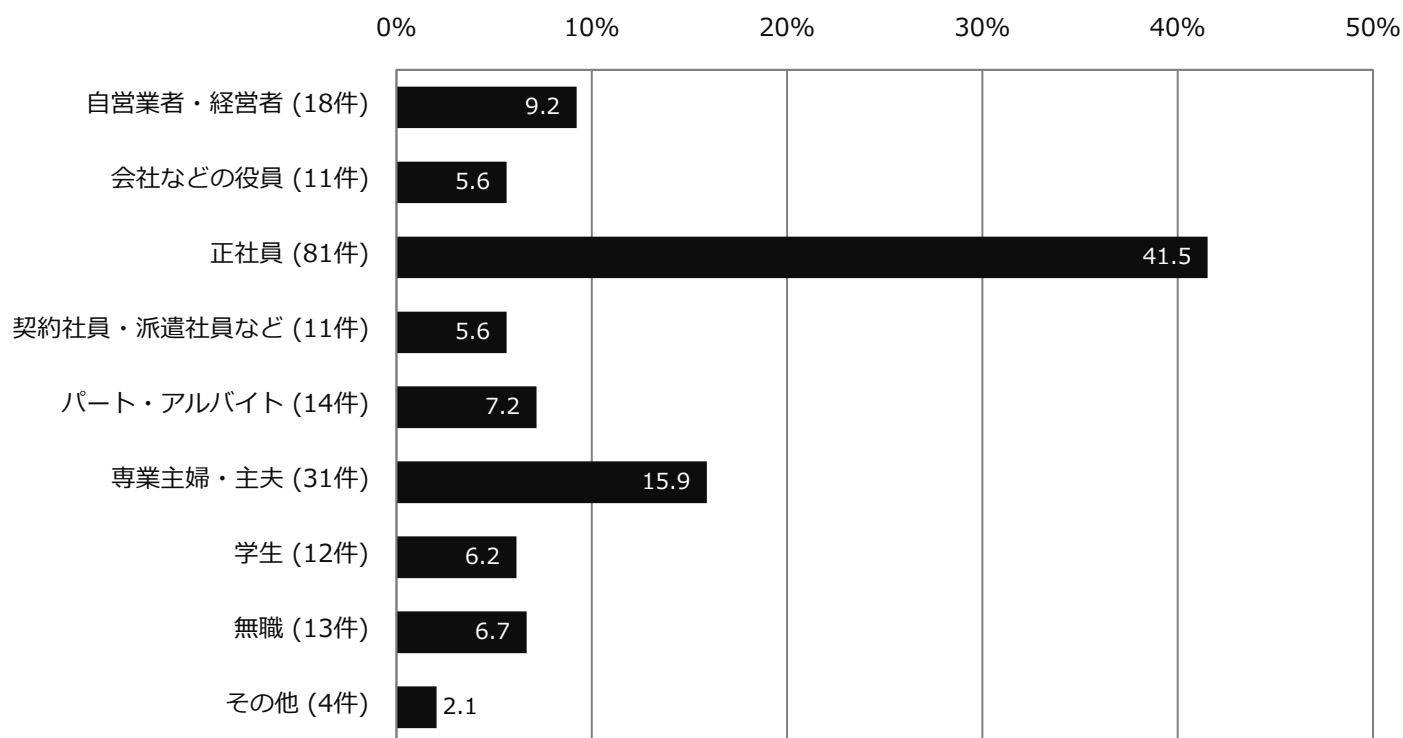
居住地域で最も母数の多い「玉川」では、「アジア」57.8%、「欧州」「北米」ともに17.2%、「中南米」6.3%の順で高かった。

（４）職 業 【F 4. あなたの職業はどれですか。2つ以上あてはまる場合は、主な職業を選んでください（1つに○）。】

■ 『職業』件数割合

	件 数	割 合		件 数	割 合
自営業者・経営者	18	9.2	専業主婦・主夫	31	15.9
会社などの役員	11	5.6	学生	12	6.2
正社員	81	41.5	無職	13	6.7
契約社員・派遣社員など	11	5.6	その他	4	2.1
パート・アルバイト	14	7.2			
※無回答 4			全 体	195	100.0

職業（n=195）無回答4



職業では、「正社員」が81件・41.5%と突出しており、次いで「専業主婦・主夫」が31件・15.9%、「自営業者・経営者」が18件・9.2%、「パート・アルバイト」が14件・7.2%と続いている。

■『職業』国籍・地域割合

国籍・地域	n	自 営 業 者 ・ 経 営 者	会 社 な ど の 役 員	正 社 員	派 遣 約 社 員 な ど	ア パ ル ト ・ ア ル バ イ ト	専 業 主 婦 ・ 主 夫	学 生	無 職	そ の 他
全体	189	9.5	5.8	41.8	5.8	6.9	14.8	6.3	6.9	2.1
中国	57	7.0	5.3	45.6	5.3	3.5	17.5	12.3	3.5	-
韓国	23	4.3	-	43.5	-	4.3	17.4	4.3	26.1	-
米国	13	15.4	15.4	30.8	-	-	15.4	-	23.1	-
台湾	19	-	10.5	31.6	5.3	10.5	31.6	5.3	-	5.3
フィリピン	6	-	-	50.0	-	33.3	16.7	-	-	-
英国	9	44.4	22.2	22.2	-	-	-	-	-	11.1
ベトナム	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
フランス	5	20.0	-	80.0	-	-	-	-	-	-
インド	3	-	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-
その他	52	11.5	1.9	42.3	13.5	9.6	9.6	3.8	3.8	3.8

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

職業の国籍・地域別では、最も母数の多い「中国」で「正社員」45.6%、「専業主婦・主夫」17.5%、「学生」12.3%の順で高く、「韓国」は「正社員」43.5%、「無職」26.1%、「専業主婦・主夫」17.4%の順で高い。

「正社員」では「中国」の45.6%、「専業主婦・主夫」では「台湾」の31.6%、「自営業者・経営者」では「米国」の15.4%、「パート・アルバイト」では「台湾」の10.5%がそれぞれ最も高かった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

■ 『職業』 在留資格割合

在留資格	n	自 営 業 者 ・ 経 営 者	会 社 な ど の 役 員	正 社 員	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員 な ど	ア パ ル ー バ イ ト	専 業 主 婦 ・ 主 夫	学 生	無 職	そ の 他
全 体	193	9.3	5.7	42.0	5.2	7.3	15.5	6.2	6.7	2.1
定住者	6	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
日本人の配偶者等	28	17.9	10.7	17.9	7.1	14.3	25.0	-	7.1	-
永住者	71	14.1	5.6	38.0	7.0	5.6	15.5	1.4	9.9	2.8
永住者の配偶者等	7	-	-	-	-	28.6	57.1	-	14.3	-
特別永住者	6	16.7	-	-	-	16.7	33.3	-	33.3	-
技術・人文知識・国際業務	47	2.1	4.3	83.0	6.4	2.1	-	-	2.1	-
留学	11	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
家族滞在	6	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
特定活動	2	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
技能	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
特定技能	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
技能実習	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

職業の在留資格別では、最も母数の多い「永住者」で見ると、「正社員」が38.0%で最も高く、次いで「専業主婦・主夫」が15.5%と続いている。「技術・人文知識・国際業務」では、「正社員」が83.0%と突出しており、次いで「契約社員・派遣社員など」が6.4%と続いている。

「正社員」では、「技術・人文知識・国際業務」の83.0%、「専業主婦・主夫」では「日本人の配偶者等」の25.0%、「自営業者・経営者」では「日本人の配偶者等」の17.9%、「パート・アルバイト」では「日本人の配偶者等」の14.3%がそれぞれ最も高かった（n=10未満の在留資格を除く）。

(5) 日本での在留資格 【F 5. あなたの日本での在留資格はどれですか（1つに○）。】

■ 『在留資格』件数割合

	件数	割合
定住者	6	3.1
日本人の配偶者等	30	15.3
永住者	72	36.7
永住者の配偶者等	7	3.6
特別永住者	6	3.1
技術・人文知識・国際業務	47	24.0
留学	11	5.6

※無回答3

	件数	割合
家族滞在	6	3.1
特定活動	2	1.0
技能	1	0.5
特定技能	2	1.0
技能実習	-	-
その他	6	3.1
全体	196	100.0

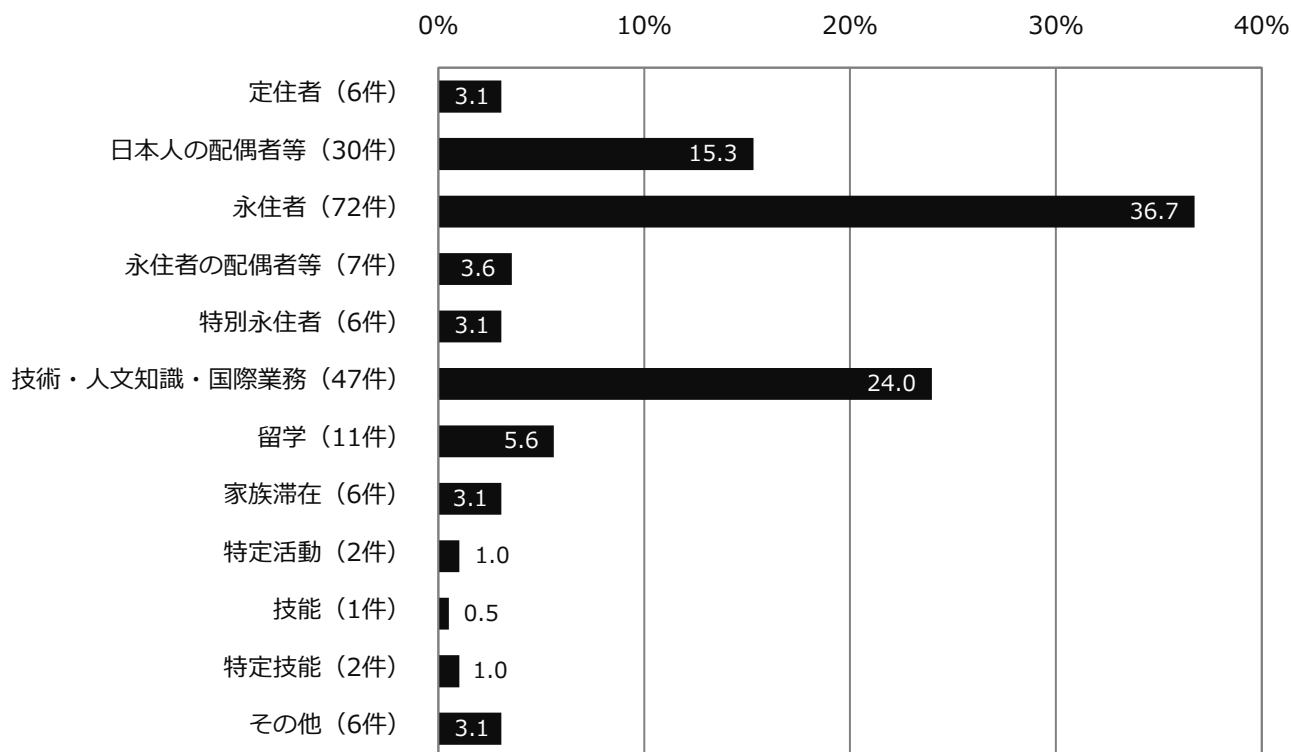
■ 「その他」6件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
高度人材	2	1.0
宗教	1	0.5

※割合は（n=196）で算出

	件数	割合
宣教女	1	0.5
高度専門職	1	0.5

在留資格（n=196）無回答3



※技能実習は0件のため表示していません。

日本での在留資格では、「永住者」が72件・36.7%で最も多く、次いで「技術・人文知識・国際業務」が47件・24.0%、「日本人の配偶者等」が30件・15.3%、「留学」が11件・5.6%と続いている。

(6) 日本での在住期間 【F 6. あなたは日本にどのくらいの期間住んでいますか。来日（転入・転出）を繰り返している場合は、日本に住んでいる期間の合計を教えてください（1つに〇）。】

(7) 世田谷区での在住期間 【F 7. あなたは世田谷区にどのくらいの期間住んでいますか。来日（転入・転出）を繰り返している場合は、世田谷区に住んでいる期間の合計を教えてください（1つに〇）。】

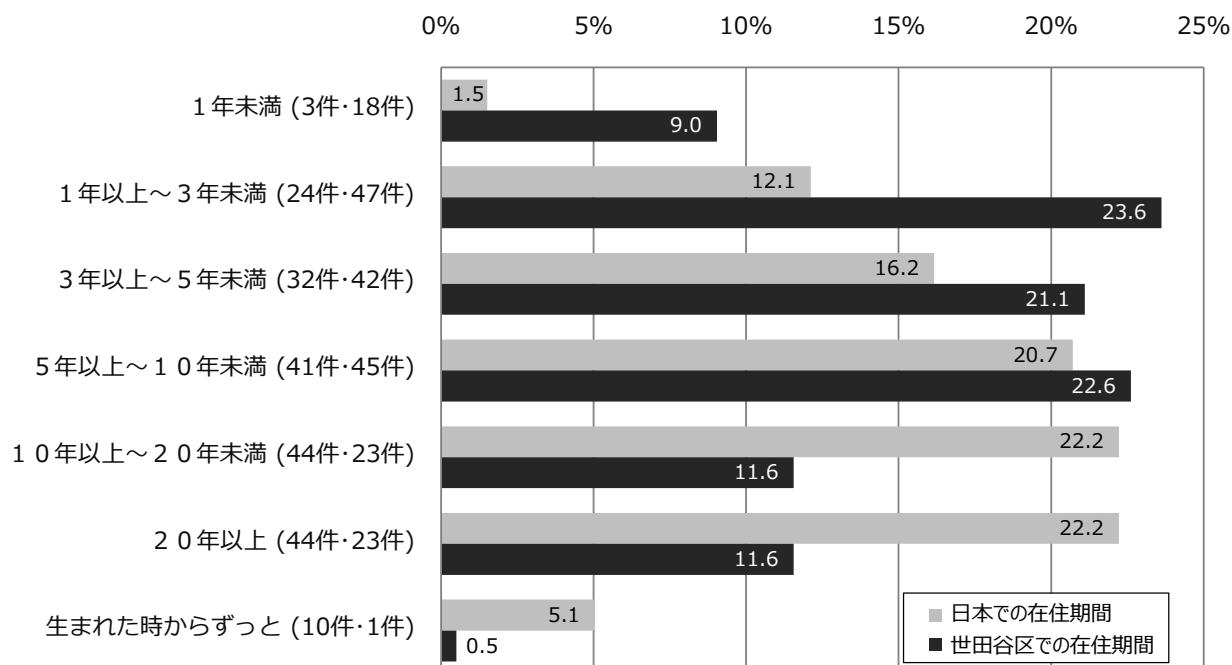
■ 『在住期間』 件数割合

	日本での在住期間		世田谷区での在住期間	
	件数	割合	件数	割合
1年未満	3	1.5	18	9.0
1年以上～3年未満	24	12.1	47	23.6
3年以上～5年未満	32	16.2	42	21.1
5年以上～10年未満	41	20.7	45	22.6
10年以上～20年未満	44	22.2	23	11.6
20年以上	44	22.2	23	11.6
生まれたときからずっと	10	5.1	1	0.5
全 体	198	100.0	199	100.0

※無回答 1

※無回答 0

在住期間 (n=198・199) 無回答1・0



日本在住期間では、「10年以上～20年未満」「20年以上」がともに44件・22.2%と最も多く、次に「5年以上～10年未満」が20.7%であった。「生まれた時からずっと」は5.1%であった。

世田谷区在住期間では、「1年以上～3年未満」が47件・23.6%で最も多く、「5年以上～10年未満」が22.6%と続いている。

■『日本在住期間』国籍・地域割合

国籍・地域口	n	1年未満	3年未満以上	5年未満以上	10年未満以上	20年未満以上	20年以上	生まれた時からずっと
全体	192	1.6	12.0	15.6	20.3	22.9	22.4	5.2
中国	56	1.8	10.7	17.9	26.8	23.2	17.9	1.8
韓国	23	-	13.0	8.7	4.3	17.4	21.7	34.8
米国	15	-	-	6.7	13.3	33.3	46.7	-
台湾	19	5.3	5.3	15.8	36.8	15.8	21.1	-
フィリピン	6	-	-	16.7	16.7	16.7	50.0	-
英国	9	-	-	22.2	-	44.4	33.3	-
ベトナム	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
フランス	5	-	40.0	-	-	40.0	20.0	-
インド	3	-	66.7	-	-	-	33.3	-
その他	54	1.9	16.7	18.5	22.2	22.2	16.7	1.9

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。
 ※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

■『世田谷区在住期間』国籍・地域割合

国籍・地域口	n	1年未満	3年未満以上	5年未満以上	10年未満以上	20年未満以上	20年以上	生まれた時からずっと
全体	193	9.3	23.8	20.2	22.8	11.9	11.4	0.5
中国	57	10.5	26.3	26.3	29.8	1.8	5.3	-
韓国	23	8.7	21.7	8.7	13.0	13.0	30.4	4.3
米国	15	6.7	20.0	6.7	20.0	33.3	13.3	-
台湾	19	10.5	5.3	26.3	31.6	10.5	15.8	-
フィリピン	6	-	-	33.3	50.0	16.7	-	-
英国	9	11.1	-	11.1	11.1	44.4	22.2	-
ベトナム	2	-	100.0	-	-	-	-	-
フランス	5	-	40.0	-	20.0	40.0	-	-
インド	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-
その他	54	11.1	29.6	22.2	18.5	9.3	9.3	-

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。
 ※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

日本在住期間の国籍・地域別でみると、母数の最も多い「中国」では、「5年以上～10年未満」が26.8%で最も高く、「10年以上～20年未満」が23.2%と続いている。「韓国」では、「生まれた時からずっと」が34.8%と最も高い。「1年未満」でみると、「台湾」の5.3%が最も高かった。

世田谷区在住期間の国籍・地域別でみると、「中国」では、「5年以上～10年未満」が29.8%で最も高く、「韓国」では、「20年以上」が30.4%で最も高い。「1年未満」でみると、「中国」「台湾」がともに10.5%と最も高く、「生まれた時からずっと」では、「韓国」の4.3%のみで、他の国籍・地域は全て0.0%であった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

(8) 同居人 【F8. あなたは現在だれと一緒に住んでいますか（あてはまるもの全てに○）。】

■ 『同居人』 件数割合

	件数	割合		件数	割合
配偶者・パートナー	129	65.2	親戚	-	-
子ども（小学生未満）	28	14.1	日本人の友人・知人	3	1.5
子ども（小学生以上高校生未満）	30	15.2	外国人の友人・知人	1	0.5
子ども（高校生以上）	17	8.6	その他	6	3.0
兄弟姉妹	3	1.5	いない	51	25.8
自分または配偶者・パートナーの親	6	3.0			
			全体	198	100.0

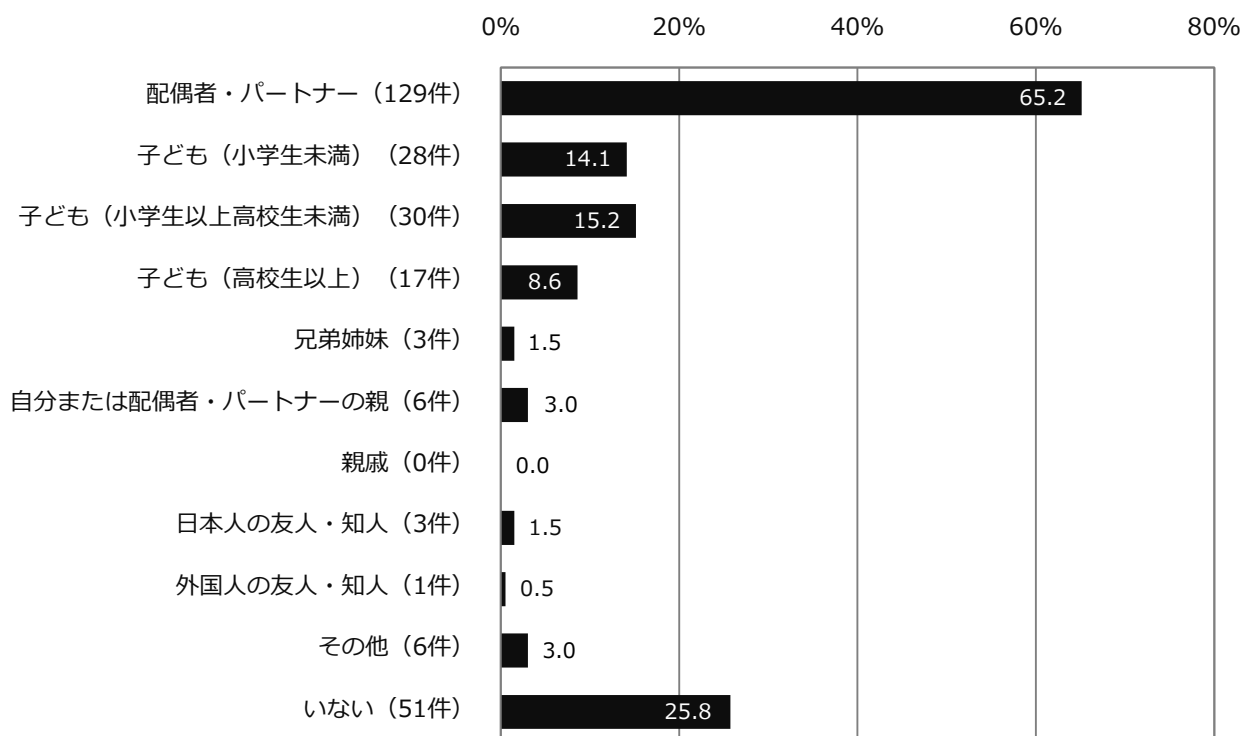
※無回答：1 ※累計（n）：274／累計（%）：138.4

■ 「その他」6件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
修道会（共同生活）	2	1.0	シェアハウスの入居者たち	1	0.5

※割合は（n=198）で算出

同居人（n=198）無回答1



同居人では、「配偶者・パートナー」が129件・65.2%と最も多く、次いで「子ども（小学生以上高校生未満）」が30件・15.2%、「子ども（小学生未満）」が28件・14.1%、「子ども（高校生以上）」17件・8.6%と続いており、近親者との同居の割合が高い。同居人は「いない」と回答した単身生活者は51件・25.8%であった。

Ⅱ-2. ことばについて

(1) 自由に使えることば 【Q1. 日本語以外のことばのうち、自由に使えることばは何ですか（あてはまるもの全てに○）。】

■ 『自由に使えることば』件数割合

	件数	割合
英語	139	72.4
中国語	85	44.3
韓国・朝鮮語	18	9.4
フランス語	17	8.9
スペイン語	14	7.3

※無回答：7 ※累計（n）：327／累計（％）：170.3

	件数	割合
ドイツ語	11	5.7
ベトナム語	2	1.0
フィリピン語	6	3.1
その他	35	18.2
全体	192	100.0

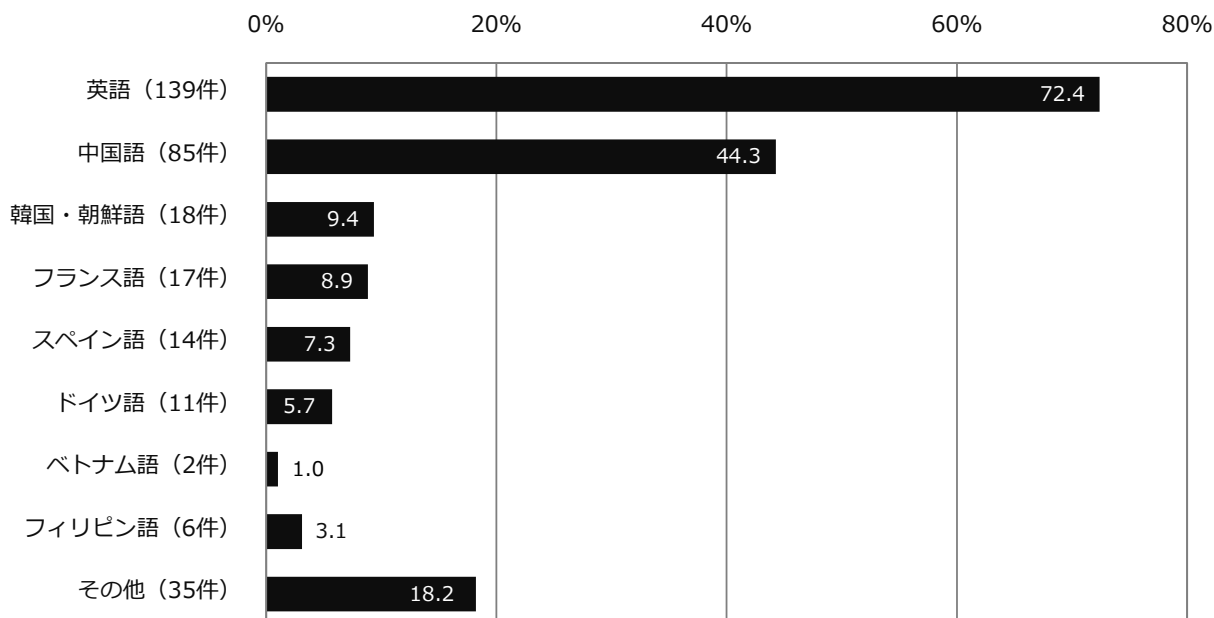
■ 「その他」35件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
広東語	4	2.1
ロシア語	4	2.1
インドネシア語	3	1.6

※割合は（n=192）で算出

	件数	割合
タイ語	3	1.6
ポルトガル語	3	1.6
台湾語	2	1.0

自由に使えることば（n=192）無回答7



日本語以外で自由に使えることばでは、「英語」が139件・72.4%で最も多く、「中国語」が85件・44.3%、「韓国・朝鮮語」が18件・9.4%と続いている。「その他」の記述回答には「広東語」4件・2.1%、「ロシア語」4件・2.1%があった。

(2) 日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル

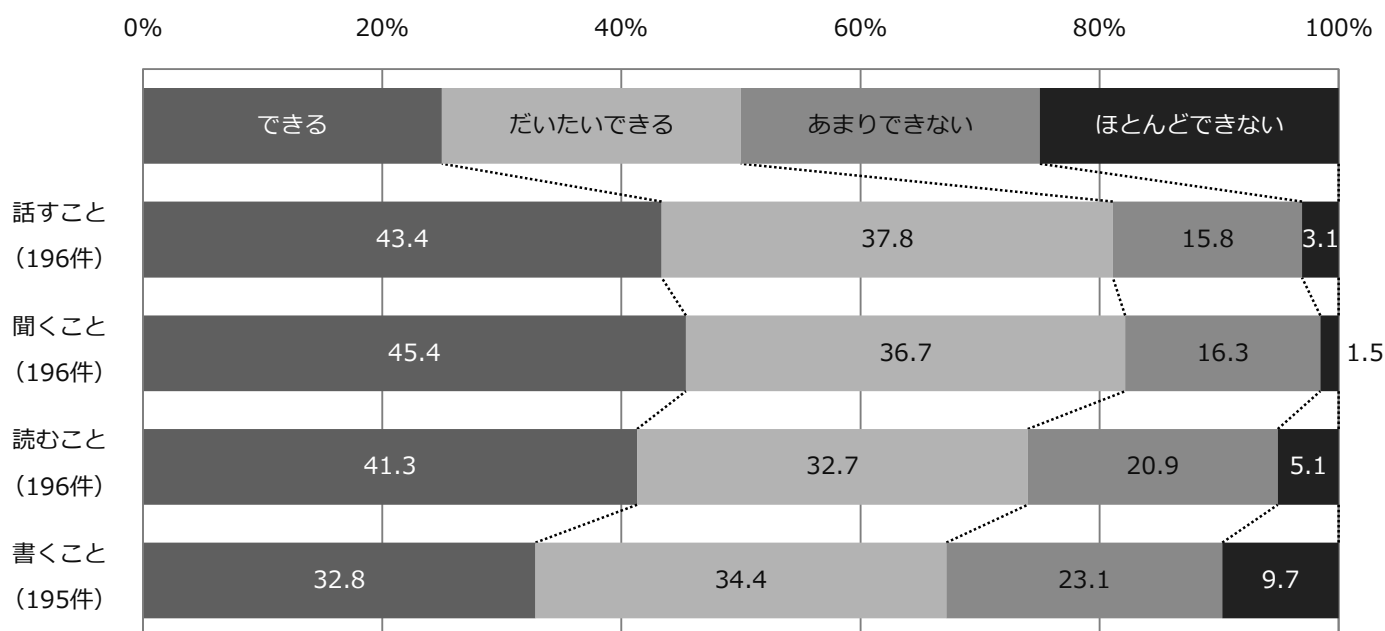
【Q2. あなたはどれくらい日本語ができますか（1つに○）。】

■ 『日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル』 件数割合

	話すこと		聞くこと		読むこと		書くこと	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
できる	85	43.4	89	45.4	81	41.3	64	32.8
だいたいできる	74	37.8	72	36.7	64	32.7	67	34.4
あまりできない	31	15.8	32	16.3	41	20.9	45	23.1
ほとんどできない	6	3.1	3	1.5	10	5.1	19	9.7
	196	100.0	196	100.0	196	100.0	195	100.0

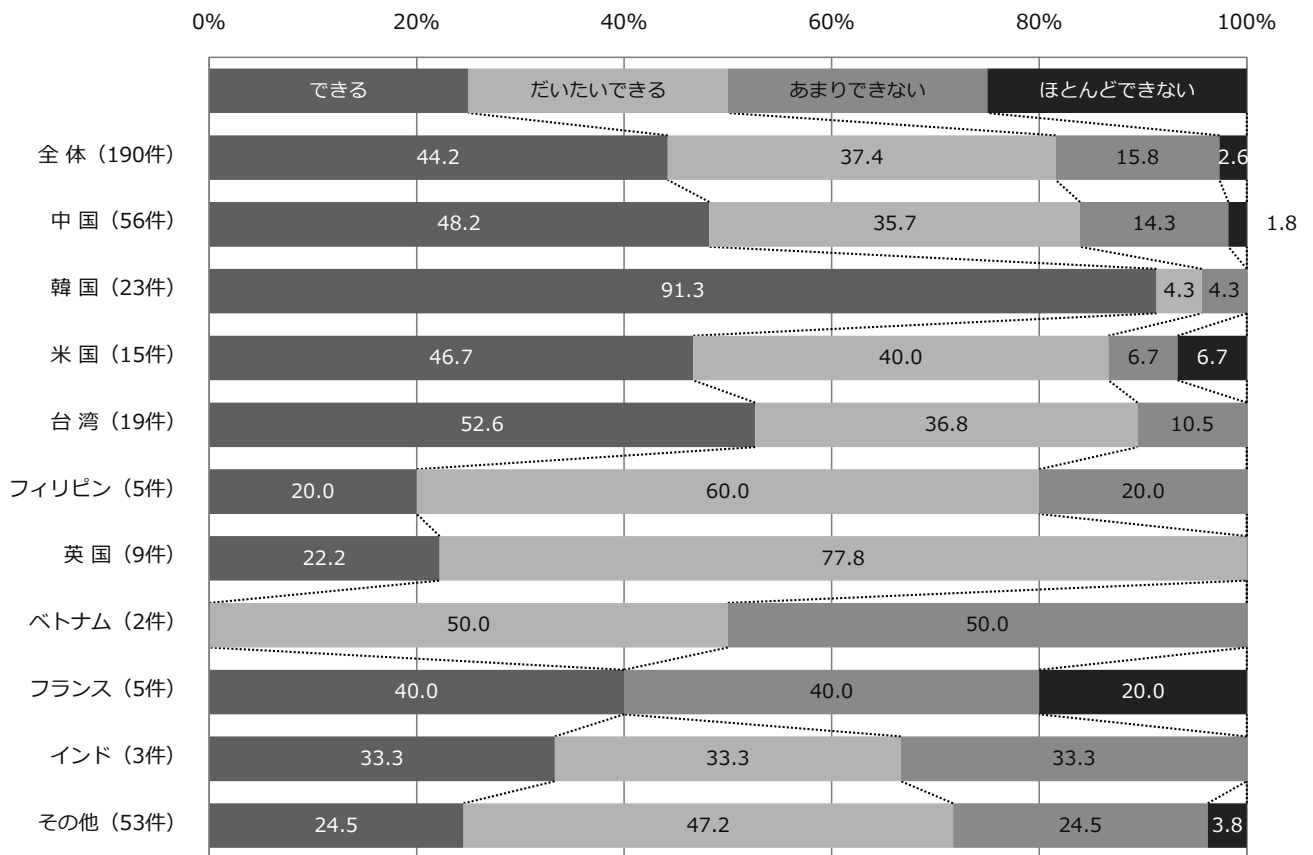
※無回答 3 ※無回答 3 ※無回答 3 ※無回答 4

日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベル



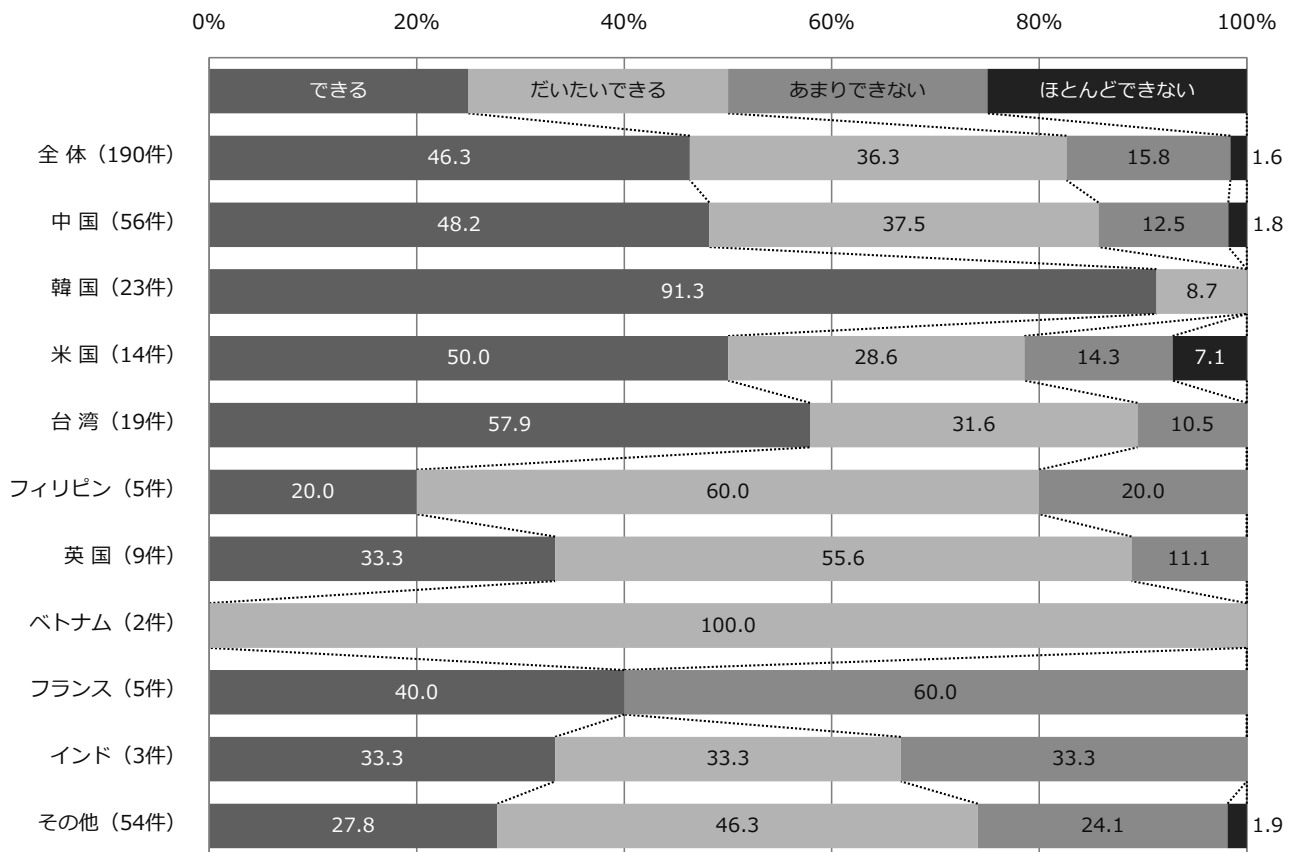
日本語（話す・聞く・読む・書く）のレベルでは、「話す」「聞く」「読む」で「できる」が最も多く、「書く」では「だいたいできる」が最も多かった。「できる」と「だいたいできる」の合算で見ると、「話すこと」81.1%、「聞くこと」82.1%、「読むこと」74.0%、「書くこと」67.2%であった。

■ 『日本語能力<話すこと>』 国籍・地域割合



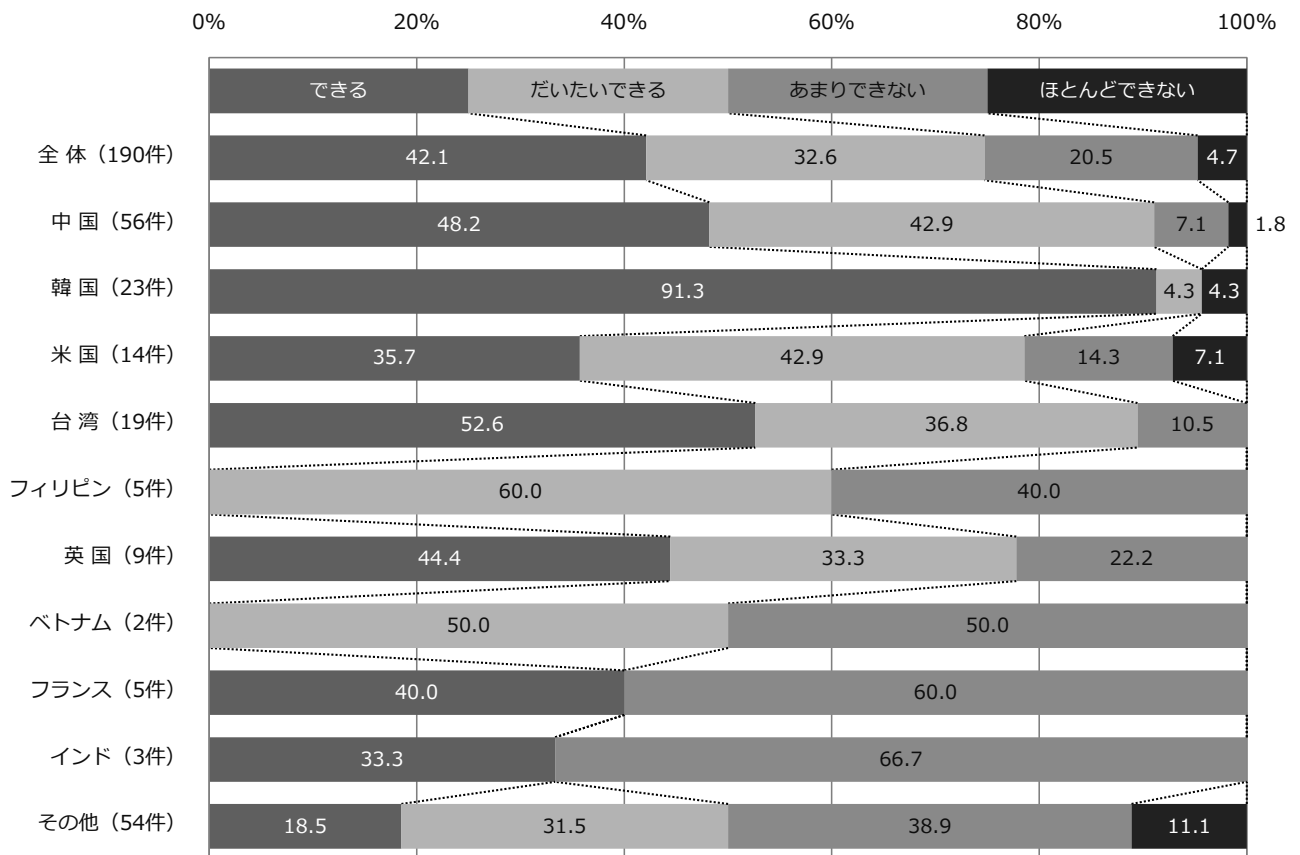
※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

■ 『日本語能力<聞くこと>』 国籍・地域割合



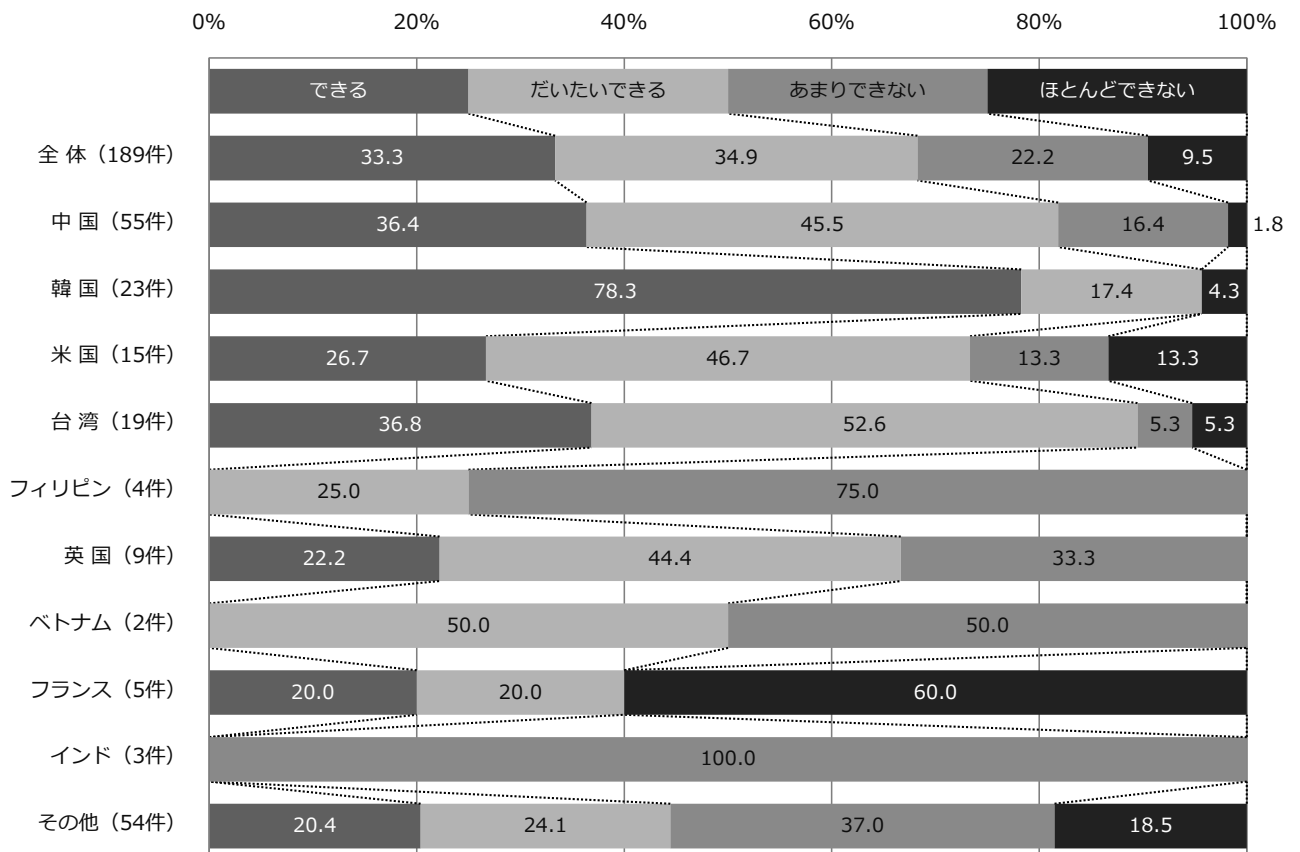
※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

■ 『日本語能力<読むこと>』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

■ 『日本語能力<書くこと>』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

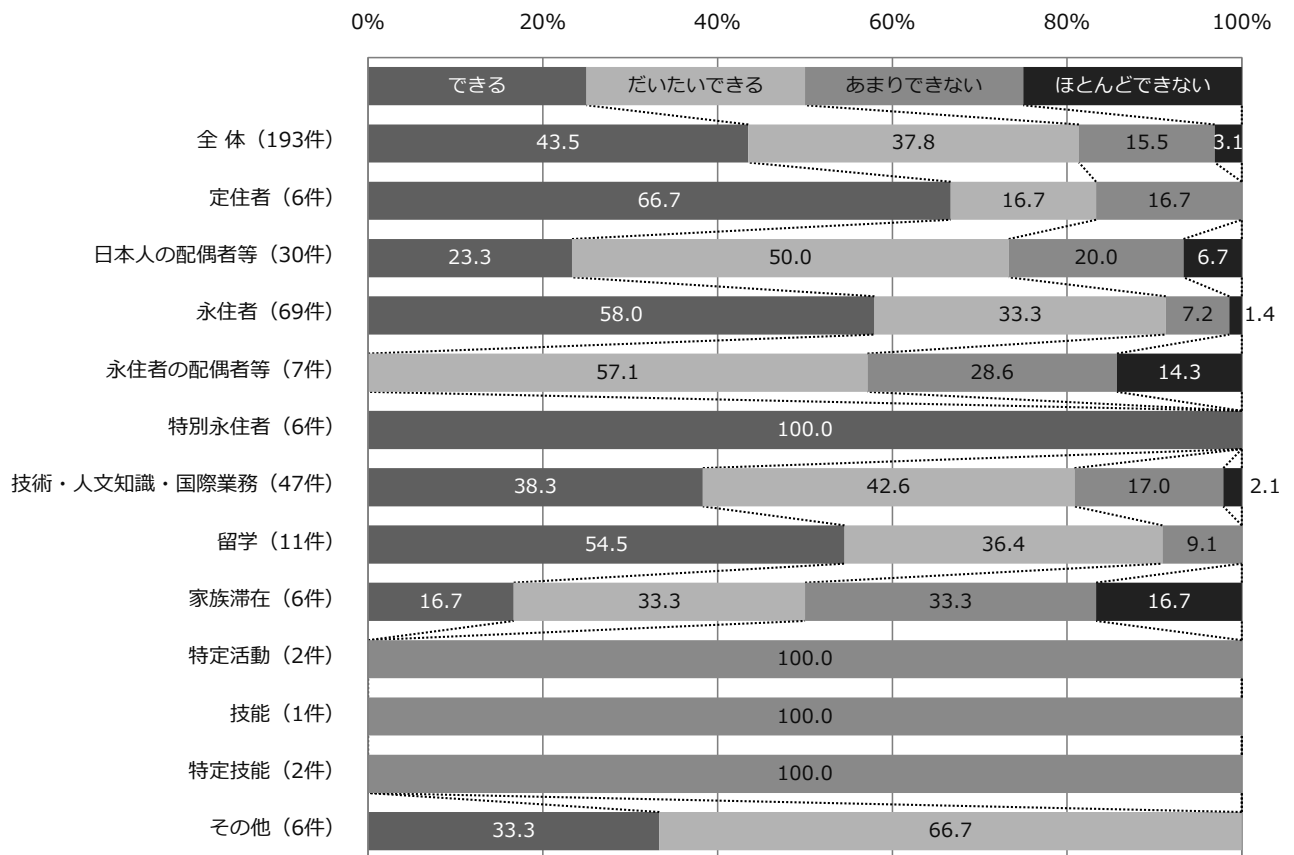
日本語能力<話すこと>の国籍・地域別では、「中国」で、「できる」48.2%、「だいたいできる」35.7%、「韓国」では、「できる」91.3%、「だいたいできる」4.3%、「台湾」では、「できる」52.6%、「だいたいできる」36.8%、「米国」では、「できる」46.7%、「だいたいできる」40.0%であり、「韓国」の「できる」の割合が突出しているのがわかる。また「ほとんどできない」では「米国」6.7%、「中国」1.8%、「韓国」「台湾」は0.0%であった。

日本語能力<聞くこと>では、「中国」で、「できる」48.2%、「だいたいできる」37.5%、「韓国」では、「できる」91.3%、「だいたいできる」8.7%、「台湾」では、「できる」57.9%、「だいたいできる」31.6%、「米国」では、「できる」50.0%、「だいたいできる」28.6%であった。

日本語能力<読むこと>では、「中国」「韓国」「台湾」で、「できる」「だいたいできる」の合算で<話すこと><聞くこと>同様に高い割合を示しているが、「米国」では「できる」35.7%、「だいたいできる」42.9%と若干低い結果となり、「あまりできない」「ほとんどできない」の合算でみると21.4%と高かった。

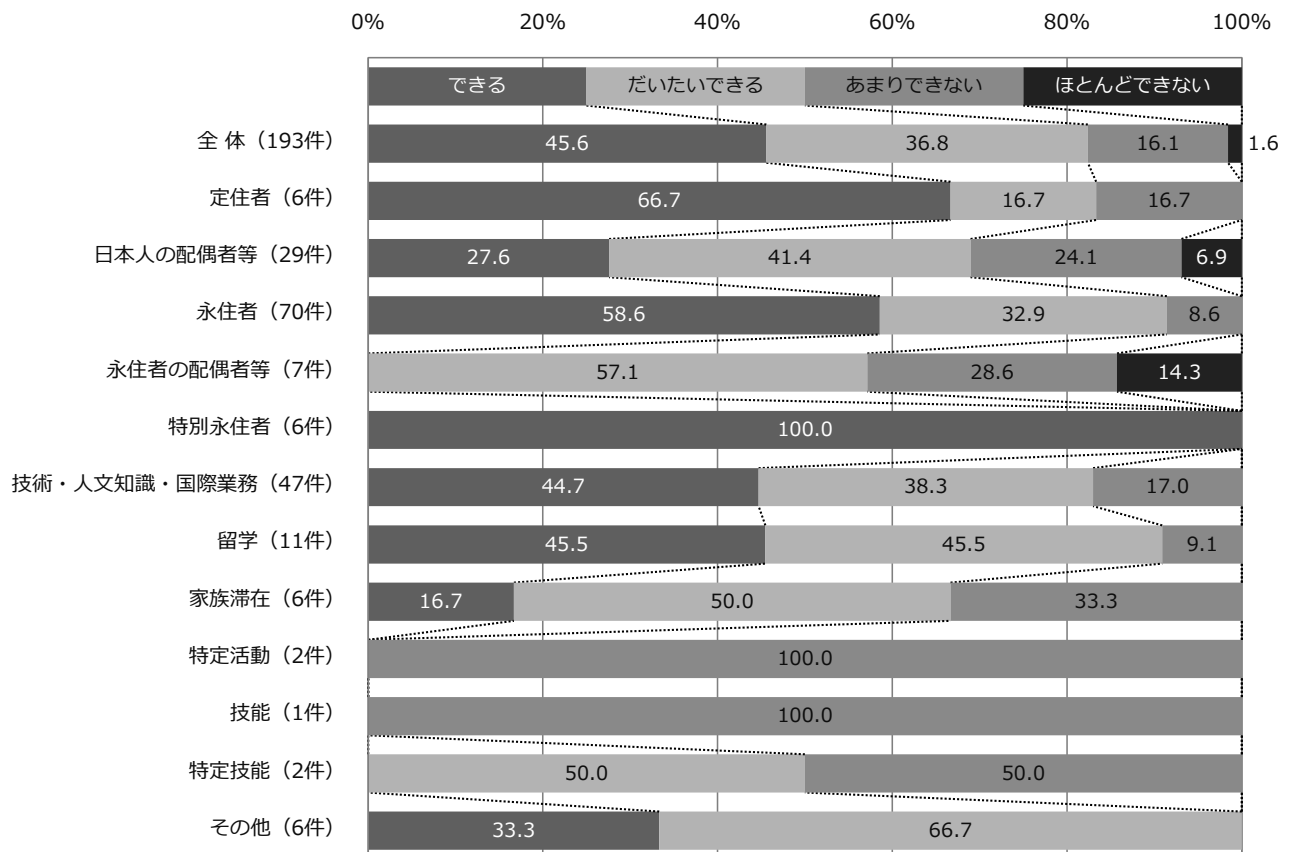
日本語能力<書くこと>でも、「できる」が「韓国」で78.3%と突出しており、「台湾」36.8%、「中国」36.4%、「米国」26.7%であった。「ほとんどできない」の割合が最も高かったのは<書くこと>であった。

■ 『日本語能力<話すこと>』 在留資格割合



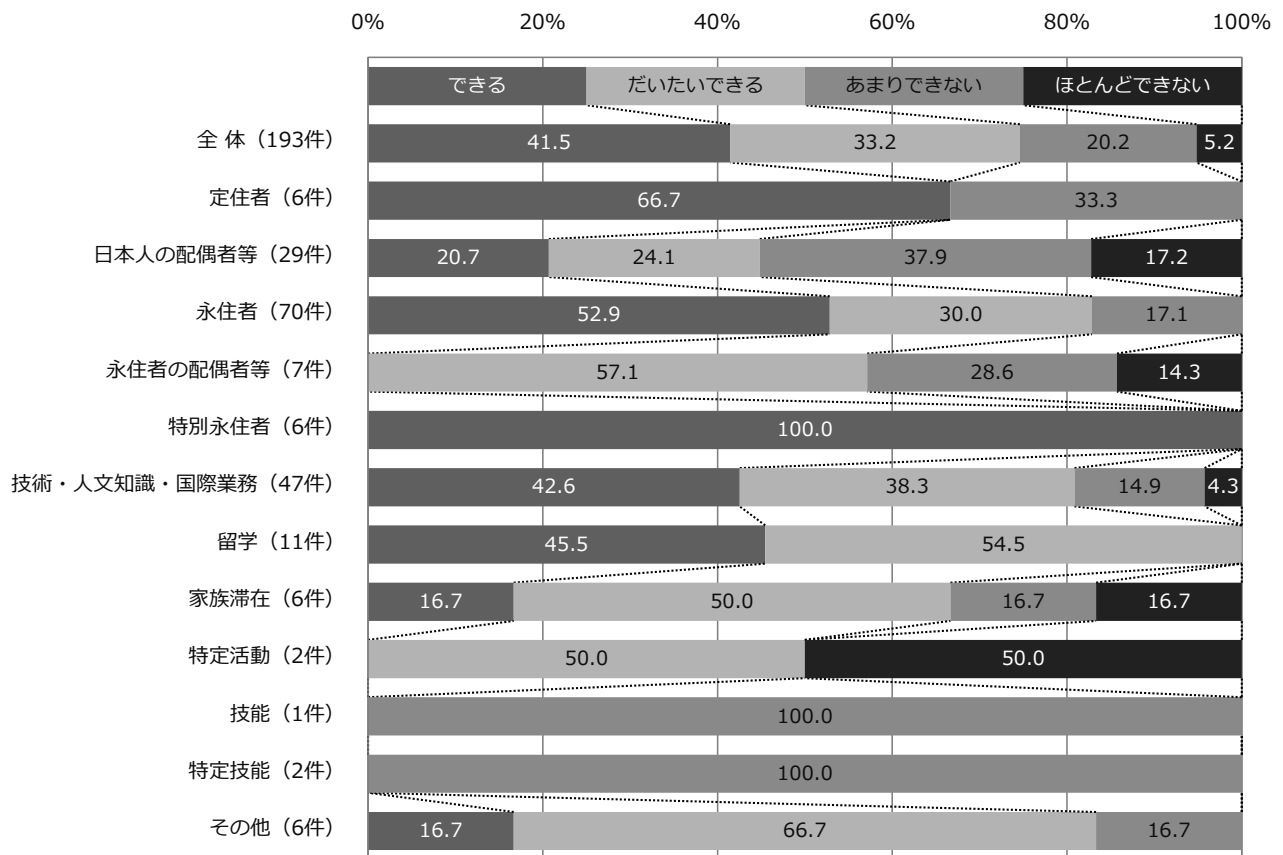
※技能実習は0件のため表示していません。

■ 『日本語能力<聞くこと>』 在留資格割合



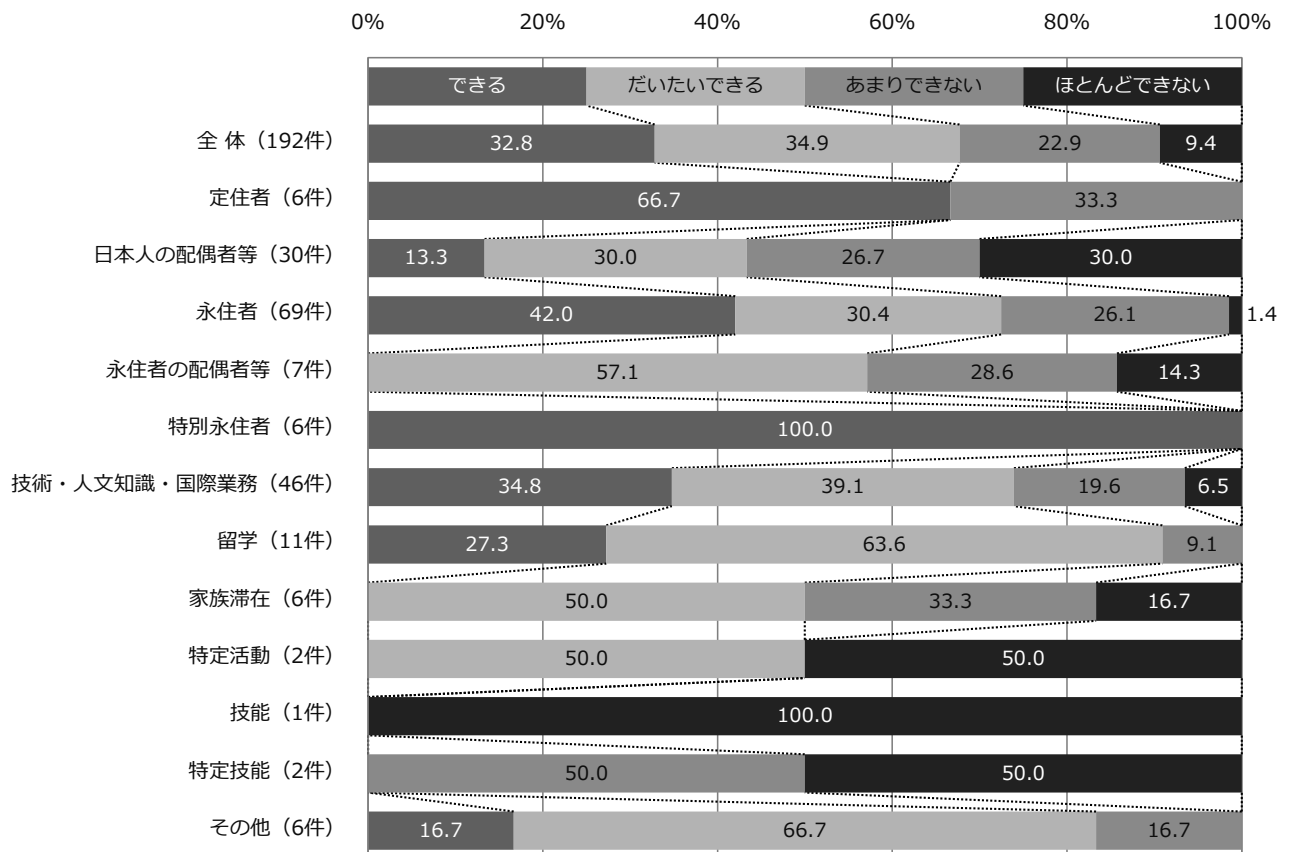
※技能実習は0件のため表示していません。

■ 『日本語能力<読むこと>』 在留資格割合



※技能実習は0件のため表示していません。

■ 『日本語能力<書くこと>』 在留資格割合



※技能実習は0件のため表示していません。

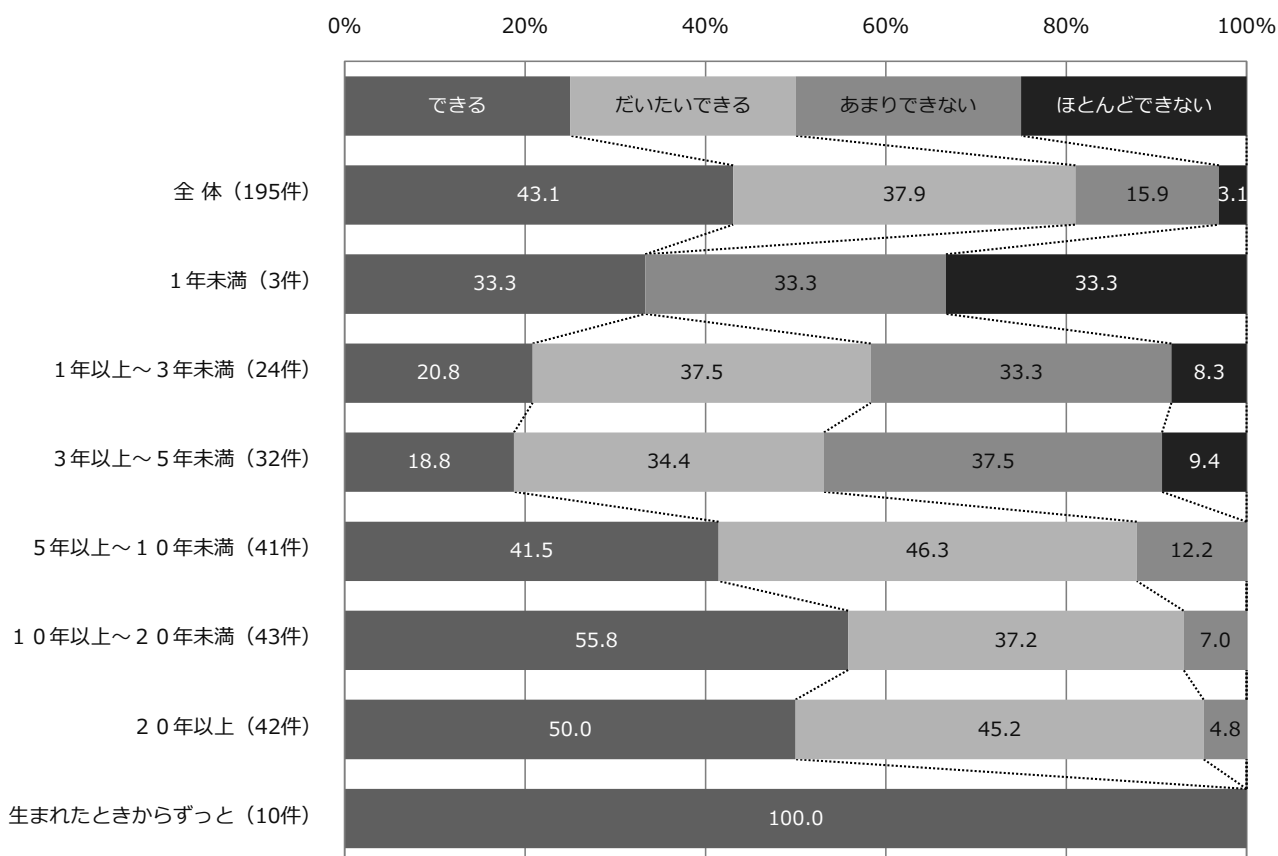
日本語能力<話すこと>の在留資格別では、「永住者」「留学」「技術・人文知識・国際業務」の順に、「できる」「だいたいできる」の合算の割合が高かった（n=10未満の在留資格を除く）。「留学」では、「ほとんどできない」が0.0%と、ある程度話せることが推測される。「日本人の配偶者等」では、「あまりできない」「ほとんどできない」の割合が他の在留資格と比べ高かった。

日本語能力<聞くこと>でも、<話すこと>と同様に、「永住者」「留学」「技術・人文知識・国際業務」の順に、「できる」「だいたいできる」の合算の割合が高かった（n=10未満の在留資格を除く）。「日本人の配偶者等」についても、<話すこと>と同様に「あまりできない」「ほとんどできない」の割合が高かった。

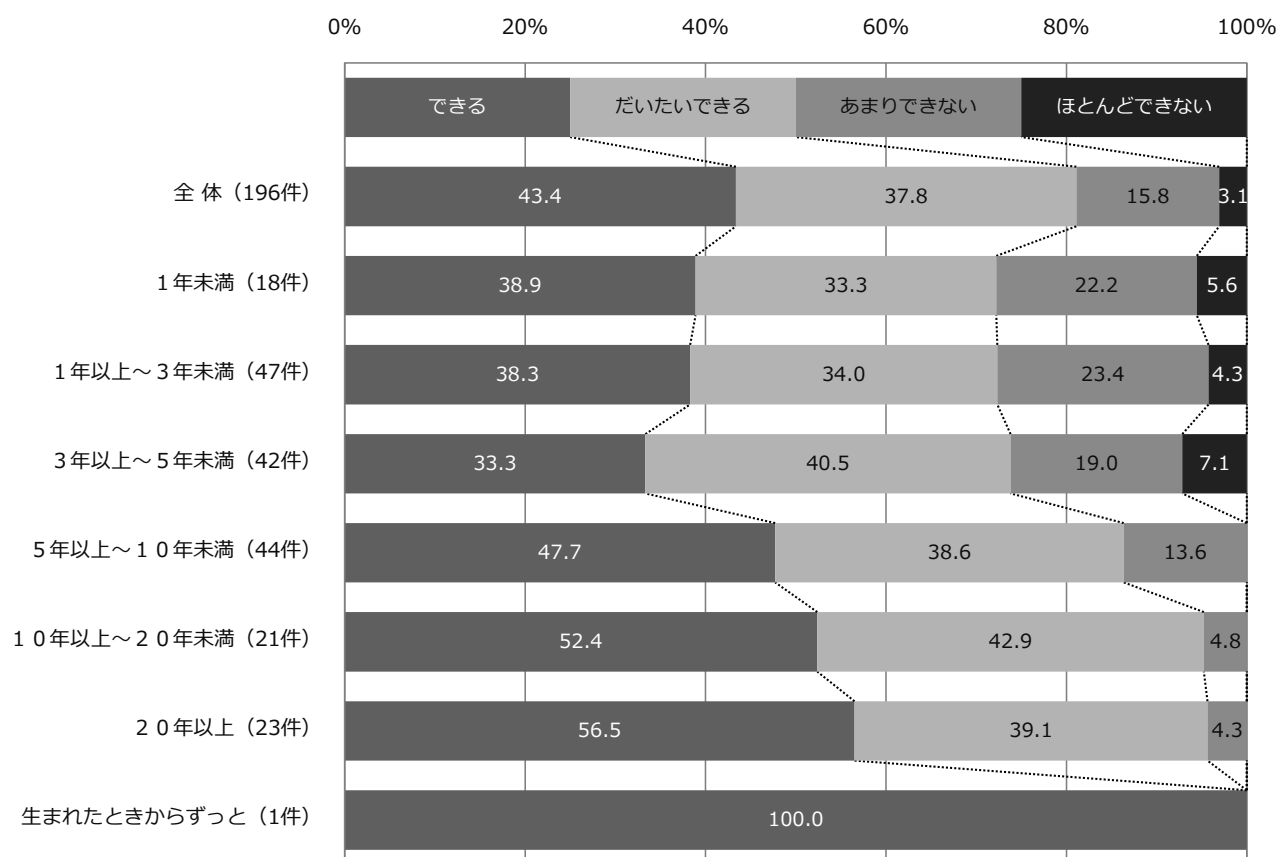
日本語能力<読むこと>では、「できる」「だいたいできる」の合算でみると、「留学」が100%で、次いで「永住者」「技術・人文知識・国際業務」で高かった（n=10未満の在留資格を除く）。「日本人の配偶者等」は、「あまりできない」「ほとんどできない」の合算が55.1%であった。

日本語能力<書くこと>では、「できる」「だいたいできる」の合算でみると、「留学」90.9%と最も高く、次いで「技術・人文知識・国際業務」73.9%、「永住者」72.4%の順となった（n=10未満の在留資格を除く）。「日本人の配偶者等」では、「ほとんどできない」が3割に達した。

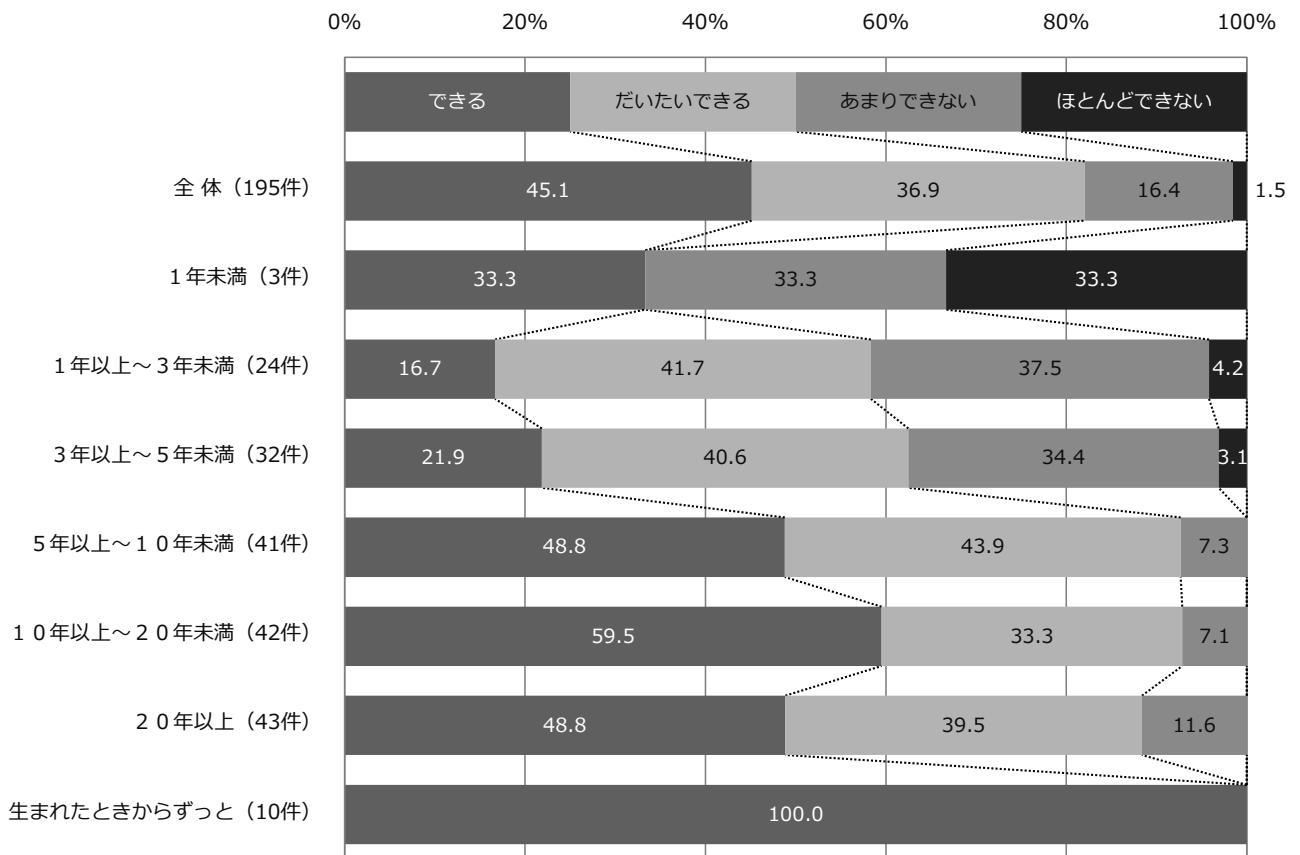
■ 『日本語能力<話すこと>』 日本在住期間割合



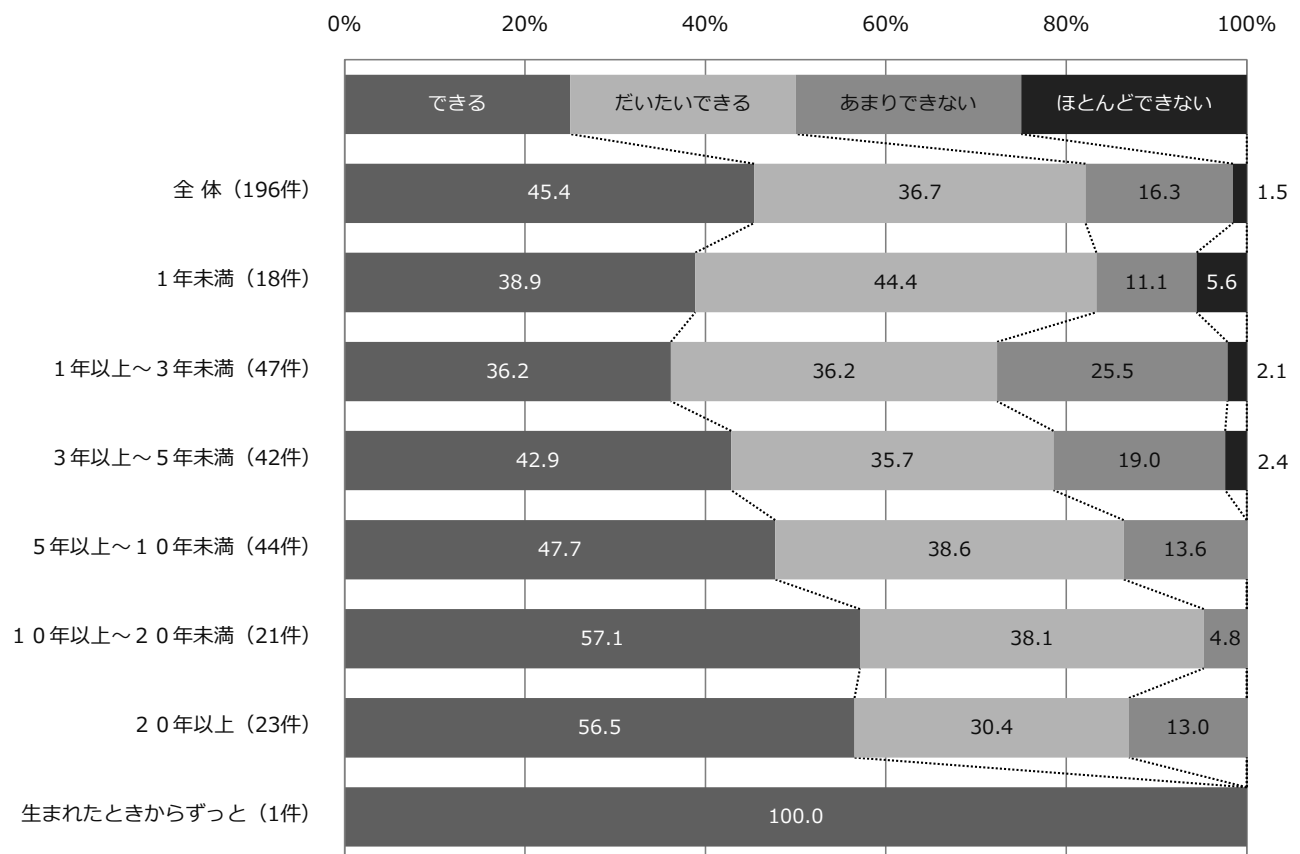
■ 『日本語能力<話すこと>』 世田谷区在住期間割合



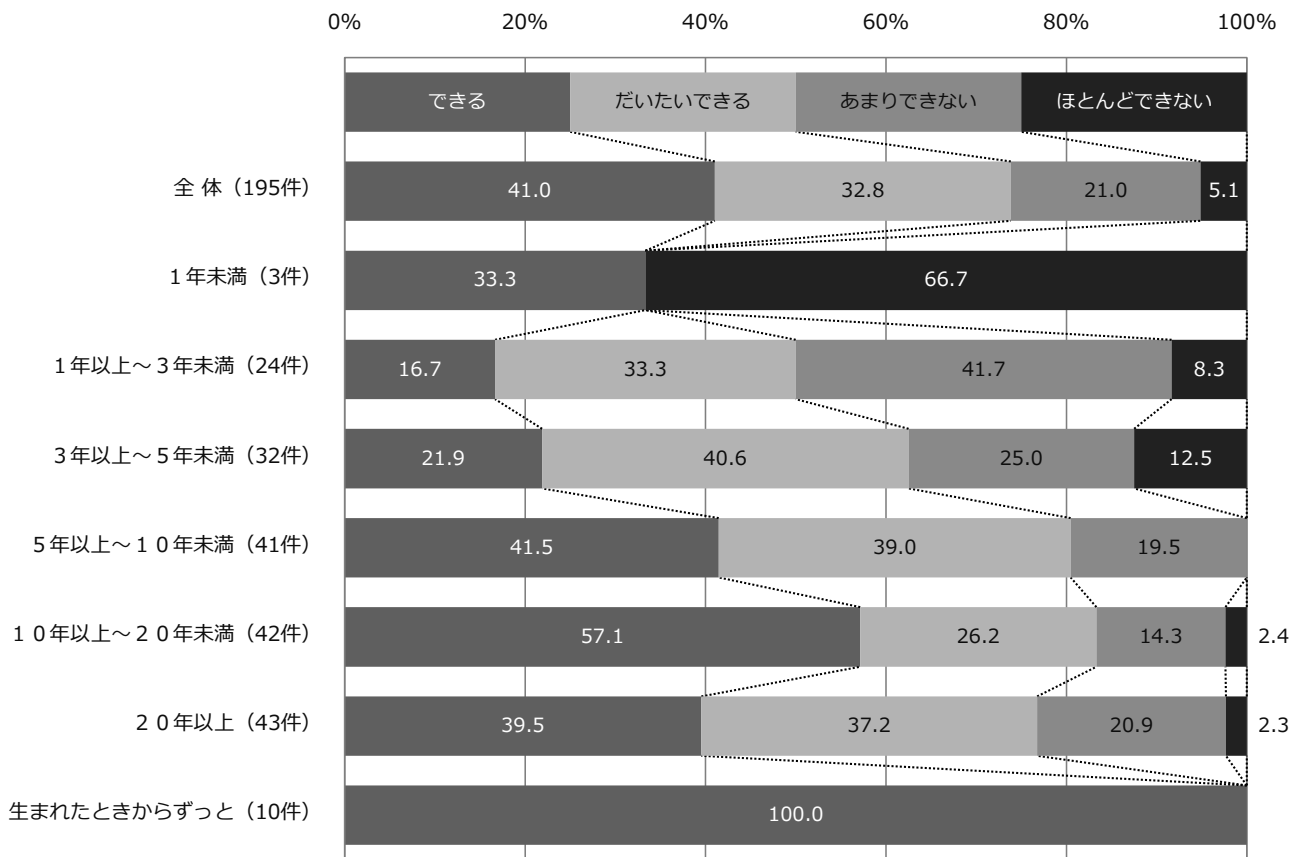
■ 『日本語能力<聞くこと>』 日本在住期間割合



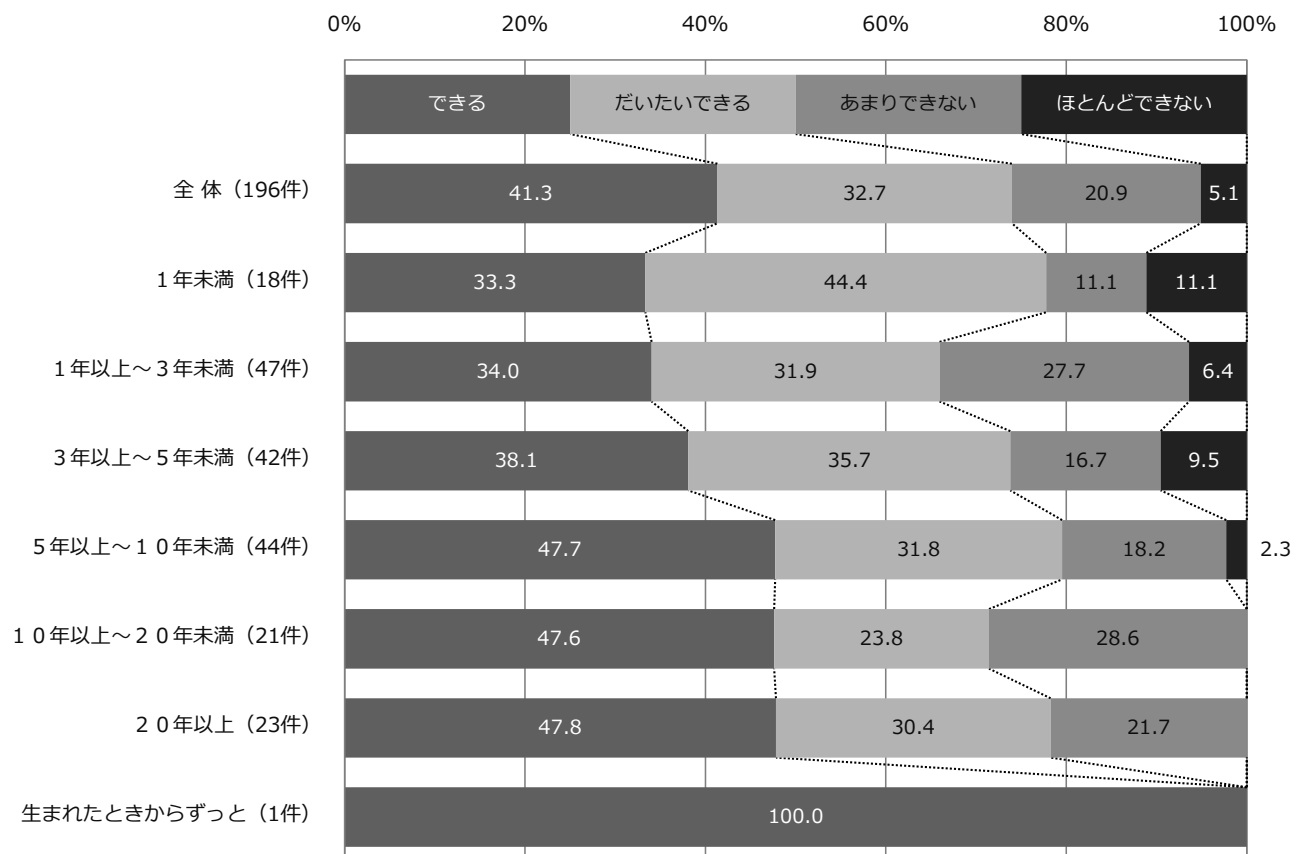
■ 『日本語能力<聞くこと>』 世田谷区在住期間割合



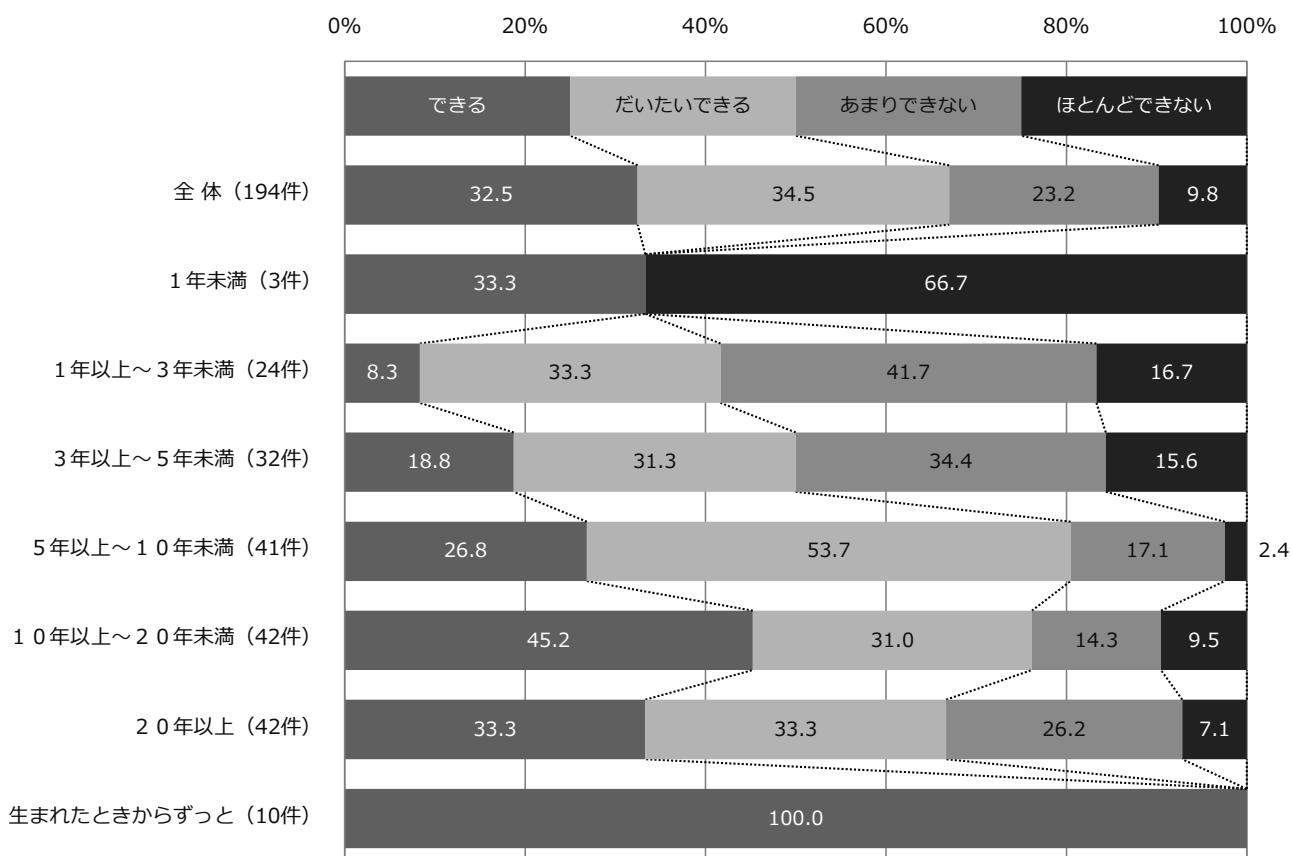
■ 『日本語能力<読むこと>』 日本在住期間割合



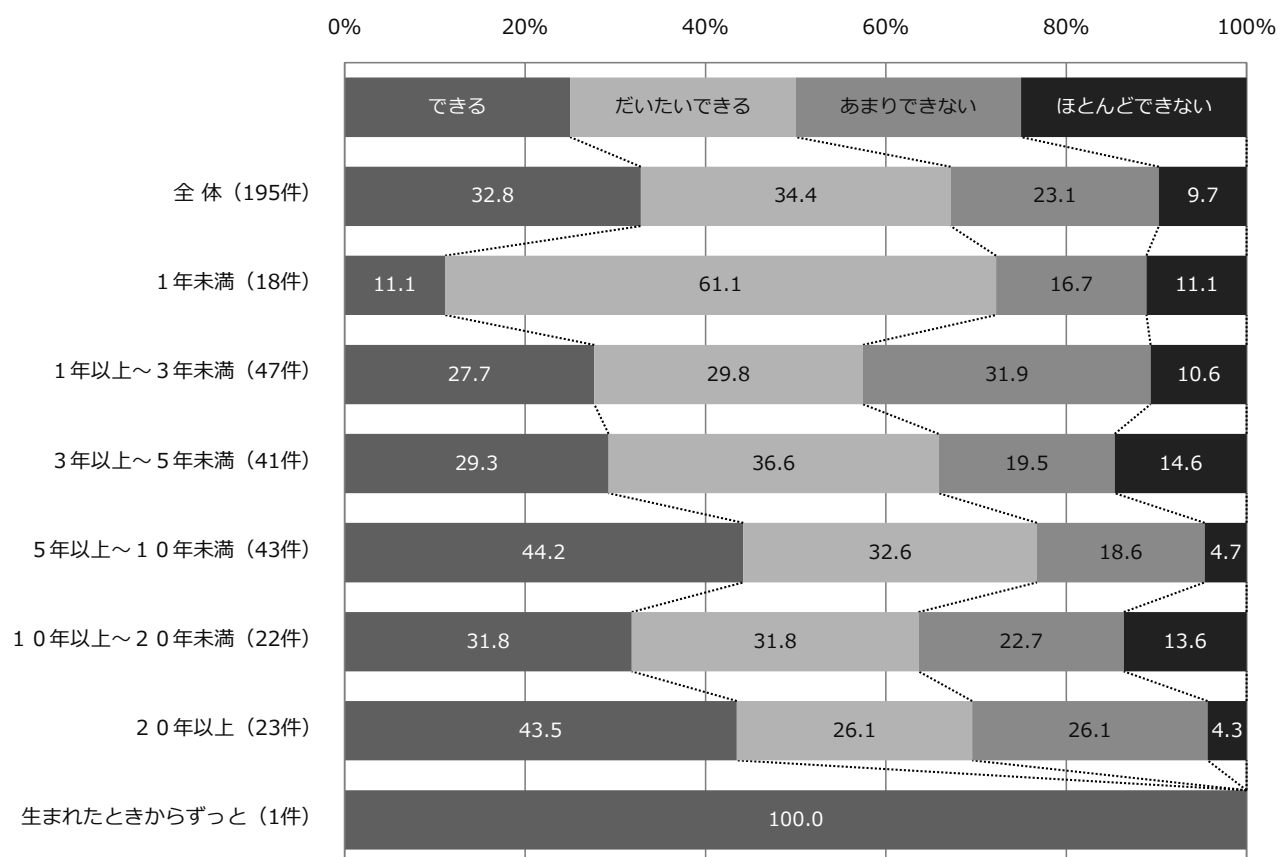
■ 『日本語能力<読むこと>』 世田谷区在住期間割合



■ 『日本語能力<書くこと>』 日本在住期間割合



■ 『日本語能力<書くこと>』 世田谷区在住期間割合



〈話すこと〉の日本在住期間「1年未満」では、「できる」「だいたいできる」の合算が33.3%であるが、他の在住期間区分では5割以上の高さである。「5年以上～10年未満」以上の区分では、約9割が「だいたいできる」と回答している。

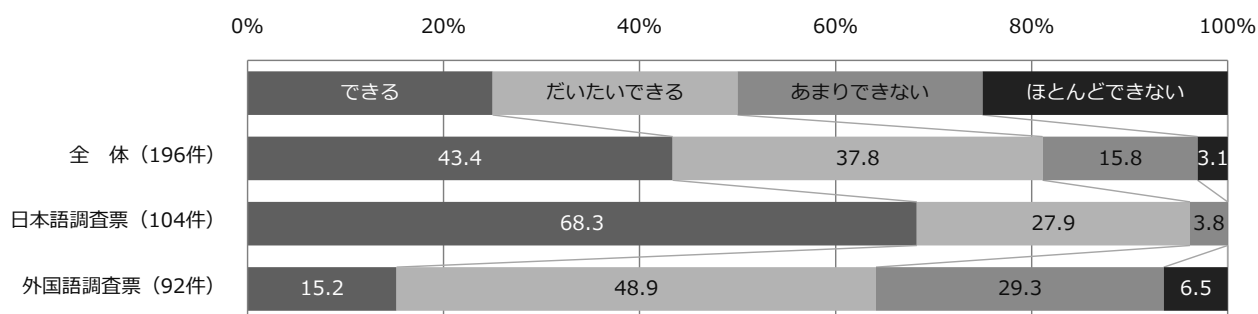
〈話すこと〉の世田谷区在住期間でも、「3年～5年未満」の区分以上で在住期間が長いほど「できる」「だいたいできる」の合算で高くなっている。

〈聞くこと〉の日本在住期間では、「1年未満」で「できる」「だいたいできる」の合算が33.3%で、世田谷区在住期間では、「1年未満」で83.3%であった。日本在住期間、世田谷区在住期間ともに「5年以上～10年未満」から「20年以上」の区分で「ほとんどできない」は見られなかった。

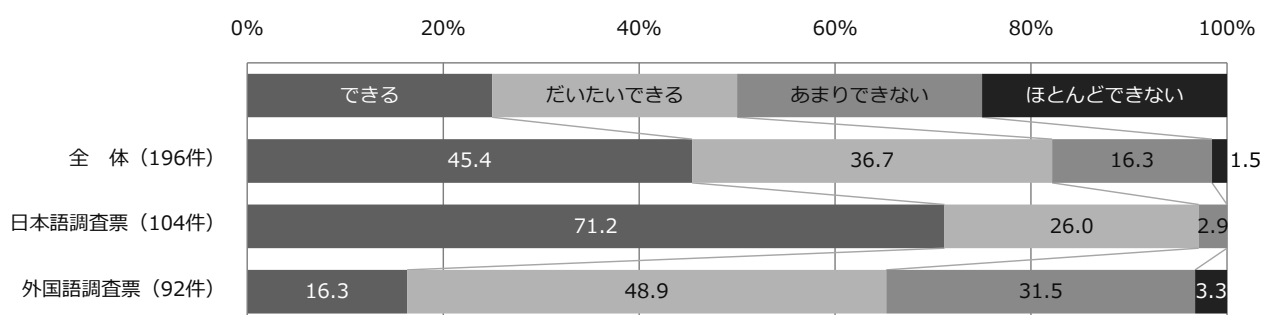
〈読むこと〉では、日本在住期間が長くなるにつれ「できる」の割合が高くなる傾向にあるが、世田谷区在住期間では、「1年未満」から「20年以上」の区分で「できる」の割合は30%から40%程度であり、顕著な違いは見受けられない。

〈書くこと〉では、日本在住期間の「できる」「だいたいできる」の合算でみると、「1年未満」から「5年以上～10年未満」までは在住期間が長くなるにつれ割合が高くなっているが、「10年以上～20年未満」以上の区分では低くなっている。世田谷区在住期間では、「できる」「だいたいできる」の合算でみると、各区分で約6割～7割の割合となっている。

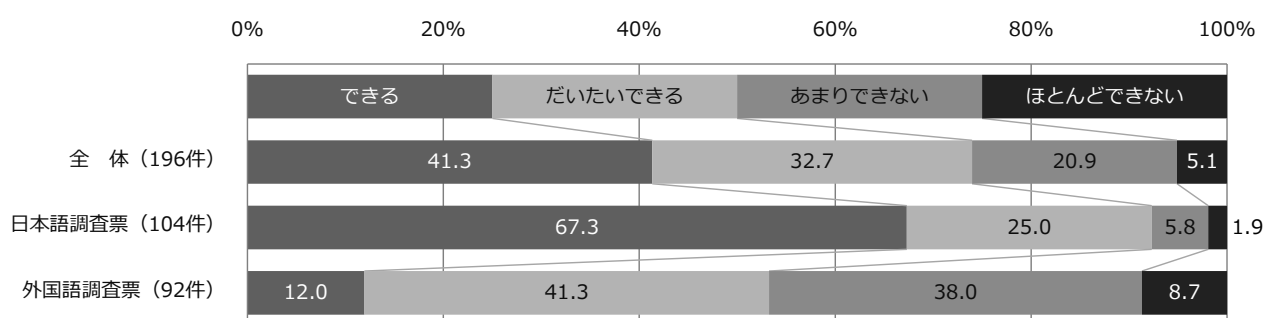
■ 『日本語能力<話すこと>』 回答調査票言語割合



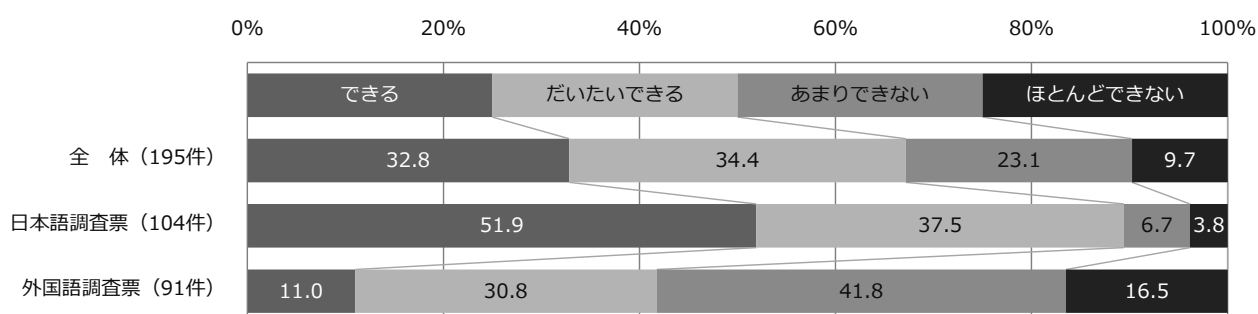
■ 『日本語能力<聞くこと>』 回答調査票言語割合



■ 『日本語能力<読むこと>』 回答調査票言語割合



■ 『日本語能力<書くこと>』 回答調査票言語割合



日本語能力<話すこと>×<聞くこと>×<読むこと>×<書くこと>の回答調査票言語別では、「日本語調査票」を使用した回答者は、いずれの能力でも「できる」「だいたいできる」の割合が高い。一方「日本語調査票」を利用しているが、「ほとんどできない」が<読むこと>1.9%、<書くこと>3.8%の割合で存在する。<話すこと>×<聞くこと>はともに0.0%だった。

「日本語調査票」の「できる」でみると、<聞くこと>71.2%、<話すこと>68.3%、<読むこと>67.3%、<書くこと>51.9%の順で高くなっている。

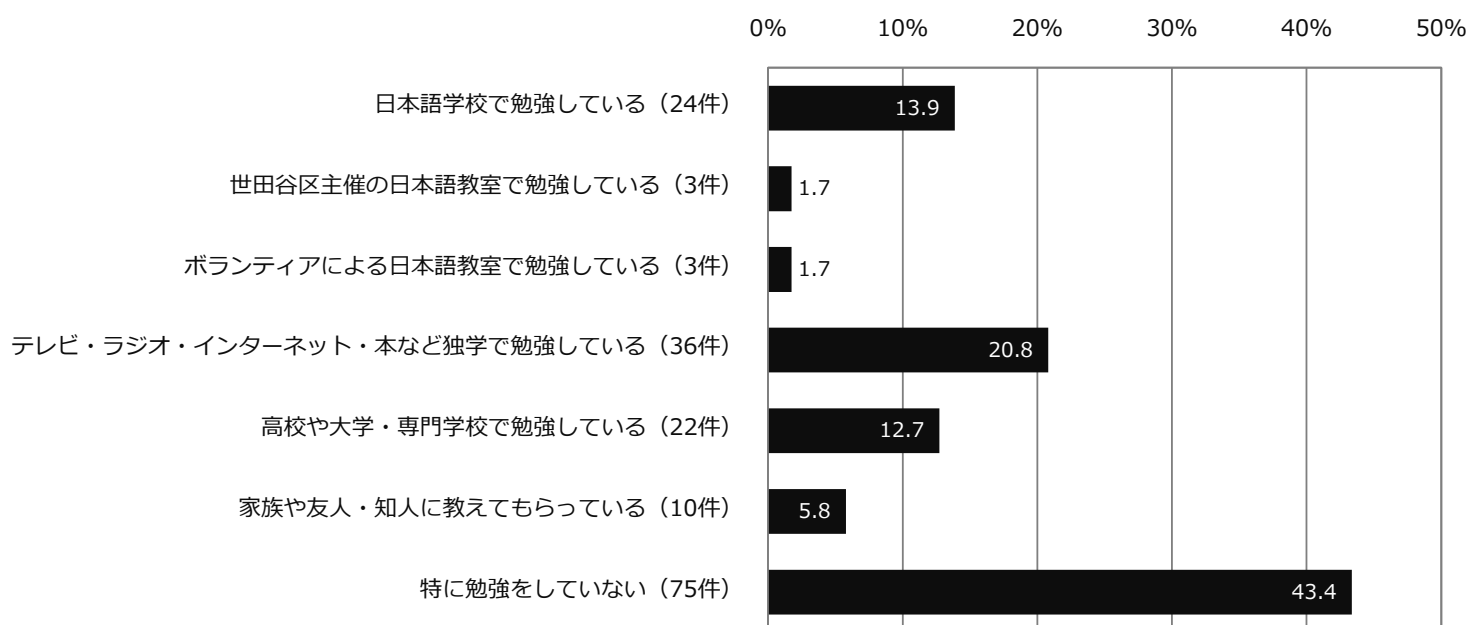
(3) 日本語の勉強 【Q3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか
(主なもの1つに○)。】

■ 『日本語を勉強する方法や場所』 件数割合

	件数	割合
日本語学校で勉強している	24	13.9
世田谷区主催の日本語教室で勉強している	3	1.7
ボランティアによる日本語教室で勉強している	3	1.7
テレビ・ラジオ・インターネット・本など独学で勉強している	36	20.8
高校や大学・専門学校で勉強している	22	12.7
家族や友人・知人に教えてもらっている	10	5.8
特に勉強をしていない	75	43.4
全体	173	100.0

※無回答 26

日本語の勉強の方法や場所 (n=173) 無回答26



日本語の勉強の方法や場所については、「特に勉強をしていない」が75件・43.4%と半数近くを占めた。「特に勉強をしていない」を除くと、「テレビ・ラジオ・インターネット・本など独学で勉強している」が36件・20.8%と最も多く、次いで「日本語学校で勉強している」が24件・13.9%、「高校や大学・専門学校で勉強している」が22件・12.7%、「家族や友人・知人に教えてもらっている」が10件・5.8%と続いている。

■ 『日本語を勉強する方法や場所』 日本在住期間割合

日本在住期間	n	い日 る本 語学 校で 勉強 して	教世 室田 で谷 勉区 強主 し催 ての い日 る本 語	る本 語教 室で 勉強 して る日	ボラ ンテ ィア によ てる 日	学タ でレ 勉ネ 強ッ しト て・ い本 るな どイ 独	で高 勉校 強や し大 て学 い・ る専 門学 校	え家 て族 もや ら友 っ人 て・ い知 る人 に教	特 に勉 強を して いな い
全 体	172	14.0	1.7	1.7	20.9	12.2	5.8	43.6	
1年未満	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	
1年以上～3年未満	21	23.8	-	-	28.6	9.5	4.8	33.3	
3年以上～5年未満	26	19.2	7.7	-	15.4	11.5	7.7	38.5	
5年以上～10年未満	37	16.2	2.7	2.7	21.6	27.0	5.4	24.3	
10年以上～20年未満	40	7.5	-	2.5	27.5	12.5	-	50.0	
20年以上	39	12.8	-	2.6	15.4	-	10.3	59.0	
生まれたときからずっと	7	-	-	-	-	14.3	-	85.7	

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。

■ 『日本語を勉強する方法や場所』 世田谷区在住期間割合

世田谷区在住期間	n	い日 る本 語学 校で 勉強 して	教世 室田 で谷 勉区 強主 し催 ての い日 る本 語	る本 語教 室で 勉強 して る日	ボラ ンテ ィア によ てる 日	学タ でレ 勉ネ 強ッ しト て・ い本 るな どイ 独	で高 勉校 強や し大 て学 い・ る専 門学 校	え家 て族 もや ら友 っ人 て・ い知 る人 に教	特 に勉 強を して いな い
全 体	173	13.9	1.7	1.7	20.8	12.7	5.8	43.4	
1年未満	15	20.0	6.7	-	13.3	26.7	13.3	20.0	
1年以上～3年未満	42	16.7	2.4	-	16.7	19.0	2.4	42.9	
3年以上～5年未満	37	16.2	-	-	21.6	13.5	5.4	43.2	
5年以上～10年未満	40	12.5	2.5	5.0	25.0	7.5	2.5	45.0	
10年以上～20年未満	20	5.0	-	-	30.0	5.0	5.0	55.0	
20年以上	18	11.1	-	5.6	16.7	-	16.7	50.0	
生まれたときからずっと	1	-	-	-	-	100.0	-	-	

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。

日本在住期間別では、「1年以上～3年未満」「10年以上～20年未満」「20年以上」で、「テレビ・ラジオ・インターネット・本など独学で勉強している」の割合が最も高く、「3年以上～5年未満」では、「日本語学校で勉強している」が最も高い。「5年以上～10年未満」では、「高校や大学・専門学校で勉強している」が最も高かった（n=10未満の日本在住期間を除く、「特に勉強をしていない」を除く）。

世田谷区在住期間では、「3年以上～5年未満」「5年以上～10年未満」「10年以上～20年未満」「20年以上」で、「テレビ・ラジオ・インターネット・本など独学で勉強している」の割合が最も高く、「20年以上」では、「家族や友人・知人に教えてもらっている」の割合も高かった（「特に勉強をしていない」を除く）。「1年未満」「1年以上～3年未満」では、「高校や大学・専門学校で勉強している」が最も高かった（n=10未満の世田谷区在住期間を除く）。

■ 『日本語を勉強する方法や場所』 回答調査票言語割合

回答調査票言語	n	日本語学校で勉強している	世田谷区主催の日本語教室	ポラテンイアによる日本語	独学で勉強している	テレビ・ラジオ・インターネット	高校や大学・専門学校で勉強している	家族や友人・知人に教えてもらっている	特に勉強をしていない
全体	173	13.9	1.7	1.7	20.8	12.7	5.8	43.4	
日本語調査票	94	16.0	1.1	2.1	12.8	18.1	4.3	45.7	
外国語調査票	79	11.4	2.5	1.3	30.4	6.3	7.6	40.5	

※網掛けは各調査票言語で最も割合が高い選択肢（「特に勉強をしていない」は除く）。

回答調査票言語別では、「日本語調査票」を使用した回答者は、「高校や大学・専門学校で勉強している」が最も高く、次いで「日本語学校で勉強している」「テレビ・ラジオ・インターネット・本など独学で勉強している」の順で高い（「特に勉強をしていない」を除く）。

「外国語調査票」を使用した回答者は、「テレビ・ラジオ・インターネット・本など独学で勉強している」が3割を占め、「日本語学校で勉強している」11.4%、「家族や友人・知人に教えてもらっている」7.6%と続いている（「特に勉強をしていない」を除く）。

(4) 日本語を勉強する目的・理由

【Q3.(A) あなたが日本語を勉強している目的・理由は何ですか(あてはまるもの全てに○)。】

【Q3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか。】で「特に勉強をしていない」以外の回答をした98件について

■ 『(A) 日本語を勉強する目的・理由』件数割合

	件数	割合		件数	割合
仕事のため	62	63.3	日本人と交流したい	50	51.0
日常生活(仕事以外)のため	61	62.2	家族や友人にすすめられた	4	4.1
日本語能力を証明する資格を取るため	24	24.5	日本語教室などに通って友人を作りたい	4	4.1
日本の文化が好き	41	41.8	その他	2	2.0
※無回答:0 ※累計(n):248/累計(%):253.1			全 体	98	100.0

(5) 日本語教室や日本語学校の探し方

【Q3.(B) あなたは、日本語教室や日本語学校をどのような方法で探しましたか(あてはまるもの全てに○)。】

【Q3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか。】で「日本語学校で勉強している」「世田谷区主催の日本語教室で勉強している」「ボランティアによる日本語教室で勉強している」と回答した30件について

■ 『(B) 日本語教室や日本語学校の探し方』件数割合

	件数	割合		件数	割合
インターネット	15	51.7	行政機関(窓口、広報誌)	1	3.4
SNS	-	-	学校・職場	6	20.7
家族・親戚	4	13.8	外国人向けのボランティア組織	1	3.4
日本人の友人・知人	2	6.9	その他	-	-
外国人の友人・知人	8	27.6			
※無回答:1 ※累計(n):37/累計(%):127.6			全 体	29	100.0

日本語を勉強する目的・理由では、「仕事のため」62件・63.3%、「日常生活(仕事以外)のため」61件・62.2%、「日本人と交流したい」50件・51.0%の順で割合が高かった。

日本語教室や日本語学校の探し方では、「インターネット」が5割以上を占め、「外国人の友人・知人」27.6%、「学校・職場」20.7%、「家族・親戚」13.8%と続いている。

(6) 日本語の勉強意欲

【Q3.(C) 今後、日本語を勉強したいですか。】

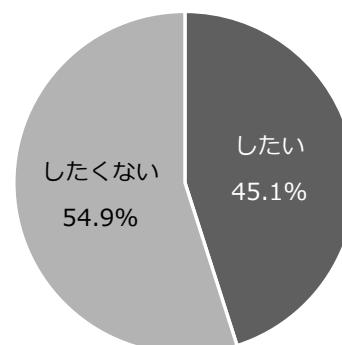
【Q3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか。】で「特に勉強をしていない」と回答した75件について

■ 『(C) 日本語の勉強意欲』件数割合

	件数	割合
したい	32	45.1
したくない	39	54.9
全体	71	100.0

※無回答4

日本語の勉強意欲 (n=71) 無回答4



(7) 日本語の勉強をしない理由

【Q3.(D) 日本語の勉強をしていないのはなぜですか (主なもの3つ以内に○)。】

【Q3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか。】で「特に勉強をしていない」と回答した75件について

■ 『(D) 日本語の勉強をしない理由』件数割合

	件数	割合
教室や講座にかかる費用が高い	13	18.1
近くで受けられる教室や講座がない	9	12.5
勉強する時間がない	20	27.8
勉強できる場所を知らない	10	13.9
勉強する必要がない	39	54.2
その他	12	16.7
全体	72	100.0

※無回答:3 ※累計(n):103/累計(%):143.1

■ 「その他」12件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
忙しい	2	2.8	日本語能力試験に合格したため	2	2.8
生活の中で学んでいるため	2	2.8	学校で学んだため	1	1.4

※割合は(n=72)で算出

日本語の勉強意欲では、「したくない」が「したい」を上回っているものの、45.1%が「したい」と回答している。

勉強しない理由では、「勉強する必要がない」が54.2%で最も高く、「勉強する時間がない」27.8%、「教室や講座にかかる費用が高い」18.1%と続いている。

(8) 参加してみたい日本語教室

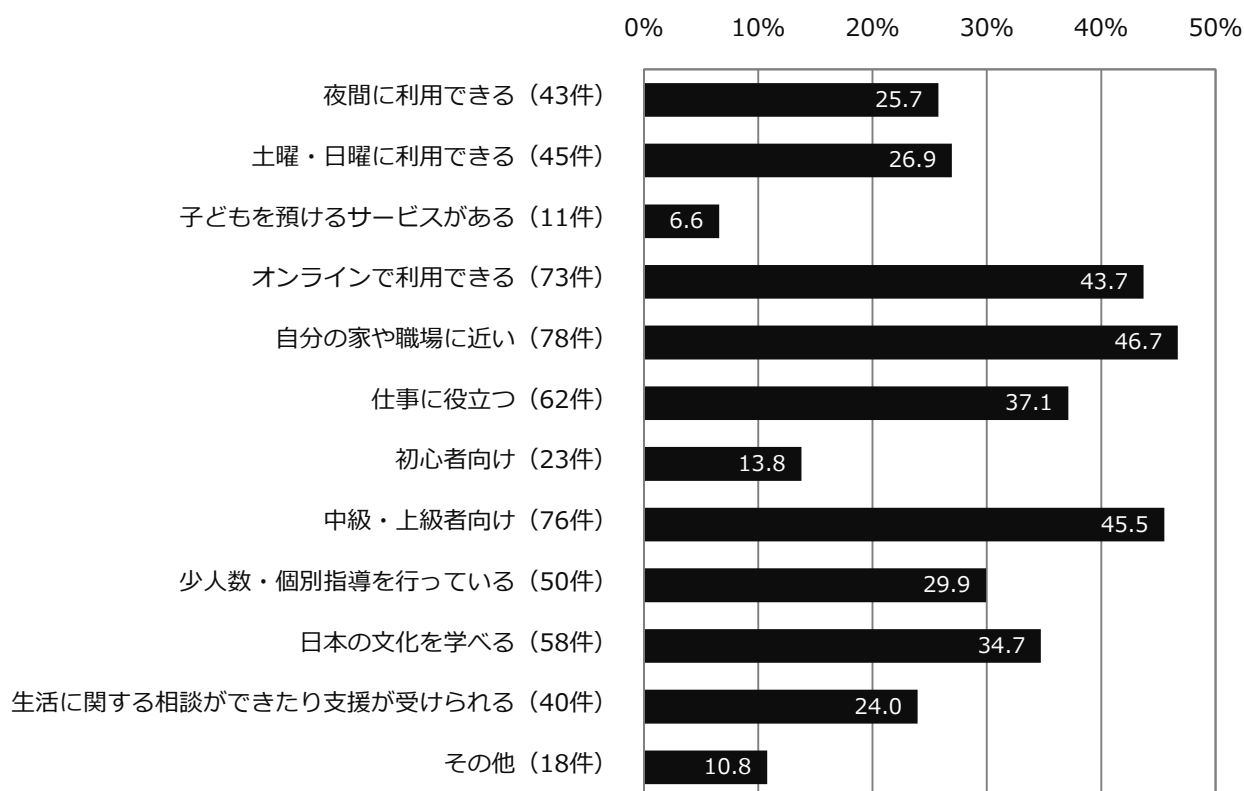
【Q4. あなたは、どのような日本語教室であれば参加してみたいと思いますか（あてはまるもの全てに○）。】

■ 『参加してみたい日本語教室』 件数割合

	件数	割合		件数	割合
夜間に利用できる	43	25.7	初心者向け	23	13.8
土曜・日曜に利用できる	45	26.9	中級・上級者向け	76	45.5
子どもを預けるサービスがある	11	6.6	少人数・個別指導を行っている	50	29.9
オンラインで利用できる	73	43.7	日本の文化を学べる	58	34.7
自分の家や職場に近い	78	46.7	生活に関する相談ができたり支援が受けられる	40	24.0
仕事に役立つ	62	37.1	その他	18	10.8
			全 体	167	100.0

※無回答：32 ※累計（n）：577／累計（%）：345.5

参加してみたい日本語教室（n=167） 無回答32



参加してみたい日本語教室では、「自分の家や職場に近い」78件・46.7%、「中級・上級者向け」76件・45.5%、「オンラインで利用できる」73件・43.7%、「仕事に役立つ」62件・37.1%、「日本の文化を学べる」58件・34.7%の順で多かった。

■『参加してみたい日本語教室』在留資格割合

在留資格	n	夜間利用	土日曜・日曜に	子どもが預ける	オンラインで	自分の家や職場に近い	仕事に役立つ	初心者向け	中級・上級者向け
全体	165	25.5	27.3	6.7	43.0	46.1	36.4	13.9	45.5
定住者	5	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	-	40.0
日本人の配偶者等	28	14.3	25.0	10.7	46.4	39.3	35.7	21.4	39.3
永住者	55	21.8	14.5	5.5	36.4	41.8	36.4	7.3	50.9
永住者の配偶者等	7	14.3	28.6	-	71.4	71.4	42.9	42.9	42.9
特別永住者	3	-	-	-	-	-	-	-	-
技術・人文知識・国際業務	43	37.2	44.2	4.7	53.5	51.2	41.9	14.0	53.5
留学	10	30.0	40.0	-	30.0	60.0	30.0	-	40.0
家族滞在	6	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	33.3	33.3	33.3
特定活動	2	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0
技能	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-
特定技能	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-
技能実習	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	-	33.3	-	33.3	66.7	33.3	-	33.3

在留資格	n	少人数・個別指導	日本の文化を学べる	生きた日本語が受けられる	その他
全体	165	29.1	34.5	23.6	10.9
定住者	5	-	-	-	20.0
日本人の配偶者等	28	28.6	28.6	17.9	10.7
永住者	55	21.8	30.9	14.5	12.7
永住者の配偶者等	7	14.3	28.6	42.9	14.3
特別永住者	3	33.3	-	-	66.7
技術・人文知識・国際業務	43	41.9	39.5	27.9	7.0
留学	10	40.0	60.0	30.0	-
家族滞在	6	50.0	66.7	66.7	16.7
特定活動	2	50.0	50.0	100.0	-
技能	1	-	-	-	-
特定技能	2	-	50.0	50.0	-
技能実習	-	-	-	-	-
その他	3	-	33.3	33.3	-

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

在留資格別では、「留学」で、「自分の家や職場に近い」「日本の文化を学べる」の割合が最も高い。「永住者」「技術・人文知識・国際業務」では、「中級・上級者向け」が最も高く、「日本人の配偶者等」「技術・人文知識・国際業務」では、「オンラインで利用できる」も高かった（n=10未満の在留資格を除く）。

■ 『参加してみたい日本語教室』 職業割合

職業	n	夜間に利用できる	で土曜・日曜に利用	サ子どビもスが預ける	でオンライで利用	近い自分の家や職場に	仕事に役立つ	初心者向け	中級・上級者向け
全体	164	26.2	26.8	6.1	43.3	46.3	36.6	14.0	45.1
自営業者・経営者	14	21.4	21.4	7.1	21.4	42.9	35.7	-	50.0
会社などの役員	8	12.5	12.5	-	50.0	12.5	37.5	-	25.0
正社員	71	39.4	36.6	7.0	53.5	43.7	39.4	11.3	49.3
契約社員・派遣社員など	10	20.0	20.0	-	50.0	90.0	60.0	-	80.0
パート・アルバイト	14	28.6	28.6	7.1	42.9	57.1	50.0	28.6	42.9
専業主婦・主夫	25	4.0	12.0	8.0	32.0	48.0	32.0	32.0	40.0
学生	11	27.3	36.4	-	27.3	63.6	27.3	-	36.4
無職	8	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0	-	25.0	12.5
その他	3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3

職業	n	を少行人つ数て・い個る別指導	る日本の文化を学べ	受が生けで活らきに関する支援助が談	その他
全体	164	28.7	34.1	23.8	11.0
自営業者・経営者	14	42.9	42.9	42.9	-
会社などの役員	8	12.5	50.0	12.5	25.0
正社員	71	26.8	29.6	18.3	8.5
契約社員・派遣社員など	10	30.0	20.0	-	10.0
パート・アルバイト	14	42.9	28.6	35.7	7.1
専業主婦・主夫	25	24.0	40.0	36.0	16.0
学生	11	45.5	54.5	27.3	-
無職	8	12.5	12.5	12.5	50.0
その他	3	-	66.7	33.3	-

※網掛けは各職業で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

職業別では、「契約社員・派遣社員など」「パート・アルバイト」「専業主婦・主夫」「学生」で、「自分の家や職場に近い」の割合が最も高く、「自営業者・経営者」で、「中級・上級者向け」が最も高かった。「正社員」では、「オンラインで利用できる」が最も高かった（n=10未満の職業を除く）。

■ 『参加してみたい日本語教室』 日本在住期間割合

日本在住期間	n	夜間に利用できる	土曜・日曜に利用でき	子どもを預ける	オンラインで利用できる	自分の家や職場に近い	仕事に役立つ	初心者向け
全体	166	25.9	27.1	6.6	44.0	47.0	37.3	13.9
1年未満	3	33.3	33.3	-	66.7	33.3	-	66.7
1年以上～3年未満	23	39.1	39.1	13.0	56.5	56.5	34.8	26.1
3年以上～5年未満	30	40.0	36.7	3.3	40.0	43.3	26.7	30.0
5年以上～10年未満	38	26.3	39.5	2.6	47.4	55.3	47.4	2.6
10年以上～20年未満	35	22.9	25.7	17.1	48.6	51.4	48.6	5.7
20年以上	32	9.4	-	-	31.3	34.4	34.4	9.4
生まれたときからずっと	5	-	-	-	20.0	20.0	-	-

日本在住期間	n	中級・上級者向け	少人数・個別指導を	日本の文化を学べる	生活に関する支援が相談受けが	その他
全体	166	45.2	30.1	34.9	24.1	10.8
1年未満	3	33.3	66.7	66.7	33.3	-
1年以上～3年未満	23	52.2	47.8	47.8	26.1	4.3
3年以上～5年未満	30	36.7	33.3	30.0	23.3	6.7
5年以上～10年未満	38	44.7	31.6	36.8	26.3	5.3
10年以上～20年未満	35	54.3	22.9	40.0	17.1	11.4
20年以上	32	46.9	18.8	25.0	31.3	18.8
生まれたときからずっと	5	-	20.0	-	-	60.0

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

日本在住期間別では、「1年以上～3年未満」「3年以上～5年未満」「5年以上～10年未満」で、「自分の家や職場に近い」の割合が最も高く、「10年以上～20年未満」「20年以上」では、「中級・上級者向け」が最も高い。「1年以上～3年未満」では、「オンラインで利用できる」も高かった（n=10未満の日本在住期間を除く）。

■ 『参加してみたい日本語教室』 世田谷区在住期間割合

世田谷区在住期間	n	夜間に利用できる	土曜・日曜に利用で	子どもが預けるサ	オンラインで利用で	自分の家や職場に近	仕事に役立つ	初心者向け
全体	167	25.7	26.9	6.6	43.7	46.7	37.1	13.8
1年未満	15	40.0	40.0	-	66.7	33.3	33.3	20.0
1年以上～3年未満	44	31.8	36.4	9.1	54.5	52.3	45.5	18.2
3年以上～5年未満	40	30.0	25.0	10.0	37.5	55.0	37.5	15.0
5年以上～10年未満	34	23.5	29.4	5.9	41.2	52.9	41.2	11.8
10年以上～20年未満	18	16.7	16.7	5.6	38.9	38.9	33.3	5.6
20年以上	15	-	-	-	20.0	20.0	13.3	6.7
生まれたときからずっと	1	-	-	-	-	-	-	-

世田谷区在住期間	n	中級・上級者向け	少人数・個別指導を	日本の文化を学べる	日常生活に関する支援が相談受けが	その他
全体	167	45.5	29.9	34.7	24.0	10.8
1年未満	15	40.0	46.7	46.7	40.0	-
1年以上～3年未満	44	40.9	31.8	36.4	25.0	4.5
3年以上～5年未満	40	45.0	35.0	30.0	25.0	10.0
5年以上～10年未満	34	52.9	26.5	41.2	20.6	5.9
10年以上～20年未満	18	55.6	11.1	38.9	16.7	22.2
20年以上	15	40.0	26.7	13.3	20.0	33.3
生まれたときからずっと	1	-	-	-	-	100.0

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

世田谷区在住期間別では、「3年以上～5年未満」「5年以上～10年未満」で、「自分の家や職場に近い」の割合が最も高く、「5年以上～10年未満」「10年以上～20年未満」「20年以上」では、「中級・上級者向け」の割合が最も高かった。「1年未満」「1年以上～3年未満」では、「オンラインで利用できる」が最も高かった（n=10未満の世田谷区在住期間を除く）。

Ⅱ-3. 日常生活について

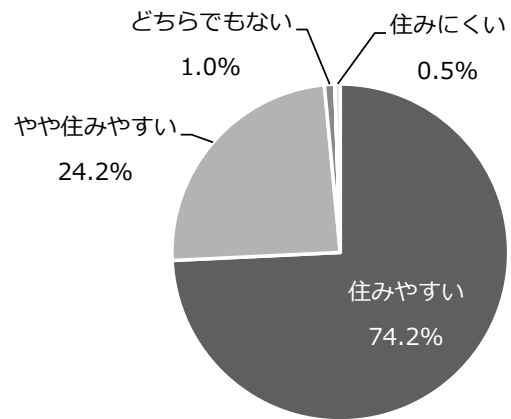
(1) 世田谷区の住みやすさ 【Q5. あなたにとって世田谷区は住みやすいところですか（あてはまるもの1つに○）。】

■ 『世田谷区の住みやすさ』 件数割合

	件数	割合
住みやすい	147	74.2
やや住みやすい	48	24.2
どちらでもない	2	1.0
やや住みにくい	-	-
住みにくい	1	0.5
全体	198	100.0

※無回答1

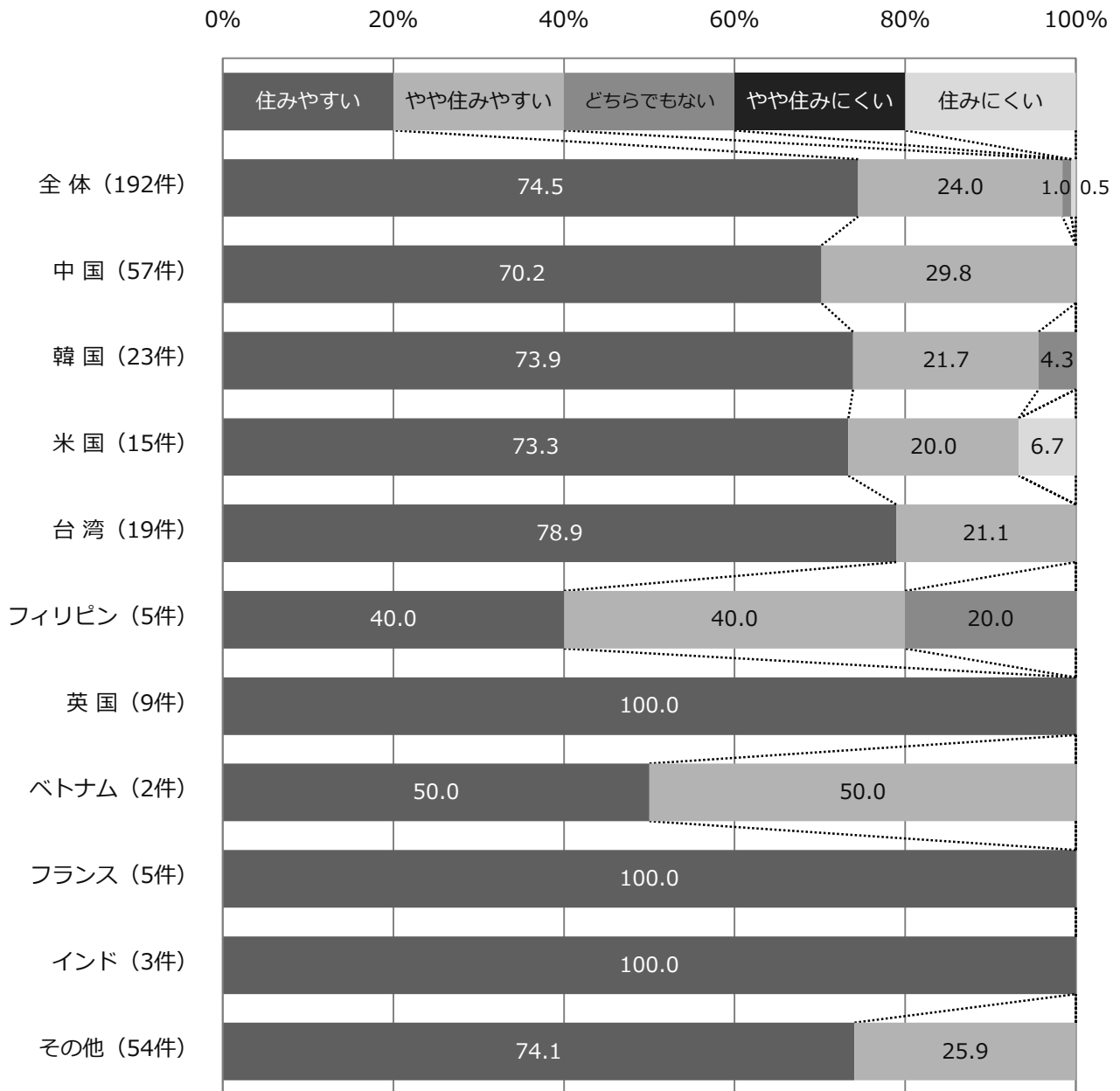
世田谷区の住みやすさ (n=198) 無回答 1



世田谷区の住みやすさでは、「住みやすい」が147件・74.2%と7割以上が住みやすいと回答しており、「やや住みやすい」の24.2%を合わせると98.4%と高い割合で住みやすさを感じている。

「どちらでもない」が2件・1.0%、「住みにくい」はわずか1件・0.5%であった。「やや住みにくい」と回答した人は見られなかった。

■ 『世田谷区の住みやすさ』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

国籍・地域別では、「住みやすい」と「やや住みやすい」の合算では、「中国」「台湾」が100.0%、「韓国」95.6%、「米国」93.3%で、全体でみても9割以上の割合で住みやすさを感じている。

「住みにくい」と回答したのは、「米国」の6.7%のみだった。

(2) 日常生活での困りごと 【Q6. 日常生活で困っていることはありますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『日常生活での困りごと』 件数割合

	件数	割合
ことばが通じない	34	17.9
日本人との交流が少ない	41	21.6
ものの値段が高い	48	25.3
食事が合わない	2	1.1
趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない	13	6.8
文化・生活習慣が違う	4	2.1
生活するうえで必要な情報が得られない	9	4.7
困った時に相談できる人がいない	22	11.6

※無回答：9 ※累計（n）：294／累計（%）：154.7

	件数	割合
住む家が見つからない	6	3.2
仕事が見つからない	8	4.2
病院の医療サービスに関する問題	12	6.3
宗教に関する問題	-	-
住んでいる地域の住民との関係	3	1.6
その他	12	6.3
特になし	80	42.1
全体	190	100.0

■ 「病院の医療サービスに関する問題」 12 件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
言語、ことば	2	1.1
病院の選定	1	0.5

	件数	割合
予約方法	1	0.5

※割合は（n=190）で算出。

■ 「住んでいる地域の住民との関係」 3 件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
人間関係に齟齬がある	2	1.1

※割合は（n=190）で算出。

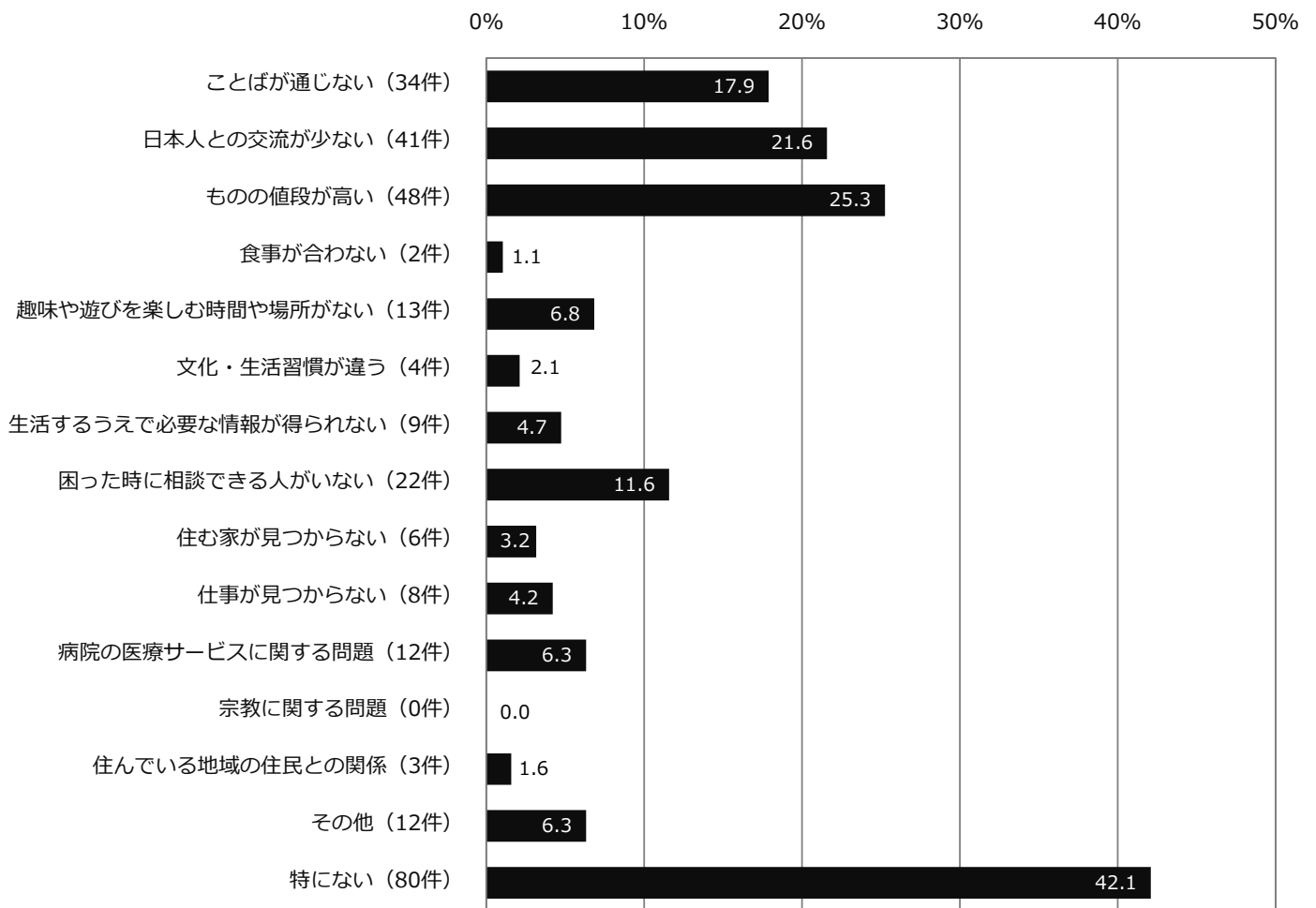
■ 「その他」 12 件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
教育	1	0.5
税金	1	0.5
住環境	1	0.5
交通機関の混雑	1	0.5

	件数	割合
公園が少ない	1	0.5
外国人に対する偏見	1	0.5
名前の登録	1	0.5

※割合は（n=190）で算出。

日常生活での困りごと (n=190) 無回答9



日常生活での困りごとでは、「特にない」が80件・42.1%と最も多かった。

困っている内容で最も多かったのが、「ものの値段が高い」の48件・25.3%であった。次いで「日本人との交流が少ない」41件・21.6%、「ことばが通じない」34件・17.9%と続いている。

「病院の医療サービスに関する問題」の記述回答には、「医療用語がわからない」などの言語に関する問題や、「病院の選定」や「予約方法（インターネットなど）」に関する問題があった。

「宗教に関する問題」での困りごとは0件だった。

「住んでいる地域の住民との関係」の記述回答には、「近所付き合い」で困惑している内容があった。

「その他」の記述回答では、「教育について」「税金の相談先」「住宅が不十分」「電車が混む」「公園が少ない」「外国人に対する偏見」などがあつた。

■『日常生活での困りごと』国籍・地域割合

国籍・地域	n	ことばが通じない	少ない日本人との交流が	ものの値段が高い	食事が合わない	趣味や遊び場所が楽し	文化・生活習慣が	必要な情報が得られ必	で困った人がいない
全体	184	17.4	20.7	25.5	1.1	6.5	1.6	4.3	10.9
中国	57	10.5	22.8	29.8	3.5	7.0	1.8	1.8	14.0
韓国	21	-	4.8	9.5	-	-	-	-	9.5
米国	14	7.1	7.1	-	-	-	-	-	-
台湾	19	10.5	52.6	15.8	-	-	5.3	15.8	10.5
フィリピン	5	40.0	-	60.0	-	20.0	-	-	40.0
英国	9	22.2	-	22.2	-	33.3	-	-	-
ベトナム	1	-	-	-	-	-	-	-	-
フランス	5	60.0	40.0	40.0	-	-	-	-	20.0
インド	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-
その他	51	29.4	19.6	33.3	-	7.8	2.0	5.9	9.8

国籍・地域	n	住む家が見つからない	仕事が見つからない	病院の医療問題	宗教に関する問題	住民との関係	その他	特にな
全体	184	3.3	3.8	6.5	-	1.6	6.0	42.9
中国	57	3.5	3.5	3.5	-	1.8	1.8	49.1
韓国	21	9.5	-	4.8	-	4.8	9.5	66.7
米国	14	7.1	-	7.1	-	-	35.7	57.1
台湾	19	-	-	10.5	-	-	5.3	21.1
フィリピン	5	-	20.0	-	-	-	-	20.0
英国	9	-	-	22.2	-	-	-	22.2
ベトナム	1	-	-	-	-	-	-	100.0
フランス	5	-	-	20.0	-	-	-	20.0
インド	2	-	-	-	-	-	-	-
その他	51	2.0	7.8	5.9	-	2.0	3.9	39.2

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にな」は除く）。
 ※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

日常生活での困りごとの国籍・地域別では、「中国」「韓国」「フィリピン」「インド」などでは「ものの値段が高い」の割合が高く、「米国」「フランス」などでは「ことばが通じない」が高かった。「特にな」で最も高いのは「韓国」の66.7%、最も低いのは「フィリピン」「フランス」の20.0%であった。

(3) 住居を探すときに困ったこと 【Q7. あなたは住むところを探すときに困ったことはありますか
(主なもの3つ以内に○)。】

■ 『住居を探すときに困ったこと』件数割合

	件数	割合
外国人であることを理由に住むことを断られた	66	34.0
保証人が見つからなかった	36	18.6
相談できる窓口がなかった	6	3.1
電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった	8	4.1
その他	12	6.2
特にない	110	56.7
全体	194	100.0

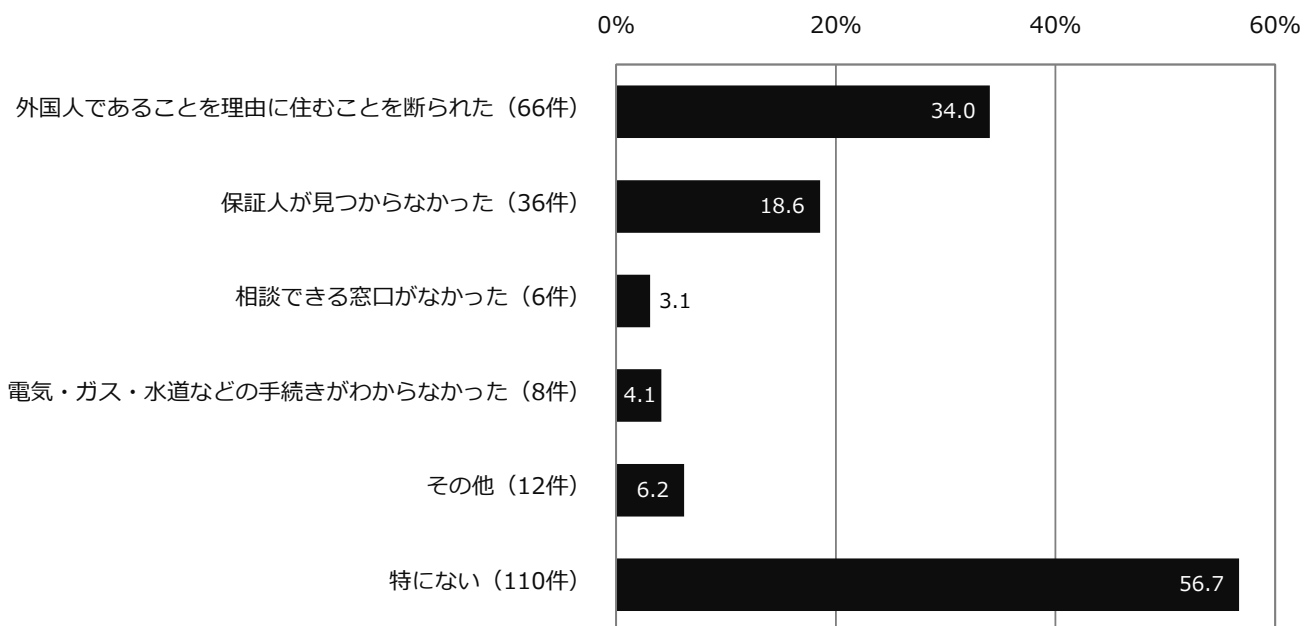
※無回答：5 ※累計(n)：238/累計(%)：122.7

■ 「その他」12件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
年齢差別、人種差別、性差別	5	2.6	ペットに関すること	3	1.5

※割合は(n=194)で算出

住居を探すときに困ったこと (n=194) 無回答5



住居を探すときに困ったことでは、「外国人であることを理由に住むことを断られた」が66件・34.0%で最も多く、「保証人が見つからなかった」が36件・18.6%であった（「特にない」を除く）。「電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった」「相談できる窓口がなかった」は5%未満であるが一定数存在する。

■ 『住居を探すときに困ったこと』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	外国人であることを断られた理由に	保証人が見つからなかった	相談できる窓口がなかった	手電気がガス・水道などの	その他	特にな
全体	188	34.6	18.6	3.2	4.3	5.9	56.9
中国	57	49.1	21.1	5.3	5.3	1.8	47.4
韓国	23	26.1	30.4	4.3	8.7	4.3	56.5
米国	14	-	-	-	-	21.4	78.6
台湾	19	42.1	31.6	5.3	5.3	-	42.1
フィリピン	6	16.7	16.7	-	-	16.7	83.3
英国	8	37.5	12.5	-	-	-	62.5
ベトナム	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0
フランス	5	60.0	-	-	-	-	40.0
インド	3	33.3	33.3	-	-	-	66.7
その他	51	27.5	11.8	2.0	3.9	9.8	64.7

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にな」は除く）。

※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

住居を探すときに困ったことの国籍・地域別では、多くの国籍・地域で「特にな」が高い。

困ったことでは、「外国人であることを理由に住むことを断られた」が高く、「中国」49.1%、「台湾」42.1%であった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

「韓国」は、「保証人が見つからなかった」の割合が30.4%と高かった。

■ 『住居を探すときに困ったこと』 回答調査票言語割合

回答調査票言語	n	外 国 人 に 住 む こ と を 断 ら れ た	保 証 人 が 見 つ か ら な か つ た	相 談 で き る 窓 口 が な か つ た	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 な ど の 手 続 が わ か ら な か つ た	そ の 他	特 に な い
全 体	194	34.0	18.6	3.1	4.1	6.2	56.7
日本語調査票	103	39.8	19.4	2.9	1.9	2.9	55.3
外国語調査票	91	27.5	17.6	3.3	6.6	9.9	58.2

※網掛けは各調査票言語で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

住居を探すときに困ったことの回答調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」ともに、「外国人であることを理由に住むことを断られた」が最も高く、「日本語調査票」の割合が「外国語調査票」よりも12.3%高かった。「保証人が見つからなかった」では、「日本語調査票」19.4%、「外国語調査票」17.6%であった。

(4) 病院を利用する際に困ったこと 【Q8. あなたは病院を利用する際に困ったことはありますか
(主なもの3つ以内に○)。】

■ 『病院を利用する際に困ったこと』 件数割合

	件数	割合
外国人であることを理由に診察を断られた	-	-
どこの病院に行けばいいのかわからなかった	30	15.4
診察時間など、病院の仕組みがわからなかった	5	2.6
ことばが通じず医者や看護師などとコミュニケーションがとれなかった	34	17.4
病院で出される薬の使い方がわからなかった	2	1.0
診断結果や治療方法がわからなかった	18	9.2
その他	11	5.6
特にない	134	68.7
全体	195	100.0

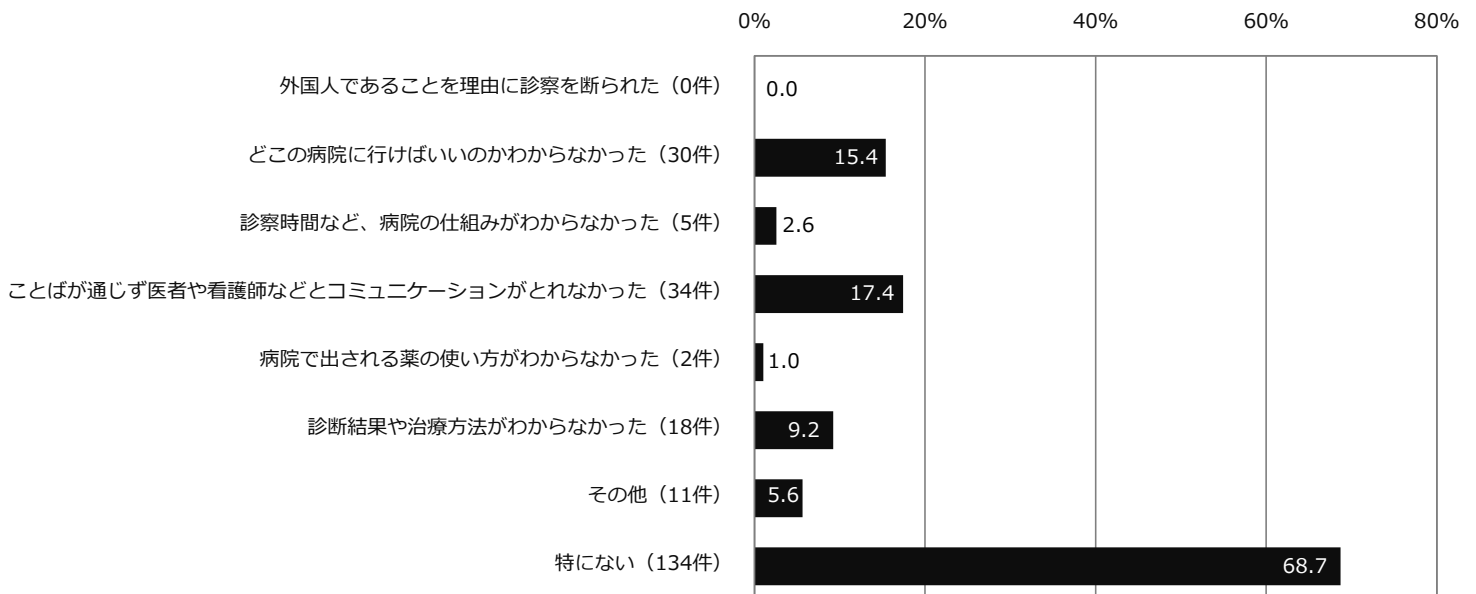
※無回答：4 ※累計 (n) : 234/累計 (%) : 120.0

■ 「その他」 11 件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
ことば	4	2.1	医師への不信感	2	1.0

※割合は (n=195) で算出

病院を利用する際に困ったこと (n=195) 無回答4



病院を利用する際に困ったことでは、「ことばが通じず医者や看護師などとコミュニケーションがとれなかった」が34件・17.4%で最も多く、「どこの病院に行けばいいのかわからなかった」が30件・15.4%であった（「特にない」を除く）。

(5) 出産や子育てで困ったこと 【Q9. あなたは出産や子育てで困ったことはありますか
(主なものを3つ以内に○)。】

■ 『出産や子育てで困ったこと』 件数割合

	件数	割合
母子健康手帳の内容がわからなかった	6	3.3
通院・入院中にことばが通じなかった	9	4.9
相談できる人がいなかった	3	1.6
受けられるサービスの情報（予防接種や健診など）がわからなかった	5	2.7
これまで出産や子育てをしたことがない	41	22.4
その他	5	2.7
特にない	126	68.9
全体	183	100.0

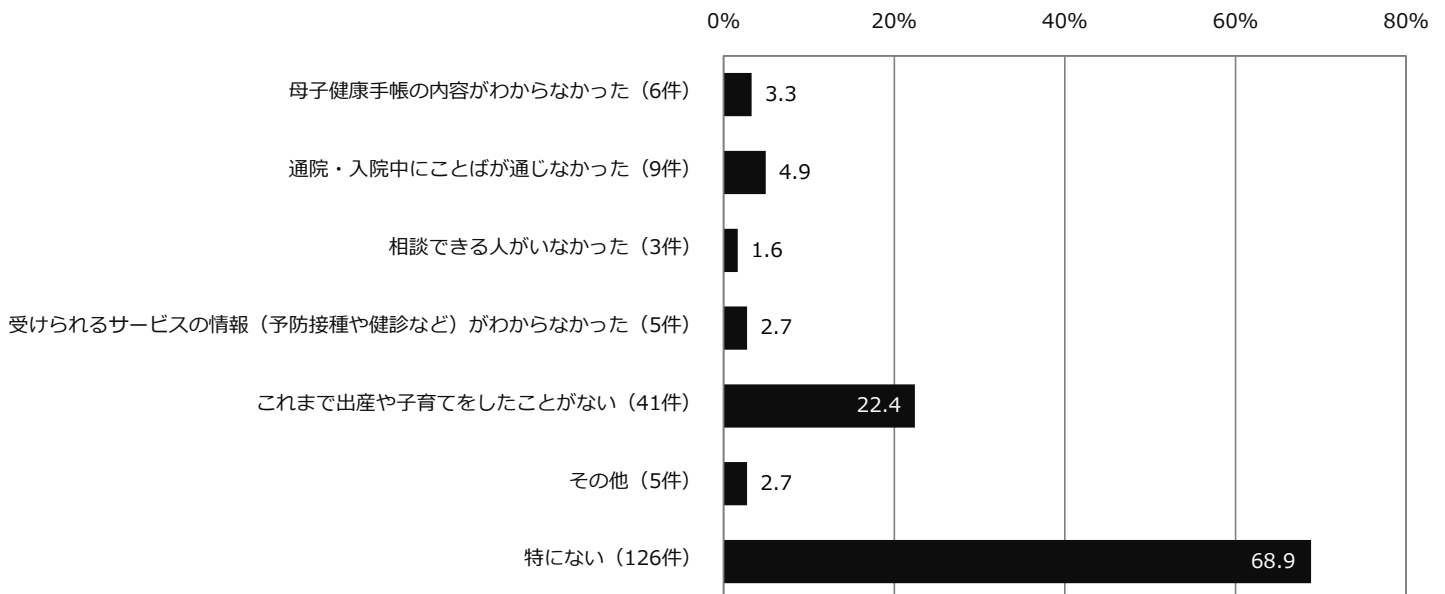
※無回答：16 ※累計（n）：195／累計（%）：106.6

■ 「その他」5件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
相談方法	1	0.5	病院の対応	1	0.5

※割合は（n=183）で算出

出産や子育てで困ったこと（n=183）無回答16



出産や子育てで困ったことでは、「通院・入院中にことばが通じなかった」が4.9%、「母子健康手帳の内容がわからなかった」が3.3%であった（「特にない」「これまで出産や子育てをしたことがない」を除く）。

「その他」の記述回答には、「相談方法」「病院の対応」などがあつた。

(6) 子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったこと

【Q10. あなたが保育園、幼稚園、小学校、中学校に子どもを通わせる（通わせた）うえで、困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったこと』件数割合

	件数	割合
子どもを保育園や幼稚園に通わせたいが入れなかった	7	3.7
保育園であずかってもらえる時間が短かった	3	1.6
入園、入学のための手続きの情報が得られなかった	5	2.6
ことばが通じず保育士や先生などとコミュニケーションがとれなかった	6	3.2
学校などからの、お知らせや手紙の内容がわからなかった	2	1.1
ルールや行事、授業の内容などがわからなかった	2	1.1
子どもが外国人であることを理由に仲間はずれにされた	2	1.1
文化の違いや宗教などの理由で給食が食べられなかった	-	-
これまで子どもを保育園、幼稚園、小学校、中学校に通わせたことがない	45	23.8
その他	11	5.8
特にない	121	64.0
全体	189	100.0

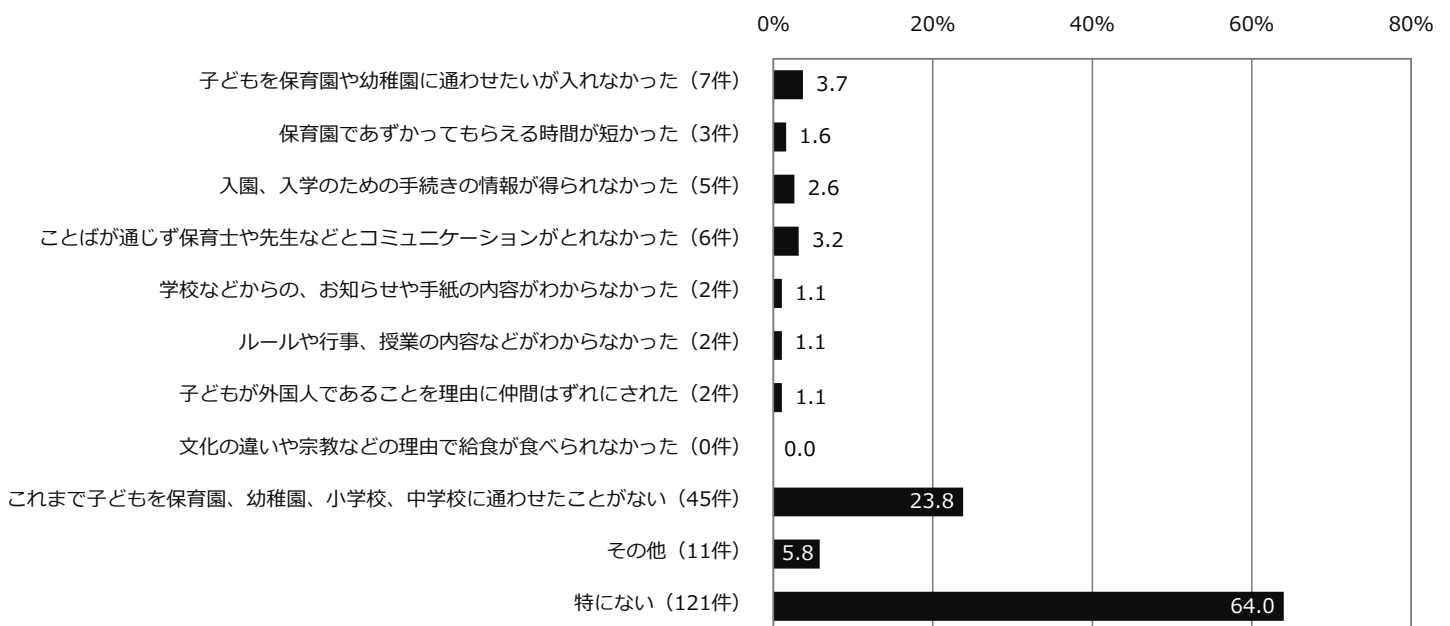
※無回答：10 ※累計（n）：204／累計（%）：107.9

■ 「その他」11件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
価値観の相違	3	1.6	園、学校の対応	5	2.6

※割合は（n=189）で算出

子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったこと（n=189）無回答10



子どもを園・学校に通わせる（通わせた）うえで困ったことでは、「子どもを保育園や幼稚園に通わせたいが入れなかった」が7件・3.7%で最も多かった（「特にない」「通わせたことがない」「その他」を除く）。

(7) 働くうえで困ったこと 【Q11. あなたが働くうえで困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『働くうえで困ったこと』 件数割合

	件数	割合
外国人であることを理由に働くことを断られた	10	5.2
仕事を探す方法がわからなかった	7	3.6
募集や採用が少なかった	14	7.3
正社員など、安定した立場で働けなかった	13	6.8
日本人と比べ、給料や働く時間に差があった	7	3.6
働く時間が長い	14	7.3
社会保険・労働保険に加入できなかった	4	2.1
ことばが通じず職場でコミュニケーションがとれなかった	11	5.7
ルールや制度などがわからなかった	9	4.7
相談できる人がいなかった	13	6.8
働いたことがない	15	7.8
その他	16	8.3
特になし	111	57.8
全体	192	100.0

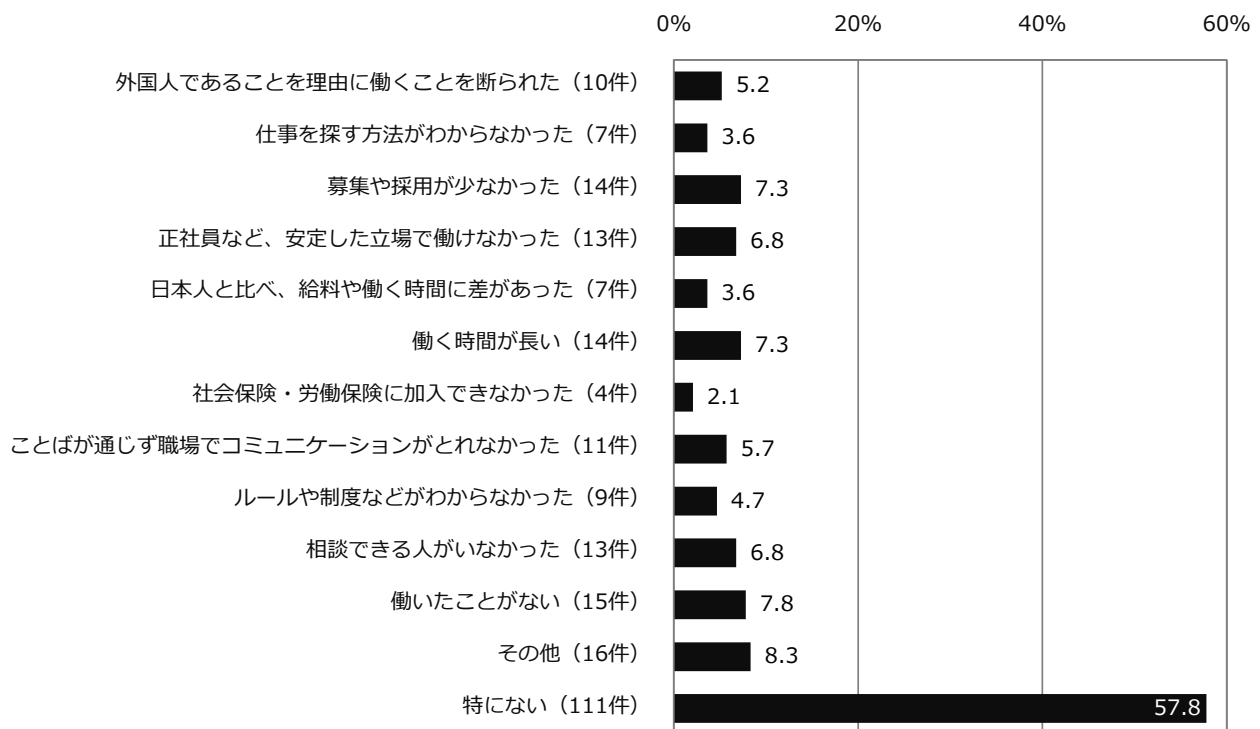
※無回答：7 ※累計（n）：244／累計（%）：127.1

■ 「その他」16件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
差別・偏見、パワハラ・セクハラ	11	5.7	働き方の相違	1	0.5

※割合は（n=192）で算出

働くうえで困ったこと（n=192）無回答7



働くうえで困ったことでは、「募集や採用が少なかった」「働く時間が長い」がともに7.3%であった（「働いたことがない」「その他」「特になし」を除く）。

(8) 新型コロナの影響で困ったこと 【Q12. 新型コロナウイルスの影響により困っていることはありますか(あてはまるもの全てに○)。】

■『新型コロナの影響で困ったこと』件数割合

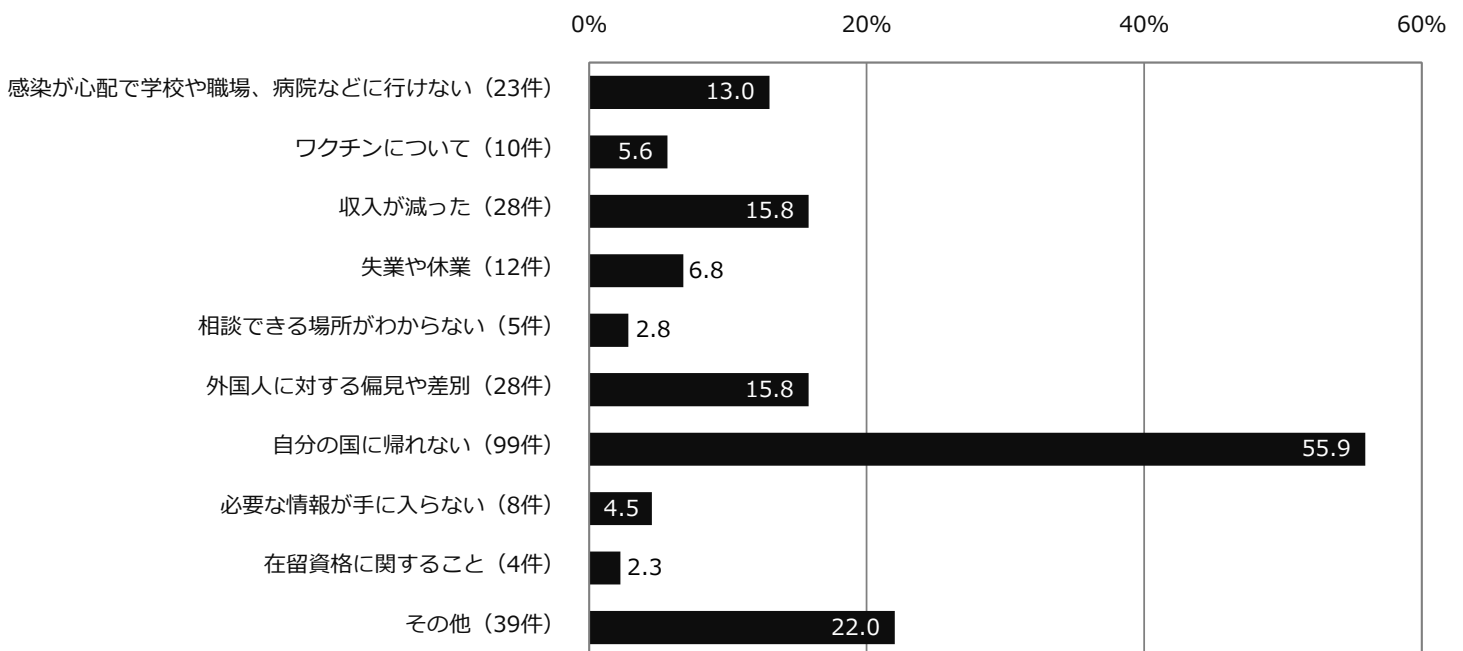
	件数	割合		件数	割合
感染が心配で学校や職場、病院などに行けない	23	13.0	外国人に対する偏見や差別	28	15.8
ワクチンについて	10	5.6	自分の国に帰れない	99	55.9
収入が減った	28	15.8	必要な情報が手に入らない	8	4.5
失業や休業	12	6.8	在留資格に関すること	4	2.3
相談できる場所がわからない	5	2.8	その他	39	22.0
※無回答：22 ※累計(n)：256/累計(%)：144.6			全 体	177	100.0

■「その他」39件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
長期間入国できず家族と会えない	5	2.8	海外のワクチン証明書の効力がない	1	0.6

※割合は(n=177)で算出

新型コロナの影響で困ったこと (n=177) 無回答22



新型コロナの影響で困ったことでは、「自分の国に帰れない」が55.9%と突出しており、「収入が減った」「外国人に対する偏見や差別」がともに15.8%と続いている。

「その他」の記述回答には、「長期間入国できず家族と会えない」「海外のワクチン証明書の効力がない」などがあつた。

■ 『新型コロナの影響で困ったこと』 日本在住期間割合

日本在住期間	n	けな ない	職 場 病 院 な ど 学 校 行 や	感 染 心 配 な ど 学 校 行 や	ワ ク チ ン に つ い て	収 入 が 減 っ た	失 業 や 休 業	か ら な い で き る 場 所 が わ	相 談 な い で き る 場 所 が わ	や 外 差 別 人 に 対 す る 偏 見	自 分 の 国 に 帰 れ な い	入 ら な い 情 報 が 手 に	と 在 留 資 格 に 関 す る こ	そ の 他
全体	177	13.0	5.6	15.8	6.8	2.8	15.8	55.9	4.5	2.3	22.0			
1年未満	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
1年以上～3年未満	22	18.2	9.1	-	-	13.6	13.6	50.0	9.1	4.5	27.3			
3年以上～5年未満	30	23.3	3.3	16.7	6.7	-	16.7	66.7	10.0	-	10.0			
5年以上～10年未満	38	-	-	21.1	7.9	-	28.9	47.4	5.3	5.3	21.1			
10年以上～20年未満	39	12.8	5.1	10.3	5.1	-	12.8	71.8	-	-	20.5			
20年以上	40	15.0	10.0	22.5	12.5	5.0	7.5	55.0	2.5	2.5	25.0			
生まれたときからずっと	5	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	80.0			

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『新型コロナの影響で困ったこと』 世田谷区在住期間割合

世田谷区在住期間	n	けな ない	職 場 病 院 な ど 学 校 行 や	感 染 心 配 な ど 学 校 行 や	ワ ク チ ン に つ い て	収 入 が 減 っ た	失 業 や 休 業	か ら な い で き る 場 所 が わ	相 談 な い で き る 場 所 が わ	や 外 差 別 人 に 対 す る 偏 見	自 分 の 国 に 帰 れ な い	入 ら な い 情 報 が 手 に	と 在 留 資 格 に 関 す る こ	そ の 他
全体	177	13.0	5.6	15.8	6.8	2.8	15.8	55.9	4.5	2.3	22.0			
1年未満	17	11.8	5.9	11.8	-	-	35.3	29.4	5.9	-	11.8			
1年以上～3年未満	42	28.6	9.5	19.0	7.1	7.1	11.9	52.4	4.8	4.8	19.0			
3年以上～5年未満	40	10.0	-	20.0	5.0	2.5	20.0	65.0	5.0	-	20.0			
5年以上～10年未満	39	7.7	7.7	5.1	7.7	2.6	15.4	64.1	7.7	2.6	23.1			
10年以上～20年未満	22	4.5	-	18.2	9.1	-	13.6	59.1	-	-	18.2			
20年以上	16	6.3	12.5	25.0	12.5	-	-	50.0	-	6.3	43.8			
生まれたときからずっと	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0			

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

日本在住期間別では、多くの在住期間区分で「自分の国に帰れない」が高く、「10年以上～20年未満」71.8%、「3年以上～5年未満」66.7%、「20年以上」55.0%と続いている。

世田谷区在住期間別でも同様に、「自分の国に帰れない」が高く、「3年以上～5年未満」65.0%、「5年以上～10年未満」64.1%、「10年以上～20年未満」59.1%と続いている。

■『新型コロナの影響で困ったこと』回答調査票言語割合

回答調査票言語	n	病 感 院 染 な が に 心 配 行 で け 学 け 校 な い や 職 場 、	ワ ク チ ン に つ い て	収 入 が 減 っ た	失 業 や 休 業	わ 相 か ら で き る 場 所 が	外 国 人 に 対 す る 偏 見 や 差 別	自 分 の 国 に 帰 れ な い	必 要 な 情 報 が 手 に 入 ら な い	在 留 資 格 に 関 す る こ と	そ の 他
全 体	177	13.0	5.6	15.8	6.8	2.8	15.8	55.9	4.5	2.3	22.0
日本語調査票	89	12.4	3.4	20.2	7.9	2.2	14.6	56.2	2.2	3.4	22.5
外国語調査票	88	13.6	8.0	11.4	5.7	3.4	17.0	55.7	6.8	1.1	21.6

※網掛けは各調査票言語で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

回答調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」ともに、「自分の国に帰れない」が最も高く、「日本語調査票」56.2%、「外国語調査票」55.7%であった。次いで高いのは、「日本語調査票」で「収入が減った」20.2%、「外国語調査票」で「外国人に対する偏見や差別」17.0%であった（「その他」を除く）。

(9) 困りごとの相談先 【Q13. あなたは、困っていることを誰・どこに相談しますか
(主なものを3つ以内に○)。】

■ 『困りごとの相談先』 件数割合

	件数	割合
家族、親戚	143	73.3
日本人の友人、知人	88	45.1
外国人の友人、知人	87	44.6
近所の人	5	2.6
行政機関（世田谷区役所など）	15	7.7

※無回答：4 ※累計（n）：384／累計（%）：196.9

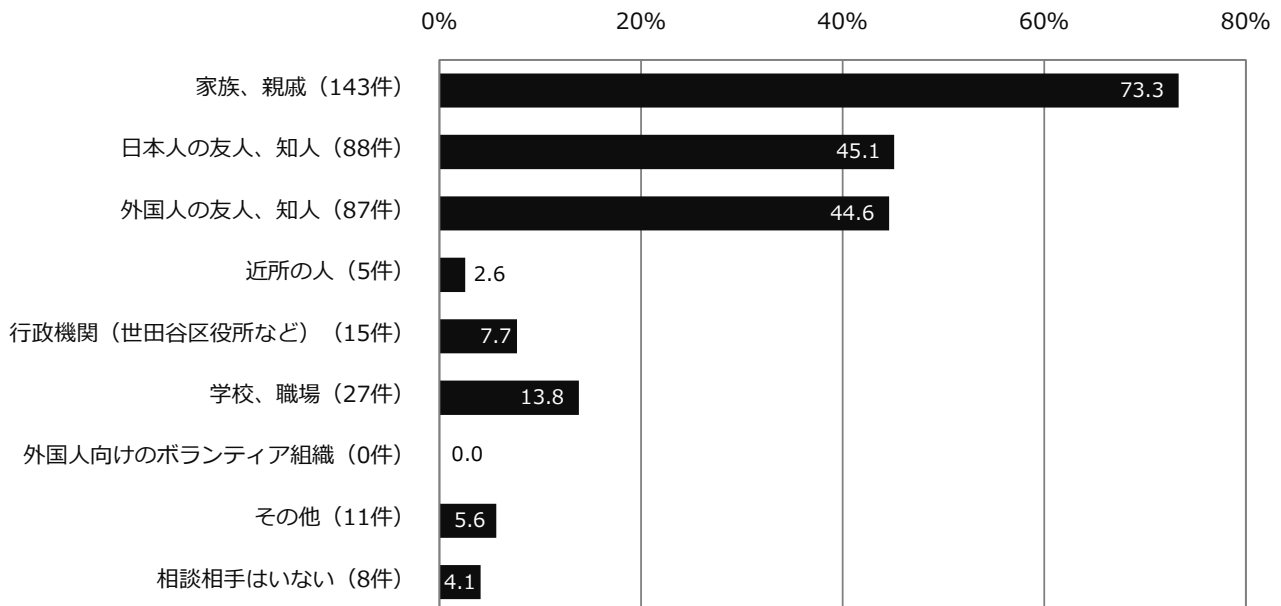
	件数	割合
学校、職場	27	13.8
外国人向けのボランティア組織	-	-
その他	11	5.6
相談相手はいない	8	4.1
全 体	195	100.0

■ 「その他」 11 件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
修道会の上長	2	1.0
大家	1	0.5
民生委員	1	0.5
介護福祉士	1	0.5

※割合は（n=195）で算出

困りごとの相談先（n=195）無回答4



困りごとの相談先では、「家族、親戚」が143件・73.3%で最も多く、「日本人の友人、知人」が88件・45.1%、「外国人の友人、知人」が87件・44.6%と続いている。

「学校、職場」は27件・13.8%、「行政機関（世田谷区役所など）」は15件・7.7%、「相談相手はいない」は8件・4.1%であった。

■ 『困りごとの相談先』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	近所の人	行政機関 (世田谷区役所など)	学校、職場	外国人向けの ボランティア組織	その他	相談相手はいない
全体	190	74.2	44.7	43.7	2.6	7.9	13.7	-	5.8	4.2
中国	57	68.4	54.4	40.4	5.3	8.8	10.5	-	5.3	5.3
韓国	23	87.0	47.8	21.7	4.3	13.0	4.3	-	-	4.3
米国	14	100.0	35.7	50.0	-	-	7.1	-	7.1	7.1
台湾	18	66.7	61.1	55.6	-	5.6	11.1	-	11.1	-
フィリピン	6	83.3	16.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-
英国	8	87.5	50.0	50.0	-	12.5	-	-	12.5	12.5
ベトナム	2	100.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-
フランス	5	80.0	20.0	40.0	-	-	40.0	-	-	-
インド	3	-	33.3	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3
その他	54	70.4	35.2	50.0	1.9	3.7	24.1	-	7.4	1.9

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

困りごとの相談先の国籍・地域別では、ほとんどの国籍・地域で「家族、親戚」の割合が高く、「米国」100.0%、「韓国」87.0%、「中国」68.4%の順で高かった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

「日本人の友人、知人」でみると、「台湾」の61.1%が最も高く、「中国」は54.4%であった。

「行政機関（世田谷区役所など）」でみると、「韓国」の13.0%が最も高く、「中国」では8.8%であった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

(10) 日本人との付き合い【Q14. あなたは日常生活で日本人との付き合いがありますか
(あてはまるもの全てに○)。】

■ 『日本人との付き合い』 件数割合

	件数	割合
一緒に働いている	119	60.7
学校で一緒に勉強している	21	10.7
友人として付き合っている	118	60.2
自分または親戚が、日本人と結婚して日本に住んでいる	65	33.2
国際交流のグループで一緒に活動している	3	1.5
その他、地域のグループなどで一緒に活動している	10	5.1
日本人とあいさつ程度の付き合いはある	57	29.1
その他	7	3.6
日本人の知り合いはいないし、付き合いもない	9	4.6
全体	196	100.0

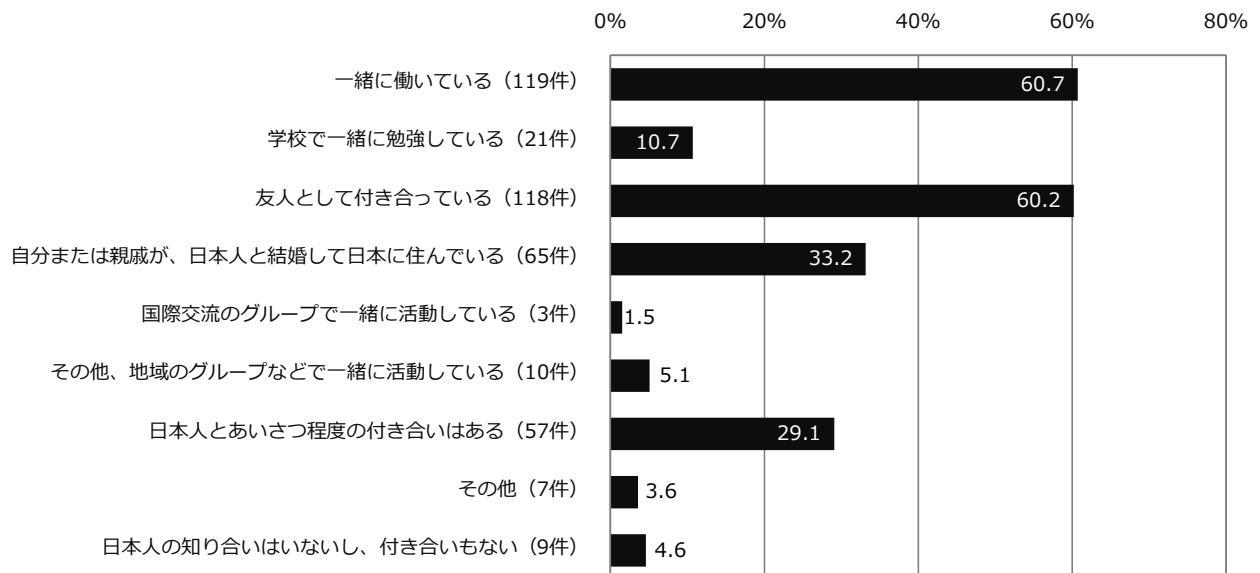
※無回答：3 ※累計 (n) : 409 / 累計 (%) : 208.7

■ 「その他」 7件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
妻の同僚	1	0.5
デイサービスの知人	1	0.5
共同生活の住人	1	0.5
子供の活動関連	1	0.5

※割合は (n=196) で算出

日本人との付き合い (n=196) 無回答3



日本人との付き合いでは、「一緒に働いている」が119件・60.7%と最も多く、「友人として付き合っている」が118件・60.2%、「自分または親戚が、日本人と結婚して日本に住んでいる」が65件・33.2%、「日本人とあいさつ程度の付き合いはある」が57件・29.1%の順が多かった。

(11) 偏見や差別 【Q15. あなたは普段の生活の中で、「外国人」であることを理由に日本人から偏見や差別を感じたことはありますか（1つに○）。】

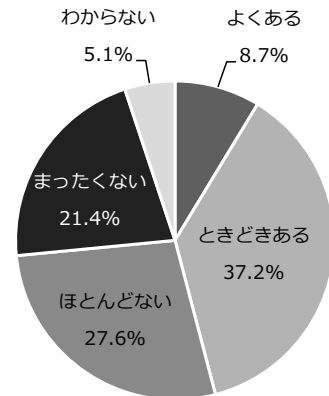
■ 『日本人から偏見や差別を感じたこと』 件数割合

	件数	割合
よくある	17	8.7
ときどきある	73	37.2
ほとんどない	54	27.6
まったくない	42	21.4
わからない	10	5.1
全体	196	100.0

※無回答3

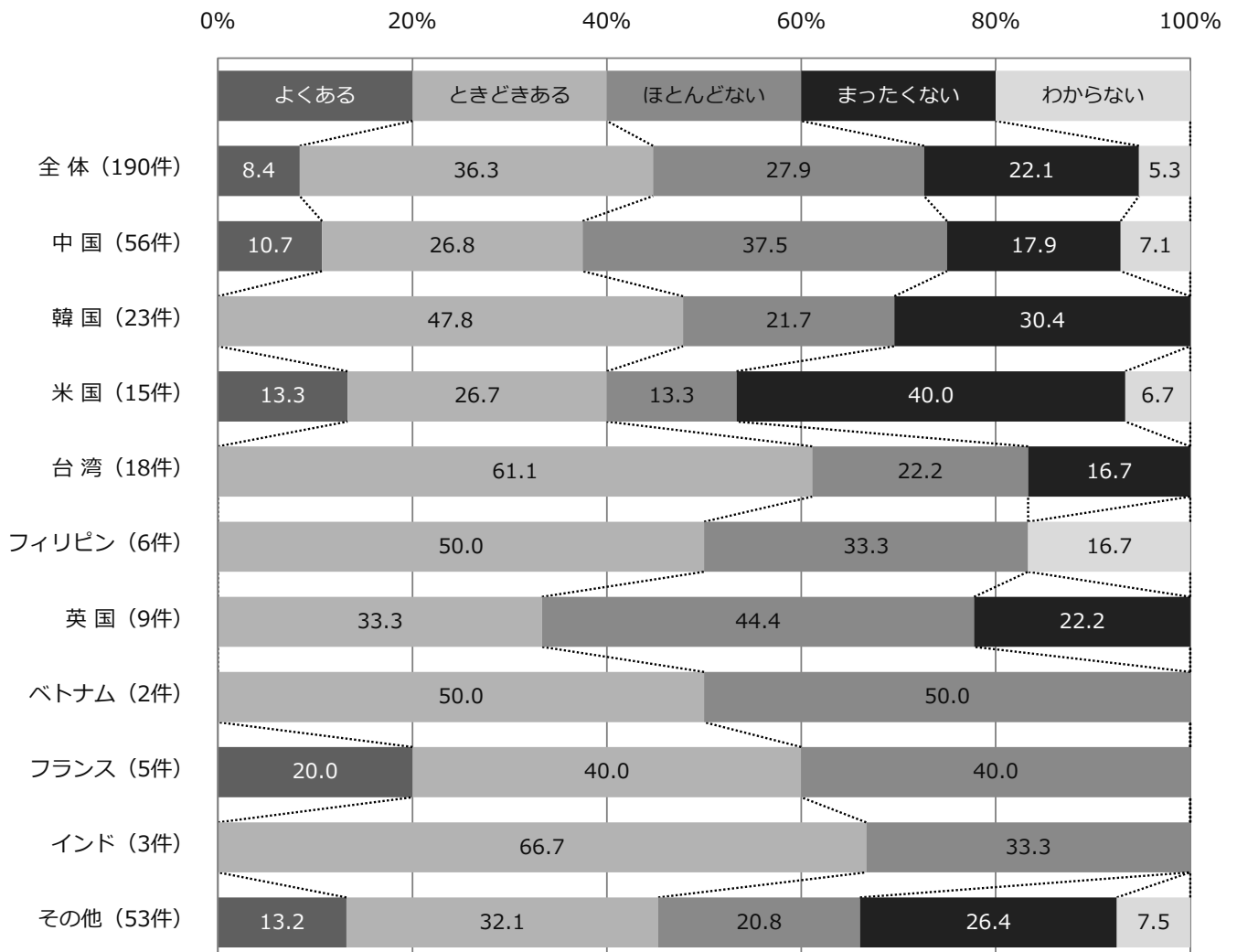
日本人から偏見や差別を感じたこと

(n=196) 無回答3



日本人から偏見や差別を感じたことについては、「ときどきある」が73件・37.2%で最も多く、「ほとんどない」が54件・27.6%、「まったくない」が42件・21.4%、「よくある」が17件・8.7%であった。「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」の合算は144件・73.5%であった。

■ 『偏見や差別』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

日本人から偏見や差別を感じたことの国籍・地域別では、「まったくない」の割合でみると、「米国」40.0%、「韓国」30.4%の順で高かった。

全ての国籍・地域で「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」の合算が5割を超えていた。

「よくある」でみると、「米国」の13.3%が最も高く、次いで「中国」の10.7%で、「韓国」「台湾」は0.0%であった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

(12) どのようなときに、偏見や差別を感じたか

【Q15.(A) どのようなときに、偏見や差別を感じましたか（主なもの3つ以内に○）。】

【Q15.で「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」と回答した144件について】

■ 『(A) どのようなときに、偏見や差別を感じましたか』

	件数	割合
行政機関（世田谷区役所など）での手続きのとき	13	9.9
日本人の友人、知人と付き合うとき	8	6.1
近所の人と付き合うとき	16	12.2
住居を探すとき	61	46.6
自分や家族が結婚するとき	4	3.1
社会保障制度（保険・年金など）を受けるとき	2	1.5
電車やバスに乗っているとき	36	27.5
出産・育児のとき	2	1.5
学校教育を受けるとき	4	3.1
仕事を探したり、働いているとき	29	22.1
レストランなどお店へ入店したり、サービスの提供を求めるとき	26	19.8
まちを歩いているとき	19	14.5
その他	23	17.6
全体	131	100.0

※無回答：13 ※累計（n）：243／累計（%）：185.5

■ 「その他」23件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
医療機関	2	1.5	金融機関	1	0.8
警察	2	1.5	宿泊施設	1	0.8

※割合は（n=131）で算出。

どのようなときに、偏見や差別を感じたかでは、「住居を探すとき」の61件・46.6%が最も多く、次いで「電車やバスに乗っているとき」が36件・27.5%、「仕事を探したり、働いているとき」が29件・22.1%、「レストランなどお店へ入店したり、サービスの提供を求めるとき」が26件・19.8%と続いている。

「その他」の記述回答には、「医療機関」「警察」「金融機関」など公共機関において偏見や差別を感じるとの回答があった。

■『どのようなときに、偏見や差別を感じたか』国籍・地域割合

国籍・地域	n	行政機関との関係(世田谷)	日本人の友人、知り合い	近所の人と付き合い	住居を探すとき	自分や家族が結婚するとき	社会年金制度(保険)	電車やバスに乗るとき
全体	130	9.2	6.2	12.3	46.2	3.1	1.5	25.4
中国	41	9.8	12.2	14.6	58.5	-	-	17.1
韓国	16	25.0	12.5	6.3	50.0	18.8	6.3	6.3
米国	6	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3
台湾	15	13.3	-	6.7	53.3	6.7	-	6.7
フィリピン	4	-	-	-	25.0	-	-	50.0
英国	7	-	-	14.3	42.9	-	14.3	57.1
ベトナム	2	-	-	-	-	-	-	50.0
フランス	5	-	20.0	40.0	60.0	-	-	40.0
インド	3	-	-	33.3	33.3	-	-	66.7
その他	31	-	-	12.9	32.3	-	-	35.5

国籍・地域	n	出産・育児のとき	学校教育を受けるとき	仕事を探したり、働いてるとき	レストランなどのサロンの提供を求めるとき	まちを歩いているとき	その他
全体	130	1.5	3.1	21.5	18.5	13.1	17.7
中国	41	-	-	17.1	7.3	14.6	14.6
韓国	16	-	12.5	12.5	6.3	6.3	6.3
米国	6	16.7	16.7	-	16.7	16.7	33.3
台湾	15	-	6.7	26.7	20.0	13.3	33.3
フィリピン	4	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0
英国	7	-	-	28.6	28.6	14.3	-
ベトナム	2	-	-	50.0	100.0	-	-
フランス	5	-	-	20.0	60.0	-	20.0
インド	3	-	-	-	-	33.3	-
その他	31	3.2	-	32.3	25.8	12.9	22.6

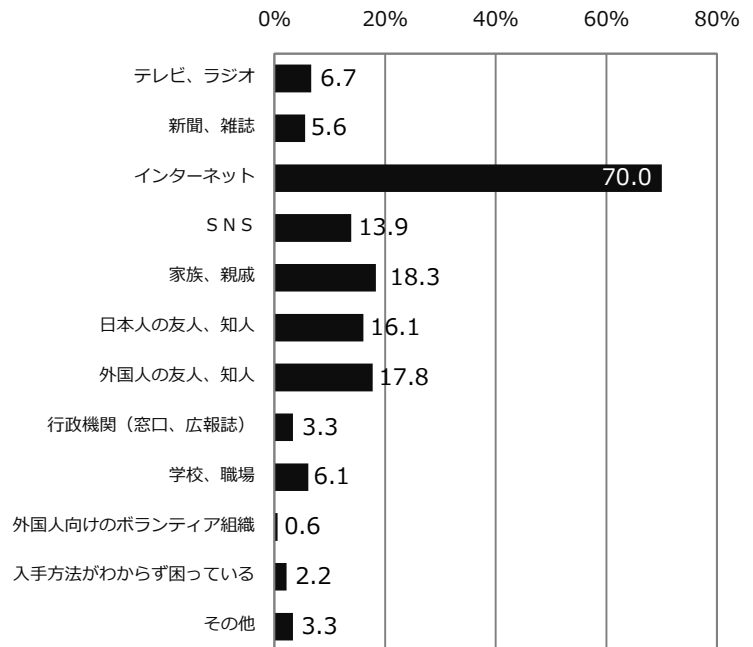
※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。
 ※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

どのようなときに、偏見や差別を感じたかの国籍・地域別では、「住居を探すとき」が「中国」「台湾」「韓国」で5割以上となっている(n=10未満の国籍・地域を除く)。

(13) 情報の入手方法【Q16. あなたは次の事柄a)～j) についての情報を、これまでどのように入手してきましたか。それぞれについて、1～12のうちあてはまる番号(主なもの3つ以内)に○をつけてください。】

■ 『情報の入手方法<a) 住宅>について』 件数割合

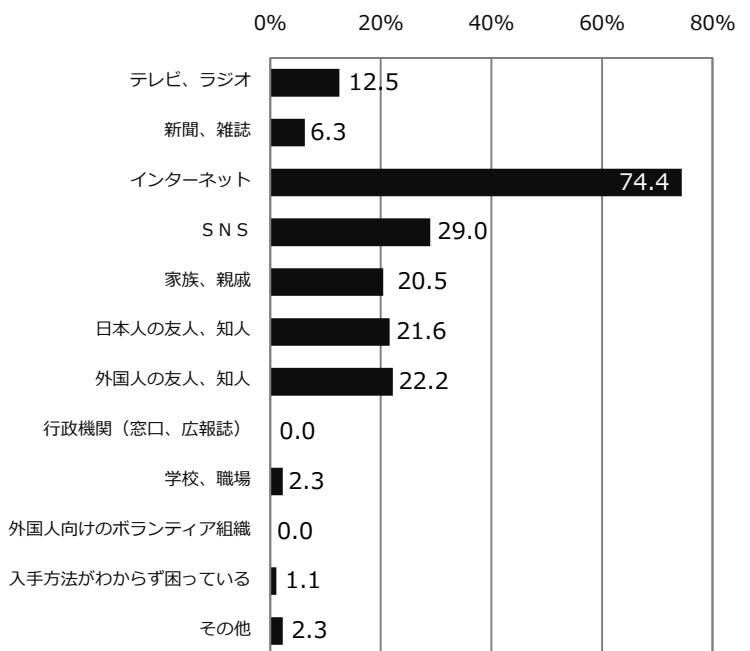
		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	12	6.7
2	新聞、雑誌	10	5.6
3	インターネット	126	70.0
4	SNS	25	13.9
5	家族、親戚	33	18.3
6	日本人の友人、知人	29	16.1
7	外国人の友人、知人	32	17.8
8	行政機関(窓口、広報誌)	6	3.3
9	学校、職場	11	6.1
10	外国人向けのボランティア組織	1	0.6
11	入手方法がわからず困っている	4	2.2
12	その他	6	3.3
	全体	180	100.0



※無回答：19 ※累計(n)：295／累計(%)：163.9

■ 『情報の入手方法<b) 買い物>について』 件数割合

		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	22	12.5
2	新聞、雑誌	11	6.3
3	インターネット	131	74.4
4	SNS	51	29.0
5	家族、親戚	36	20.5
6	日本人の友人、知人	38	21.6
7	外国人の友人、知人	39	22.2
8	行政機関(窓口、広報誌)	-	-
9	学校、職場	4	2.3
10	外国人向けのボランティア組織	-	-
11	入手方法がわからず困っている	2	1.1
12	その他	4	2.3
	全体	176	100.0

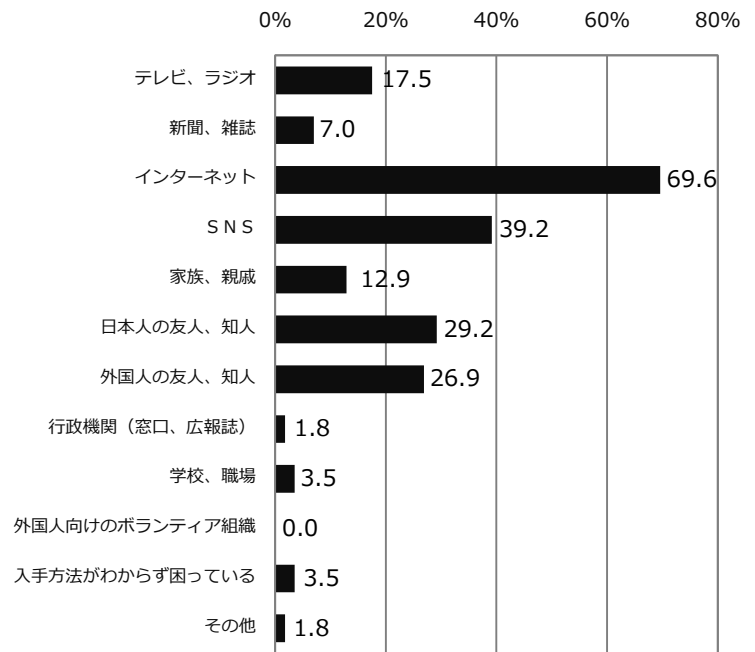


※無回答：23 ※累計(n)：338／累計(%)：192.0

■ 『情報の入手方法<c> 趣味・遊び>について』 件数割合

		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	30	17.5
2	新聞、雑誌	12	7.0
3	インターネット	119	69.6
4	SNS	67	39.2
5	家族、親戚	22	12.9
6	日本人の友人、知人	50	29.2
7	外国人の友人、知人	46	26.9
8	行政機関（窓口、広報誌）	3	1.8
9	学校、職場	6	3.5
10	外国人向けのボランティア組織	-	-
11	入手方法がわからず困っている	6	3.5
12	その他	3	1.8
	全 体	171	100.0

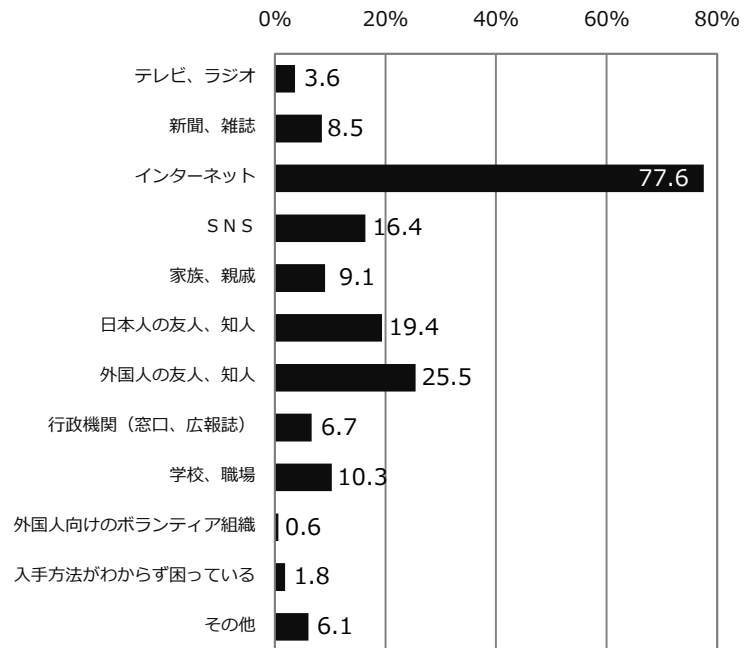
※無回答：28 ※累計（n）：364／累計（%）：212.9



■ 『情報の入手方法<d> 仕事>について』 件数割合

		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	6	3.6
2	新聞、雑誌	14	8.5
3	インターネット	128	77.6
4	SNS	27	16.4
5	家族、親戚	15	9.1
6	日本人の友人、知人	32	19.4
7	外国人の友人、知人	42	25.5
8	行政機関（窓口、広報誌）	11	6.7
9	学校、職場	17	10.3
10	外国人向けのボランティア組織	1	0.6
11	入手方法がわからず困っている	3	1.8
12	その他	10	6.1
	全 体	165	100.0

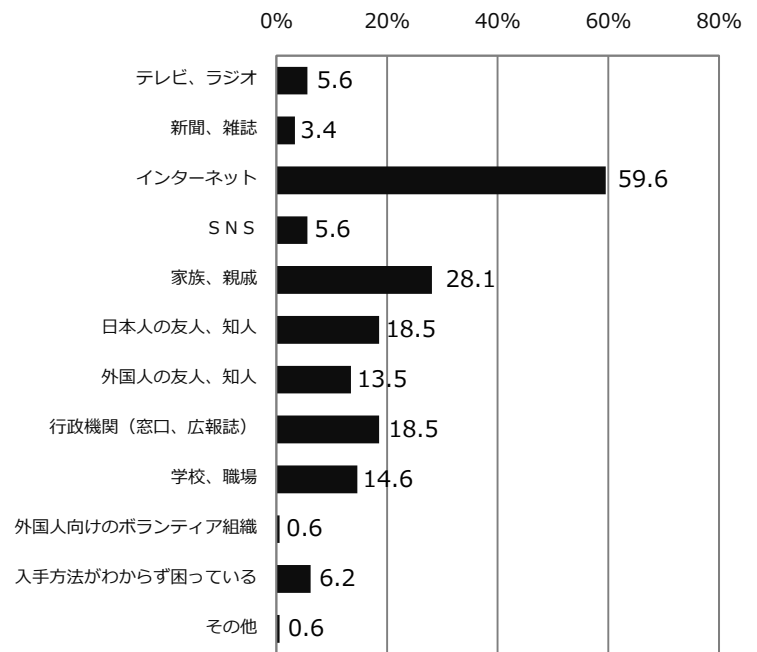
※無回答：34 ※累計（n）：306／累計（%）：185.5



■ 『情報の入手方法< e) 保健・医療>について』 件数割合

		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	10	5.6
2	新聞、雑誌	6	3.4
3	インターネット	106	59.6
4	SNS	10	5.6
5	家族、親戚	50	28.1
6	日本人の友人、知人	33	18.5
7	外国人の友人、知人	24	13.5
8	行政機関（窓口、広報誌）	33	18.5
9	学校、職場	26	14.6
10	外国人向けのボランティア組織	1	0.6
11	入手方法がわからず困っている	11	6.2
12	その他	1	0.6
	全 体	178	100.0

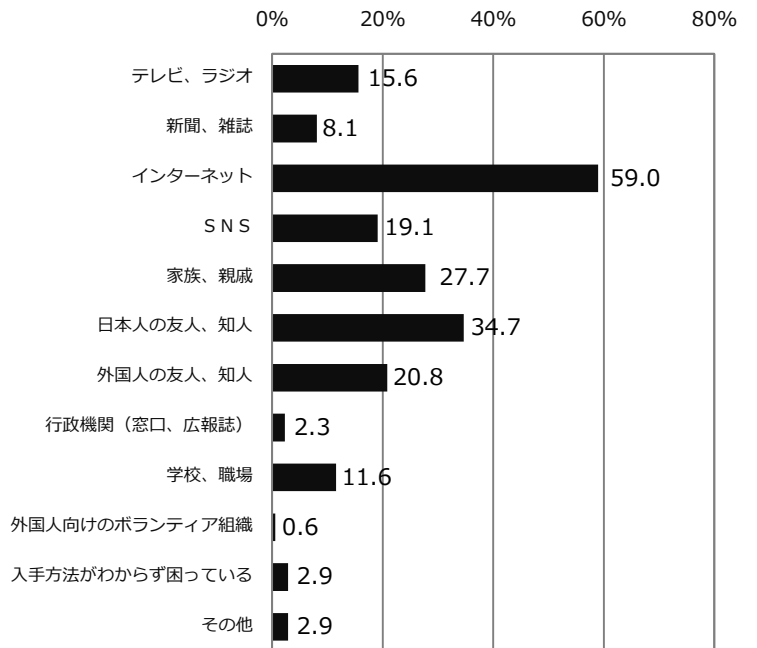
※無回答：21 ※累計（n）：311／累計（%）：174.7



■ 『情報の入手方法< f) 日本での生活習慣>について』 件数割合

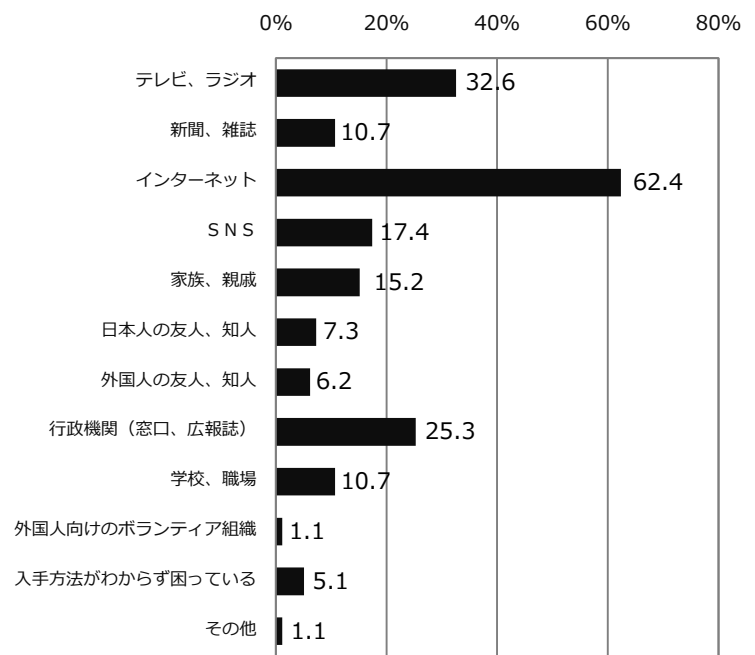
		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	27	15.6
2	新聞、雑誌	14	8.1
3	インターネット	102	59.0
4	SNS	33	19.1
5	家族、親戚	48	27.7
6	日本人の友人、知人	60	34.7
7	外国人の友人、知人	36	20.8
8	行政機関（窓口、広報誌）	4	2.3
9	学校、職場	20	11.6
10	外国人向けのボランティア組織	1	0.6
11	入手方法がわからず困っている	5	2.9
12	その他	5	2.9
	全 体	173	100.0

※無回答：26 ※累計（n）：355／累計（%）：205.2



■ 『情報の入手方法<g> 災害・防災情報>について』 件数割合

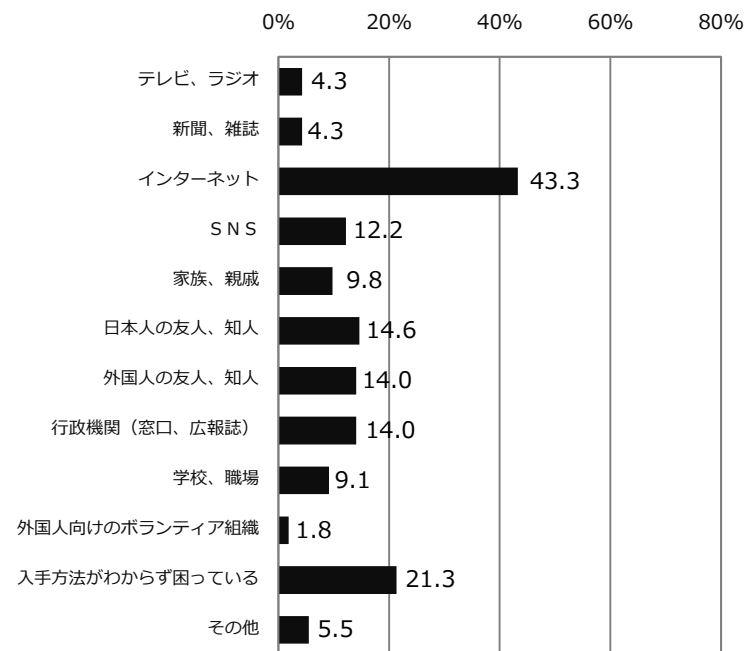
		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	58	32.6
2	新聞、雑誌	19	10.7
3	インターネット	111	62.4
4	SNS	31	17.4
5	家族、親戚	27	15.2
6	日本人の友人、知人	13	7.3
7	外国人の友人、知人	11	6.2
8	行政機関（窓口、広報誌）	45	25.3
9	学校、職場	19	10.7
10	外国人向けのボランティア組織	2	1.1
11	入手方法がわからず困っている	9	5.1
12	その他	2	1.1
	全 体	178	100.0



※無回答：21 ※累計（n）：347／累計（%）：194.9

■ 『情報の入手方法<h> コミュニティ・グループの紹介>について』 件数割合

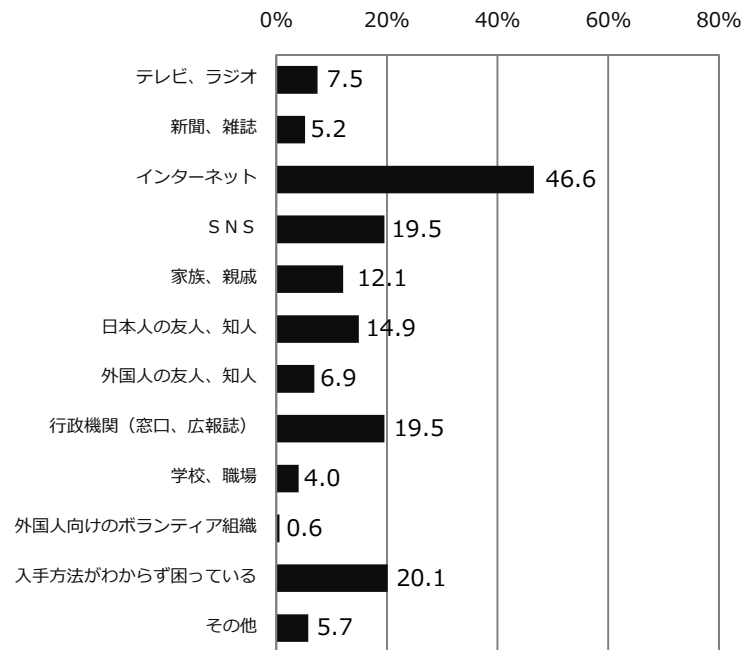
		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	7	4.3
2	新聞、雑誌	7	4.3
3	インターネット	71	43.3
4	SNS	20	12.2
5	家族、親戚	16	9.8
6	日本人の友人、知人	24	14.6
7	外国人の友人、知人	23	14.0
8	行政機関（窓口、広報誌）	23	14.0
9	学校、職場	15	9.1
10	外国人向けのボランティア組織	3	1.8
11	入手方法がわからず困っている	35	21.3
12	その他	9	5.5
	全 体	164	100.0



※無回答：35 ※累計（n）：253／累計（%）：154.3

■ 『情報の入手方法< i) 地域でのイベントやおまつり>について』 件数割合

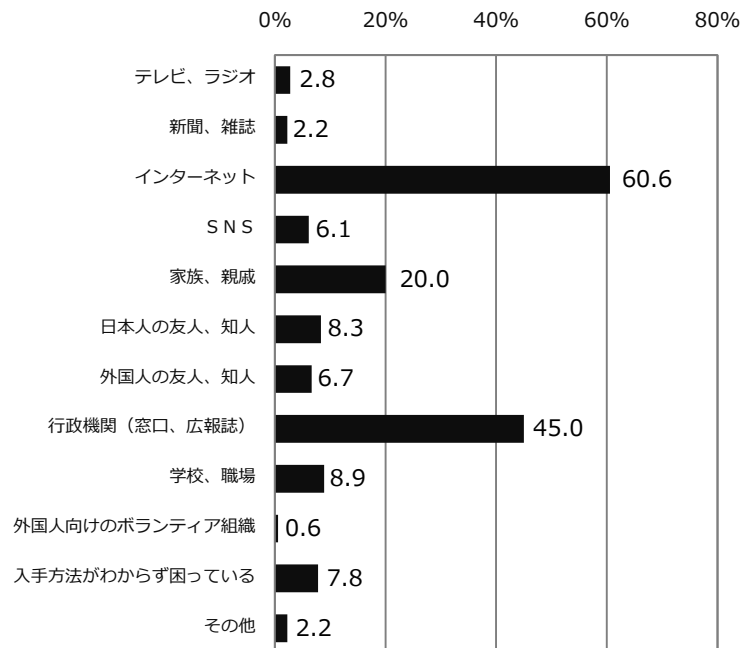
		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	13	7.5
2	新聞、雑誌	9	5.2
3	インターネット	81	46.6
4	SNS	34	19.5
5	家族、親戚	21	12.1
6	日本人の友人、知人	26	14.9
7	外国人の友人、知人	12	6.9
8	行政機関（窓口、広報誌）	34	19.5
9	学校、職場	7	4.0
10	外国人向けのボランティア組織	1	0.6
11	入手方法がわからず困っている	35	20.1
12	その他	10	5.7
	全 体	174	100.0



※無回答：25 ※累計（n）：283／累計（%）：162.6

■ 『情報の入手方法< j) 行政サービス・手続き>について』 件数割合

		件数	割合
1	テレビ、ラジオ	5	2.8
2	新聞、雑誌	4	2.2
3	インターネット	109	60.6
4	SNS	11	6.1
5	家族、親戚	36	20.0
6	日本人の友人、知人	15	8.3
7	外国人の友人、知人	12	6.7
8	行政機関（窓口、広報誌）	81	45.0
9	学校、職場	16	8.9
10	外国人向けのボランティア組織	1	0.6
11	入手方法がわからず困っている	14	7.8
12	その他	4	2.2
	全 体	180	100.0



※無回答：19 ※累計（n）：308／累計（%）：171.1

外国人が生活するうえでの情報をどのようなメディア・方法で入手しているか、次の10の事柄〈住宅〉〈買い物〉〈趣味・遊び〉〈仕事〉〈保健・医療〉〈日本での生活習慣〉〈災害・防災情報〉〈コミュニティ・グループの紹介〉〈地域でのイベントやおまつり〉〈行政サービス・手続き〉について回答を得た。

いずれの事柄についても情報の入手方法は「インターネット」の割合が最も高く、〈住宅〉については「インターネット」が70.0%、次に高い「家族・親戚」が18.3%と約50ポイントの差がついている。

「テレビ、ラジオ」は6.7%、「行政機関（窓口、広報誌）」は3.3%であった。

〈買い物〉については「インターネット」が74.4%と最も高く、次いで「SNS」29.0%、「外国人の友人、知人」22.2%、「日本人の友人・知人」21.6%と続いている。「テレビ、ラジオ」は12.5%、「新聞、雑誌」は6.3%であった。

〈趣味・遊び〉については、「インターネット」69.6%、「SNS」39.2%、「日本人の友人、知人」29.2%の順で高い。

〈仕事〉については、「インターネット」77.6%、「外国人の友人、知人」25.5%、「日本人の友人、知人」19.4%の順で高い。「SNS」は16.4%であった。

〈保健・医療〉については、「インターネット」59.6%、「家族、親戚」28.1%、「日本人の友人、知人」「行政機関（窓口、広報誌）」がともに18.5%と続く。

〈日本での生活習慣〉については、「インターネット」59.0%、「日本人の友人、知人」34.7%、「家族、親戚」27.7%の順で高い。「日本人の友人、知人」34.7%の割合は10の事柄中最も高い割合である。

〈災害・防災情報〉については、「インターネット」62.4%、「テレビ、ラジオ」32.6%、「行政機関（窓口、広報誌）」25.3%の順で高い。「テレビ、ラジオ」が3割に達する事柄は〈災害・防災情報〉だけであった。

〈コミュニティ・グループの紹介〉については、「インターネット」43.3%であった。

〈地域でのイベントやおまつり〉については、「インターネット」46.6%、「入手方法が分からず困っている」20.1%、「SNS」「行政機関（窓口、広報誌）」がともに19.5%の順で高い。

〈行政サービス・手続き〉については、「インターネット」60.6%で最も高く、「行政機関（窓口、広報誌）」45.0%を上回っている。

「入手方法がわからず困っている」でみると、〈コミュニティ・グループの紹介〉〈地域でのイベントやおまつり〉の順に高い割合となっている。

■ 『情報の入手方法<a> 住宅>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	180	6.7	5.6	70.0	13.9	18.3	16.1	17.8	3.3	6.1	0.6	2.2	3.3
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	34	2.9	-	70.6	11.8	8.8	5.9	8.8	-	20.6	-	5.9	5.9
30～39歳	67	7.5	1.5	88.1	13.4	19.4	19.4	22.4	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5
40～49歳	39	5.1	10.3	59.0	17.9	20.5	10.3	17.9	5.1	2.6	-	2.6	2.6
50～59歳	20	-	-	60.0	15.0	35.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-
60～69歳	15	13.3	13.3	53.3	13.3	6.7	33.3	20.0	6.7	13.3	-	-	13.3
70～79歳	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
80歳以上	4	50.0	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法 買い物>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	176	12.5	6.3	74.4	29.0	20.5	21.6	22.2	-	2.3	-	1.1	2.3
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	33	3.0	3.0	81.8	39.4	12.1	12.1	30.3	-	6.1	-	3.0	-
30～39歳	65	10.8	1.5	84.6	30.8	18.5	27.7	20.0	-	3.1	-	-	3.1
40～49歳	39	10.3	5.1	71.8	28.2	25.6	12.8	12.8	-	-	-	-	2.6
50～59歳	19	10.5	10.5	68.4	15.8	26.3	15.8	36.8	-	-	-	-	-
60～69歳	14	21.4	14.3	50.0	28.6	35.7	50.0	21.4	-	-	-	7.1	7.1
70～79歳	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
80歳以上	4	100.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<c> 趣味・遊び>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	171	17.5	7.0	69.6	39.2	12.9	29.2	26.9	1.8	3.5	-	3.5	1.8
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	32	9.4	3.1	59.4	53.1	15.6	21.9	21.9	3.1	12.5	-	9.4	-
30～39歳	63	17.5	6.3	85.7	47.6	9.5	34.9	31.7	1.6	3.2	-	-	-
40～49歳	38	15.8	7.9	57.9	34.2	13.2	21.1	31.6	-	-	-	2.6	5.3
50～59歳	18	22.2	5.6	72.2	16.7	16.7	11.1	22.2	-	-	-	-	-
60～69歳	16	18.8	6.3	68.8	25.0	18.8	50.0	12.5	6.3	-	-	12.5	6.3
70～79歳	1	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
80歳以上	3	100.0	66.7	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<d> 仕事>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	165	3.6	8.5	77.6	16.4	9.1	19.4	25.5	6.7	10.3	0.6	1.8	6.1
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	33	3.0	6.1	87.9	15.2	-	9.1	21.2	-	21.2	-	6.1	-
30～39歳	64	1.6	1.6	82.8	23.4	10.9	25.0	34.4	7.8	9.4	1.6	1.6	4.7
40～49歳	33	3.0	-	75.8	15.2	15.2	24.2	18.2	9.1	6.1	-	-	12.1
50～59歳	19	-	10.5	68.4	5.3	15.8	21.1	21.1	10.5	-	-	-	10.5
60～69歳	13	15.4	53.8	61.5	7.7	-	7.7	23.1	7.7	7.7	-	-	7.7
70～79歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<e> 保健・医療>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	178	5.6	3.4	59.6	5.6	28.1	18.5	13.5	18.5	14.6	0.6	6.2	0.6
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	35	-	-	51.4	2.9	14.3	11.4	2.9	25.7	31.4	-	8.6	-
30～39歳	65	4.6	1.5	75.4	7.7	30.8	23.1	12.3	16.9	9.2	1.5	7.7	-
40～49歳	39	2.6	5.1	53.8	7.7	25.6	10.3	17.9	23.1	12.8	-	5.1	2.6
50～59歳	19	15.8	5.3	63.2	5.3	42.1	15.8	15.8	5.3	5.3	-	-	-
60～69歳	14	7.1	7.1	35.7	-	35.7	35.7	28.6	14.3	21.4	-	-	-
70～79歳	1	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
80歳以上	5	40.0	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<f> 日本での生活習慣>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	173	15.6	8.1	59.0	19.1	27.7	34.7	20.8	2.3	11.6	0.6	2.9	2.9
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	33	12.1	6.1	48.5	30.3	15.2	27.3	15.2	-	24.2	-	6.1	-
30～39歳	64	10.9	3.1	73.4	21.9	29.7	37.5	23.4	-	9.4	1.6	-	3.1
40～49歳	37	16.2	8.1	59.5	13.5	27.0	29.7	18.9	8.1	13.5	-	5.4	2.7
50～59歳	18	27.8	-	55.6	11.1	44.4	38.9	33.3	-	-	-	-	-
60～69歳	16	18.8	31.3	43.8	12.5	31.3	43.8	18.8	6.3	6.3	-	6.3	12.5
70～79歳	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
80歳以上	3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<g> 災害・防災情報>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	178	32.6	10.7	62.4	17.4	15.2	7.3	6.2	25.3	10.7	1.1	5.1	1.1
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	32	18.8	3.1	68.8	37.5	6.3	-	-	15.6	21.9	3.1	9.4	-
30～39歳	63	31.7	3.2	73.0	15.9	12.7	11.1	6.3	20.6	6.3	-	7.9	1.6
40～49歳	39	25.6	10.3	53.8	15.4	15.4	7.7	5.1	33.3	15.4	-	2.6	2.6
50～59歳	20	35.0	10.0	55.0	10.0	25.0	10.0	15.0	35.0	-	-	-	-
60～69歳	17	58.8	29.4	52.9	5.9	23.5	5.9	11.8	35.3	11.8	5.9	-	-
70～79歳	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
80歳以上	5	80.0	80.0	20.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<h> コミュニティ・グループの紹介>について』 年齢割合

年 齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	S N S	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	164	4.3	4.3	43.3	12.2	9.8	14.6	14.0	14.0	9.1	1.8	21.3	5.5
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	31	-	3.2	38.7	12.9	9.7	22.6	9.7	12.9	22.6	3.2	22.6	-
30～39歳	62	9.7	-	45.2	14.5	9.7	12.9	14.5	17.7	6.5	-	22.6	3.2
40～49歳	35	-	2.9	48.6	14.3	8.6	17.1	20.0	5.7	8.6	-	22.9	8.6
50～59歳	19	-	5.3	42.1	-	15.8	10.5	10.5	15.8	5.3	5.3	21.1	10.5
60～69歳	14	-	21.4	42.9	14.3	7.1	7.1	14.3	14.3	-	7.1	14.3	7.1
70～79歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<i>地域でのイベントやおまつり</i>』について』年齢割合

年齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	174	7.5	5.2	46.6	19.5	12.1	14.9	6.9	19.5	4.0	0.6	20.1	5.7
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	34	-	2.9	58.8	32.4	2.9	5.9	-	11.8	8.8	2.9	20.6	2.9
30～39歳	64	7.8	4.7	50.0	18.8	10.9	10.9	9.4	23.4	1.6	-	21.9	6.3
40～49歳	36	5.6	-	47.2	19.4	16.7	13.9	5.6	13.9	8.3	-	22.2	8.3
50～59歳	19	5.3	5.3	31.6	5.3	21.1	21.1	15.8	15.8	-	-	21.1	5.3
60～69歳	17	23.5	17.6	35.3	17.6	17.6	41.2	5.9	29.4	-	-	11.8	-
70～79歳	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
80歳以上	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

■ 『情報の入手方法<j>行政サービス・手続き</j>』について』年齢割合

年齢	n	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	インターネット	SNS	家族、親戚	日本人の友人、知人	外国人の友人、知人	行政機関（窓口、広報誌）	学校、職場	外国人向けのボランティア組織	入手方法がわからず困っている	その他
全体	180	2.8	2.2	60.6	6.1	20.0	8.3	6.7	45.0	8.9	0.6	7.8	2.2
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	34	-	-	70.6	5.9	14.7	-	5.9	38.2	20.6	2.9	8.8	-
30～39歳	64	1.6	-	64.1	6.3	17.2	9.4	7.8	50.0	4.7	-	4.7	1.6
40～49歳	39	2.6	-	64.1	7.7	20.5	7.7	5.1	38.5	10.3	-	10.3	5.1
50～59歳	19	5.3	-	52.6	-	36.8	10.5	10.5	31.6	-	-	10.5	-
60～69歳	18	5.6	16.7	50.0	11.1	16.7	11.1	5.6	61.1	11.1	-	11.1	-
70～79歳	1	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-
80歳以上	5	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0	-	60.0	-	-	-	20.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

外国人が生活するうえでの情報をどのようなメディア・方法で入手しているかの年齢別では、母数の多い「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」でみると、全ての事柄で「インターネット」が最も高い。

「60～69歳」でも、「インターネット」の割合が高い傾向であるが、〈災害・防災情報〉については「テレビ、ラジオ」が最も高く、〈地域でのイベントやおまつり〉については「日本人の友人、知人」が最も高い。〈行政サービス・手続き〉については「行政機関（窓口、広報誌）」が最も高かった。

(14) 普段利用しているSNS

【Q16.(A) あなたが普段利用しているSNSは次のどれですか(あてはまるもの全てに○)。
【Q16.】で「4.SNS」を選んだ106件について

■ 『(A) 普段利用しているSNS』件数割合

	件数	割合		件数	割合
Facebook	58	55.2	WeChat	33	31.4
Twitter	44	41.9	KakaoTalk	6	5.7
LINE	77	73.3	YouTube	74	70.5
Instagram	70	66.7	その他	15	14.3
			全体	105	100.0

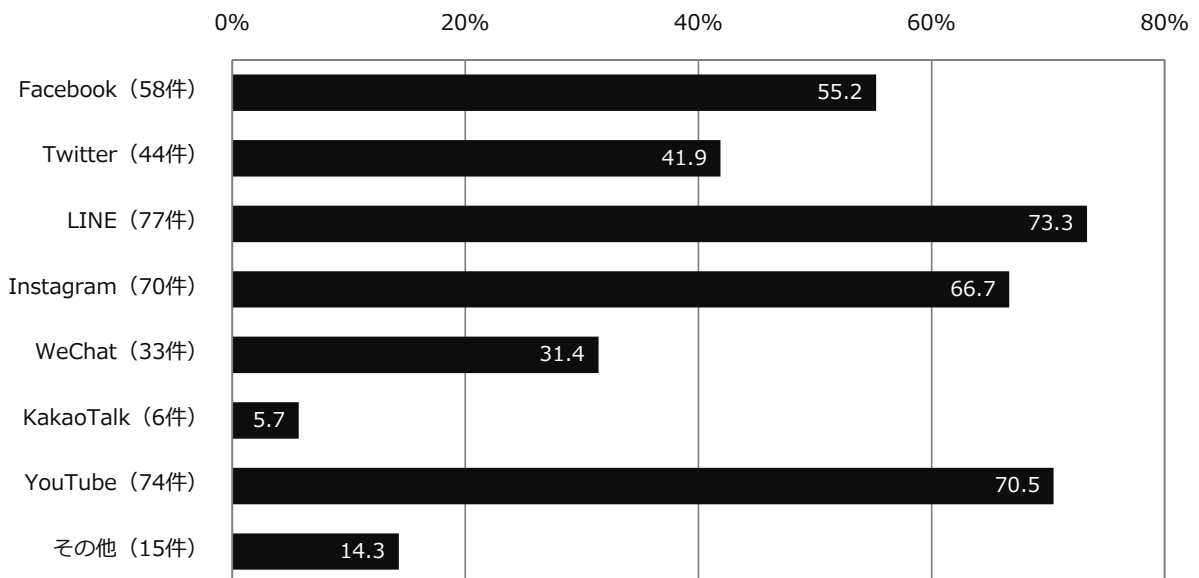
※無回答：1 ※累計(n)：377/累計(%)：359.0

■ 「その他」15件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
WhatsApp	3	2.9	Skype	1	1.0
LinkedIn	3	2.9	TikTok	1	1.0

※割合は(n=105)で算出

普段利用しているSNS (n=105) 無回答1



普段利用しているSNSでは、「LINE」が73.3%で最も高く、「YouTube」が70.5%、「Instagram」が66.7%、「Facebook」が55.2%、「Twitter」が41.9%、「WeChat」が31.4%と続いている。また、累計パーセントから一人平均3つ以上のSNSを利用していることがうかがえる。

(15) 行政からほしい情報【Q17. 行政からほしい情報はどのようなものですか（主なもの3つ以内に○をつけ、具体的な内容をかっこの中に書いてください）。】

■ 『行政からほしい情報』件数割合

	件数	割合		件数	割合
住宅	13	7.1	災害・防災情報	46	25.1
買い物	2	1.1	コミュニティ・グループの紹介	25	13.7
趣味・遊び	10	5.5	地域でのイベントやおまつり	37	20.2
仕事	19	10.4	行政サービス・手続き	48	26.2
保健・医療	63	34.4	その他	11	6.0
日本での生活習慣	9	4.9	特にない	52	28.4
			全 体	183	100.0

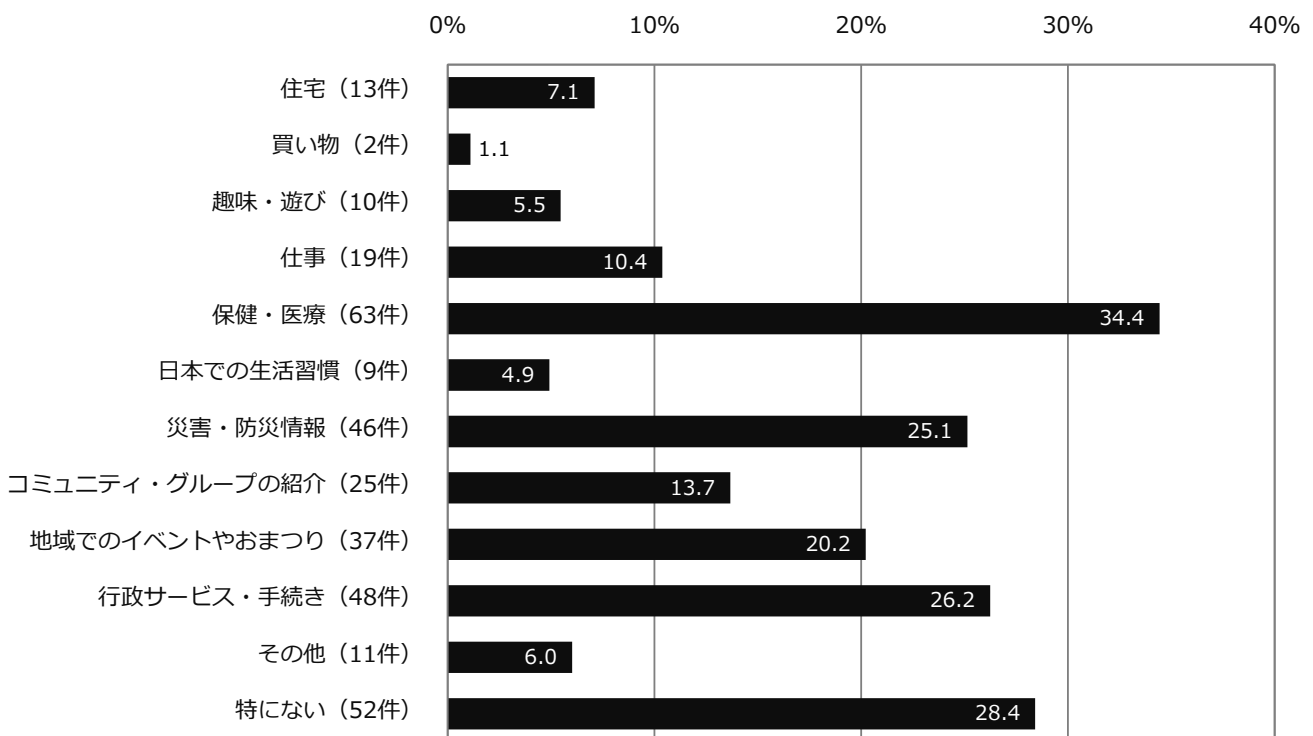
※無回答：16 ※累計（n）：335／累計（%）：183.1

■ 「その他」11件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
言語	3	1.6	育児・教育	2	1.1
生活習慣	2	1.1	税金・年金・保険	2	1.1

※割合は（n=183）で算出

行政からほしい情報（n=183）無回答16



行政からほしい情報では、「保健・医療」が63件・34.4%で最も多い。「行政サービス・手続き」が48件・26.2%、「災害・防災情報」が46件・25.1%、「地域でのイベントやおまつり」が37件・20.2%と続いている。

■ 『行政からほしい情報』で記述回答のあった内容

<住宅>

- ・外国人に住宅や賃貸の相談や支援を提供できる専門部署があることを希望
- ・英語で外国人に優しい不動産屋とアパート
- ・外国人に優しい不動産屋または所有者
- ・外国人の不動産購入、賃貸に関するサービス紹介を提供するように
- ・外国人が住める物件情報の提供
- ・外国人であることを理由に住むことを断られない住宅
- ・区が運営する住宅を積極的に発信して欲しい
- ・補助金、空き家情報
- ・外国人でも賃貸できる物件(内見はできても大家さんに確認する段階で不動産屋から「やっぱり ダメでした」と伝えられることがあった)

<買い物>

- ・フリマ情報
- ・ベトナムスーパー、調味料店

<趣味・遊び>

- ・(無料) 英語での世田谷での活動
- ・外国人向けレクリエーション
- ・コミュニティのための活動
- ・世田谷紹介する等
- ・テニスなどのコートのもっととりやすい方法
- ・ベトナム人できる美容院

<仕事>

- ・英語を話す人のために/公正な給与/適切な労働時間
- ・中国語を使用する仕事
- ・日本語能力を必要としない仕事に関する情報
- ・良い機会を見つけるための支援、およびフリーランスの仕事に対する制限の緩和
- ・外国籍でも安心して働ける場の情報の提供
- ・自分の専門分野(得意分野)に合う仕事情報を入手したい
- ・就活に関する情報
- ・日本語を使う外国人向けの仕事
- ・日本の伝統的なものを勉強できる場所
- ・英語を使って仕事を探します
- ・子どもが大きくなったから、仕事をしたいがどうすればよいか

<保健・医療>

- ・外国語で利用できる病院(29件)
- ・インターネットおよび英語による予約または医療処置に関する書面による情報
- ・外国人に優しい地元のクリニック
- ・定期的に年次健康診断に参加できる場所
- ・病気に罹った際、行くべき病院をガイドする手引きがあるように
- ・介護保険や健康保険でつかえるサービス
- ・休日・夜間に受付してくれる病院、電話相談の際の通訳
- ・国民健康保険料についての説明
- ・住む地域の医療機関のリスト
- ・生活習慣病についての講座を知りたい

<日本での生活習慣>

- ・如何にもっとうまく日本の社会に溶け込むことができるか?
- ・イベント
- ・日本の歴史、文化の勉強会など

■ 『行政からほしい情報』で記述回答のあった内容

<災害・防災情報>

- ・英語での情報提供（4件）
- ・緊急時の英語での対応（2件）
- ・外国語でのサービス提供（3件）
- ・多言語で利用可能
- ・地震に関する知識
- ・天気/地震情報
- ・避難場所（2件）、ペットの宿泊施設
- ・緊急事態の際にどこに行くべきですか？
- ・災害時の避難場所を知りたい
- ・避難所に関する頻繁な情報更新
- ・避難場所の変更など、重要なお知らせがあれば
- ・紙の地図・パンフレットが望ましい
- ・住む地域の災害の可能性（リスク）などの情報
- ・必要なものや注意すべきこと
- ・防災訓練や災害に対応する講座情報を知りたい
- ・どのようにして防災訓練の参加を申請できるか、知らせてくれるように

<コミュニティ・グループの紹介>

- ・外国人コミュニティや外国に関心があるグループなど（2件）
- ・外国人に友好的
- ・日本人の友達が作れるグループ等の紹介
- ・ネットチャットできるグループ
- ・日本語を練習できるグループがあれば
- ・どこから入手できるか
- ・日本人との交流、または社会人サークル情報

<地域でのイベントやおまつり>

- ・開催場所と日時（4件）
- ・英語の情報
- ・イベント情報（2件）
- ・ネット予約できるように
- ・地元のおまつりを知ることができる
- ・どこから入手できるか
- ・地域でのイベントやおまつりの情報があったら週末家族と参加してみたい。
イベントやおまつりの雰囲気や参加する人の年齢層などもわかるとイメージしやすく良さそう

<行政サービス・手続き>

- ・多言語対応
- ・日本語以外のもっと詳細な情報
- ・英語が利用可能（自動翻訳ではありません）
- ・英語での対応
- ・書類は英語で送られます
- ・通訳文付き
- ・外国語を使用できるところ（2件）
- ・母国語での説明があるように
- ・外国人ならではの必要な手続き、外国人の相談窓口
- ・英語での税金に関する情報
- ・税金関連の質問
- ・税金が安くなる、生活費が安くなる事
- ・年金（2件）、社会保険
- ・小さな子どもの学校の宿題サポート
- ・学校入学時の案内の送付がされないことがあったため、国籍関係無くきちんと知らせてほしい
（公立の小・中学校に入学するとき）
- ・ある手続きに必要な書類など
- ・居住者として何をしなければなりませんか？
- ・手続きの説明（郵送お知らせの内容が分からない時）
- ・どんな手続きがどこでできるかを明らかにしてほしい
- ・外国人として、と言うよりは区民として生活に役立つ情報を知りたい

■ 『行政からほしい情報』で記述回答のあった内容

<その他>

- ・日本語勉強のところ、日本語の勉強
- ・言語サポート（有料OK）
- ・外国人として知らない可能性がある日本の常識
- ・外国人の親のために外国語が可能な学校/幼稚園
- ・保育園のオプション
- ・外国人と交流したい日本人のイベントの開催。互い交流の場としては、重要だと思います
- ・ごみ収集時間のため無駄に早起きしなければならないこと
- ・税金、海外からの入金、投資など
- ・退職/年金（国民年金、私学共済）民間保険/年金

■ 『行政からほしい情報』 年齢割合

年 齢	n	住 宅	買 い 物	趣 味 ・ 遊 び	仕 事	保 健 ・ 医 療	日 本 で の 生 活 習 慣	災 害 ・ 防 災 情 報	コ ミ ュ ニ テ ィ ・ グ ル ー プ の 紹 介	地 域 で の イ ベ ン ト や お ま つ り	行 政 サ ー ビ ス ・ 手 続 き	そ の 他	特 に な い
全 体	183	7.1	1.1	5.5	10.4	34.4	4.9	25.1	13.7	20.2	26.2	6.0	28.4
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	36	8.3	2.8	13.9	8.3	27.8	-	25.0	22.2	22.2	33.3	2.8	27.8
30～39歳	66	9.1	1.5	4.5	9.1	37.9	6.1	21.2	12.1	22.7	25.8	10.6	22.7
40～49歳	39	2.6	-	5.1	12.8	41.0	5.1	28.2	12.8	25.6	28.2	5.1	23.1
50～59歳	17	11.8	-	-	17.6	11.8	5.9	23.5	11.8	5.9	23.5	5.9	35.3
60～69歳	17	5.9	-	-	11.8	35.3	11.8	29.4	11.8	17.6	11.8	-	47.1
70～79歳	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	66.7
80歳以上	5	-	-	-	-	60.0	-	40.0	-	-	40.0	-	40.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

行政からほしい情報の年齢別で見ると、「20～29歳」では「行政サービス・手続き」が33.3%で最も高く、「30～39歳」「40～49歳」「60～69歳」では「保健・医療」が最も高い。「50～59歳」では「災害・防災情報」「行政サービス・手続き」がともに23.5%で最も高かった（n=10未満の年齢を除く）。

■ 『行政からほしい情報』 在留資格割合

在留資格	n	住宅	買い物	趣味・遊び	仕事	保健・医療	日本での生活習慣	災害・防災情報	コミュニティ・グループの紹介	地域でのイベントやおまつり	行政サービス・手続き	その他	特にない
全体	181	7.2	1.1	5.5	10.5	34.3	5.0	24.9	13.8	20.4	26.0	6.1	28.2
定住者	6	-	-	-	-	33.3	-	50.0	-	-	50.0	16.7	16.7
日本人の配偶者等	28	-	-	10.7	14.3	32.1	3.6	14.3	3.6	10.7	21.4	14.3	28.6
永住者	67	9.0	-	-	9.0	29.9	7.5	25.4	10.4	17.9	31.3	4.5	32.8
永住者の配偶者等	7	-	-	-	42.9	71.4	14.3	14.3	14.3	-	42.9	-	14.3
特別永住者	6	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	16.7	16.7	-	66.7
技術・人文知識・国際業務	43	16.3	2.3	9.3	11.6	34.9	4.7	25.6	25.6	39.5	18.6	7.0	14.0
留学	10	-	-	10.0	10.0	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	-	40.0
家族滞在	4	-	-	25.0	-	75.0	-	-	75.0	50.0	-	-	25.0
特定活動	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	100.0	-	-
技能	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
特定技能	2	-	50.0	50.0	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
その他	5	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	80.0

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

※技能実習は0件のため表示していません。

行政からほしい情報の在留資格別で見ると、最も母数の多い「永住者」では、「行政サービス・手続き」31.1%、「技術・人文知識・国際業務」では「地域でのイベントやおまつり」39.5%、「日本人の配偶者等」では「保健・医療」32.1%、「留学」では「災害・防災情報」40.0%が最も高かった（n=10未満の在留資格を除く）。

(16) 行政からの発信【Q18. 行政からの情報を、どのような方法で発信してほしいですか
(主なもの3つ以内に○)。】

■ 『行政からの発信』 件数割合

	件数	割合		件数	割合
ホームページ	109	57.7	メールマガジン	52	27.5
Facebook	30	15.9	チラシ・ポスター	57	30.2
Twitter	25	13.2	区のおしらせ せたがや (広報誌)	67	35.4
その他のSNS	24	12.7	その他	16	8.5
※無回答: 10 ※累計 (n) : 380 / 累計 (%) : 201.1			全 体	189	100.0

■ 「その他のSNS」 24件内、記述回答のあった主な内容件数割合

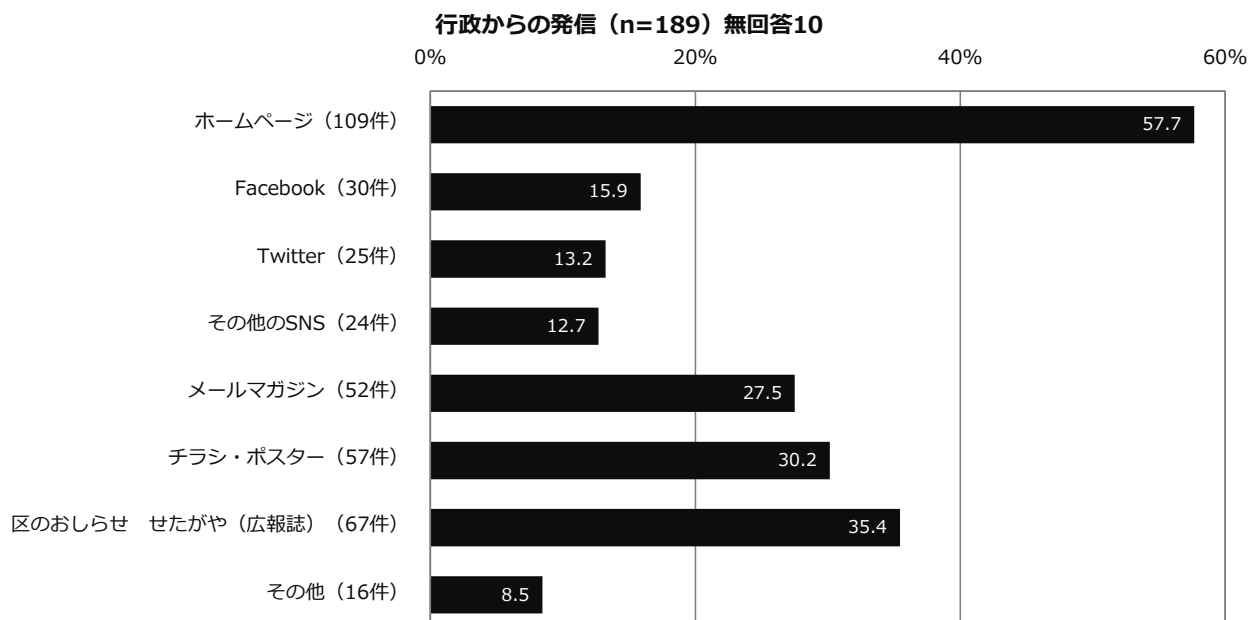
	件数	割合		件数	割合
LINE	7	3.7	Wechat	3	1.6
Instagram	5	2.6	tiktok	1	0.5

※割合は (n=189) で算出

■ 「その他」 16件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
郵便物	7	3.7	電話	2	1.1

※割合は (n=189) で算出



行政からの発信では、「ホームページ」109件・57.7%でニーズが高いことがうかがえる。「区のおしらせ せたがや (広報誌)」67件・35.4%、「チラシ・ポスター」57件・30.2%、「メールマガジン」52件・27.5%と続いている。

■ 『行政からの発信』 年齢割合

年 齢	n	ホ ー ム ペ ー ジ	F a c e b o o k	T w i t t e r	そ の 他 の S N S	メ ー ル マ ガ ジ ン	チ ラ シ ・ ポ ス タ ー	(区 の お し ら せ の お し ら せ た が や の お し ら せ た が や)	そ の 他
全 体	189	57.7	15.9	13.2	12.7	27.5	30.2	35.4	8.5
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	37	64.9	21.6	10.8	21.6	27.0	27.0	10.8	10.8
30～39歳	66	59.1	13.6	19.7	15.2	24.2	30.3	33.3	9.1
40～49歳	40	57.5	22.5	15.0	5.0	32.5	32.5	45.0	5.0
50～59歳	20	50.0	10.0	5.0	15.0	20.0	35.0	45.0	15.0
60～69歳	20	60.0	10.0	5.0	5.0	40.0	20.0	50.0	5.0
70～79歳	3	33.3	-	-	-	-	-	100.0	-
80歳以上	3	-	-	-	-	33.3	100.0	33.3	-

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

行政からの発信の年齢別で見ると、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」で「ホームページ」の割合が5割以上で、最も高かった（n=10未満の年齢を除く）。

■ 『行政からの発信』 在留資格割合

在留資格	n	ホームページ	Facebook	Twitter	その他のSNS	メールマガジン	チラシ・ポスター	（広報誌） 区のおしらせ せたがや	その他
全 体	187	57.8	16.0	13.4	12.8	27.3	30.5	34.8	8.6
定住者	6	66.7	-	-	33.3	16.7	50.0	33.3	-
日本人の配偶者等	28	32.1	17.9	14.3	10.7	25.0	32.1	28.6	21.4
永住者	67	56.7	16.4	11.9	10.4	19.4	26.9	41.8	10.4
永住者の配偶者等	7	42.9	28.6	-	28.6	42.9	28.6	57.1	-
特別永住者	5	60.0	-	-	-	-	40.0	60.0	-
技術・人文知識・国際業務	46	71.7	13.0	19.6	13.0	32.6	32.6	28.3	2.2
留学	11	54.5	27.3	18.2	27.3	36.4	27.3	9.1	-
家族滞在	6	66.7	-	16.7	16.7	83.3	33.3	50.0	-
特定活動	2	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0
技能	1	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-
特定技能	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-
技能実習	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	83.3	16.7	16.7	-	16.7	33.3	16.7	16.7

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

行政からの発信の在留資格別でみると、「永住者」「技術・人文知識・国際業務」「留学」では「ホームページ」が最も高く、「日本人の配偶者等」では「ホームページ」「チラシ・ポスター」がともに32.1%で最も高かった（n=10未満の在留資格を除く）。

■ 『行政からの発信』 回答調査票言語割合

回答調査票言語	n	ホームページ	Facebook	Twitter	その他のSNS	メールマガジン	チラシ・ポスター	区のおしらせ (広報誌) せたがや	その他
全 体	189	57.7	15.9	13.2	12.7	27.5	30.2	35.4	8.5
日本語調査票	100	59.0	15.0	12.0	13.0	16.0	37.0	31.0	5.0
外国語調査票	89	56.2	16.9	14.6	12.4	40.4	22.5	40.4	12.4

※網掛けは各調査票言語で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

行政からの発信の回答調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」ともに「ホームページ」で情報発信を望む割合が最も高く、「日本語調査票」59.0%「外国語調査票」56.2%であった。

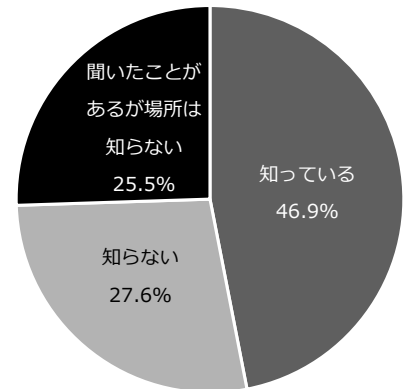
(17) 避難場所認知度 【Q19. あなたは地震などの災害が発生したときに自分が避難できる場所を知っていますか(1つに○)】

■ 『避難場所認知度』 件数割合

	件数	割合
知っている	92	46.9
知らない	54	27.6
聞いたことがあるが場所は知らない	50	25.5
全体	196	100.0

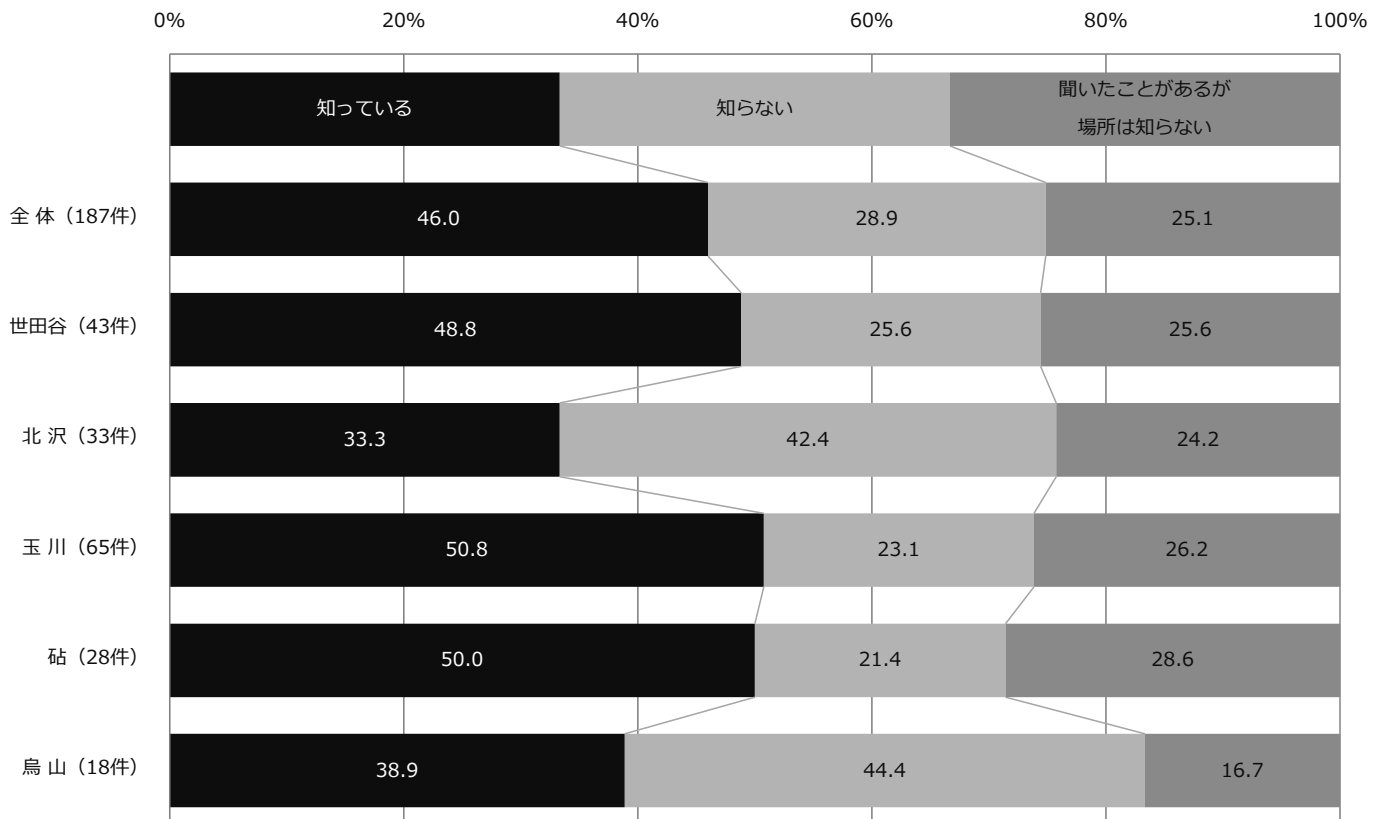
※無回答 3

避難場所認知度 (n=196) 無回答3



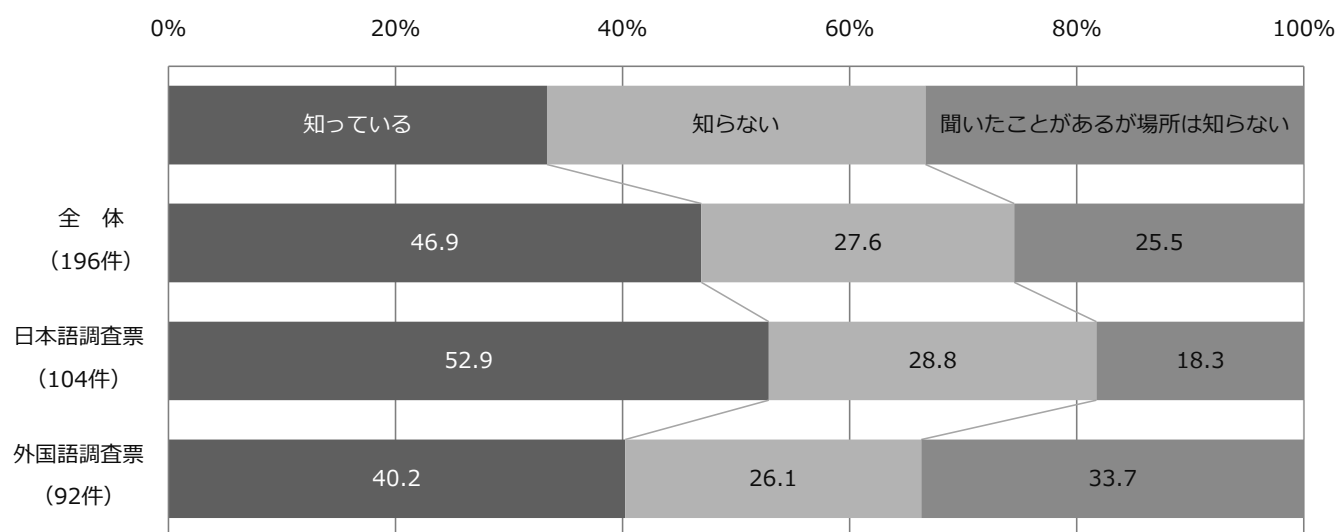
避難場所の認知度では、「知っている」が92件・46.9%で、半数近くが自身の避難場所を認知していた。「知らない」54件・27.6%、「聞いたことがあるが場所は知らない」は50件・25.5%であった。

■ 『避難場所認知度』 居住地域割合



避難場所認知度の居住地域別では、「知っている」の割合が最も高かったのが、「玉川」50.8%、次いで「砧」50.0%であった。最も割合が低かったのが「北沢」33.3%であった。

■ 『避難場所認知度』 回答調査票言語割合



避難場所認知度の回答調査票言語別では、「知っている」が「日本語調査票」で52.9%と5割を超えたが、「外国語調査票」では40.2%であった。

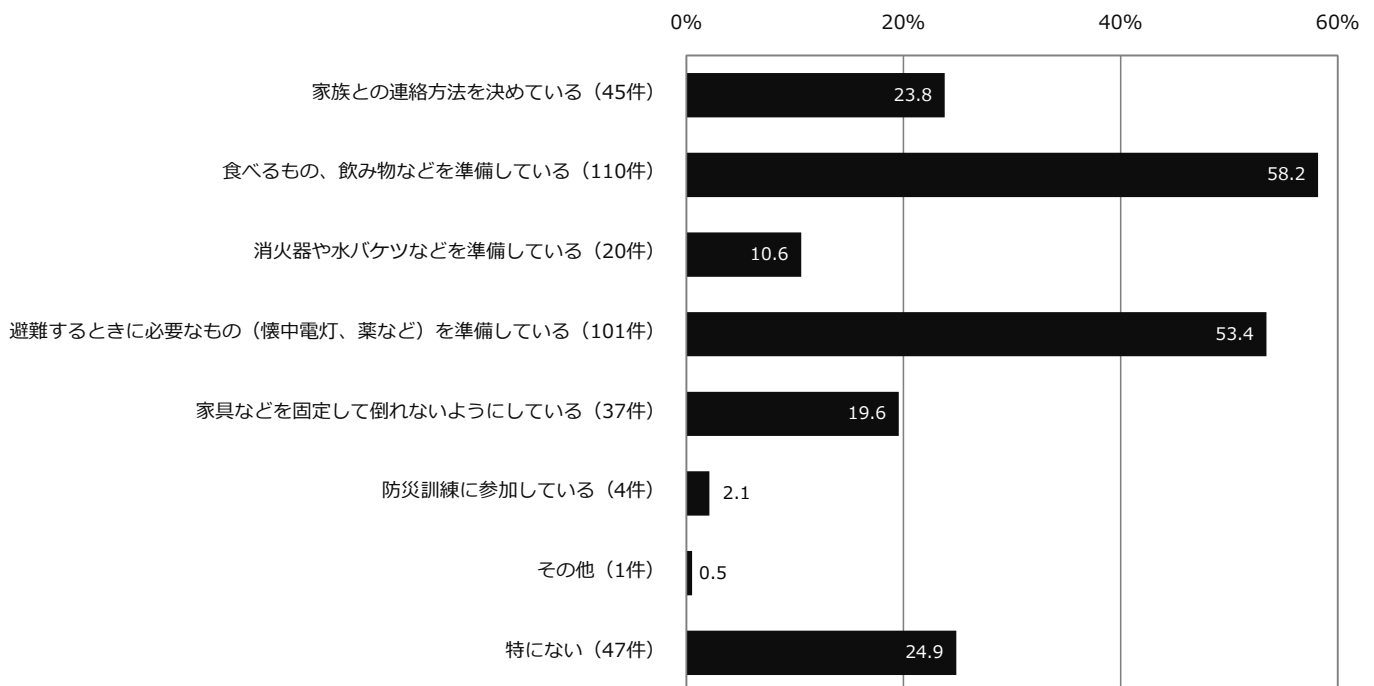
(18) 災害時の対策 【Q20. あなたは地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか
(主なもの3つ以内に○)。】

■ 『災害時の対策』 件数割合

	件数	割合
家族との連絡方法を決めている	45	23.8
食べるもの、飲み物などを準備している	110	58.2
消火器や水バケツなどを準備している	20	10.6
避難するときに必要なもの(懐中電灯、薬など)を準備している	101	53.4
家具などを固定して倒れないようにしている	37	19.6
防災訓練に参加している	4	2.1
その他	1	0.5
特にない	47	24.9
全体	189	100.0

※無回答：10 ※累計(n)：365/累計(%)：193.1

災害時の対策 (n=189) 無回答10



災害時の対策では、「食べるもの、飲み物などを準備している」が110件・58.2%で最も多く、「避難するときに必要なもの(懐中電灯、薬など)を準備している」が101件・53.4%と続いている。「特にない」は47件・24.9%、「家族との連絡方法を決めている」は45件・23.8%の割合であった。

■ 『災害時の対策』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	家族との連絡方法を	食べるもの、飲み物などを準備している	消火器や水のバケツなどを準備している	避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している	家具などを固定して倒れないようにしている	防災訓練に参加している	その他	特にな
全 体	183	24.0	58.5	10.9	53.0	19.1	1.6	0.5	25.1
中国	56	25.0	69.6	7.1	50.0	16.1	1.8	-	21.4
韓国	23	34.8	60.9	4.3	65.2	4.3	-	-	17.4
米国	11	27.3	63.6	36.4	27.3	18.2	-	-	45.5
台湾	17	35.3	52.9	11.8	64.7	35.3	-	5.9	23.5
フィリピン	6	33.3	50.0	33.3	66.7	-	16.7	-	16.7
英国	8	-	87.5	-	87.5	50.0	-	-	-
ベトナム	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0
フランス	5	40.0	40.0	-	40.0	-	-	-	40.0
インド	3	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	66.7
その他	52	17.3	44.2	11.5	48.1	25.0	1.9	-	28.8

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にな

い」は除く）。
※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

災害時の対策を国籍・地域別で見ると、「中国」では、「食べるもの、飲み物などを準備している」が69.6%と最も割合が高く、「韓国」では、「避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している」65.2%、「米国」では、「食べるもの、飲み物などを準備している」63.6%、「台湾」では、「避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している」64.7%が最も高かった。

「特にな

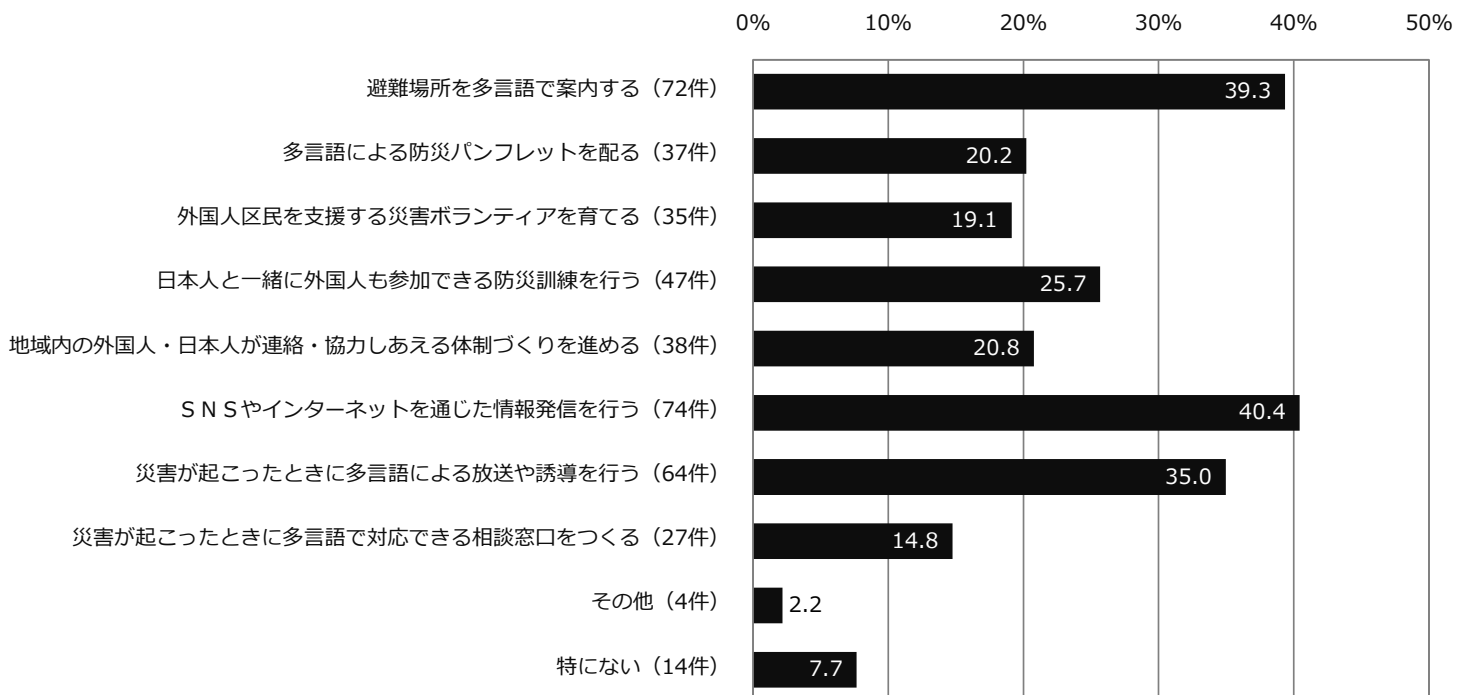
(19) 世田谷区に望む災害対策 【Q21. あなたは地震などの災害に備えて世田谷区にどのような対策を望みますか（主なもの3つ以内に○）。】

■『世田谷区に望む災害対策』件数割合

	件数	割合
避難場所を多言語で案内する	72	39.3
多言語による防災パンフレットを配る	37	20.2
外国人区民を支援する災害ボランティアを育てる	35	19.1
日本人と一緒に外国人も参加できる防災訓練を行う	47	25.7
地域内の外国人・日本人が連絡・協力しあえる体制づくりを進める	38	20.8
SNSやインターネットを通じた情報発信を行う	74	40.4
災害が起こったときに多言語による放送や誘導を行う	64	35.0
災害が起こったときに多言語で対応できる相談窓口をつくる	27	14.8
その他	4	2.2
特にない	14	7.7
全体	183	100.0

※無回答：16 ※累計（n）：412／累計（%）：225.1

世田谷区に望む災害時の対策（n=183）無回答16



世田谷区に望む災害対策としては、「SNSやインターネットを通じた情報発信を行う」が74件・40.4%で最も多く、「避難場所を多言語で案内する」が72件・39.3%、「災害が起こったときに多言語による放送や誘導を行う」が64件・35.0%と続いた。「特にない」は14件・7.7%であった。

(20) 外国人に対する生活支援の充実

【Q22. 世田谷区では、外国人が安心して地域で生活するために、教育、住宅、就労など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは外国人に対する生活支援が充実していると思いますか（1つに○）。】

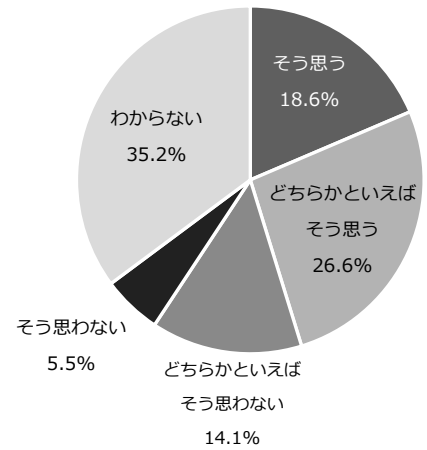
外国人に対する生活支援の充実 (n=199)

無回答 0

■ 『外国人に対する生活支援の充実』 件数割合

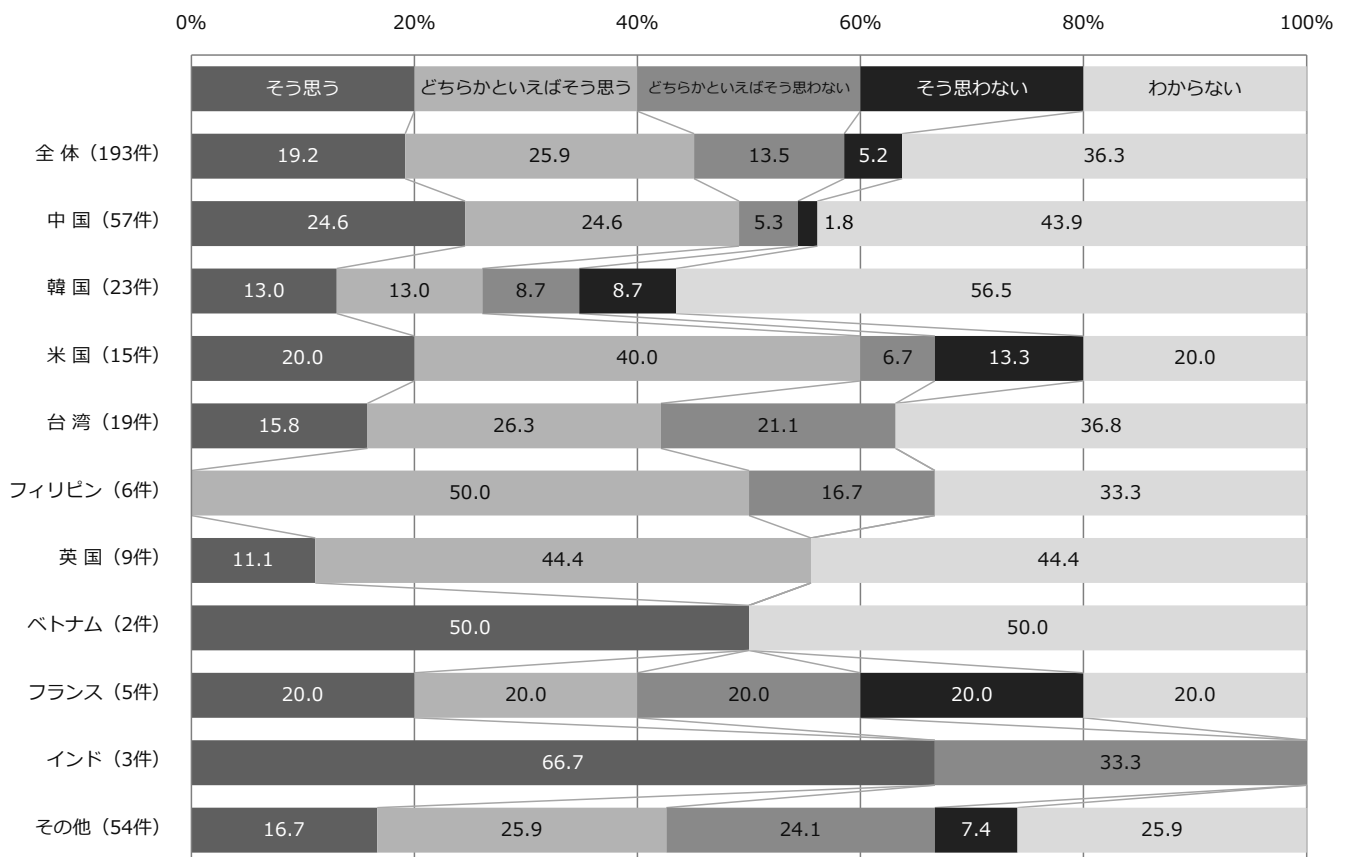
	件数	割合
そう思う	37	18.6
どちらかといえば思う	53	26.6
どちらかといえばそう思わない	28	14.1
そう思わない	11	5.5
わからない	70	35.2
全体	199	100.0

※無回答 0



外国人に対する生活支援の充実では、「そう思う」と「どちらかといえば思う」の合計が90件・45.2%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計39件・19.6%を上回っている。「わからない」は70件・35.2%であった。

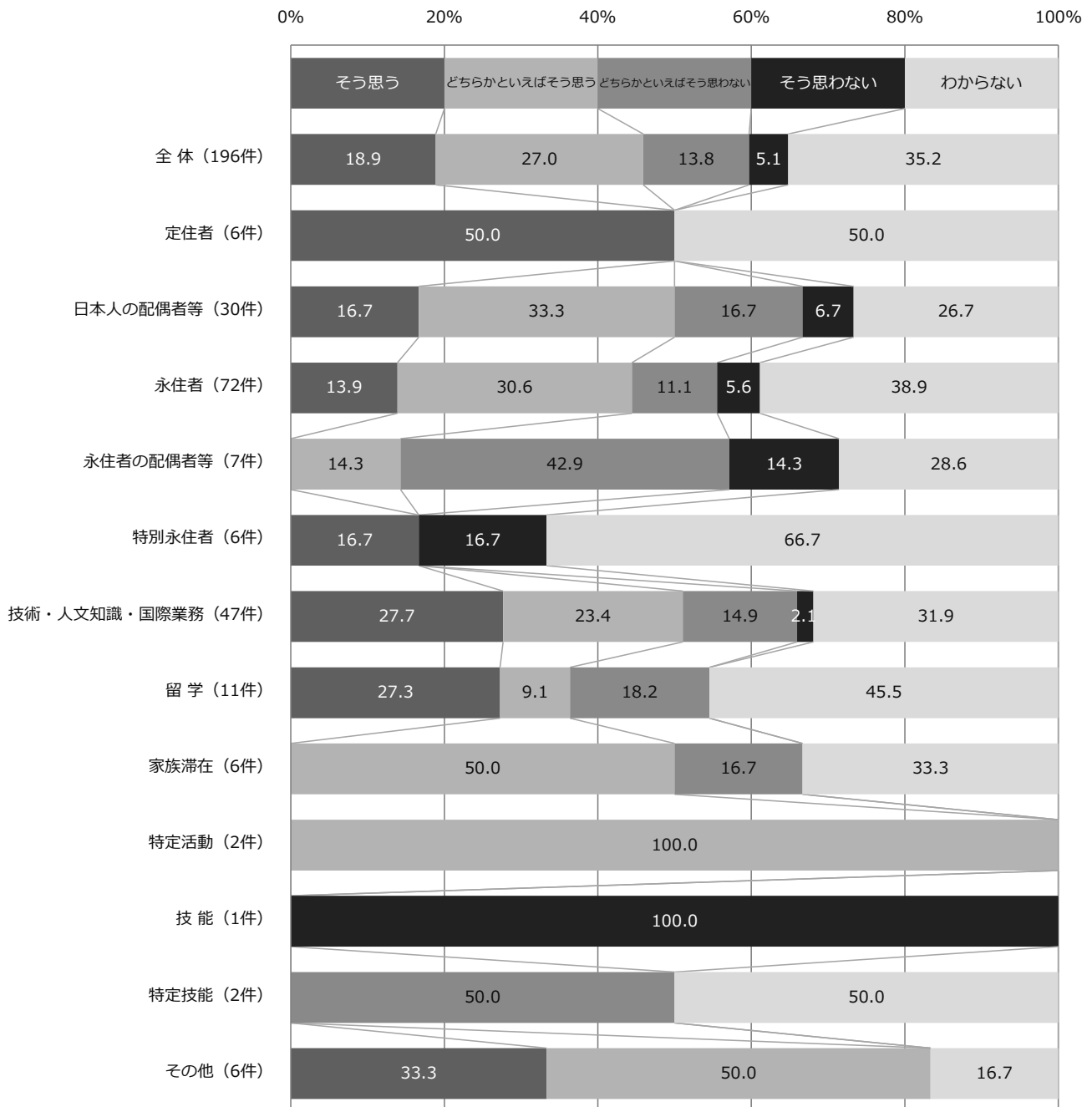
■ 『外国人に対する生活支援の充実』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

外国人に対する生活支援の充実の国籍・地域別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算では、「米国」が60.0%と高い割合であった。「中国」49.2%、「台湾」42.1%と4割以上が生活支援の充実を感じているのに比べ、「韓国」26.0%と3割以下にとどまっている（n=10未満の国籍・地域を除く）。

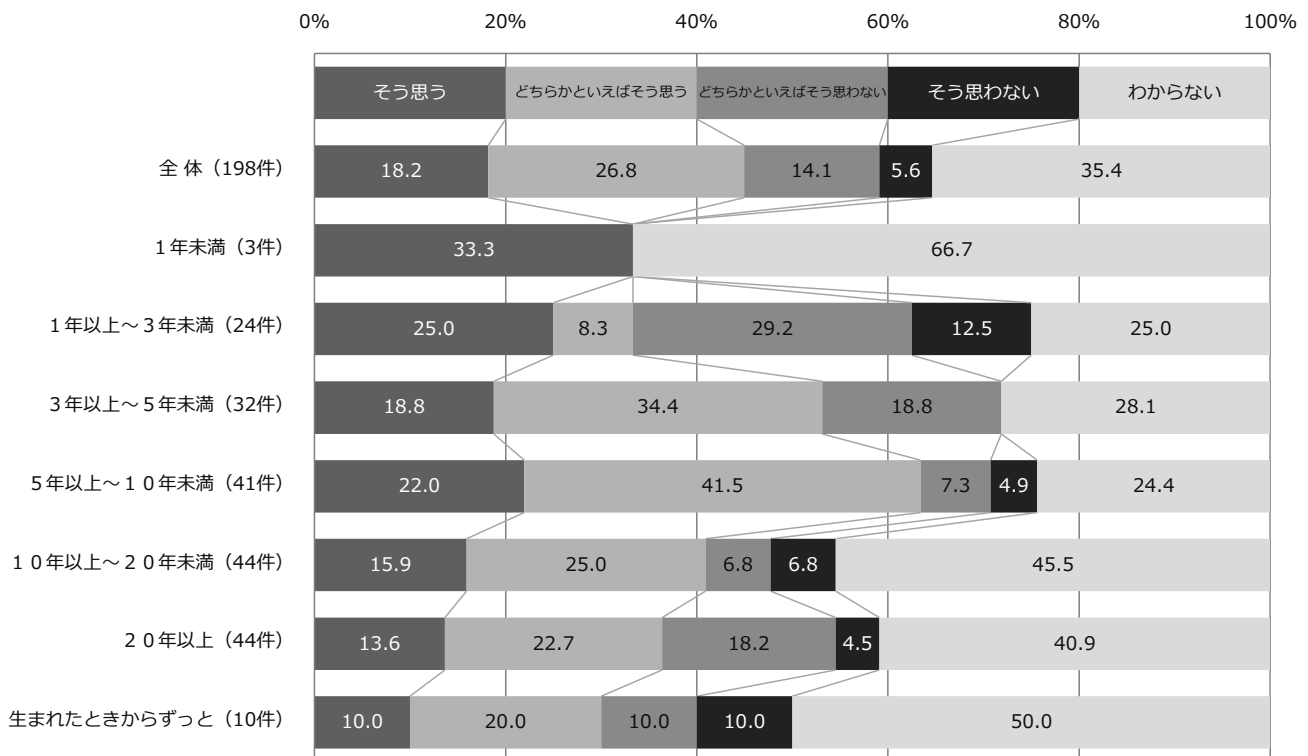
■ 『外国人に対する生活支援の充実』 在留資格割合



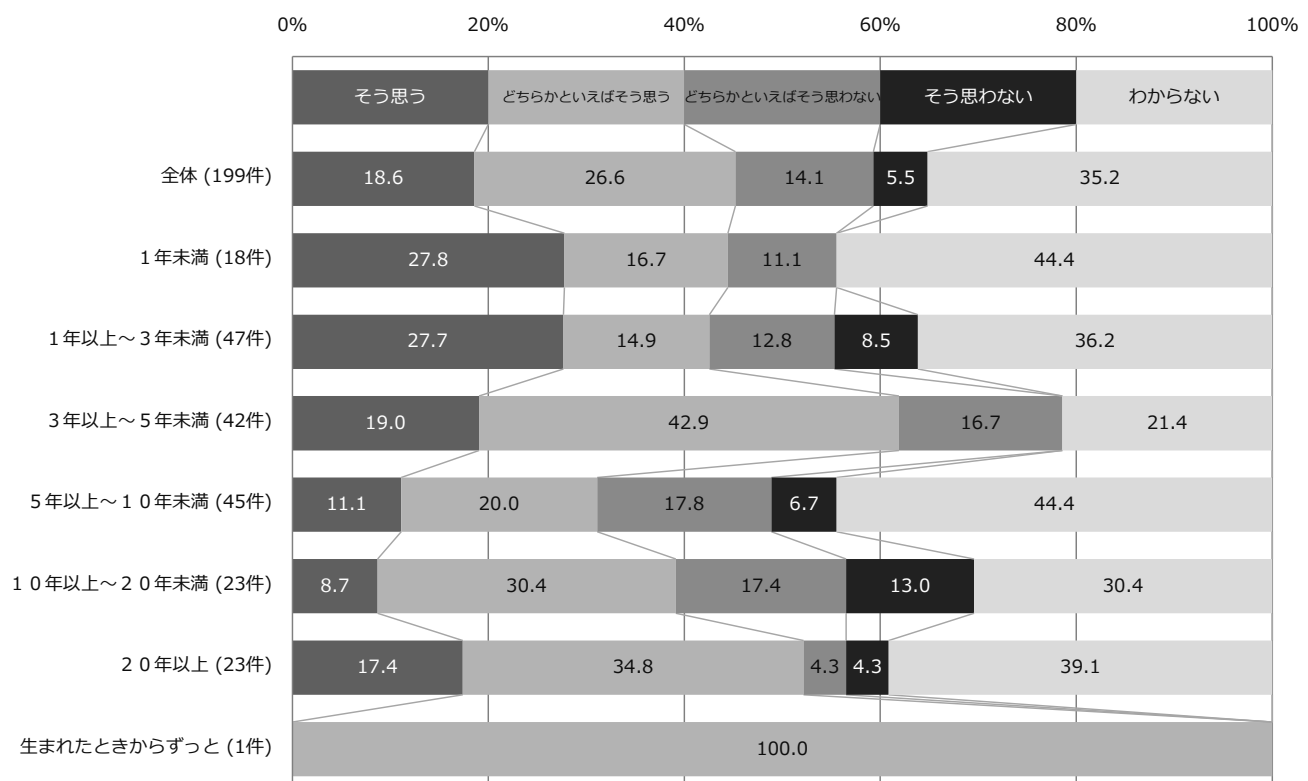
※技能実習は0件のため表示していません。

外国人に対する生活支援の充実の在留資格別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算では、「技術・人文知識・国際業務」が51.1%、「日本人の配偶者等」が50.0%と5割以上であった（n=10未満の在留資格を除く）。

■ 『外国人に対する生活支援の充実』 日本在住期間割合

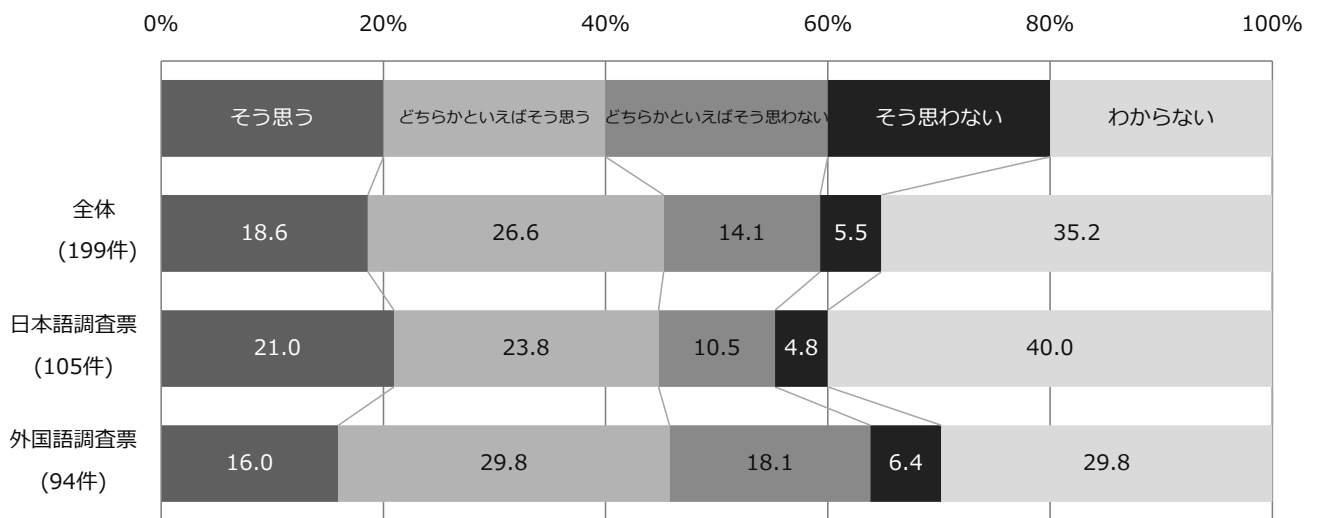


■ 『外国人に対する生活支援の充実』 世田谷区在住期間割合



外国人に対する生活支援の充実の在住期間別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算でみると、日本在住期間では、「5年以上～10年未満」63.5%の割合が最も高く、世田谷区在住期間では、「3年以上～5年未満」61.9%が最も高い（n=10未満の在住期間を除く）。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合算では、日本在住期間では、「1年以上～3年未満」41.7%の割合が最も高く、世田谷区在住期間では、「10年以上～20年未満」30.4%が最も高い。

■ 『外国人に対する生活支援の充実』 回答調査票言語割合



外国人に対する生活支援の充実の回答調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」ともに「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高く、「そう思う」では、「日本語調査票」21.0%、「外国語調査票」16.0%であった（「わからない」を除く）。

(21) 外国人に対する偏見や差別の減少

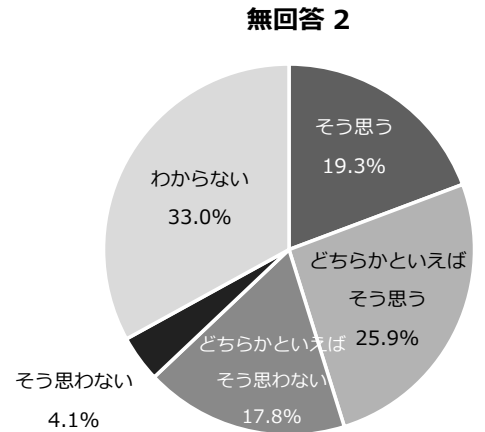
【Q23. 世田谷区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人に対する偏見や差別が減っていると思いますか(1つに○)】

外国人に対する偏見や差別の減少 (n=197)

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 件数割合

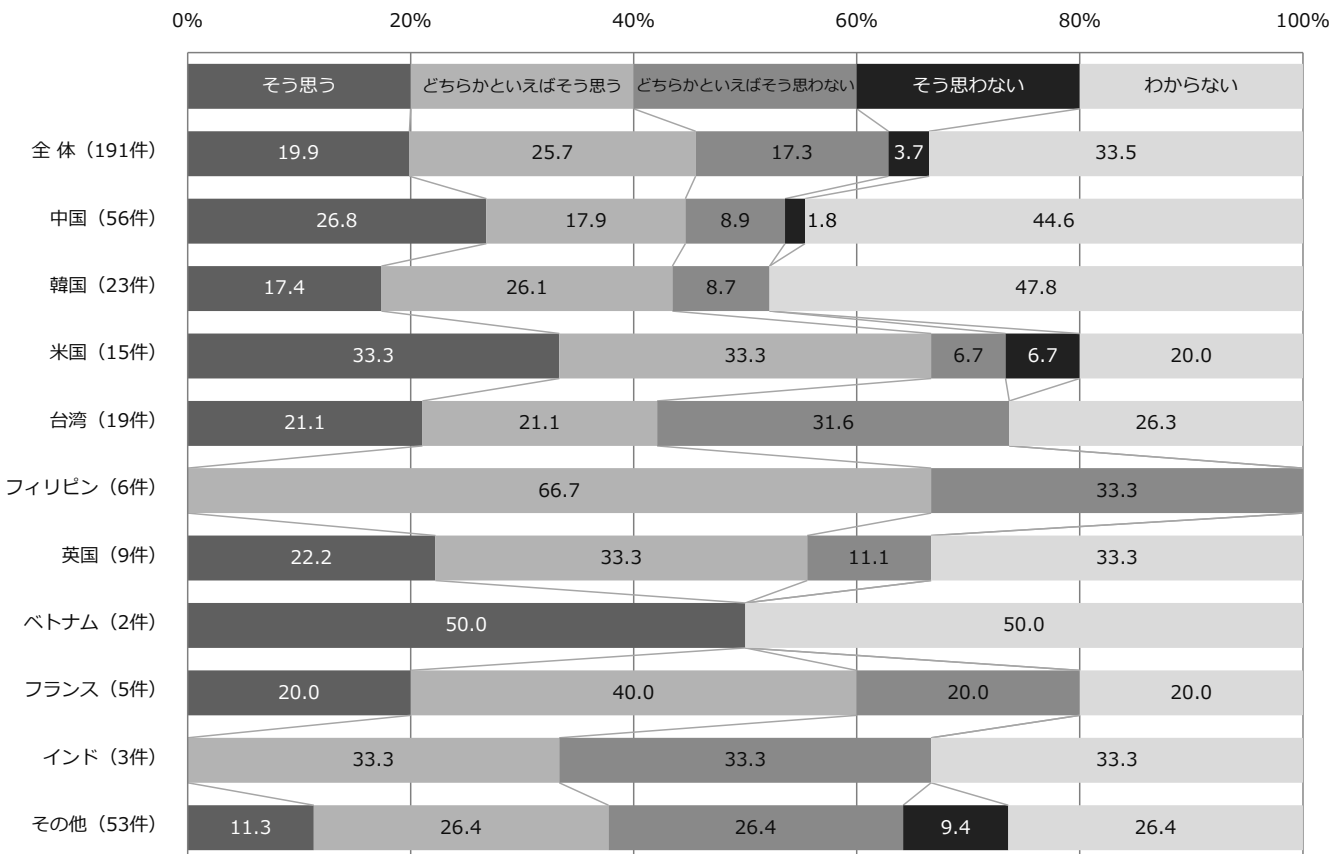
	件数	割合
そう思う	38	19.3
どちらかといえば思う	51	25.9
どちらかといえばそう思わない	35	17.8
そう思わない	8	4.1
わからない	65	33.0
全体	197	100.0

※無回答 2



外国人に対する偏見や差別の減少では、「そう思う」「どちらかといえば思う」の合算が89件・45.2%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合算が43件・21.9%で偏見や差別が減少していると感じる外国人が23.3ポイント多い。「わからない」は65件・33.0%であった。

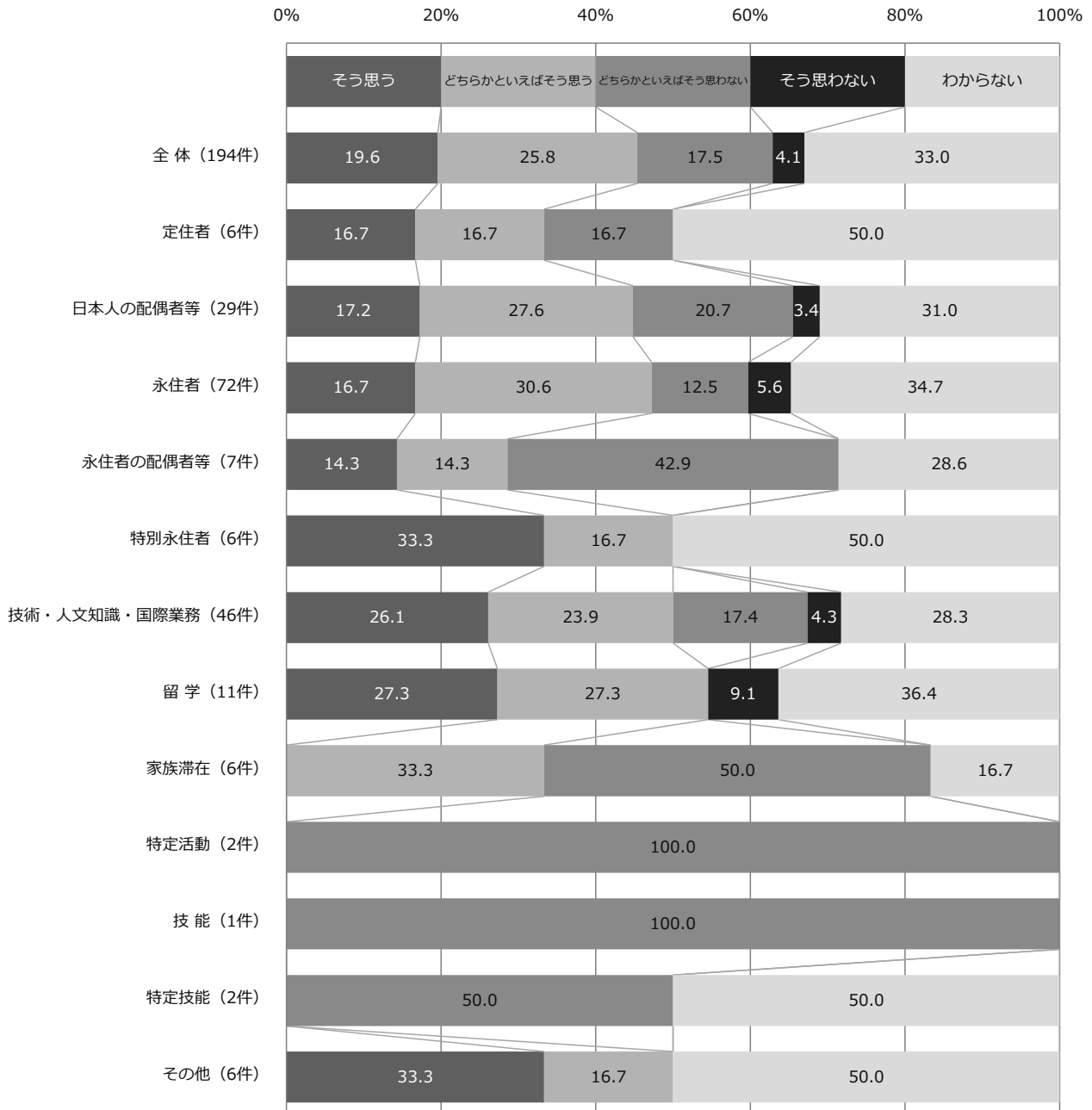
■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 国籍・地域割合



※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

外国人に対する偏見や差別の減少の国籍・地域別では、「米国」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」がともに33.3%で6割以上が偏見や差別の減少を感じている。「台湾」は「どちらかといえばそう思わない」31.6%で、他の国籍・地域に比べ偏見や差別の減少を感じていない割合が高かった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 在留資格割合

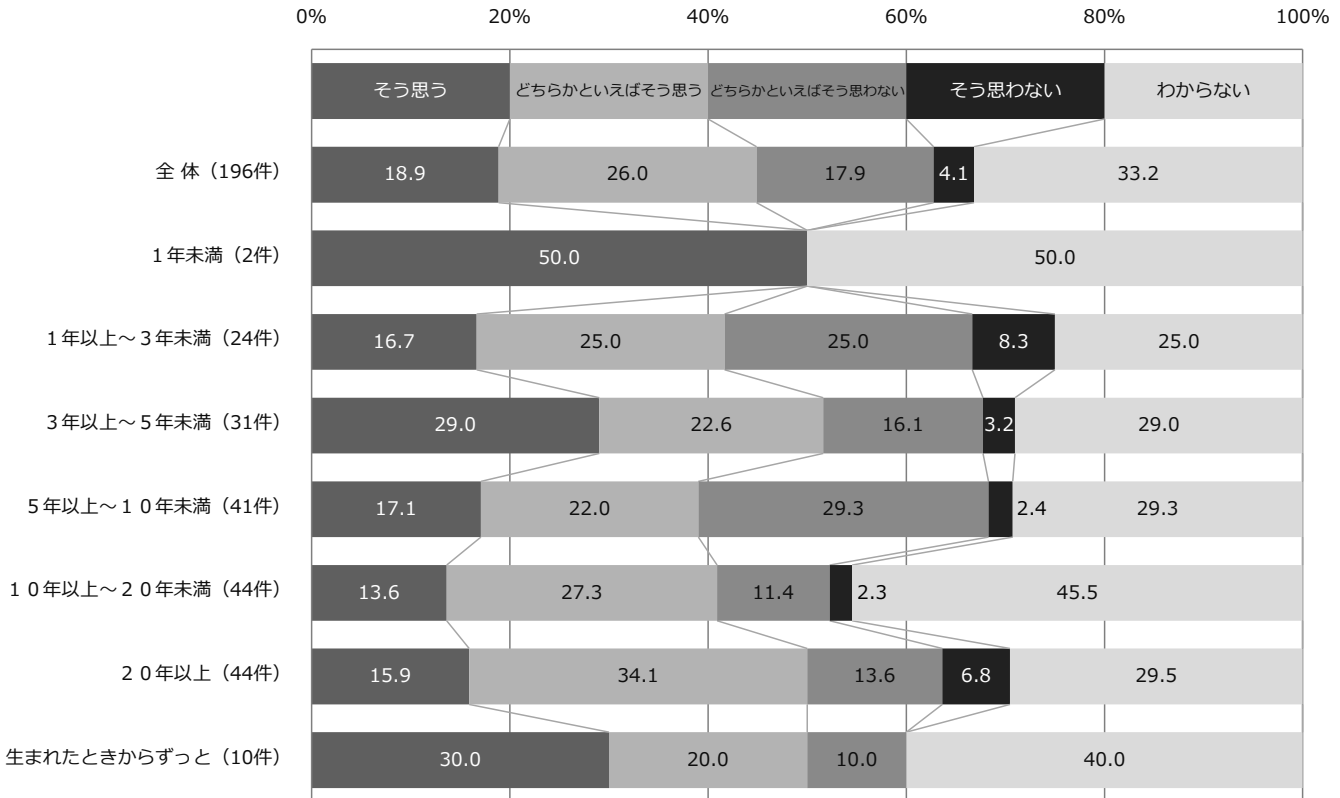


※技能実習は0件のため表示していません。

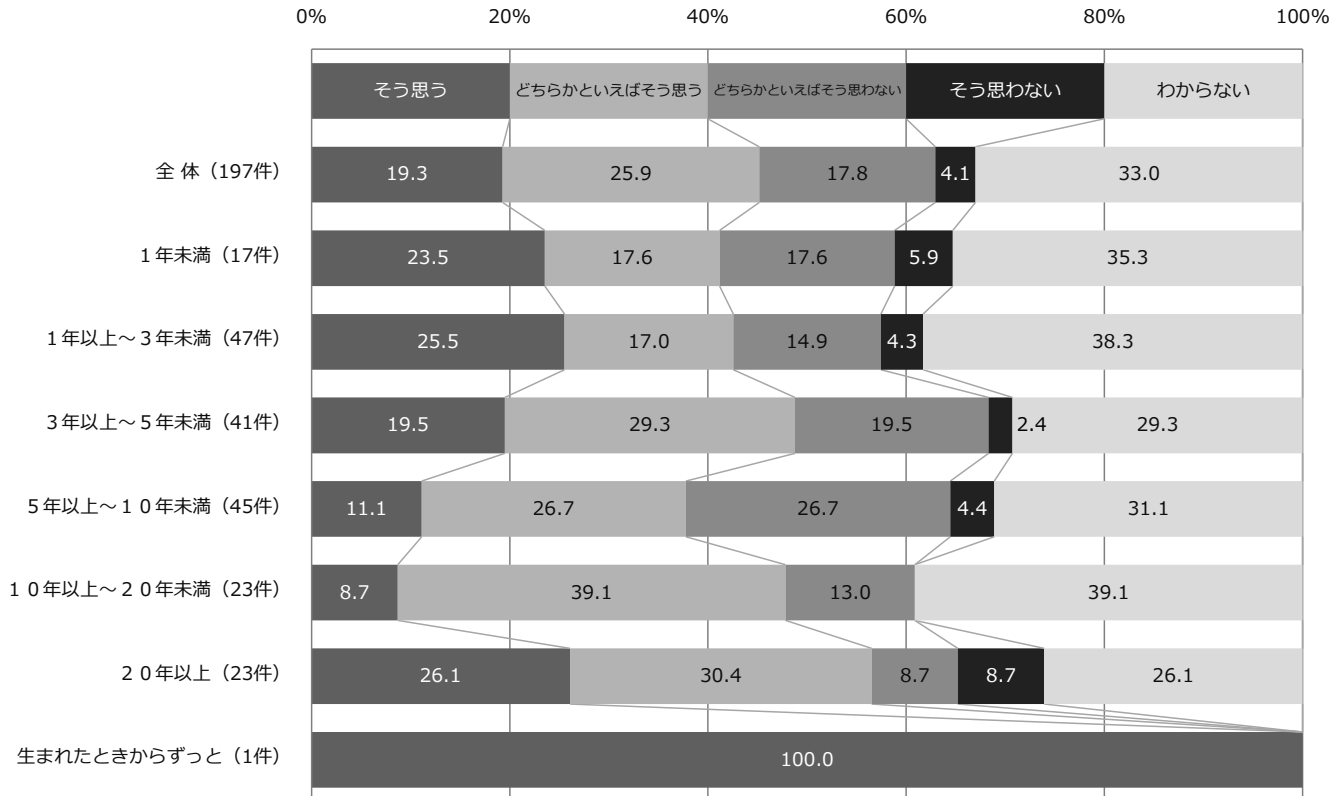
外国人に対する偏見や差別の減少の在留資格別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算で「留学」の54.6%が最も高かった。「技術・人文知識・国際業務」は50.0%で半数は偏見や差別の減少を感じている。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算で最も高かったのが、「日本人の配偶者等」の24.1%であった（n=10未満の在留資格を除く）。

最も母数の多い「永住者」でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算が47.3%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算18.1%より高かった。

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 日本在住期間割合

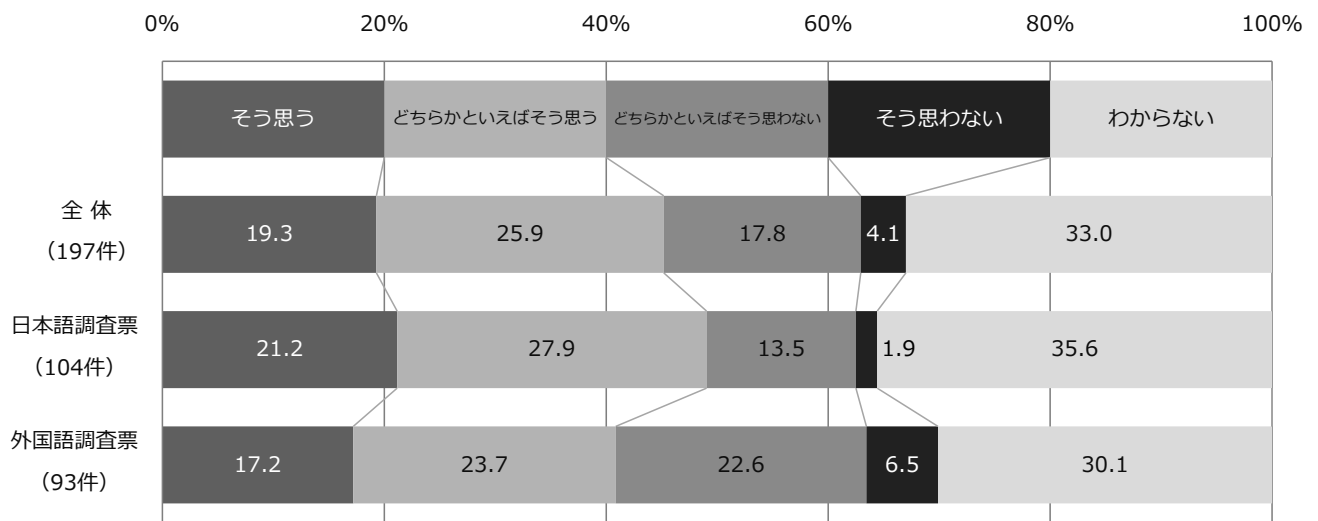


■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 世田谷区在住期間割合



外国人に対する偏見や差別の減少の在住期間別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算で最も高かったのは、日本在住期間「3年以上～5年未満」の51.6%、世田谷区在住期間では「20年以上」56.5%であった（n=10未満の在住期間を除く）。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算でみると、30%を超えているのは、日本在住期間「1年以上～3年未満」33.3%、「5年以上～10年未満」31.7%と世田谷区在住期間「5年以上～10年未満」31.1%であった。

■ 『外国人に対する偏見や差別の減少』 回答調査票言語割合



外国人に対する偏見や差別の減少の回答調査票言語別では、「日本語調査票」「外国語調査票」とともに「どちらかといえばそう思う」が最も高い（「わからない」を除く）。「そう思う」でみると「日本語調査票」21.2%に対し「外国語調査票」では17.2%と低くなっている。

Ⅱ-4. 行政サービスについて

(1) 世田谷区役所利用時に困ったこと 【Q24. あなたが世田谷区役所を利用したとき、困ったことはありましたか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『世田谷区役所利用時に困ったこと』件数割合

	件数	割合
どの窓口を利用していいかわからなかった	28	14.3
書類や区役所内の案内が日本語のため、内容がわからなかった	20	10.2
ことばが通じなかった	28	14.3
手続きがわからなかった	25	12.8
職員の対応が不親切だった	8	4.1
その他	12	6.1
特にない	123	62.8
全体	196	100.0

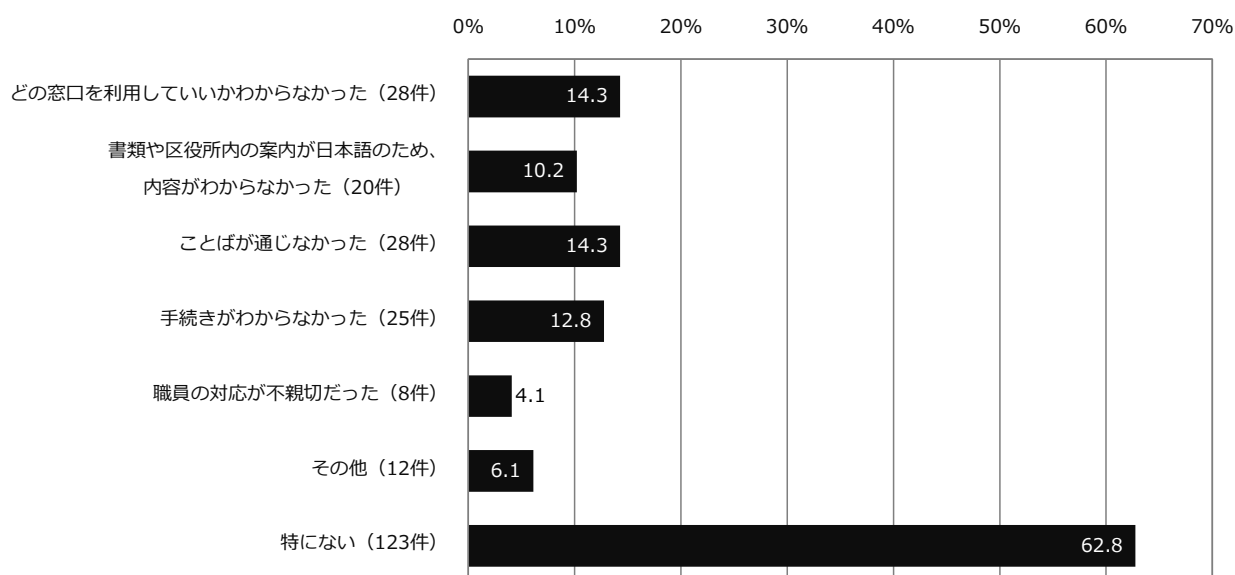
※無回答：3 ※累計（n）：244／累計（%）：124.5

■ 「その他」12件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
待ち時間が長い	5	2.6
職員の対応	2	1.0
利用したことがない	2	1.0
HP掲載資料の不足	1	0.5

※割合は（n=197）で算出

世田谷区役所利用時に困ったこと（n=196）無回答3



世田谷区役所利用時に困ったことでは、「どの窓口を利用していいかわからなかった」及び「ことばが通じなかった」が14.3%で最も高く、続いて「手続きがわからなかった」12.8%、「書類や区役所内の案内が日本語のため、内容がわからなかった」10.2%、「職員の対応が不親切だった」4.1%と続いた（「その他」「特にない」は除く）。

■ 『世田谷区役所利用時に困ったこと』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	かどの窓 口を利用 していい	か ら な か た め 内 容 が わ	日 本 語 の 区 内 の 案 内 が	書 類 の 役 所 内 容 が	こ と ば が 通 じ な か っ た	手 続 き が わ か ら な か っ た	た 職 員 の 対 応 が 不 親 切 だ っ た	そ の 他	特 に な い
全体	190	14.7	9.5	12.6	11.6	3.7	6.3	64.7		
中国	57	21.1	3.5	7.0	10.5	5.3	7.0	63.2		
韓国	23	4.3	4.3	-	4.3	8.7	8.7	73.9		
朝鮮	-	-	-	-	-	-	-	-		
米国	14	-	-	7.1	7.1	7.1	14.3	85.7		
台湾	19	31.6	10.5	-	21.1	-	5.3	63.2		
フィリピン	6	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	66.7		
英国	8	12.5	25.0	-	12.5	12.5	-	50.0		
ベトナム	2	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0		
フランス	5	20.0	-	20.0	-	-	-	60.0		
ネパール	-	-	-	-	-	-	-	-		
インド	3	33.3	66.7	66.7	-	-	-	33.3		
その他	53	7.5	15.1	26.4	17.0	-	3.8	62.3		

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

世田谷区役所利用時に困ったことの国籍・地域別では、「中国」では「どの窓口を利用していいかわからなかった」21.1%が最も高かった。「韓国」では、「職員の対応が不親切だった」8.7%が最も高かった。「台湾」では、「どの窓口を利用していいかわからなかった」が31.6%と最も高く、「米国」では、「ことばが通じなかった」「手続きがわからなかった」「職員の対応が不親切だった」の7.1%が最も高かった。

(2) 世田谷区に期待する取組み 【Q25. あなたが世田谷区に期待する取組みは何ですか（あてはまるもの全てに○）。】

■ 『世田谷区に期待する取組み』件数割合

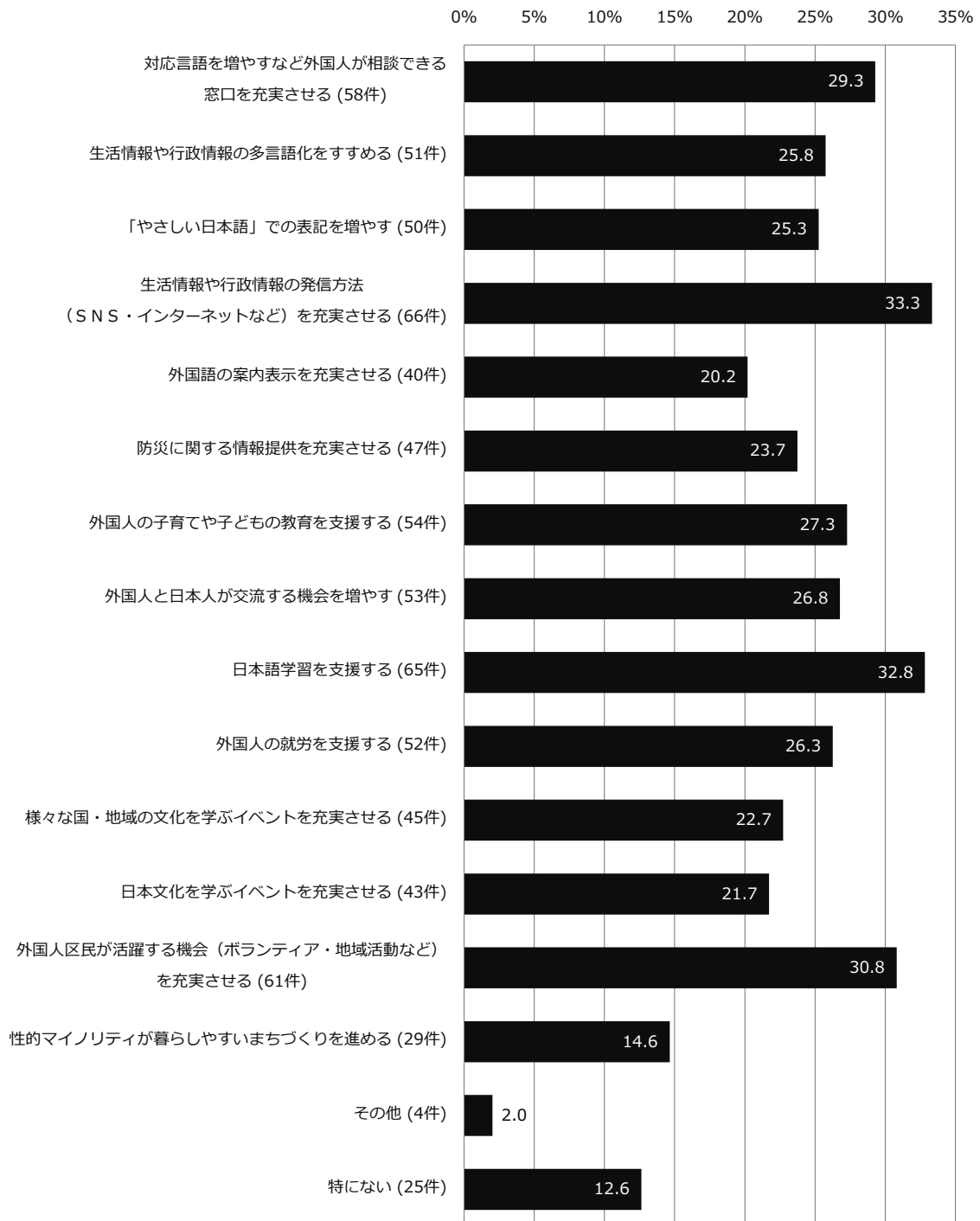
	件数	割合
対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる	58	29.3
生活情報や行政情報の多言語化をすすめる	51	25.8
「やさしい日本語」での表記を増やす	50	25.3
生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる	66	33.3
外国語の案内表示を充実させる	40	20.2
防災に関する情報提供を充実させる	47	23.7
外国人の子育てや子どもの教育を支援する	54	27.3
外国人と日本人が交流する機会を増やす	53	26.8
日本語学習を支援する	65	32.8
外国人の就労を支援する	52	26.3
様々な国・地域の文化を学ぶイベントを充実させる	45	22.7
日本文化を学ぶイベントを充実させる	43	21.7
外国人区民が活躍する機会（ボランティア・地域活動など）を充実させる	61	30.8
性的マイノリティが暮らしやすいまちづくりを進める	29	14.6
その他	4	2.0
特になし	25	12.6
全 体	198	100.0

※無回答 1 ※累計 (n) : 743 / 累計 (%) : 375.3

■ 「その他」4件内記述回答のあった主な内容

- ・税金を下げたい
- ・参政権、選挙権等の要望

世田谷区に期待する取組み (n=198) 無回答1



世田谷区に期待する取組みでは、「生活情報や行政情報の発信方法 (SNS・インターネットなど) を充実させる」が66件・33.3%で最も多かった。次いで「日本語学習を支援する」が65件・32.8%、「外国人区民が活躍する機会 (ボランティア・地域活動など) を充実させる」61件・30.8%、「対応言語を増やすなど外国人が相談できる窓口を充実させる」58件・29.3%の順で多かった。また、「特にない」は25件・12.6%であった。

■ 『世田谷区に期待する取組み』 年齢割合

年 齢	n	対 応 語 句 充 実 が 相 談 可 能 な 窓 口 充 実	生 活 情 報 行 政 情 報 の 多 言 化 活 情 報 行 政 情 報 の 多 言	記 載 可 能 な 日 本 語 を 増 や す	方 法 (SNS 等) を 充 実 さ せ る ト (SNS 等) を 充 実 さ せ る	外 国 語 の 案 内 表 示 を 充 実 さ せ る 外 国 語 の 案 内 表 示 を 充 実 さ せ る	防 災 関 連 の 情 報 提 供 を 充 実 さ せ る 防 災 関 連 の 情 報 提 供 を 充 実 さ せ る	外 国 人 の 子 育 て や 子 ども の 教 育 を 支 援 す る 外 国 人 の 子 育 て や 子 ども の 教 育 を 支 援 す る	外 国 人 と 日 本 人 が 交 流 す る 機 会 を 増 や す 外 国 人 と 日 本 人 が 交 流 す る 機 会 を 増 や す
全 体	198	29.3	25.8	25.3	33.3	20.2	23.7	27.3	26.8
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	37	27.0	24.3	29.7	51.4	13.5	27.0	13.5	21.6
30～39歳	68	27.9	23.5	23.5	30.9	19.1	25.0	33.8	30.9
40～49歳	42	35.7	31.0	16.7	31.0	19.0	14.3	42.9	26.2
50～59歳	22	36.4	31.8	36.4	22.7	36.4	36.4	18.2	22.7
60～69歳	21	19.0	14.3	33.3	28.6	19.0	19.0	14.3	28.6
70～79歳	3	33.3	66.7	-	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
80歳以上	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0

年 齢	n	日 本 語 学 習 を 支 援 す る 日 本 語 学 習 を 支 援 す る	外 国 人 の 就 労 を 支 援 す る 外 国 人 の 就 労 を 支 援 す る	多 様 な 地 域 文 化 を 学 ぶ イ ヴェント・地 域 文 化 を 学 ぶ	日 本 文 化 を 学 ぶ 充 実 さ せ る	外 国 人 区 民 が 活 躍 す る 機 会 な (ボ ラン ティ ア) を 充 実 さ せ る	性 的 多 様 性 を 支 援 す る や す い マ イ ナ リ ティ ー を 支 援 す る	そ の 他	特 に な い
全 体	198	32.8	26.3	22.7	21.7	30.8	14.6	2.0	12.6
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	37	21.6	29.7	21.6	16.2	21.6	29.7	-	8.1
30～39歳	68	38.2	27.9	27.9	23.5	36.8	11.8	1.5	11.8
40～49歳	42	38.1	28.6	19.0	26.2	31.0	14.3	-	4.8
50～59歳	22	36.4	27.3	18.2	27.3	36.4	9.1	-	13.6
60～69歳	21	28.6	19.0	28.6	14.3	33.3	9.5	9.5	28.6
70～79歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	5	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	60.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。

世田谷区に期待する取組みの年齢別では、「20～29歳」で「生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる」が51.4%で最も高く、「30～39歳」で「日本語学習を支援する」が38.2%で最も高い。「40～49歳」で「外国人の子育てや子どもの教育を支援する」が42.9%、「50～59歳」「60～69歳」では「やさしい日本語での表記を増やす」「外国人区民が活躍する機会（ボランティア・地域活動など）を充実させる」がともに最も高い項目に入っていた。

■ 『世田谷区に期待する取組み』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	対人対応が相談でき窓口を充	生活情報や行政情報の多言	やさしい日本語での表記を	生活情報や行政情報の発信	外国人語の案内表示を充実	防災に関する情報提供を充	外国人の支援子育て子どもの	外国人と日本人が交流する
全 体	192	28.1	24.5	25.0	33.9	20.3	23.4	26.0	27.1
中国	57	31.6	22.8	22.8	38.6	14.0	26.3	28.1	22.8
韓国	23	13.0	13.0	17.4	39.1	4.3	17.4	17.4	13.0
米国	15	26.7	20.0	13.3	33.3	26.7	40.0	20.0	13.3
台湾	19	15.8	15.8	26.3	36.8	10.5	26.3	15.8	42.1
フィリピン	6	66.7	50.0	33.3	-	66.7	16.7	33.3	33.3
英国	9	11.1	22.2	22.2	33.3	-	22.2	33.3	44.4
ベトナム	2	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0
フランス	5	40.0	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0	20.0
インド	3	66.7	66.7	-	33.3	66.7	-	33.3	66.7
その他	53	32.1	30.2	34.0	32.1	32.1	20.8	28.3	30.2

国籍・地域	n	日本語学習を支援する	外国人の就労を支援する	様々な国の地域文化を学ぶ	日本文化を学ぶイベントを	外国人区民が活躍する機会	性的マイノリティが暮らす	その他	特 に な い
全 体	192	31.8	26.0	22.9	20.8	30.7	15.1	2.1	13.0
中国	57	26.3	35.1	28.1	24.6	36.8	19.3	-	7.0
韓国	23	4.3	13.0	17.4	8.7	21.7	8.7	4.3	30.4
米国	15	33.3	26.7	20.0	13.3	26.7	26.7	13.3	26.7
台湾	19	26.3	26.3	31.6	21.1	31.6	5.3	-	21.1
フィリピン	6	33.3	50.0	33.3	50.0	33.3	-	-	-
英国	9	55.6	44.4	22.2	33.3	33.3	11.1	-	11.1
ベトナム	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
フランス	5	60.0	-	-	20.0	40.0	20.0	-	-
インド	3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-
その他	53	43.4	20.8	17.0	18.9	28.3	17.0	1.9	7.5

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」「特にない」は除く）。
※朝鮮とネパールは0件のため表示しておりません。

世田谷区に期待する取組みの国籍・地域別では、「中国」は38.6%、「韓国」は39.1%とともに「生活情報や行政情報の発信方法（SNS・インターネットなど）を充実させる」が最も高く、「台湾」は「外国人と日本人が交流する機会を増やす」42.1%、「米国」は「防災に関する情報提供を充実させる」40.0%が最も高かった（n=10未満の国籍・地域を除く）。

(3) 外国人向け出版物・取組み

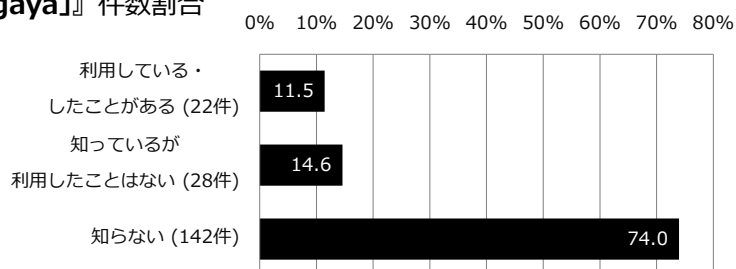
【Q26. あなたは世田谷区が行っている以下の出版物や取組みを知っていますか。また、利用したことがありますか。a)～i)までの出版物や取組みについて、1～3のうちあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(それぞれ1つに○)。】

<出版物>

■ 『a) 外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	22	11.5
知っているが利用したことはない	28	14.6
知らない	142	74.0
全 体	192	100.0

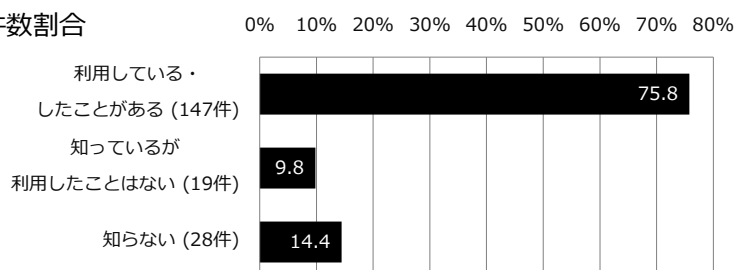
※無回答 7



■ 『b) 「資源とごみの出し方・分け方」』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	147	75.8
知っているが利用したことはない	19	9.8
知らない	28	14.4
全 体	194	100.0

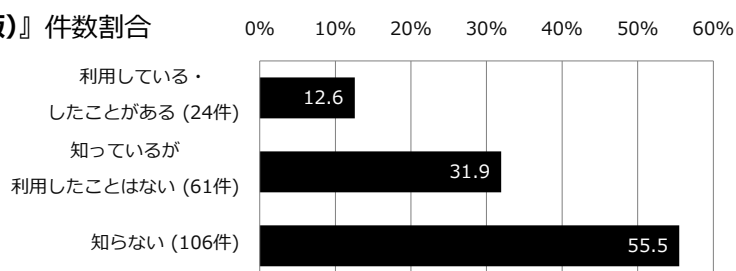
※無回答 5



■ 『c) 災害時区民行動マニュアル (マップ版)』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	24	12.6
知っているが利用したことはない	61	31.9
知らない	106	55.5
全 体	191	100.0

※無回答 8



世田谷区が発行している外国人向け出版物「外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」」では、「知らない」が142件・74.0%で最も多く、「利用している・したことがある」は22件・11.5%であった。認知度（「利用している・したことがある」「知っているが利用したことはない」の合算）では26.0%であった。

「資源とごみの出し方・分け方」では、「利用している・したことがある」が147件・75.8%で最も多く、認知度では85.6%であった。

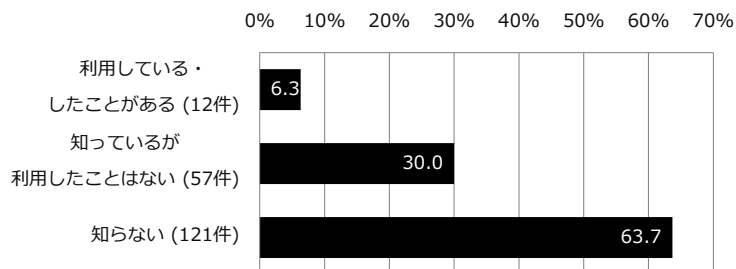
「災害時区民行動マニュアル (マップ版)」では、「知らない」が106件・55.5%と最も多く、「利用している・したことがある」は12.6%にとどまっている。認知度では44.5%であった。

<取組み>

■ 『d) 日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	12	6.3
知っているが利用したことはない	57	30.0
知らない	121	63.7
全 体	190	100.0

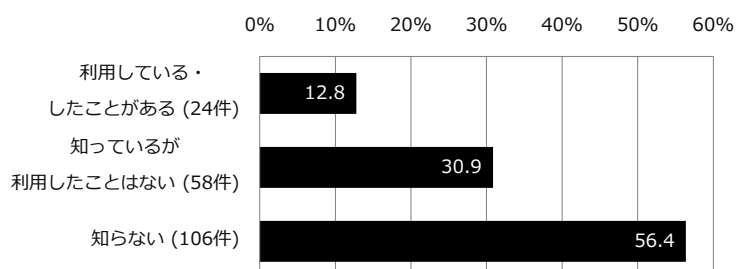
※無回答 9



■ 『e) 世田谷区ホームページの外国人向けページ』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	24	12.8
知っているが利用したことはない	58	30.9
知らない	106	56.4
全 体	188	100.0

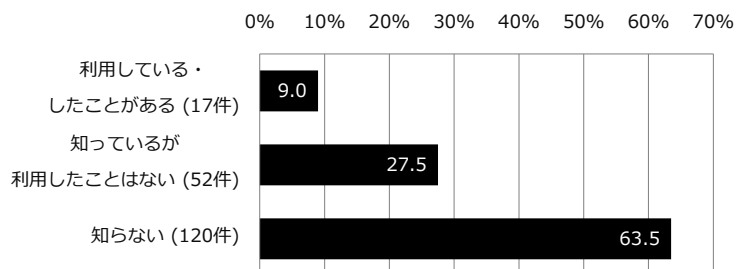
※無回答 11



■ 『f) 外国人向けの日本語教室』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	17	9.0
知っているが利用したことはない	52	27.5
知らない	120	63.5
全 体	189	100.0

※無回答 10



「日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口」では、「知らない」が121件・63.7%で最も多く、認知度では36.3%であった。

「世田谷区ホームページの外国人向けページ」では、「知らない」が106件・56.4%で最も多く、「利用している・したことがある」は12.8%であった。認知度では43.6%であった。

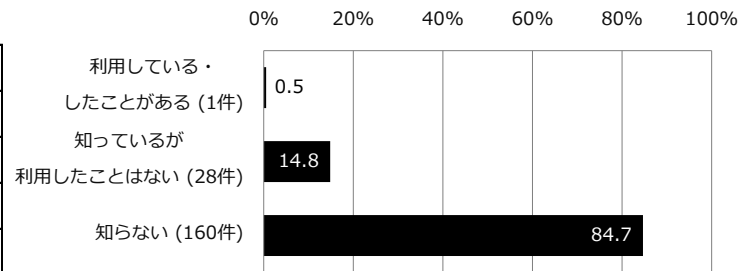
「外国人向けの日本語教室」では、「知らない」が120件・63.5%と最も多く、認知度では36.5%であった。

<取組み>

■ 『g) 帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	1	0.5
知っているが利用したことはない	28	14.8
知らない	160	84.7
全 体	189	100.0

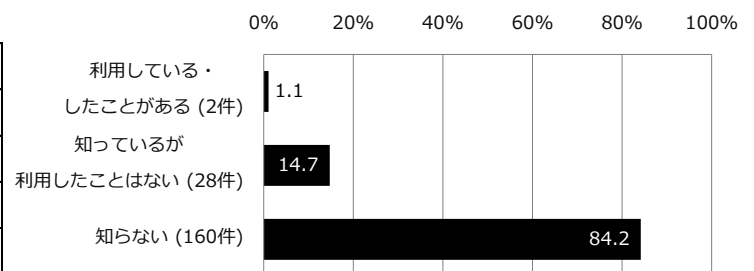
※無回答 10



■ 『h) せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	2	1.1
知っているが利用したことはない	28	14.7
知らない	160	84.2
全 体	190	100.0

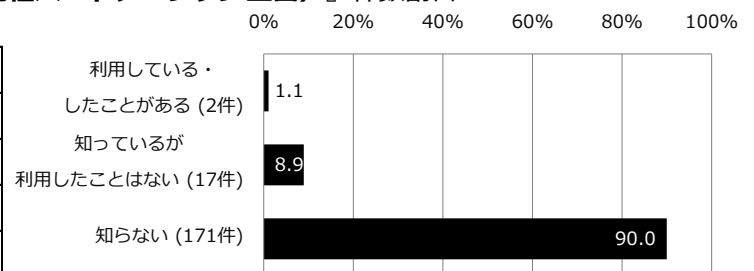
※無回答 9



■ 『i) 世田谷区パートナーシップの宣誓（同性パートナーシップ宣誓）』 件数割合

	件数	割合
利用している・したことがある	2	1.1
知っているが利用したことはない	17	8.9
知らない	171	90.0
全 体	190	100.0

※無回答 9



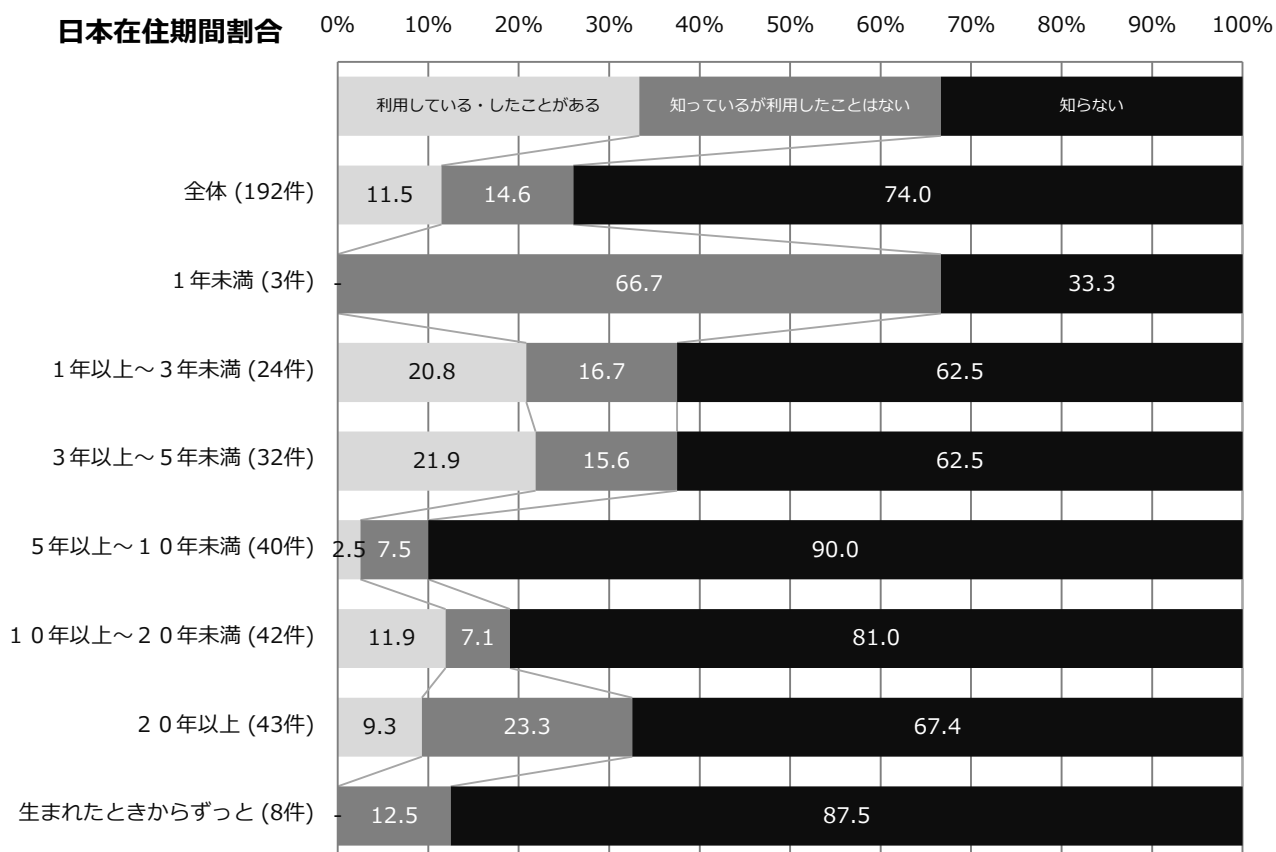
「帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室」では、「知らない」が160件・84.7%で最も多く、認知度では15.3%であった。

「せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）」では、「知らない」が160件・84.2%で最も多く、認知度では15.8%であった。

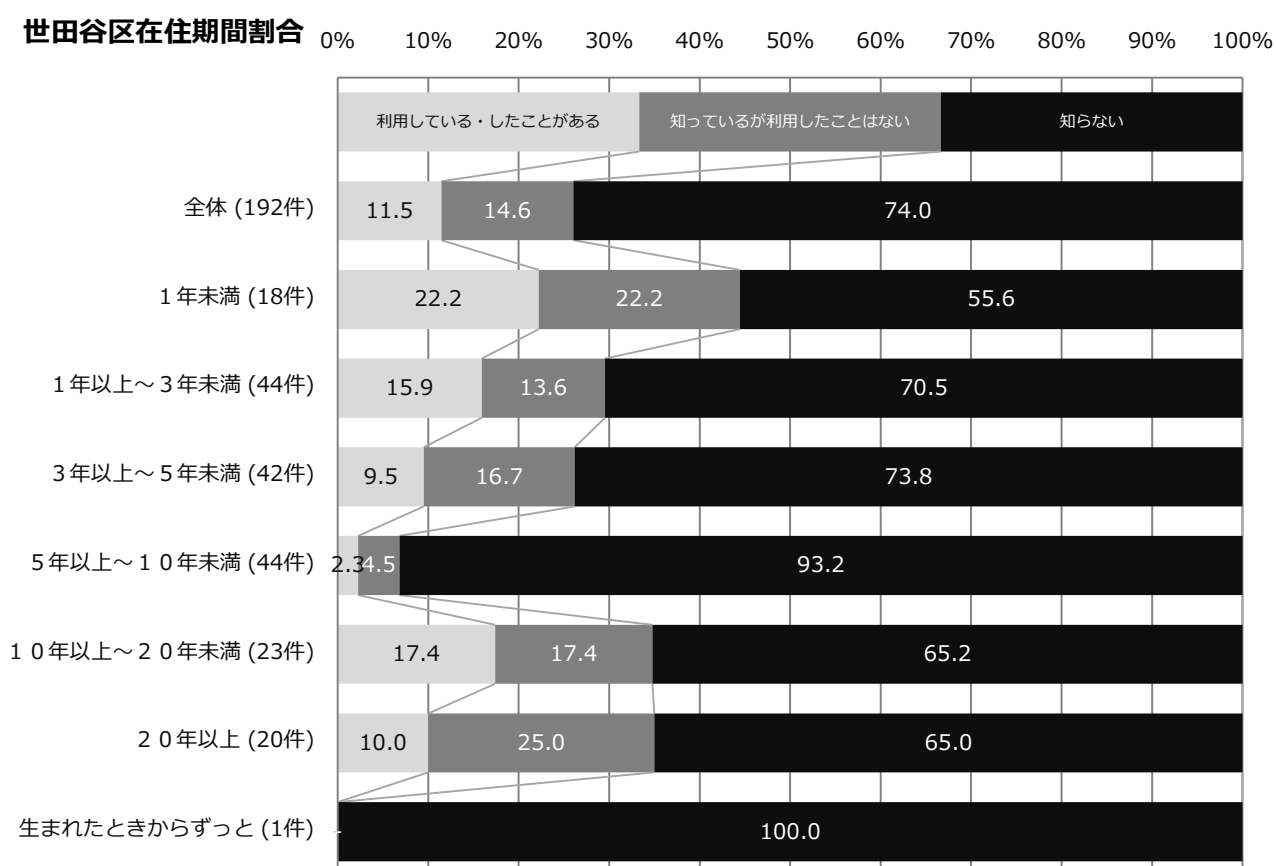
「世田谷区パートナーシップの宣誓（同性パートナーシップ宣誓）」では、「知らない」が171件・90.0%と最も多く、認知度では10.0%であった。

■ 出版物<外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」>認知・利用

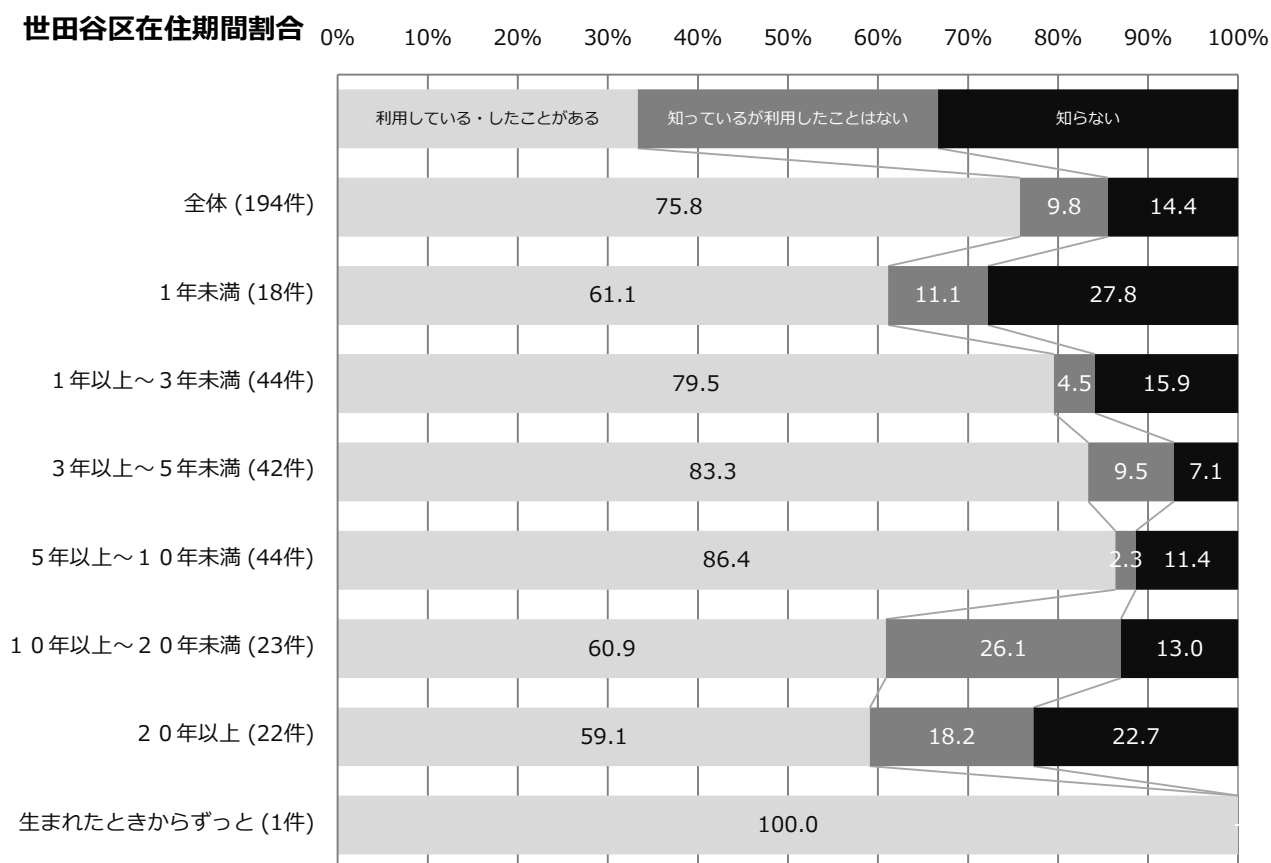
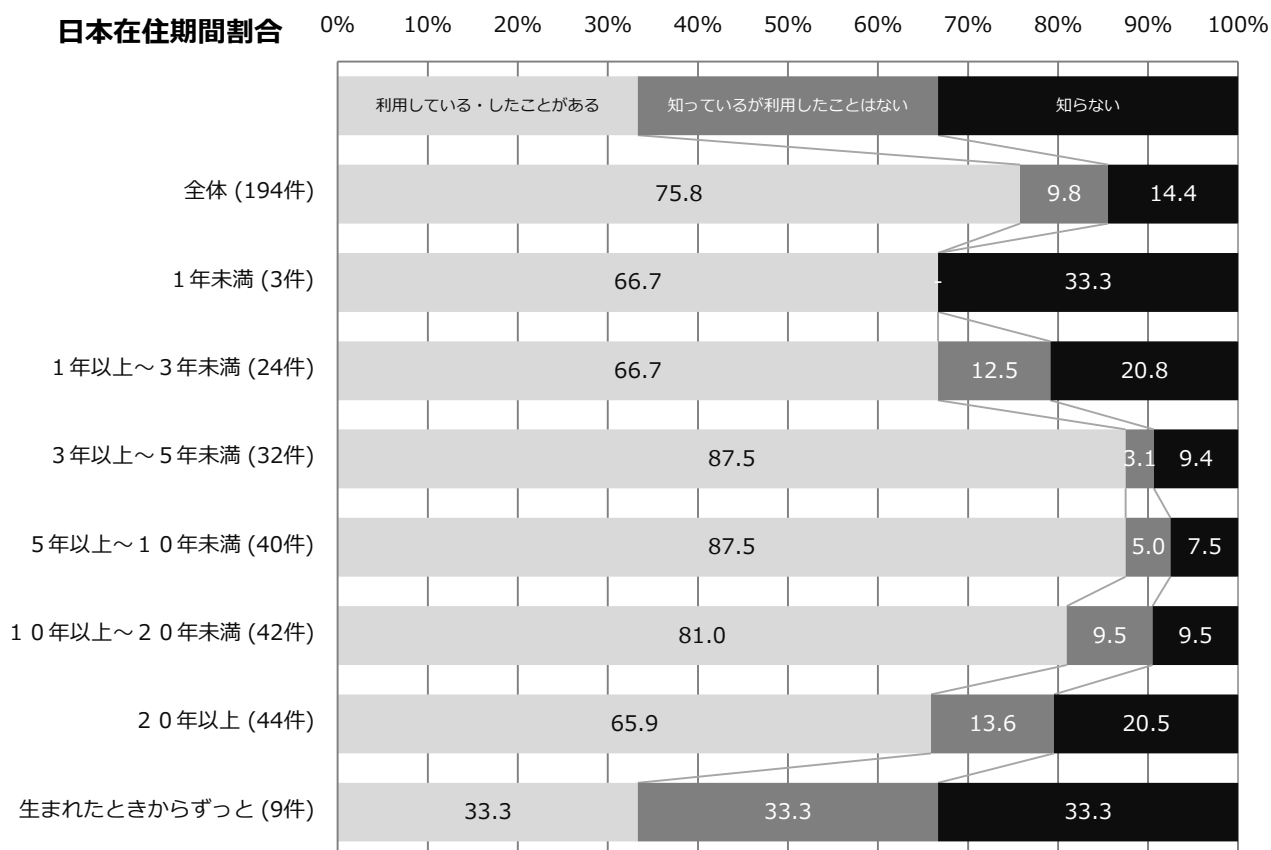
日本在住期間割合



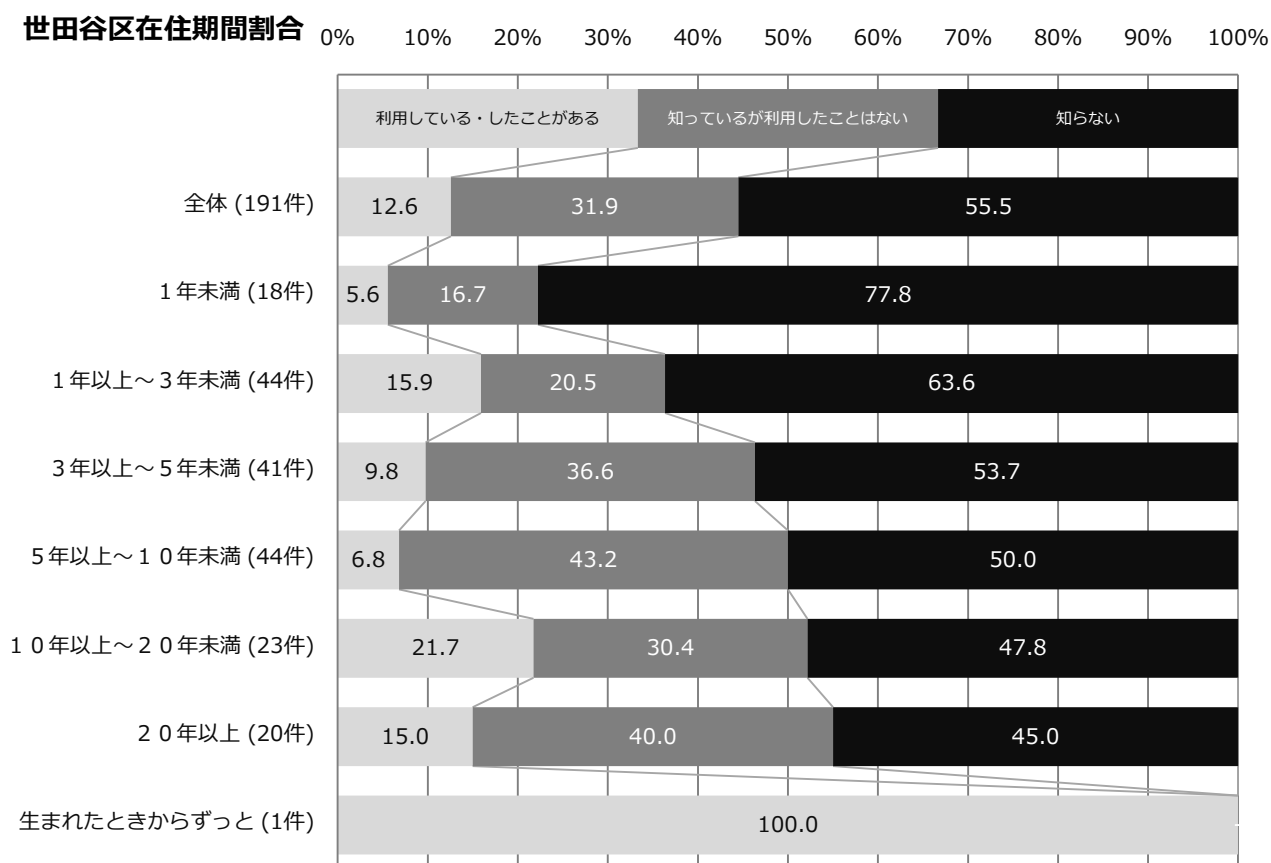
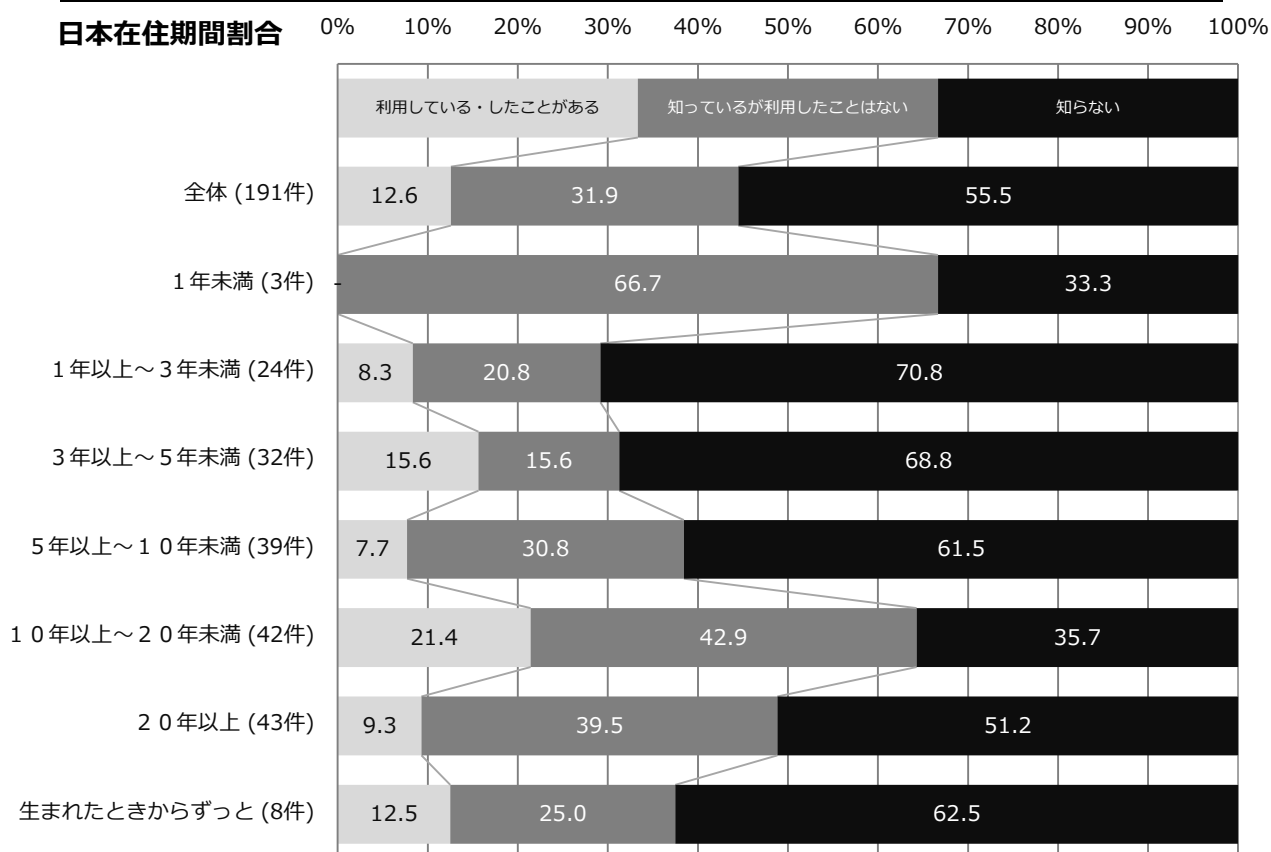
世田谷区在住期間割合



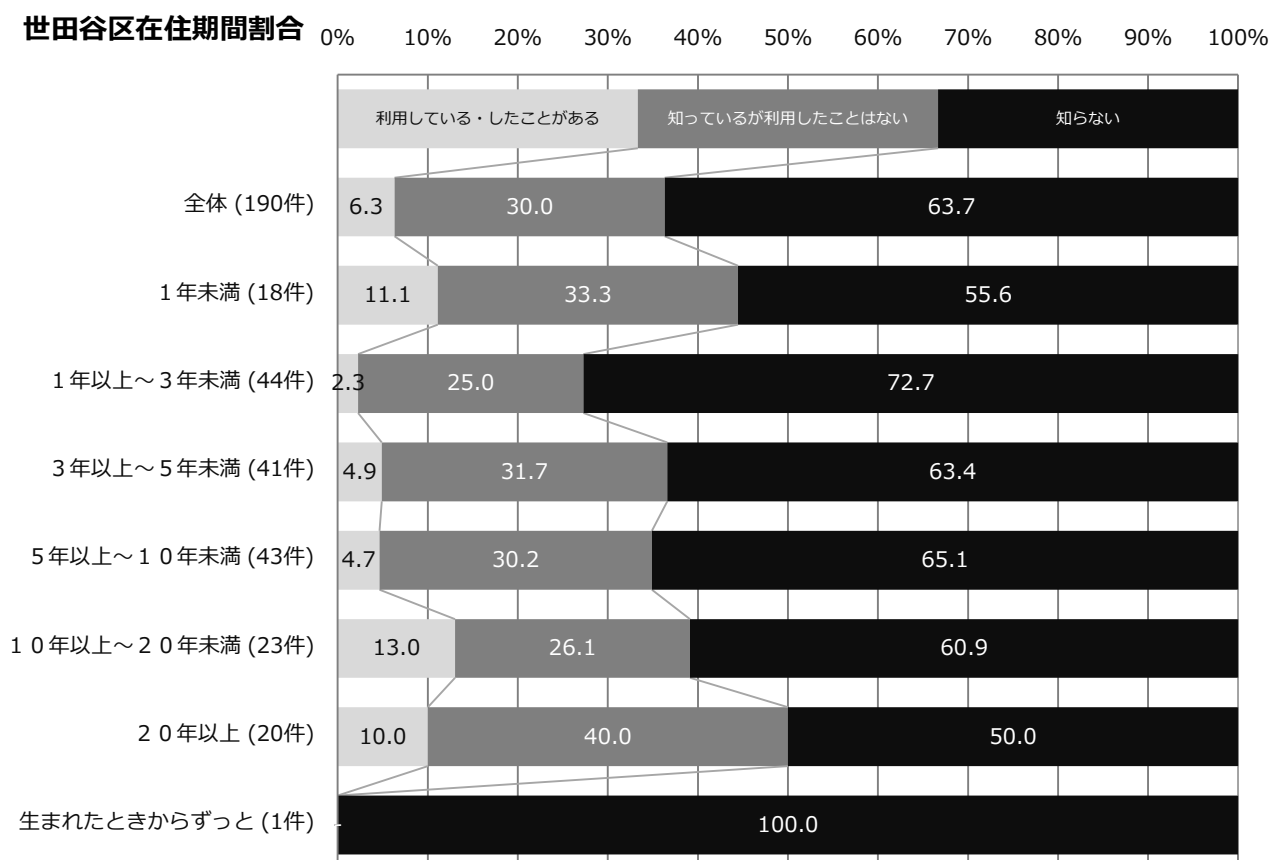
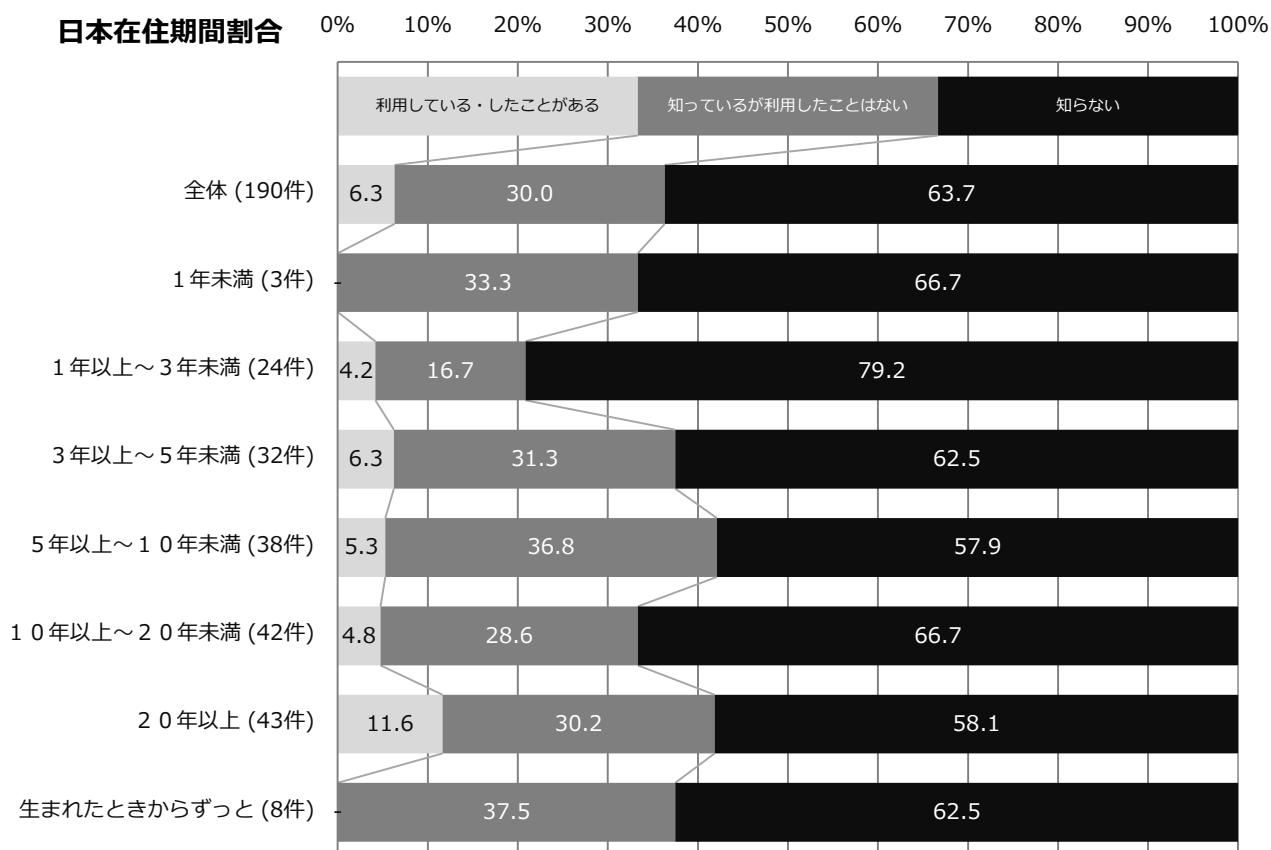
■ 出版物<「資源とごみの出し方・分け方」>認知・利用



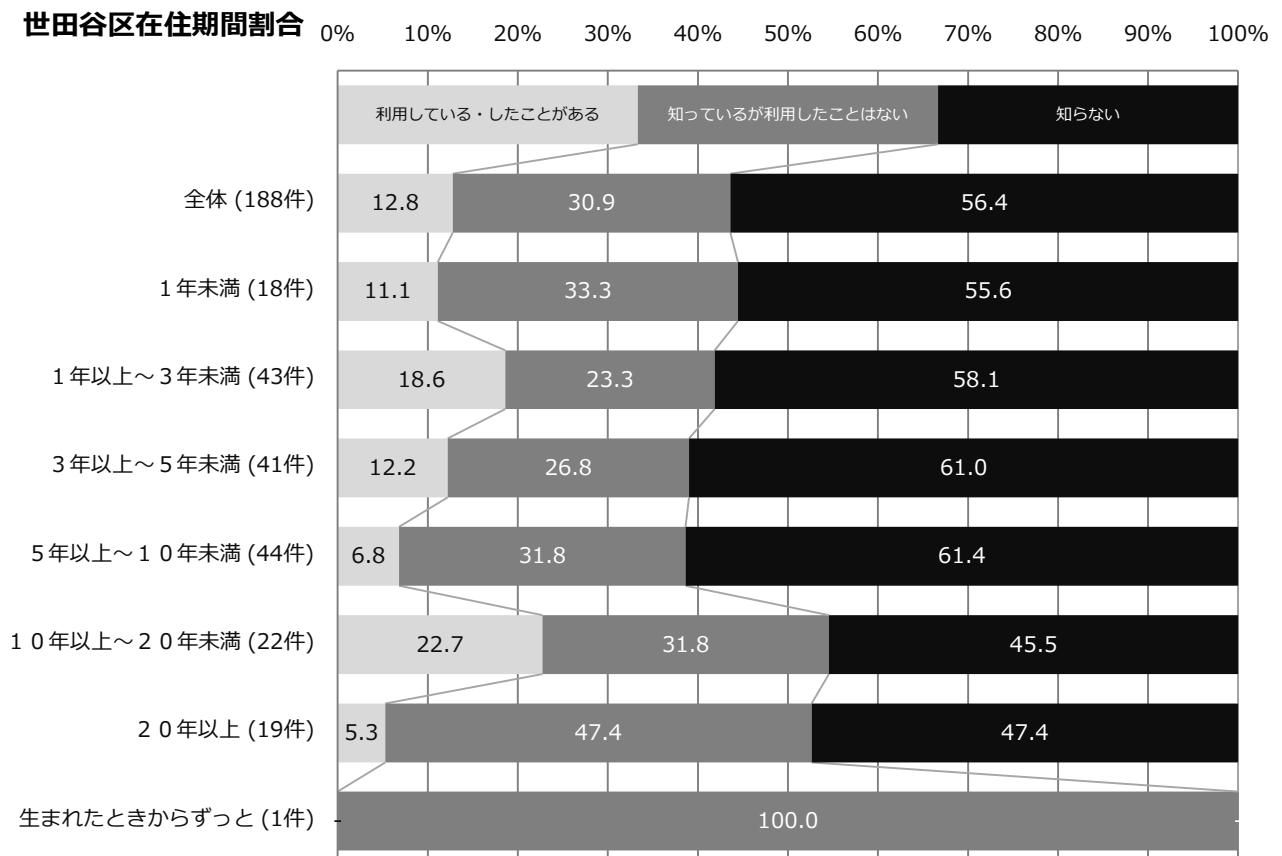
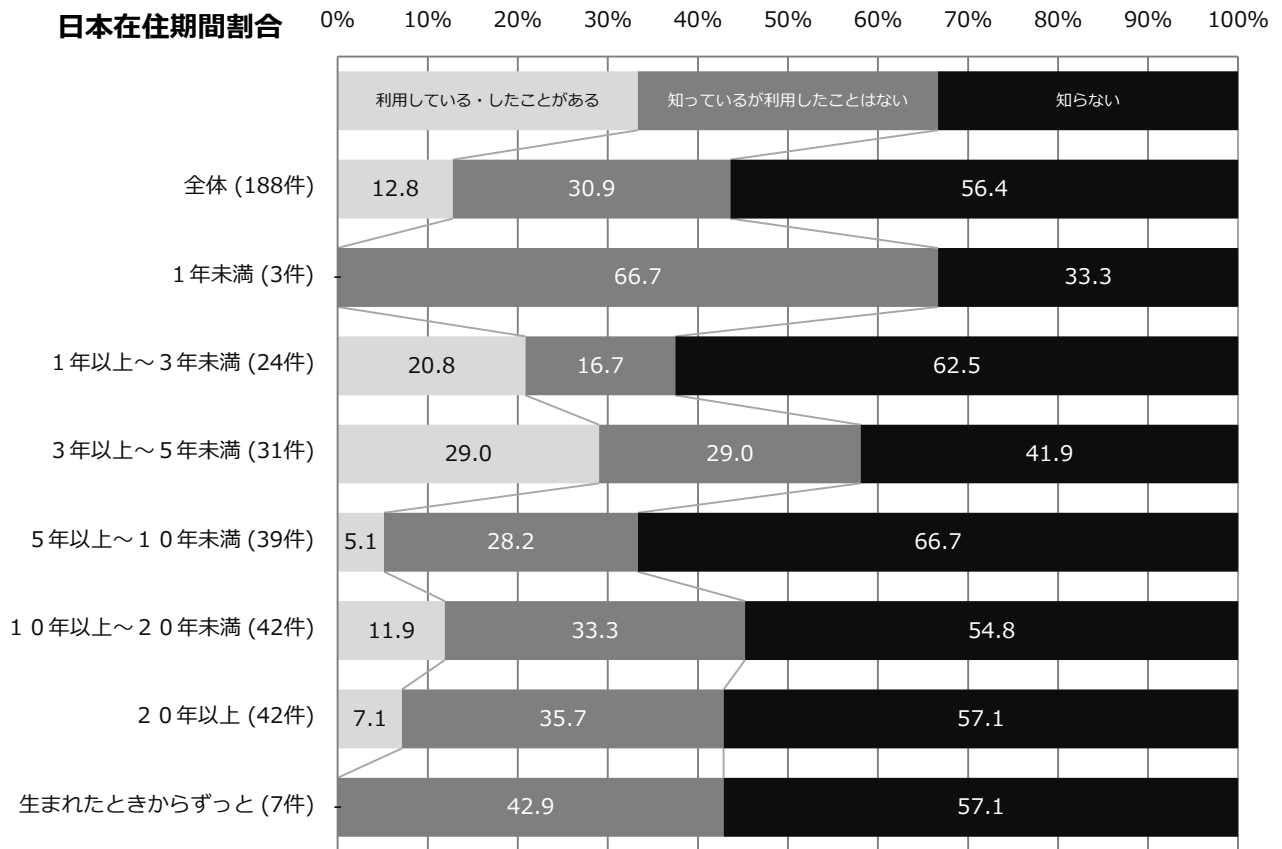
■ 出版物<災害時区民行動マニュアル（マップ版）>認知・利用



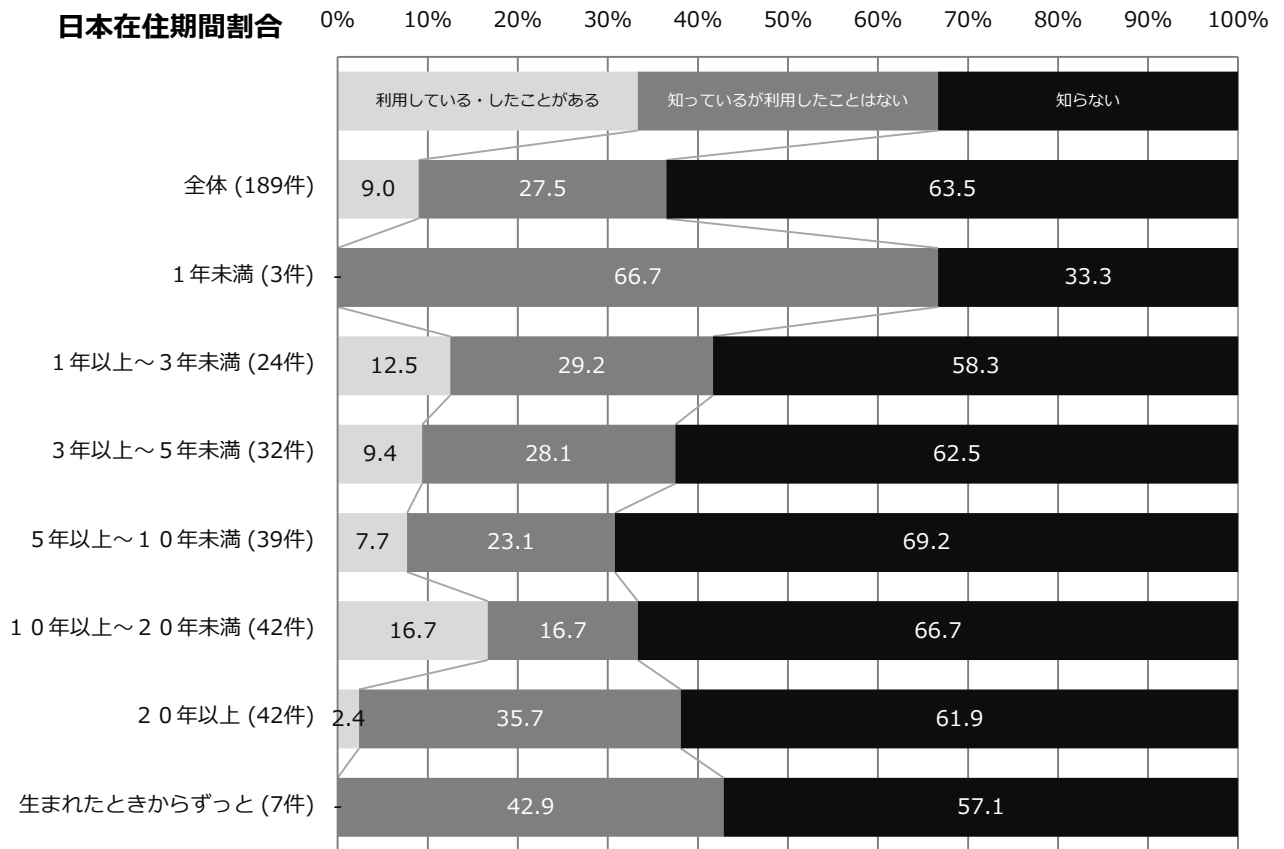
■ 取組み<日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口>認知・利用



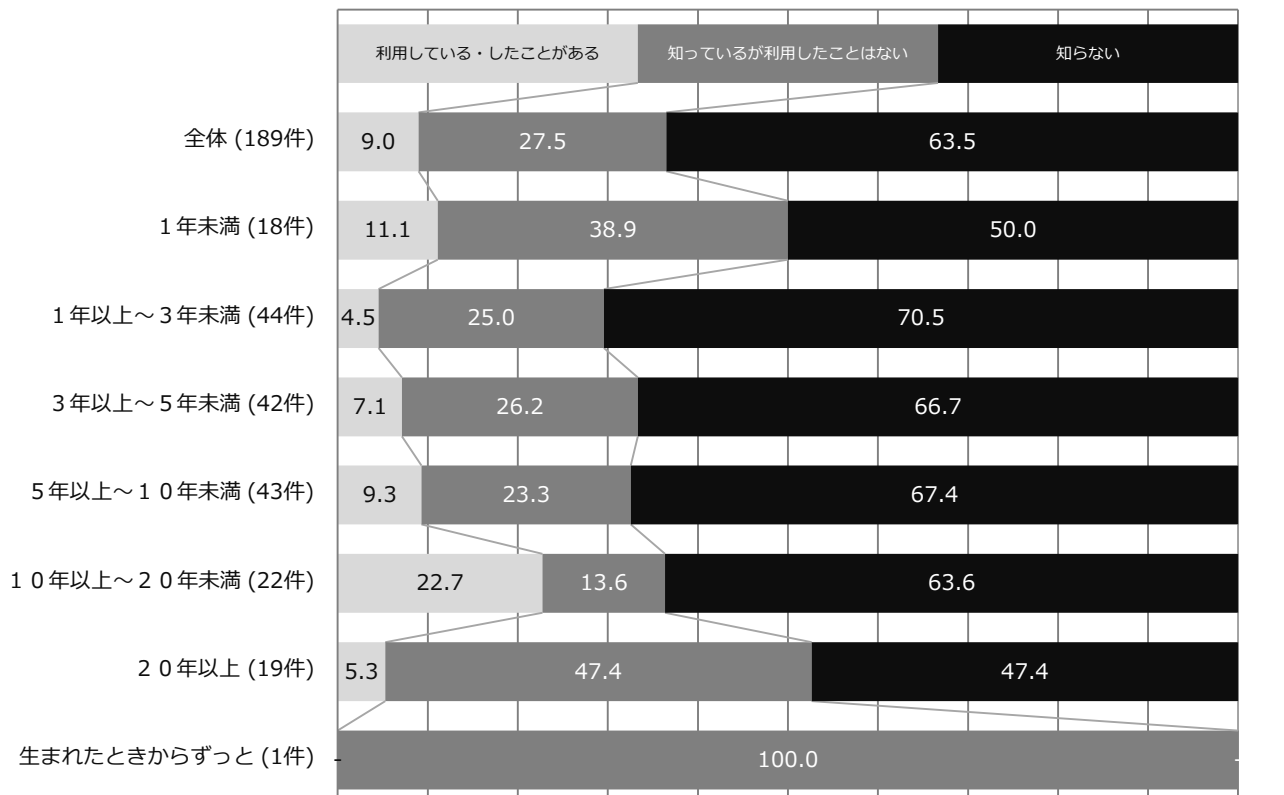
■ 取組み<世田谷区ホームページの外国人向けページ>認知・利用



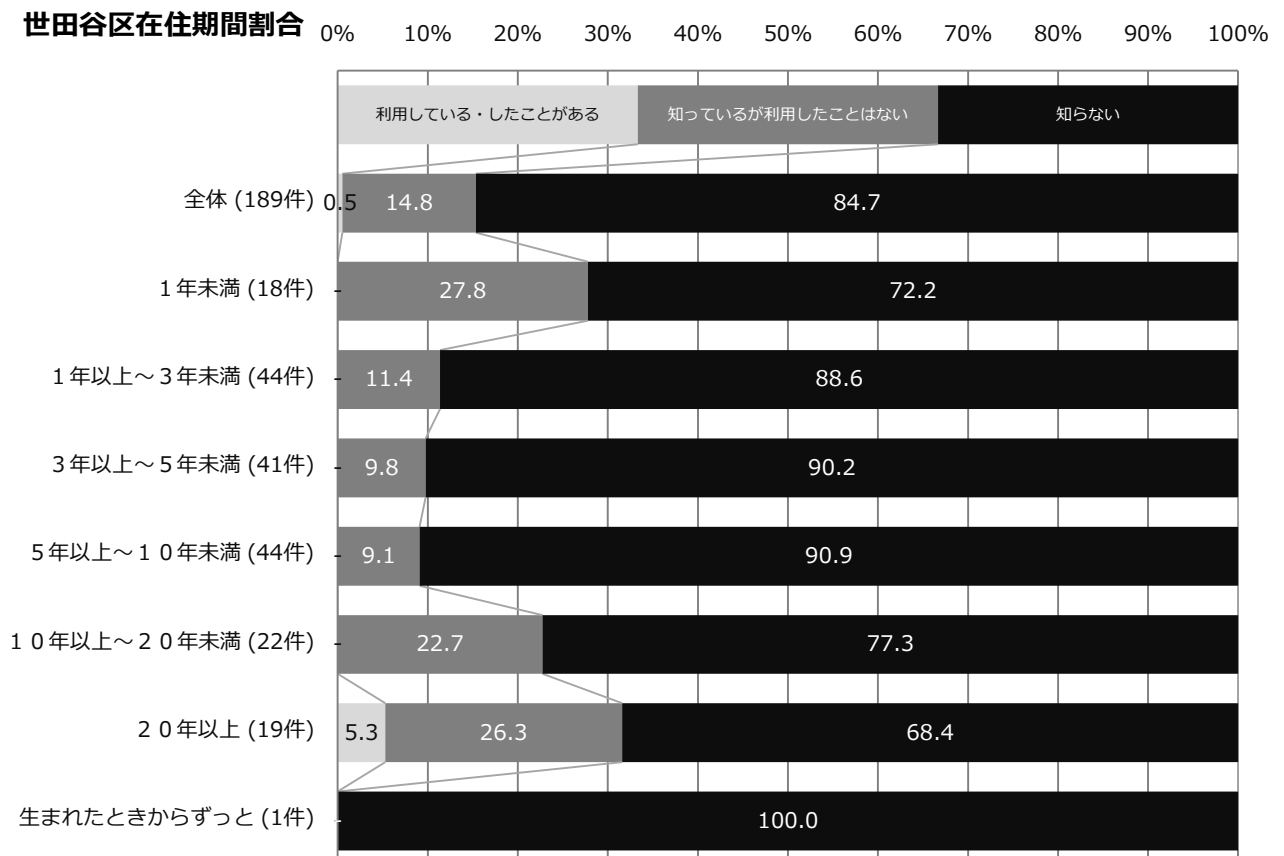
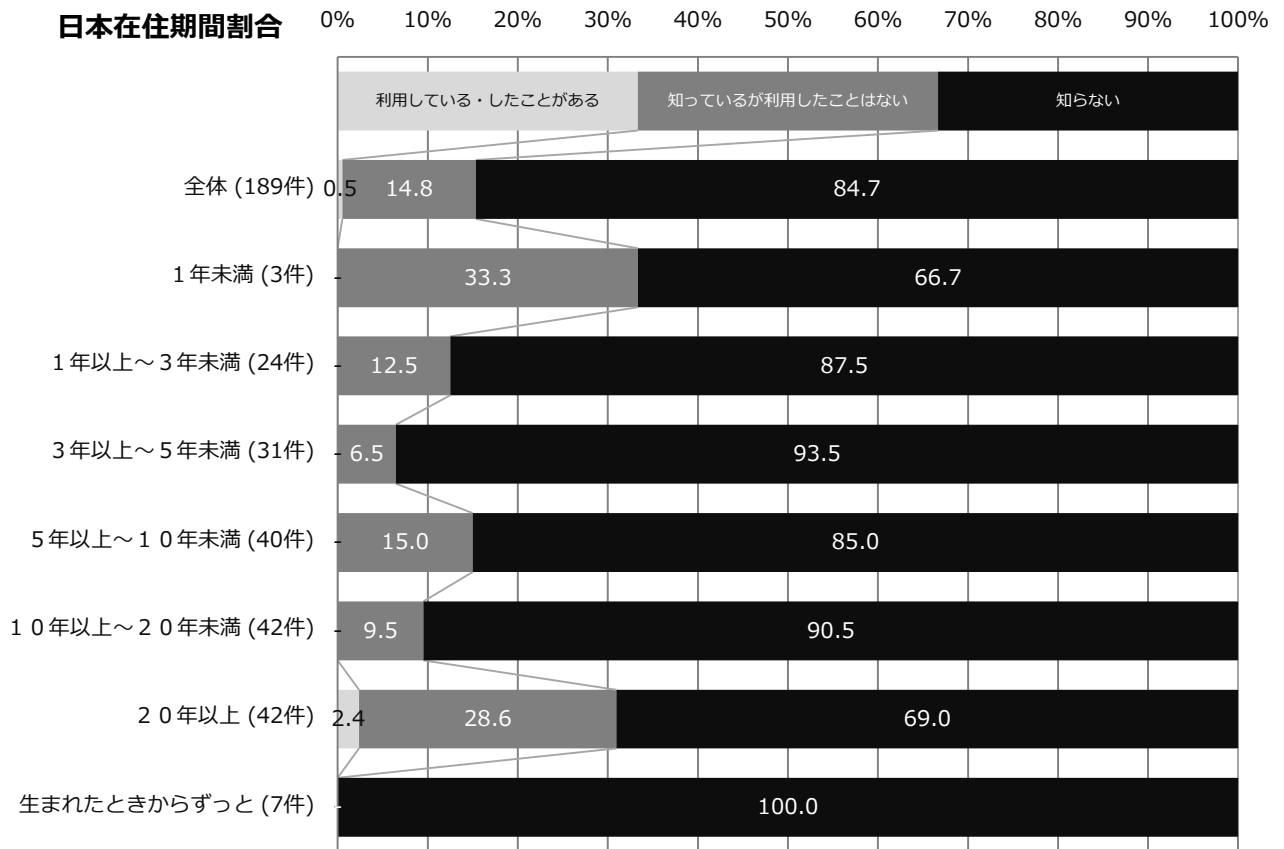
■ 取組み<外国人向けの日本語教室>認知・利用



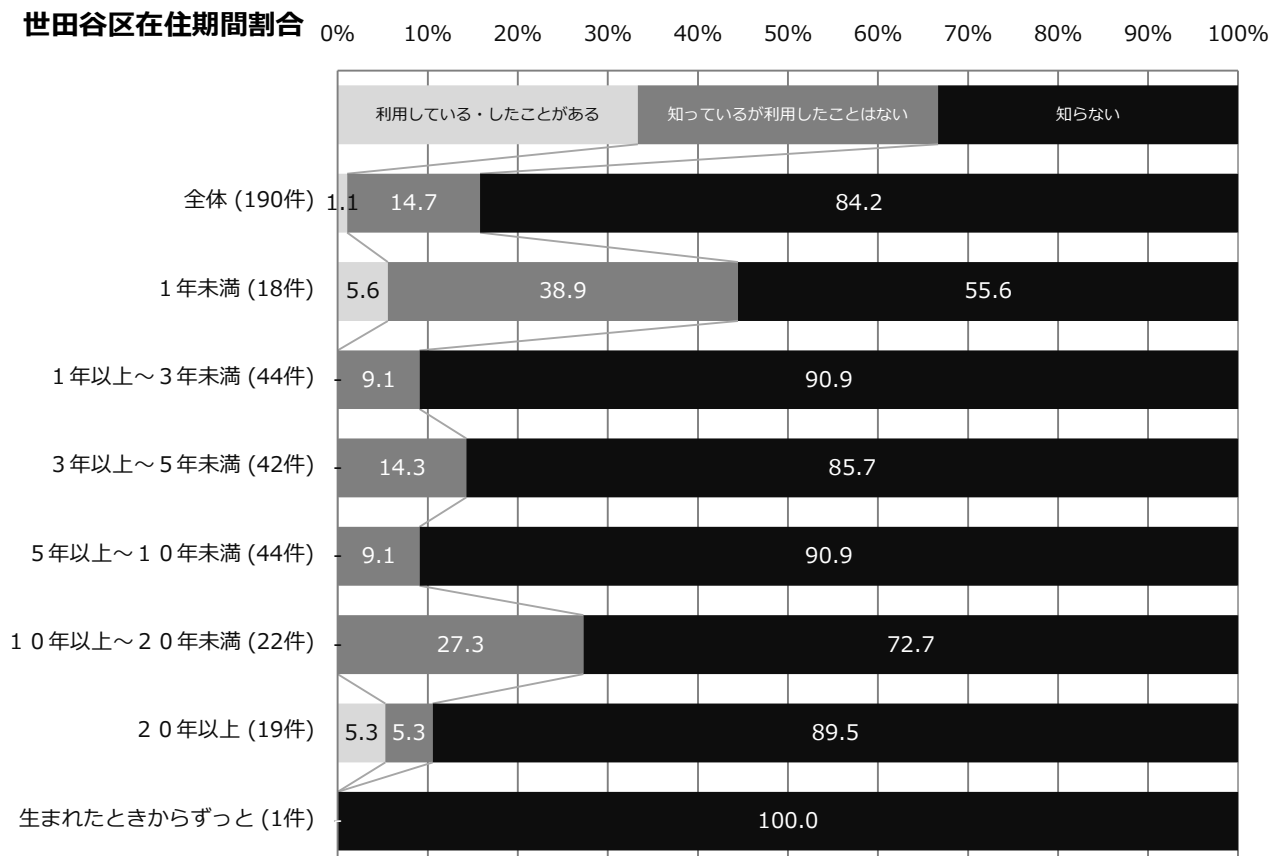
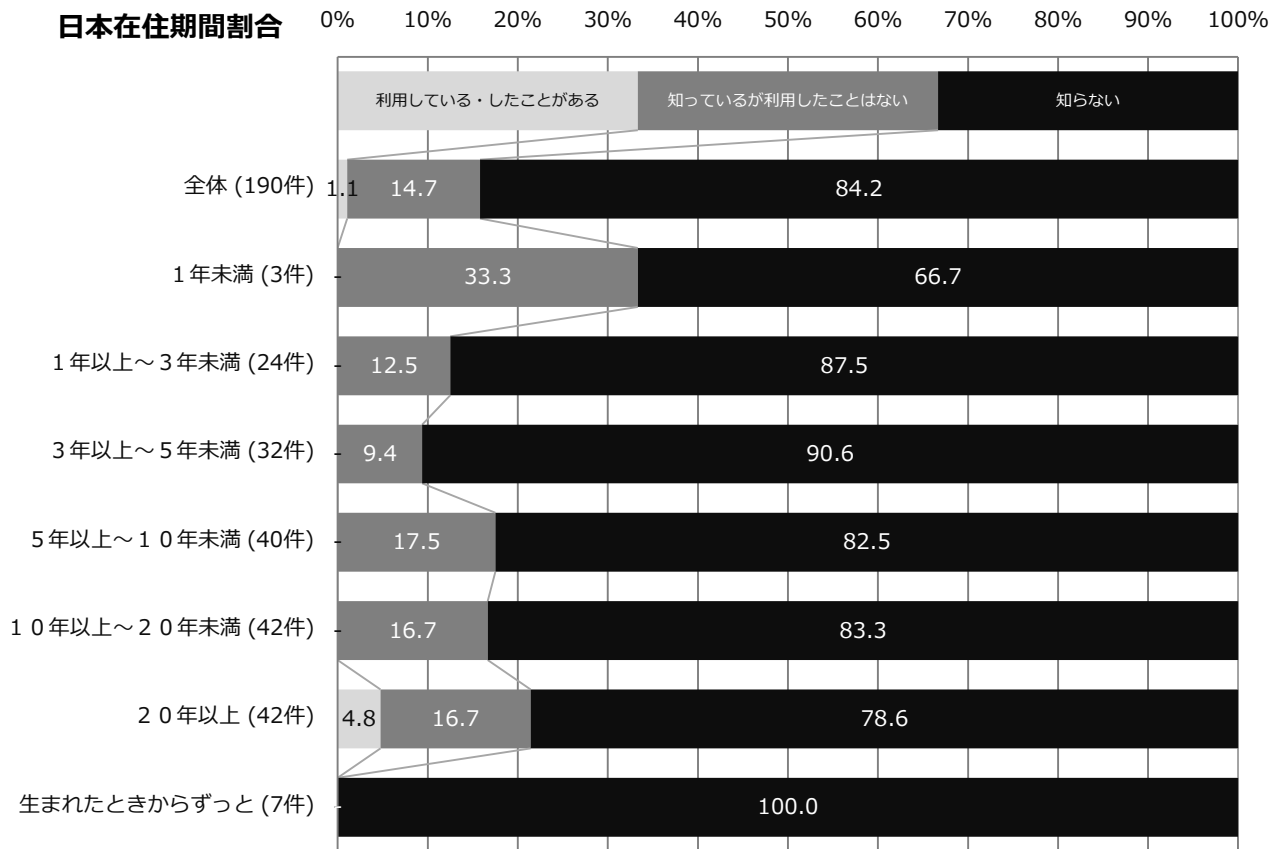
世田谷区在住期間割合



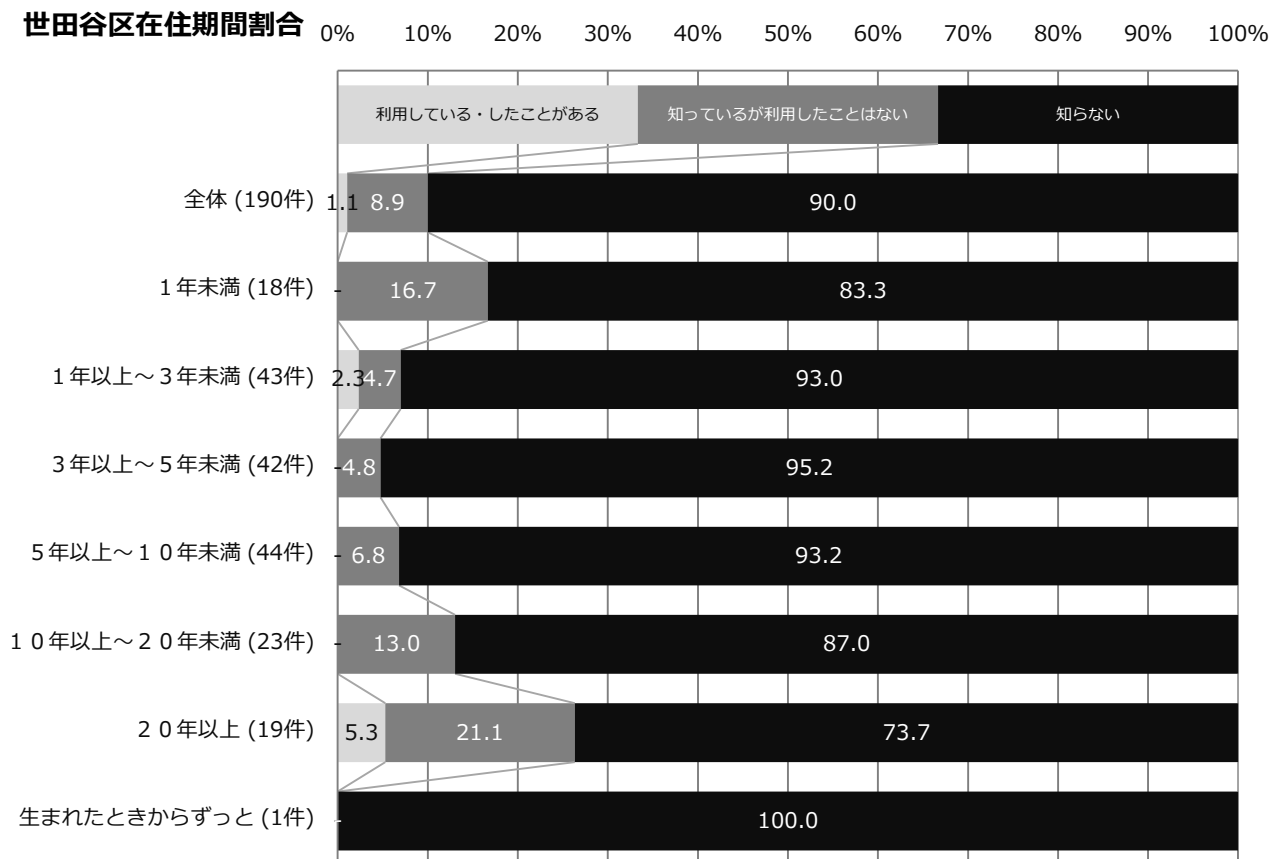
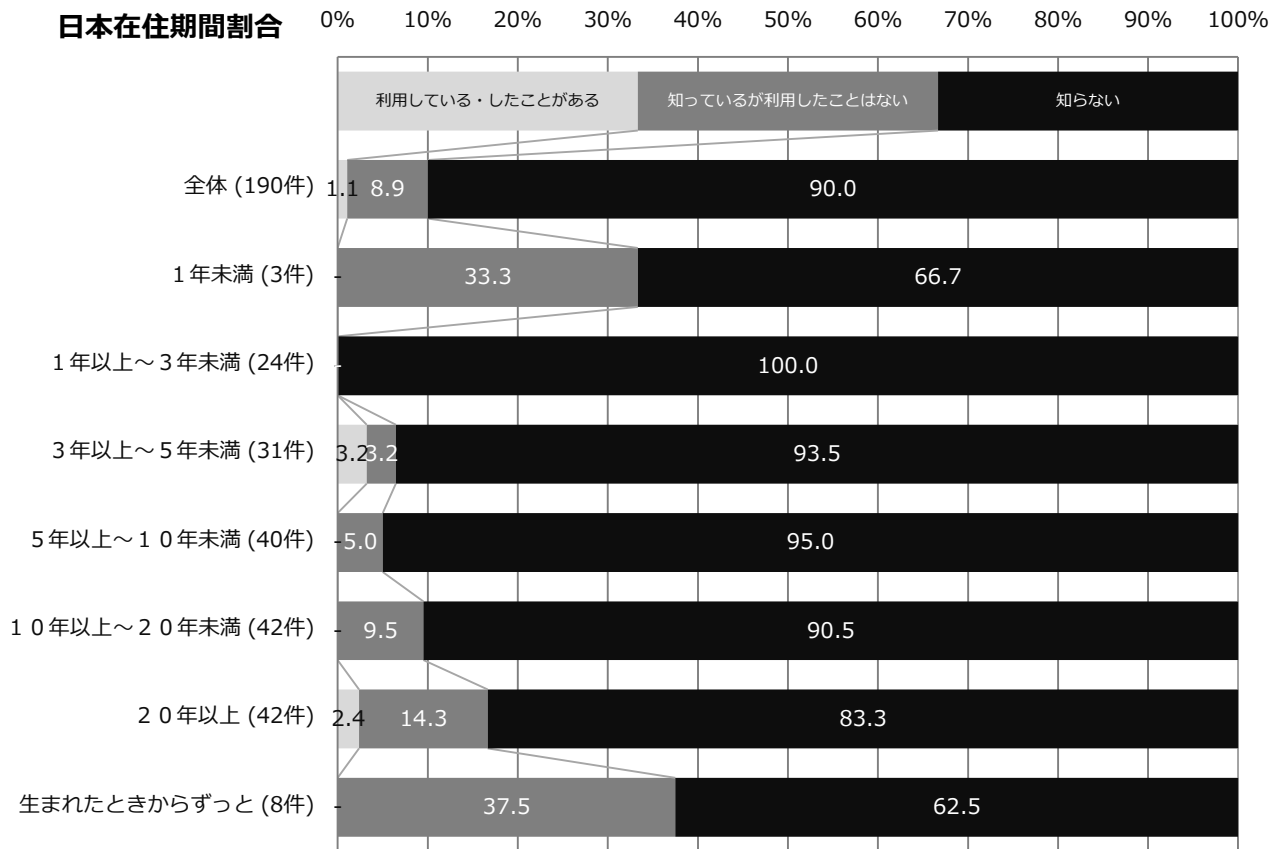
■ 取組み<帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室>認知・利用



■ 取組み<せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）>認知・利用



■ 取組み<世田谷区パートナーシップの宣誓（同性パートナーシップ宣誓）>認知・利用



『出版物<外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」>』では、「全体」でも、日本在住期間、世田谷区在住期間の「1年未満」を除く、いずれの在住期間区分においても「知らない」が6割を超えていた。

「利用している・したことがある」では、日本在住期間「3年以上～5年未満」21.9%、世田谷区在住期間「1年未満」22.2%がそれぞれ最も高かった。

『出版物<「資源とごみの出し方・分け方」>』では、「全体」で「利用している・したことがある」75.8%、「知らない」14.4%、「知っているが利用したことはない」9.8%であった。認知度だけでみると85.6%となった。世田谷区在住期間では、「20年以上」以外の在住期間区分において6割以上が「利用している・したことがある」と回答している。

『出版物<災害時区民行動マニュアル（マップ版）>』では、「全体」で「知らない」55.5%、「知っているが利用したことはない」31.9%、「利用している・したことがある」12.6%で、『出版物<外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」>』同様約6割が知らないと回答している。

「知らない」では、世田谷区在住期間「1年未満」77.8%が最も高く、「利用している・したことがある」では、世田谷区在住期間「10年以上～20年未満」21.7%が最も高かった。しかし、認知度でみると日本在住期間「10年以上～20年未満」の64.3%が最も高かった（n=10未満の在住期間を除く）。

『取組み<日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口>』では、「全体」で「知らない」63.7%、「知っているが利用したことはない」30.0%、「利用している・したことがある」6.3%で、認知度でも36.3%と低い割合となっている。

日本在住期間、世田谷区在住期間の全ての在住期間区分で「知らない」が5割～7割を占めており、最も高い。認知度が最も高いのは、世田谷区在住期間「20年以上」50.0%であった。

『取組み<世田谷区ホームページの外国人向けページ>』では、「全体」で「知らない」56.4%、「知っているが利用したことはない」30.9%、「利用している・したことがある」12.8%となった。

「知らない」では、日本在住期間で「5年以上～10年未満」66.7%、世田谷区在住期間で「5年以上～10年未満」61.4%が最も高く、「利用している・したことがある」では、日本在住期間で「3年以上～5年未満」29.0%、世田谷区在住期間で「10年以上～20年未満」22.7%が最も高かった。

『取組み<外国人向け日本語教室>』では、「全体」で「知らない」63.5%、「知っているが利用したことはない」27.5%、「利用している・したことがある」9.0%で、認知度は36.5%となった。

「利用している・したことがある」で最も高かったのは、世田谷区在住期間で「10年以上～20年未満」22.7%、「知らない」では、世田谷区在住期間で「1年以上～3年未満」70.5%であった。

『取組み<帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室>』では、「知らない」の割合が高く、いずれの在住期間区分でも6割以上を占め、「全体」で84.7%であった。

「利用している・したことがある」でみると、どの在住区分でも0.0%か数%であり、世田谷区在住期間「20年以上」5.3%が最も高い。

『取組み<せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）>』は、「知らない」の割合が世田谷区在住期間「1年未満」以外の在住期間区分で6割以上を占め、「全体」で84.2%であった。

認知度で最も高いのは、世田谷区在住期間「1年未満」44.4%となった。

『取組み<世田谷区パートナーシップの宣誓（同性パートナーシップ宣誓）>』では、「知らない」の割合が高く、世田谷区在住期間の全在住期間区分で7割以上を占め、「全体」でも90.0%となった。

(4) 利用したい外国人相談窓口 【Q27. あなたはどのような外国人相談窓口であれば、利用したいと思いますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『利用したい外国人相談窓口』件数割合

	件数	割合
多言語に対応している	66	35.7
相談できる内容が充実している	75	40.5
利用しやすい場所にある	82	44.3
休日や祝日に利用できる	67	36.2
窓口があいている時間が長い	24	13.0
メールやSNSで相談できる	91	49.2
その他	14	7.6
全体	185	100.0

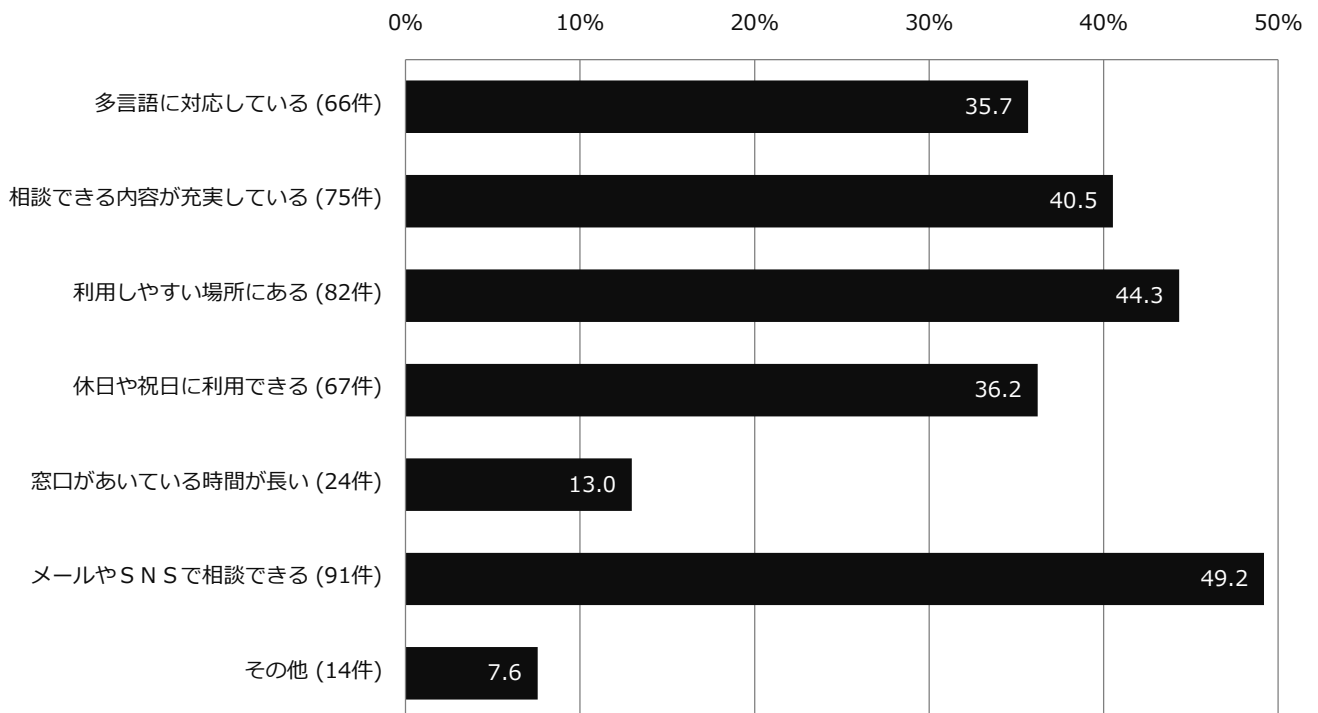
※無回答 14 ※累計 (n) : 419 / 累計 (%) : 226.5

■ 「その他」14件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合		件数	割合
特に無い	6	3.2	外国語の対応	2	1.1

※割合は (n=185) で算出

利用したい外国人相談窓口 (n=185) 無回答14



利用したい外国人相談窓口では、「窓口があいている時間が長い」の24件・13.0%以外の選択肢が拮抗しているが、「メールやSNSで相談できる」が91件・49.2%で最も多く、次いで「利用しやすい場所にある」82件・44.3%、「相談できる内容が充実している」75件・40.5%、「休日や祝日に利用できる」67件・36.2%、「多言語に対応している」66件・35.7%と続いている。

(5) 専門家に相談したい内容

【Q28. 法律、年金・保険、医療、教育、住まいや契約のトラブルなど、専門家に相談できる場（通訳付き）があった場合、どのような内容について相談したいと思いますか（あてはまるもの全てに○）。】

■ 『専門家に相談したい内容』 件数割合

	件数	割合
年金や社会保険に関すること	129	66.8
医療に関すること	95	49.2
子育てや教育に関すること	50	25.9
住まいに関すること	65	33.7
契約に関すること	53	27.5
災害や防災に関すること	56	29.0

※無回答6 ※累計(n):624/累計(%):323.3

	件数	割合
仕事に関すること	51	26.4
在留資格に関すること	61	31.6
結婚・離婚に関すること	23	11.9
家庭の問題に関すること	12	6.2
DVに関すること	7	3.6
その他	22	11.4
全体	193	100.0

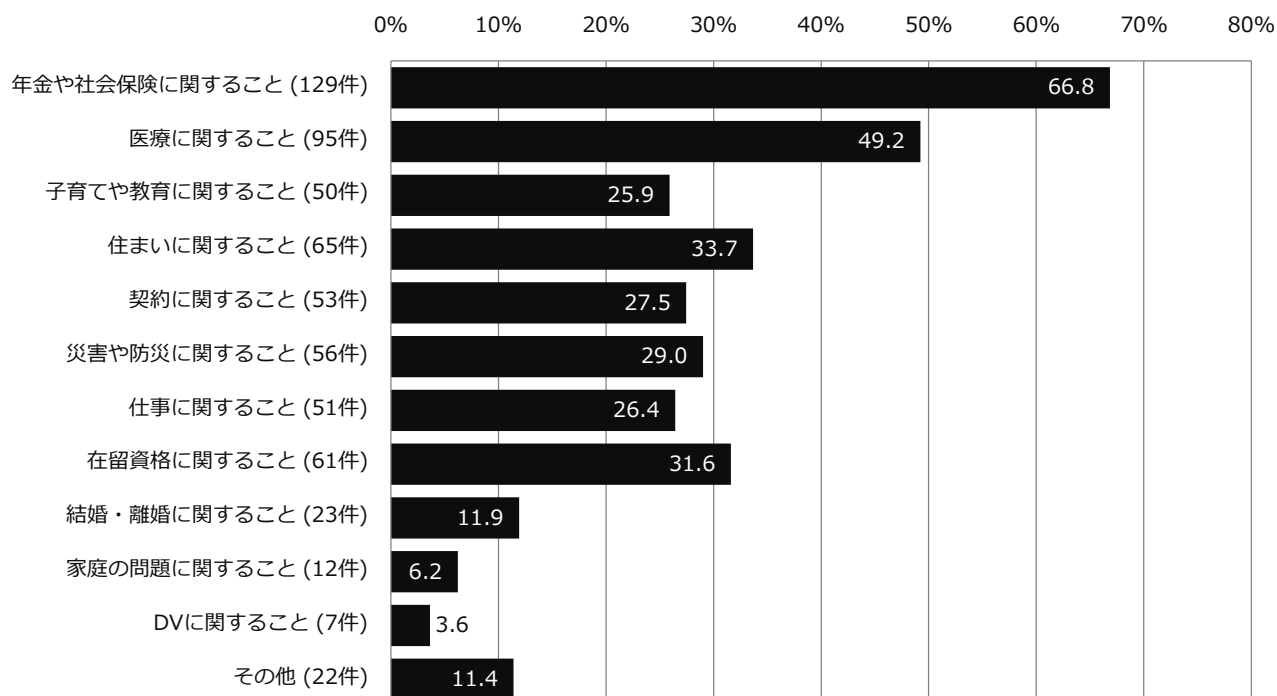
■ 「その他」22件内、記述回答のあった主な内容件数割合

	件数	割合
特に無い	9	4.7

※割合は(n=193)で算出

	件数	割合
税金関連	7	3.6

専門家に相談したい内容 (n=193) 無回答6



専門家に相談したい内容では、「年金や社会保険に関すること」が129件・66.8%で最も多く、次いで「医療に関すること」95件・49.2%、「住まいに関すること」65件・33.7%、「在留資格に関すること」61件・31.6%、「災害や防災に関すること」56件・29.0%と続いている。

■ 『専門家に相談したい内容』年齢割合

年 齢	n	年 金 や 社 会 保 険 に 関 す る こ と	医 療 に 関 す る こ と	関 子 育 る こ と や 教 育 に 関 す る こ と	関 住 す ま る こ と	契 約 に 関 す る こ と	関 災 害 の 防 災 に 関 す る こ と
全 体	193	66.8	49.2	25.9	33.7	27.5	29.0
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	37	67.6	40.5	21.6	45.9	35.1	32.4
30～39歳	65	60.0	58.5	40.0	35.4	33.8	33.8
40～49歳	42	73.8	47.6	28.6	26.2	16.7	16.7
50～59歳	22	68.2	40.9	13.6	27.3	18.2	22.7
60～69歳	20	85.0	45.0	5.0	35.0	30.0	35.0
70～79歳	3	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7
80歳以上	4	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0

年 齢	n	仕 事 に 関 す る こ と	関 在 留 資 格 に 関 す る こ と	関 結 婚 ・ 離 婚 に 関 す る こ と	関 家 庭 の 問 題 に 関 す る こ と	D V に 関 す る こ と	そ の 他
全 体	193	26.4	31.6	11.9	6.2	3.6	11.4
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	37	37.8	40.5	8.1	2.7	2.7	8.1
30～39歳	65	32.3	36.9	20.0	9.2	6.2	15.4
40～49歳	42	19.0	31.0	9.5	4.8	-	-
50～59歳	22	18.2	13.6	9.1	9.1	4.5	22.7
60～69歳	20	20.0	30.0	5.0	5.0	5.0	10.0
70～79歳	3	-	-	-	-	-	-
80歳以上	4	-	-	-	-	-	50.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

専門家に相談したい内容の年齢別では、「70～79歳」「80歳以上」を除いたすべての年代で「年金や社会保険に関する事」の割合が最も高く、「70～79歳」は「医療に関する事」「災害や防災に関する事」、「80歳以上」は「医療に関する事」が最も高くなっている。

■ 『専門家相談したい内容』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	年金や社会保険に関すること	医療に関すること	子育てや教育に関すること	住まいに関すること	契約に関すること	災害予防に関すること
全体	187	66.8	48.7	25.7	33.7	27.8	29.4
中国	55	65.5	52.7	34.5	43.6	23.6	27.3
韓国	21	66.7	23.8	19.0	14.3	23.8	28.6
米国	15	53.3	26.7	20.0	13.3	20.0	13.3
台湾	19	78.9	63.2	15.8	31.6	26.3	31.6
フィリピン	6	83.3	50.0	50.0	66.7	50.0	50.0
英国	9	88.9	55.6	22.2	44.4	44.4	22.2
ベトナム	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-
フランス	5	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0
インド	3	33.3	66.7	-	66.7	-	33.3
その他	52	65.4	51.9	21.2	30.8	34.6	36.5

国籍・地域	n	仕事に関すること	在留資格に関すること	結婚・離婚に関すること	家庭の問題に関すること	DVに関すること	その他
全体	187	26.2	31.6	10.7	6.4	3.7	11.8
中国	55	30.9	27.3	7.3	3.6	3.6	5.5
韓国	21	9.5	28.6	4.8	9.5	4.8	19.0
米国	15	13.3	26.7	13.3	6.7	6.7	26.7
台湾	19	26.3	36.8	15.8	5.3	5.3	10.5
フィリピン	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-
英国	9	55.6	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1
ベトナム	2	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0
フランス	5	-	60.0	20.0	-	-	-
インド	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-
その他	52	26.9	34.6	11.5	7.7	-	13.5

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

※朝鮮とネパールは0件のため表示していません。

専門家に相談したい内容の国籍・地域別では、回答人数の少ない国籍・地域に回答へのばらつきが見られたものの、概ね「年金や社会保険に関すること」の割合が最も高い。

■ 『専門家相談したい内容』 在留資格割合

在留資格	n	年金や社会保険に 関すること	医療に 関すること	子育てや教育に 関すること	住まいに 関すること	契約に 関すること	災害や防 災に 関すること
全 体	190	66.8	49.5	25.3	33.7	27.4	28.4
定住者	6	66.7	33.3	50.0	16.7	33.3	-
日本人の配偶者等	29	69.0	41.4	24.1	20.7	24.1	20.7
永住者	70	71.4	48.6	28.6	28.6	27.1	21.4
永住者の配偶者等	7	42.9	71.4	42.9	28.6	28.6	85.7
特別永住者	5	40.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0
技術・人文知識・国際業務	46	73.9	56.5	19.6	52.2	37.0	45.7
留学	11	54.5	36.4	9.1	63.6	18.2	36.4
家族滞在	6	33.3	50.0	33.3	33.3	-	16.7
特定活動	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-
技能	1	100.0	100.0	-	-	-	-
特定技能	2	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	-
その他	5	40.0	40.0	20.0	-	-	-

在留資格	n	仕事に 関すること	在留資 格に 関すること	結婚・ 離婚に 関すること	家庭の 問題に 関すること	D Vに 関すること	そ の 他
全 体	190	25.8	31.6	12.1	6.3	3.7	11.6
定住者	6	33.3	16.7	33.3	-	-	16.7
日本人の配偶者等	29	27.6	41.4	10.3	6.9	3.4	10.3
永住者	70	14.3	12.9	11.4	7.1	4.3	14.3
永住者の配偶者等	7	71.4	42.9	14.3	-	-	-
特別永住者	5	-	-	-	-	-	40.0
技術・人文知識・国際業務	46	37.0	45.7	15.2	10.9	6.5	6.5
留学	11	27.3	63.6	-	-	-	9.1
家族滞在	6	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7
特定活動	2	-	-	-	-	-	-
技能	1	-	100.0	-	-	-	-
特定技能	2	50.0	100.0	50.0	-	-	-
その他	5	20.0	60.0	-	-	-	20.0

※網掛けは各在留資格で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

※技能実習は0件のため表示していません。

専門家に相談したい内容の在留資格別では、全体傾向として「年金や社会保険に關すること」の割合が最も高いが、「永住者の配偶者等」では「災害や防災に關すること」85.7%、「留学」では「在留資格に關すること」「住まいに關すること」がともに63.6%と最も高かった。

■『専門家に相談したい内容』職業割合

職業	n	年金や社会保険に	医療に関すること	子育てや教育に	住まいに	契約に関すること	災害予防に
全体	189	67.2	49.2	24.9	33.3	27.0	28.6
自営業者・経営者	18	77.8	38.9	22.2	22.2	27.8	38.9
会社などの役員	11	81.8	63.6	27.3	27.3	9.1	9.1
正社員	79	69.6	53.2	36.7	38.0	35.4	25.3
契約社員・派遣社員など	10	80.0	40.0	10.0	40.0	50.0	40.0
パート・アルバイト	14	71.4	64.3	14.3	42.9	28.6	28.6
専業主婦・主夫	29	58.6	41.4	13.8	17.2	13.8	31.0
学生	12	58.3	41.7	8.3	58.3	16.7	33.3
無職	12	41.7	41.7	25.0	25.0	16.7	33.3
その他	4	50.0	50.0	-	25.0	-	25.0

職業	n	仕事に関すること	在留資格に	結婚・離婚に	家庭の問題に	DVに関すること	その他
全体	189	25.9	31.2	12.2	6.3	3.7	11.6
自営業者・経営者	18	27.8	22.2	5.6	-	-	11.1
会社などの役員	11	36.4	36.4	18.2	18.2	9.1	9.1
正社員	79	22.8	35.4	16.5	7.6	2.5	12.7
契約社員・派遣社員など	10	30.0	50.0	10.0	-	-	10.0
パート・アルバイト	14	28.6	21.4	14.3	7.1	7.1	-
専業主婦・主夫	29	27.6	17.2	6.9	3.4	3.4	10.3
学生	12	25.0	58.3	8.3	-	-	8.3
無職	12	33.3	16.7	8.3	16.7	16.7	25.0
その他	4	-	25.0	-	-	-	25.0

※網掛けは各職業で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

専門家に相談したい内容の職業別では、すべての職業で「年金や社会保険に関すること」の割合が最も高いが、「学生」では「住まいに関すること」「在留資格に関すること」、「無職」では「医療に関すること」も同率で挙げられている。

■『専門家に相談したい内容』日本在住期間割合

日本在住期間	n	年金や社会保険に	医療に関すること	子育てや教育に	住まいること	契約に関すること	災害予防に
全体	192	66.7	49.5	26.0	33.9	27.6	29.2
1年未満	3	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
1年以上～3年未満	24	58.3	45.8	12.5	33.3	29.2	50.0
3年以上～5年未満	31	64.5	54.8	38.7	48.4	25.8	35.5
5年以上～10年未満	39	69.2	59.0	20.5	41.0	33.3	28.2
10年以上～20年未満	44	63.6	50.0	43.2	27.3	31.8	18.2
20年以上	43	72.1	37.2	11.6	25.6	18.6	20.9
生まれたときからずっと	8	62.5	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0

日本在住期間	n	仕事に関すること	在留資格に	結婚・離婚に	家庭の問題に	DVに関すること	その他
全体	192	26.6	31.8	12.0	6.3	3.6	11.5
1年未満	3	-	33.3	-	-	-	-
1年以上～3年未満	24	37.5	45.8	4.2	-	-	4.2
3年以上～5年未満	31	35.5	41.9	12.9	3.2	3.2	-
5年以上～10年未満	39	33.3	30.8	15.4	7.7	-	12.8
10年以上～20年未満	44	25.0	34.1	13.6	6.8	4.5	20.5
20年以上	43	14.0	18.6	11.6	9.3	7.0	11.6
生まれたときからずっと	8	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

専門家に相談したい内容の日本在住期間別では、すべての在住期間で「年金や社会保険に関すること」の割合が最も高かった。

■ 『専門家に相談したい内容』世田谷区在住期間割合

世田谷区在住期間	n	年金や社会保険に関すること	医療に関すること	子育てや教育に関すること	住まいに関すること	契約に関すること	災害予防に
全体	193	66.8	49.2	25.9	33.7	27.5	29.0
1年未満	18	66.7	55.6	22.2	50.0	44.4	50.0
1年以上～3年未満	46	60.9	41.3	23.9	32.6	21.7	32.6
3年以上～5年未満	40	67.5	55.0	35.0	40.0	40.0	25.0
5年以上～10年未満	44	65.9	54.5	36.4	34.1	22.7	27.3
10年以上～20年未満	23	82.6	39.1	17.4	21.7	21.7	17.4
20年以上	21	61.9	47.6	-	19.0	14.3	23.8
生まれたときからずっと	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

世田谷区在住期間	n	仕事に関すること	在留資格に関すること	結婚・離婚に関すること	家庭の問題に関すること	DVに関すること	その他
全体	193	26.4	31.6	11.9	6.2	3.6	11.4
1年未満	18	27.8	44.4	11.1	5.6	5.6	-
1年以上～3年未満	46	34.8	41.3	10.9	2.2	-	8.7
3年以上～5年未満	40	27.5	32.5	15.0	5.0	2.5	7.5
5年以上～10年未満	44	25.0	27.3	13.6	13.6	6.8	9.1
10年以上～20年未満	23	21.7	26.1	13.0	-	4.3	26.1
20年以上	21	9.5	14.3	4.8	4.8	-	23.8
生まれたときからずっと	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

専門家に相談したい内容の世田谷区在住期間別では、すべての在住期間で「年金や社会保険に関すること」の割合が最も高かった。

■ 『専門家に相談したい内容』 回答調査票言語割合

回答調査票言語	n	年金や社会保険に 関すること	医療に 関すること	子育てや教育に 関すること	住まいに 関すること	契約に 関すること	災害や防 災に 関すること
全 体	193	66.8	49.2	25.9	33.7	27.5	29.0
日本語調査票	100	67.0	44.0	30.0	27.0	28.0	23.0
外国語調査票	93	66.7	54.8	21.5	40.9	26.9	35.5

回答調査票言語	n	仕事に 関すること	在留 資格に 関すること	結 婚・ 離 婚に 関すること	家 庭の 問 題に 関すること	D Vに 関 する 事 件	そ の 他
全 体	193	26.4	31.6	11.9	6.2	3.6	11.4
日本語調査票	100	29.0	34.0	16.0	6.0	5.0	15.0
外国語調査票	93	23.7	29.0	7.5	6.5	2.2	7.5

※網掛けは各調査票言語で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

専門家に相談したい内容の回答調査票言語別では、調査票言語の違いに関わらず「年金や社会保険に关すること」の割合が最も高かった。

Ⅱ-5. 交流活動について

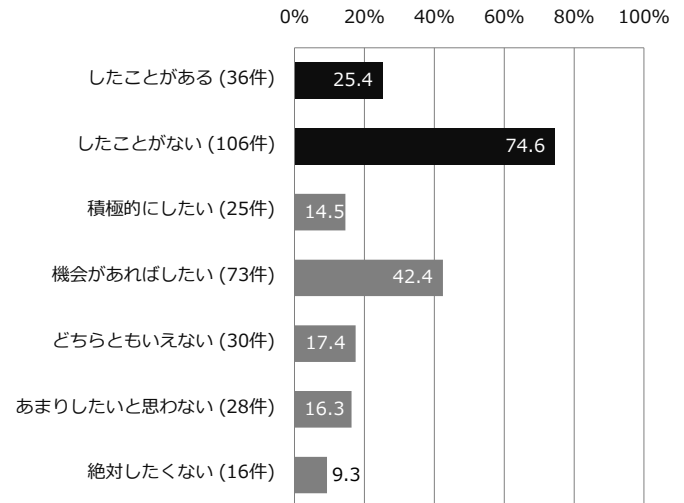
(1) 交流活動の有無・希望

【Q29. あなたは次のような交流や活動 a)～h) をしたことがありますか。1か2のどちらかを選んで○をつけてください。また、今後、次のような交流や活動をしていきたいと思いませんか。3～7のうち、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。】

■ 『a) 母語や日本語を教える活動』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1 したことがある	36	25.4
2 したことがない	106	74.6
全 体	142	100.0
3 積極的にしたい	25	14.5
4 機会があればしたい	73	42.4
5 どちらともいえない	30	17.4
6 あまりしたいと思わない	28	16.3
7 絶対したくない	16	9.3
全 体	172	100.0

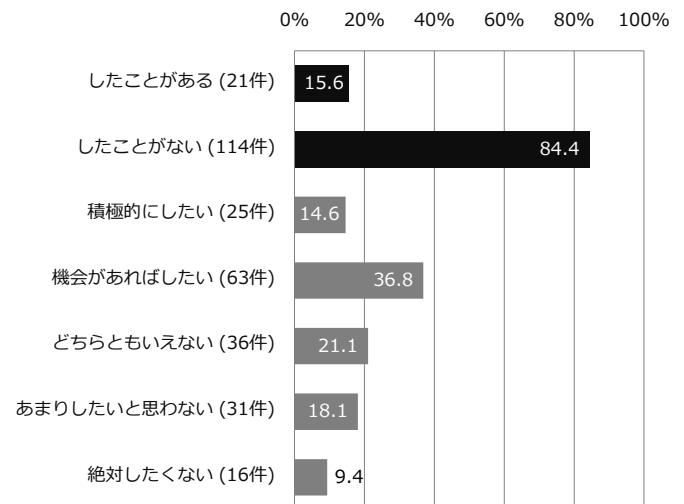
※無回答：活動の有無 57／活動の希望 27



■ 『b) 学校の授業への協力』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1 したことがある	21	15.6
2 したことがない	114	84.4
全 体	135	100.0
3 積極的にしたい	25	14.6
4 機会があればしたい	63	36.8
5 どちらともいえない	36	21.1
6 あまりしたいと思わない	31	18.1
7 絶対したくない	16	9.4
全 体	171	100.0

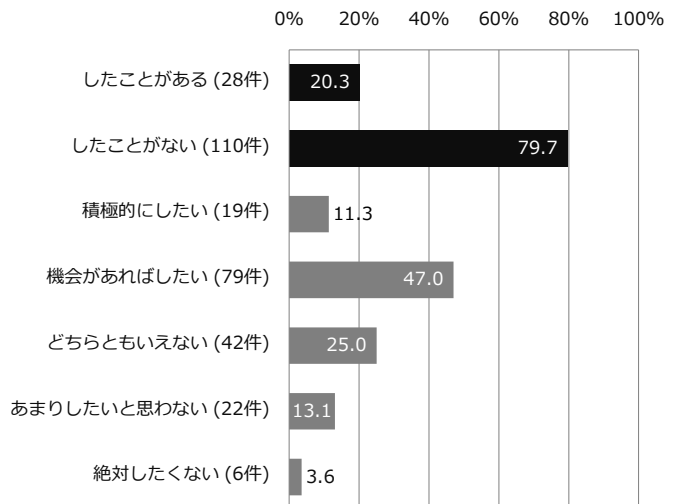
※無回答：協力の有無 64／協力の希望 28



■ 『c) 防災訓練』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1 したことがある	28	20.3
2 したことがない	110	79.7
全体	138	100.0
3 積極的にしたい	19	11.3
4 機会があればしたい	79	47.0
5 どちらともいえない	42	25.0
6 あまりしたいと思わない	22	13.1
7 絶対したくない	6	3.6
全体	168	100.0

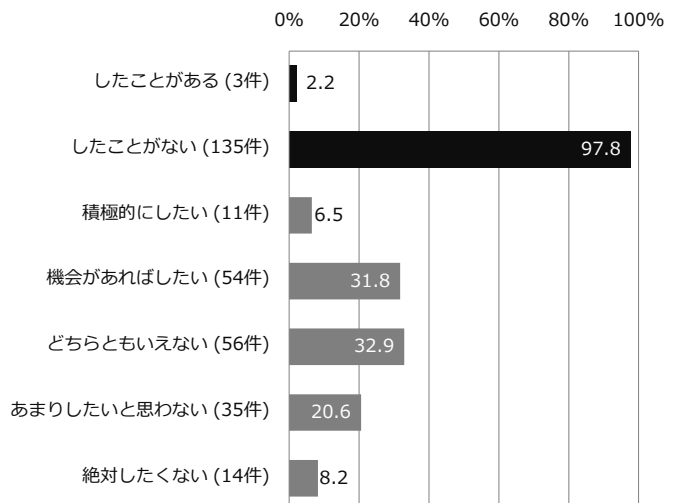
※無回答：訓練の有無 61／訓練の希望 31



■ 『d) 防犯活動』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1 したことがある	3	2.2
2 したことがない	135	97.8
全体	138	100.0
3 積極的にしたい	11	6.5
4 機会があればしたい	54	31.8
5 どちらともいえない	56	32.9
6 あまりしたいと思わない	35	20.6
7 絶対したくない	14	8.2
全体	170	100.0

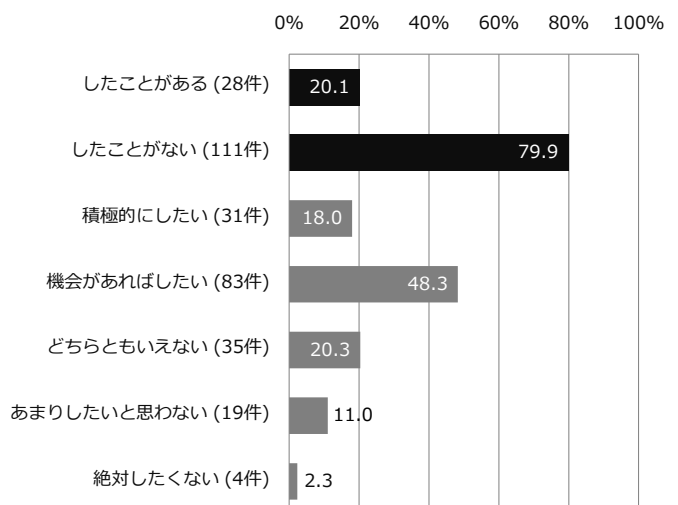
※無回答：活動の有無 61／活動の希望 29



■ 『e) 地域のイベント』の有無・希望件数割合

	件数	割合
1 したことがある	28	20.1
2 したことがない	111	79.9
全体	139	100.0
3 積極的にしたい	31	18.0
4 機会があればしたい	83	48.3
5 どちらともいえない	35	20.3
6 あまりしたいと思わない	19	11.0
7 絶対したくない	4	2.3
全体	172	100.0

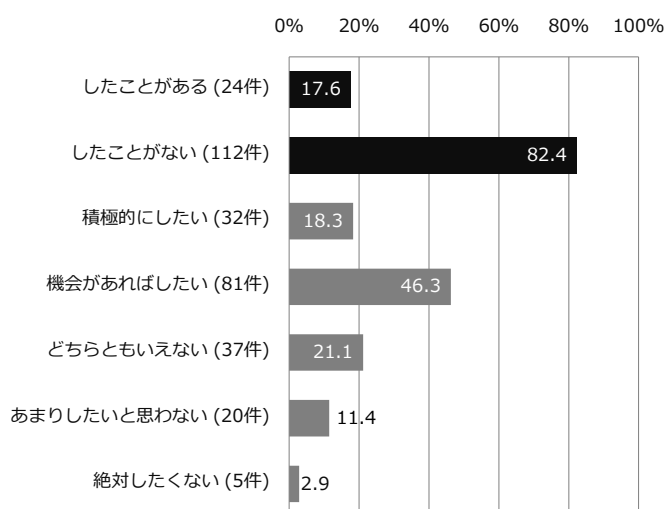
※無回答：活動の有無 60／活動の希望 27



■ 『f) 文化交流』の有無・希望件数割合

		件数	割合
1	したことがある	24	17.6
2	したことがない	112	82.4
	全 体	136	100.0
3	積極的にしたい	32	18.3
4	機会があればしたい	81	46.3
5	どちらともいえない	37	21.1
6	あまりしたいと思わない	20	11.4
7	絶対したくない	5	2.9
	全 体	175	100.0

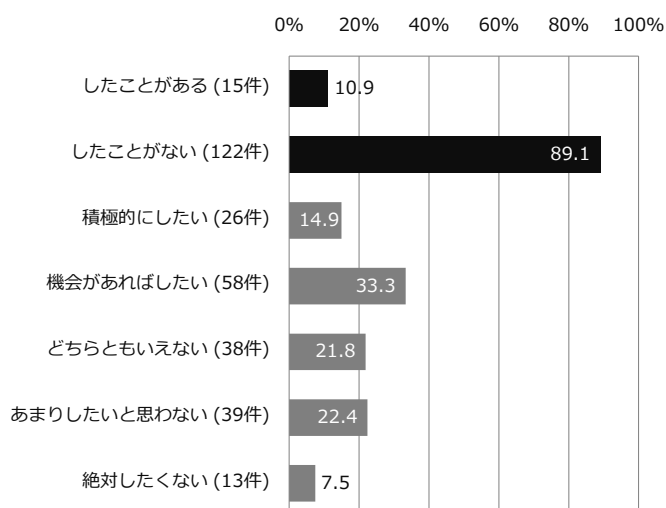
※無回答：交流の有無 63／交流の希望 24



■ 『g) スポーツ交流』の有無・希望件数割合

		件数	割合
1	したことがある	15	10.9
2	したことがない	122	89.1
	全 体	137	100.0
3	積極的にしたい	26	14.9
4	機会があればしたい	58	33.3
5	どちらともいえない	38	21.8
6	あまりしたいと思わない	39	22.4
7	絶対したくない	13	7.5
	全 体	174	100.0

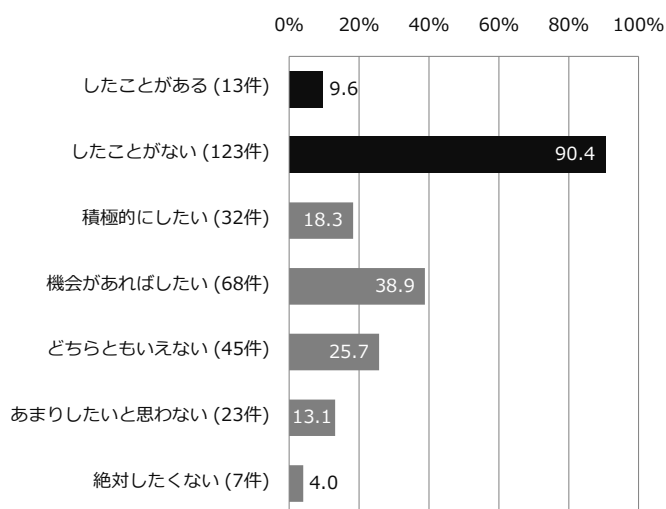
※無回答：交流の有無 62／交流の希望 25



■ 『h) 外国人支援活動』の有無・希望件数割合

		件数	割合
1	したことがある	13	9.6
2	したことがない	123	90.4
	全 体	136	100.0
3	積極的にしたい	32	18.3
4	機会があればしたい	68	38.9
5	どちらともいえない	45	25.7
6	あまりしたいと思わない	23	13.1
7	絶対したくない	7	4.0
	全 体	175	100.0

※無回答：活動の有無 63／活動の希望 24



交流活動については、『母語や日本語を教える活動』『学校の授業への協力』『防災訓練』『防犯活動』『地域のイベント』『文化交流』『スポーツ交流』『外国人支援活動』の8つのテーマにおいて、それぞれ活動の有無、今後の取組み意欲について回答を得た。

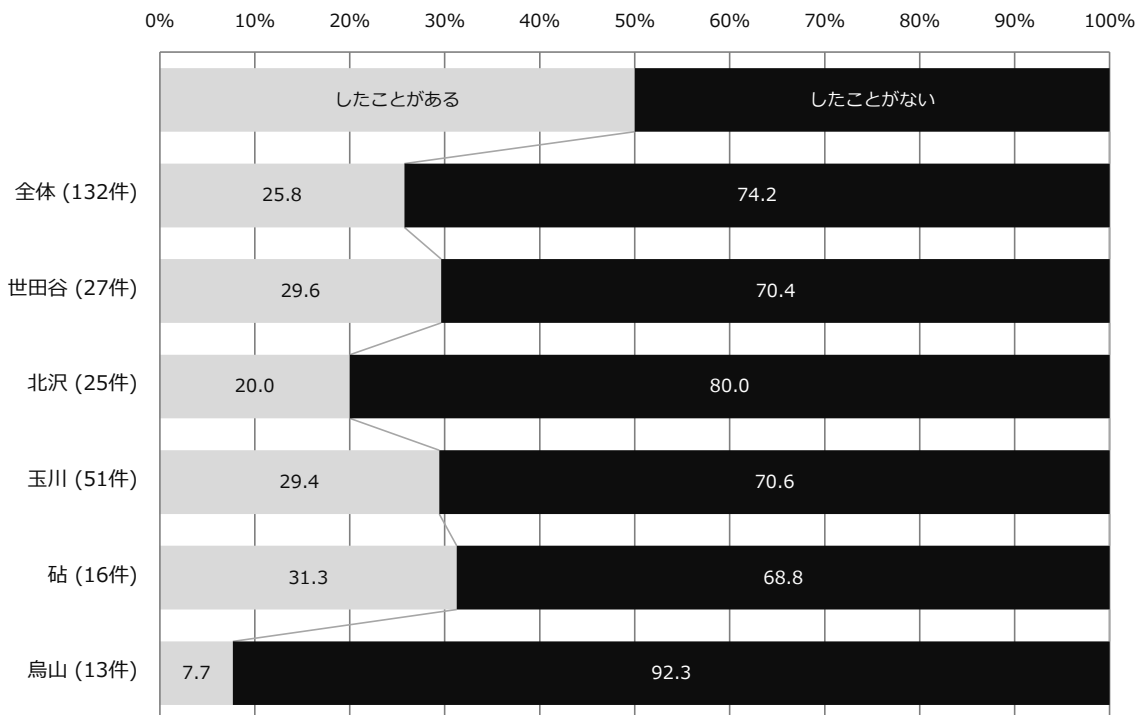
どのテーマにおいても、「したことがある」の割合は3割以下で、『母語や日本語を教える活動』の25.4%が最も高く、『防犯活動』の2.2%が最も低い。

今後の取組み意欲として、「積極的にしたい」は、『文化交流』『外国人支援活動』が同率18.3%で最も高く、次いで『地域のイベント』18.0%となった。

「機会があればしたい」は、『地域のイベント』48.3%が最も高く、次いで『防災訓練』47.0%、『文化交流』46.3%となった。

「絶対したくない」は、『学校の授業への協力』9.4%が最も高かった。

■ 『a) 母語や日本語を教える活動の有無』 居住地域割合



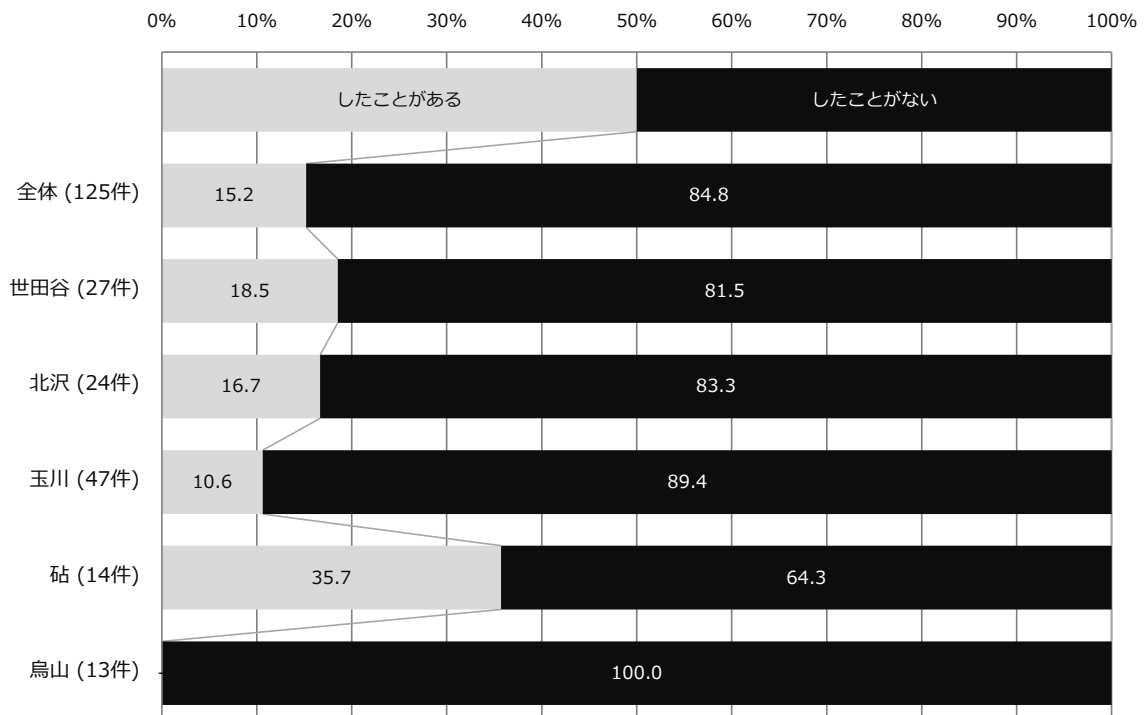
■ 『a) 母語や日本語を教える活動の希望』 居住地域割合

居住地域	n	積極的にしたい	機会があればしたい	どちらでもない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	162	14.2	41.4	17.9	17.3	9.3
世田谷	40	22.5	30.0	22.5	20.0	5.0
北沢	29	17.2	41.4	20.7	6.9	13.8
玉川	55	9.1	47.3	14.5	16.4	12.7
砧	21	9.5	52.4	9.5	23.8	4.8
烏山	17	11.8	35.3	23.5	23.5	5.9

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

母語や日本語を教える活動の居住地域別では、活動を「したことがない」の割合がいずれの居住地域でも高く、活動を「したことがある」で最も高かったのが「砧」の31.3%であった。活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「砧」の61.9%であった。

■ 『b) 学校の授業への協力の有無』 居住地域割合



■ 『b) 学校の授業への協力の希望』 居住地域割合

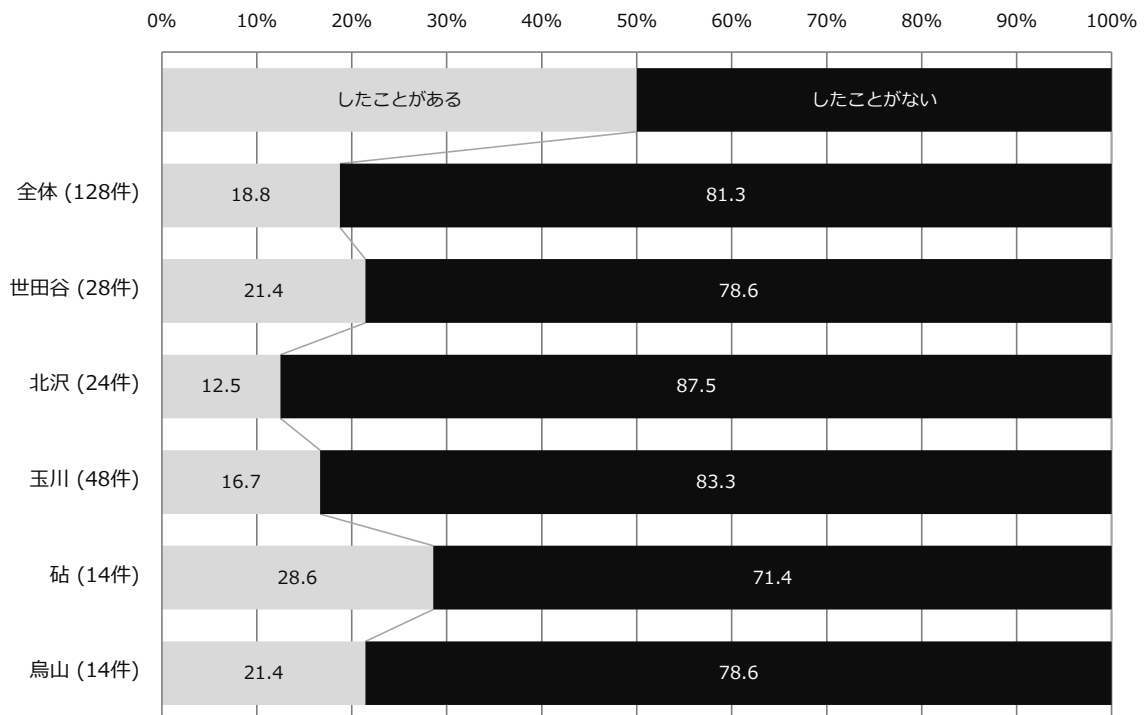
居住地域	n	積極的にしたい	機会があればしたい	どちらでもない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	161	14.3	35.4	21.1	19.3	9.9
世田谷	37	18.9	35.1	24.3	16.2	5.4
北沢	29	17.2	44.8	13.8	10.3	13.8
玉川	55	9.1	34.5	23.6	21.8	10.9
砧	23	17.4	34.8	13.0	26.1	8.7
烏山	17	11.8	23.5	29.4	23.5	11.8

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

学校の授業への協力の居住地域別では、活動を「したことがない」の割合がいずれの居住地域でも高く、活動を「したことがある」で最も高かったのが「砧」の35.7%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「北沢」の62.1%であった。

■ 『c) 防災訓練の有無』 居住地域割合



■ 『c) 防災訓練の希望』 居住地域割合

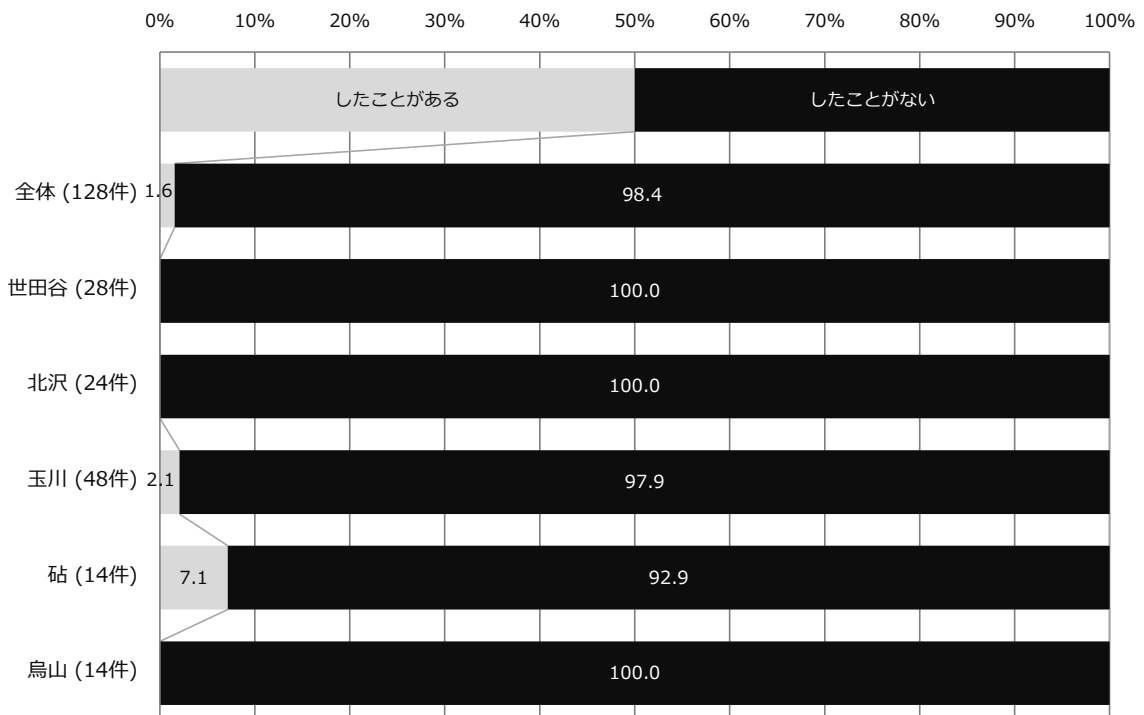
居住地域	n	積極的にしたい	機会があればしたい	どちらでもない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	158	10.8	46.8	25.3	13.3	3.8
世田谷	38	18.4	42.1	26.3	10.5	2.6
北沢	28	7.1	42.9	32.1	17.9	-
玉川	55	10.9	50.9	20.0	10.9	7.3
砧	21	9.5	47.6	33.3	4.8	4.8
烏山	16	-	50.0	18.8	31.3	-

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

防災訓練の居住地域別では、活動を「したことがない」の割合がいずれの居住地域でも高く、活動を「したことがある」で最も高かったのが「砧」の28.6%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「玉川」の61.8%であった。

■ 『d) 防犯活動の有無』 居住地域割合



■ 『d) 防犯活動の希望』 居住地域割合

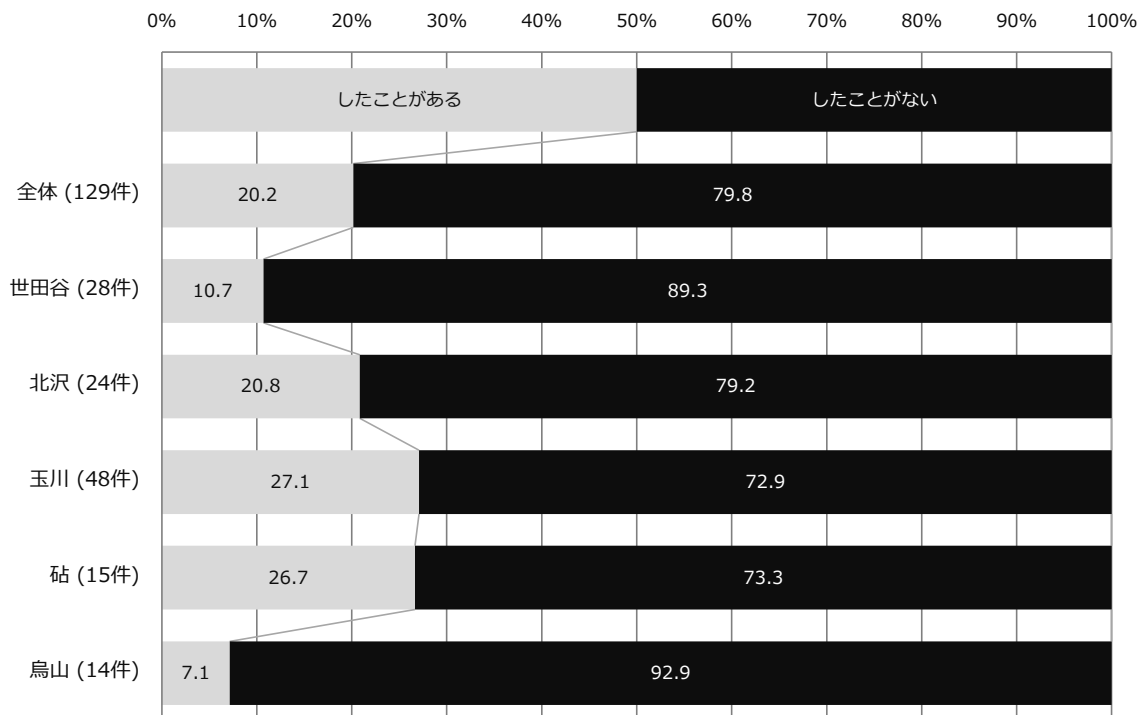
居住地域	n	積極的にしたい (%)	機会があればしたい (%)	どちらでもない (%)	あまりしたいと思わない (%)	絶対したくない (%)
全体	160	6.3	29.4	33.8	21.9	8.8
世田谷	39	12.8	28.2	23.1	25.6	10.3
北沢	29	-	31.0	48.3	13.8	6.9
玉川	56	8.9	19.6	39.3	19.6	12.5
砧	20	-	55.0	20.0	20.0	5.0
烏山	16	-	31.3	31.3	37.5	-

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

防犯活動の居住地域別では、活動を「したことがない」の割合がいずれの居住地域でも高く、「したことがある」では「砧」の7.1%、「玉川」の2.1%を除き0.0%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「砧」の55.0%であった。

■ 『e) 地域のイベントの有無』 居住地域割合



■ 『e) 地域のイベントの希望』 居住地域割合

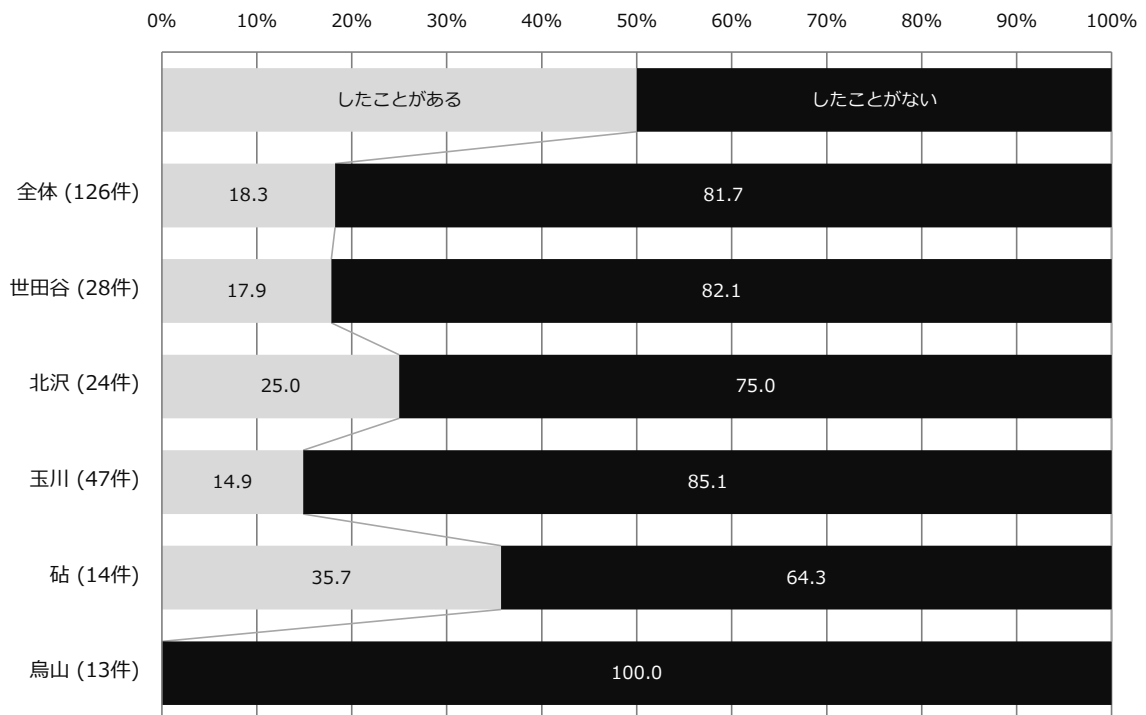
居住地域	n	積極的にしたい	機会があればしたい	どちらでもない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	162	16.7	48.1	21.0	11.7	2.5
世田谷	40	12.5	55.0	22.5	7.5	2.5
北沢	29	20.7	41.4	20.7	17.2	-
玉川	55	20.0	43.6	21.8	9.1	5.5
砧	21	14.3	57.1	23.8	4.8	-
烏山	17	11.8	47.1	11.8	29.4	-

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

地域のイベントの居住地域別では、いずれの居住地域でも「したことがない」の割合が高いが、他の活動に比べると「したことがある」の割合は高い。「したことがある」では「玉川」の27.1%が最も高かった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「砧」の71.4%であった。

■ 『f) 文化交流の有無』 居住地域割合



■ 『f) 文化交流の希望』 居住地域割合

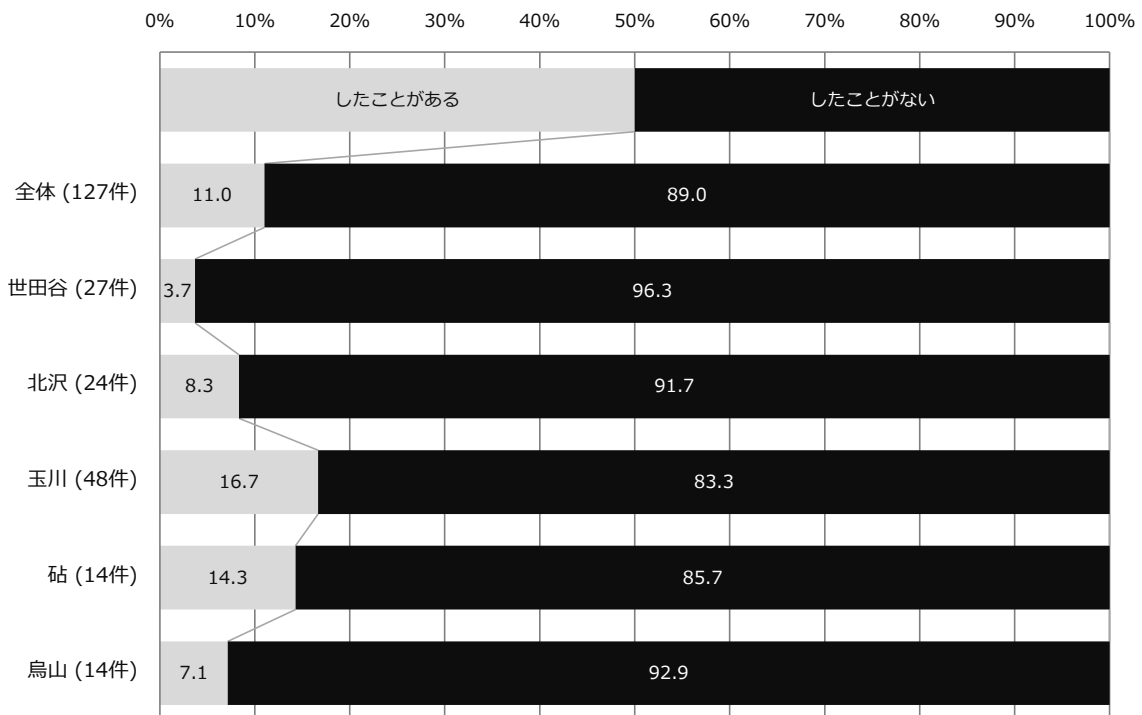
居住地域	n	積極的にしたい	機会があればしたい	どちらでもない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全体	165	17.0	46.7	21.8	12.1	2.4
世田谷	40	12.5	50.0	22.5	12.5	2.5
北沢	29	20.7	34.5	24.1	20.7	-
玉川	58	19.0	46.6	22.4	8.6	3.4
砧	21	23.8	57.1	14.3	4.8	-
烏山	17	5.9	47.1	23.5	17.6	5.9

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

文化交流の居住地域別では、活動を「したことがない」の割合がいずれの居住地域でも高く、活動を「したことがある」で最も高かったのが「砧」の35.7%であった。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「砧」の81.0%であった。

■ 『g) スポーツ交流の有無』 居住地域割合



■ 『g) スポーツ交流の希望』 居住地域割合

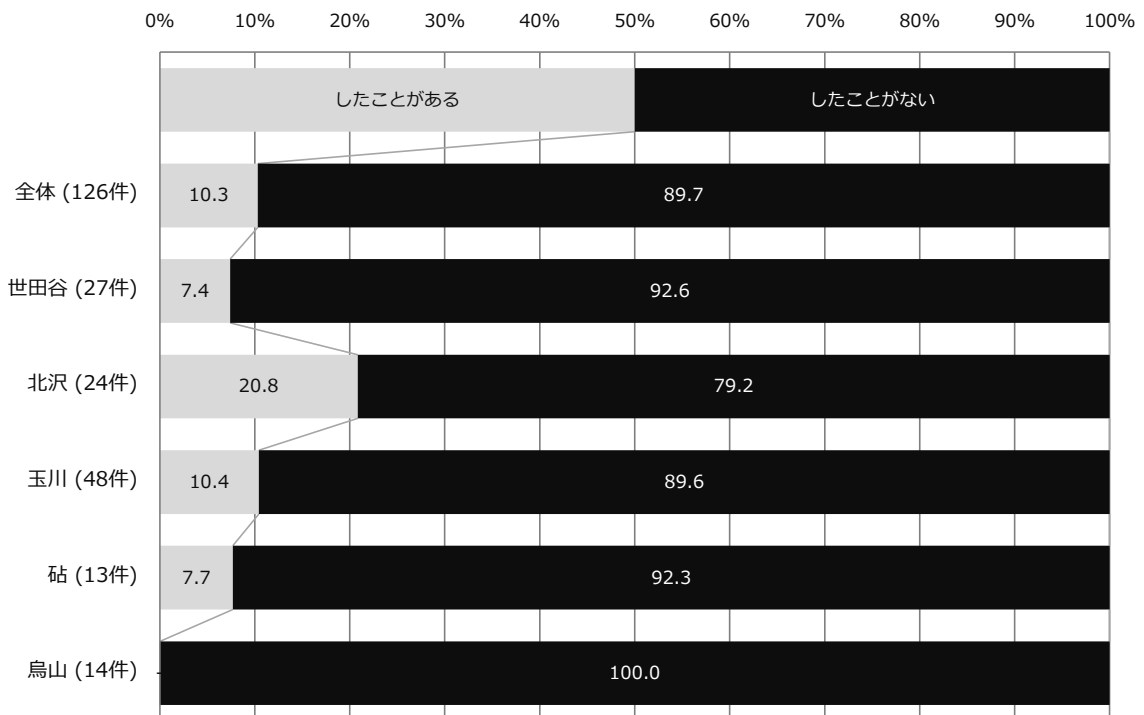
居住地域	n	積極的にしたい (%)	機会があればしたい (%)	どちらでもない (%)	あまりしたいと思わない (%)	絶対したくない (%)
全体	164	13.4	32.9	22.0	23.8	7.9
世田谷	40	15.0	37.5	20.0	25.0	2.5
北沢	29	10.3	27.6	24.1	34.5	3.4
玉川	58	20.7	29.3	19.0	20.7	10.3
砧	21	-	47.6	33.3	9.5	9.5
烏山	16	6.3	25.0	18.8	31.3	18.8

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

スポーツ交流の居住地域別では、いずれの居住地域でも「したことがない」の割合が高く、「したことがある」では「玉川」の16.7%が最も高い。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「世田谷」の52.5%であった。また、「烏山」は「あまりしたいと思わない」「絶対したくない」の合計が最も高かった。

■ 『h) 外国人支援活動の有無』 居住地域割合



■ 『h) 外国人支援活動の希望』 居住地域割合

居住地域	n	積極的にしたい	機会があればしたい	どちらでもない	あまりしたいと思わない	絶対したくない
全 体	165	17.6	39.4	25.5	13.9	3.6
世田谷	40	20.0	40.0	22.5	12.5	5.0
北 沢	30	16.7	40.0	23.3	13.3	6.7
玉 川	58	17.2	37.9	29.3	13.8	1.7
砧	21	14.3	42.9	33.3	9.5	-
烏 山	16	18.8	37.5	12.5	25.0	6.3

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

外国人支援活動の居住地域別では、いずれの居住地域でも「したことがない」の割合が高く、「したことがある」では「北沢」の20.8%が最も高い。

活動の希望では、「積極的にしたい」「機会があればしたい」の合計が最も高かったのが「世田谷」の60.0%であった。

(2) している（してみたい）交流や活動 【Q29. (A) その他、している（してみたい）交流や活動があれば以下に書いてください。】

■ 『している交流や活動』回答の主な内容

	件数
スポーツ、武道	3
合唱	1
絵画	1

■ 『してみたい交流や活動』回答の主な内容

	件数
言語交流活動(日本語含む)	6
スポーツ、武道	3
ボランティア活動	2
料理教室	2
環境活動(ゴミ拾い等)	2

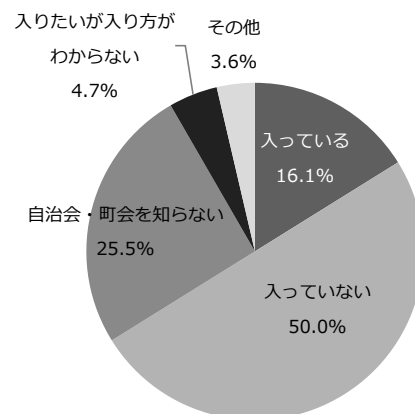
(3) 自治会・町会の加入状況 【Q30. あなた（あなたの世帯）は自治会・町会に入っていますか（1つに○）。】

■ 『自治会・町会の加入状況』件数割合

	件数	割合
入っている	31	16.1
入っていない	96	50.0
自治会・町会を知らない	49	25.5
入りたいが入り方がわからない	9	4.7
その他	7	3.6
回答者	192	100.0

※無回答7

自治会・町会の加入状況 (n=192) 無回答7



■ 「その他」7件内、記述回答のあった主な内容

- ・マンションの管理組合に入っている。
- ・どのような組織かわからないので、気軽に入れない。
- ・新規開発の住宅地のため、自治体から連絡が入ってこない。
- ・以前入っていたが、やめた。

自治会・町会の加入状況では、「入っていない」が96件・50.0%で最も多く、「入っている」は31件・16.1%であった。「自治会・町会を知らない」が49件・25.5%、「入りたいが入り方がわからない」が9件・4.7%であった。

■ 『自治会・町会の加入状況』年齢割合

年 齢	n	入 っ て い る	入 っ て い な い	知 自 ら 治 な 会 い ・ 町 会 を	方 入 が り 分 た か い ら が な 入 い り	そ の 他
全 体	192	16.1	50.0	25.5	4.7	3.6
18～19歳	-	-	-	-	-	-
20～29歳	35	8.6	48.6	34.3	8.6	-
30～39歳	67	10.4	49.3	31.3	6.0	3.0
40～49歳	41	17.1	51.2	24.4	4.9	2.4
50～59歳	22	27.3	59.1	9.1	-	4.5
60～69歳	19	31.6	47.4	15.8	-	5.3
70～79歳	3	-	33.3	33.3	-	33.3
80歳以上	5	40.0	40.0	-	-	20.0

※網掛けは各年齢で最も割合が高い選択肢（「その他」は除く）。

自治会・町会の加入状況の年齢別では、全年齢において「入っていない」が最も高く、年齢別では「50～59歳」の59.1%が最も高かった。「入っている」でみると、「60～69歳」の31.6%が最も高かった。また、「入りたいが入り方がわからない」は、高齢者にはなく「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」のみに回答があった。

■ 『自治会・町会の加入状況』居住地域割合

居住地域	n	入 っ て い る	入 っ て い な い	知 自 ら 治 な 会 い ・ 町 会 を	方 入 が り 分 た か い ら が な 入 い り	そ の 他
全 体	182	15.9	51.1	26.9	3.3	2.7
世田谷	40	12.5	37.5	42.5	2.5	5.0
北 沢	31	16.1	48.4	32.3	3.2	-
玉 川	66	10.6	60.6	22.7	1.5	4.5
砧	28	25.0	60.7	10.7	3.6	-
烏 山	17	29.4	35.3	23.5	11.8	-

※網掛けは各居住地域で最も割合が高い選択肢。

自治会・町会の加入状況の居住地域別では、「世田谷」以外では「入っていない」が最も高く、「世田谷」は、「自治会・町会を知らない」が42.5%と最も高かった。

「入っている」の最高値は「烏山」、「入っていない」の最高値は「砧」であった。

■ 『自治会・町会の加入状況』 日本在住期間割合

日本在住期間	n	入 っ て い る	入 っ て い な い	知 ら な い ・ 町 会 を	方 入 が り 分 た か い ら が な 入 り	そ の 他
全 体	191	16.2	49.7	25.7	4.7	3.7
1年未満	3	-	33.3	66.7	-	-
1年以上～3年未満	24	4.2	41.7	41.7	8.3	4.2
3年以上～5年未満	30	10.0	46.7	33.3	6.7	3.3
5年以上～10年未満	40	5.0	50.0	30.0	12.5	2.5
10年以上～20年未満	42	23.8	50.0	26.2	-	-
20年以上	43	27.9	55.8	7.0	-	9.3
生まれたときからずっと	9	33.3	55.6	11.1	-	-

※網掛けは各日本在住期間で最も割合が高い選択肢。

■ 『自治会・町会の加入状況』 世田谷区在住期間割合

世田谷区在住期間	n	入 っ て い る	入 っ て い な い	知 ら な い ・ 町 会 を	方 入 が り 分 た か い ら が な 入 り	そ の 他
全 体	192	16.1	50.0	25.5	4.7	3.6
1年未満	18	5.6	33.3	44.4	5.6	11.1
1年以上～3年未満	44	9.1	47.7	36.4	6.8	-
3年以上～5年未満	41	4.9	56.1	31.7	2.4	4.9
5年以上～10年未満	44	20.5	54.5	15.9	9.1	-
10年以上～20年未満	22	22.7	59.1	18.2	-	-
20年以上	22	40.9	40.9	4.5	-	13.6
生まれたときからずっと	1	100.0	-	-	-	-

※網掛けは各世田谷区在住期間で最も割合が高い選択肢。

自治会・町会の加入状況の在住期間別では、「1年未満」を除き、日本在住期間、世田谷区在住期間いずれにおいても「入っていない」が最も高く（n=1は除く）、約4割から6割である。「1年未満」は、「自治会・町会を知らない」が最も高い。

日本在住期間の「入っていない」で見ると、「20年以上」が55.8%で最も高く、世田谷区在住期間では、「10年以上～20年未満」の59.1%が最も高い（n=1は除く）。

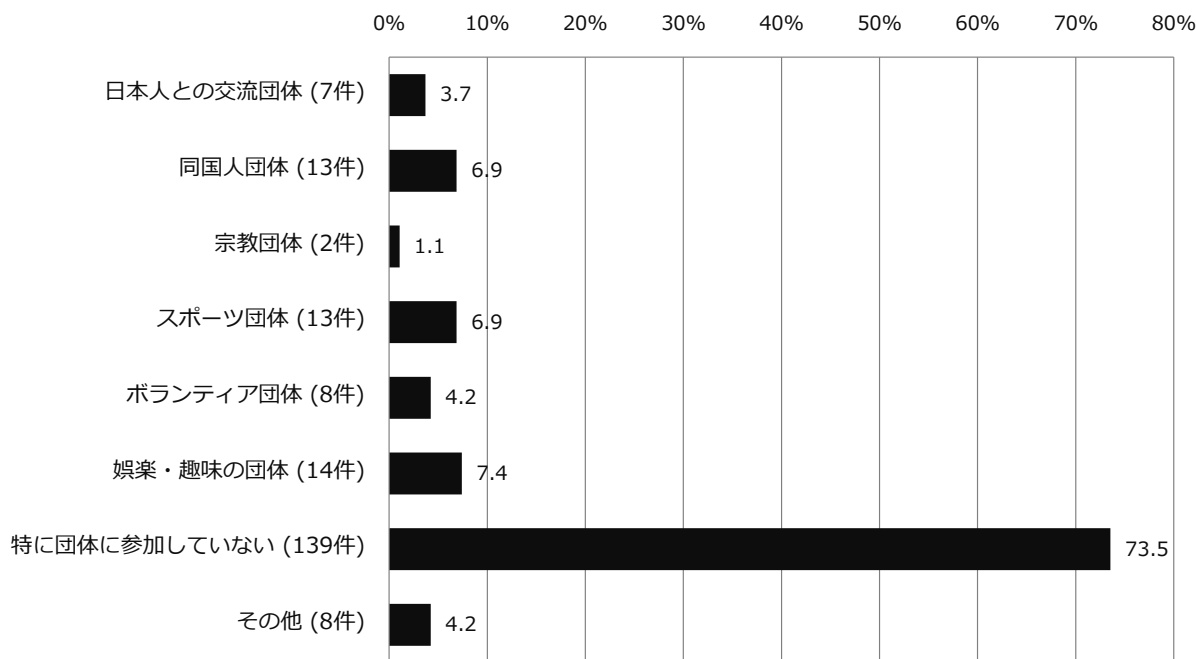
(4) 団体（コミュニティ・グループ）への参加状況

【Q31. あなたは仕事や学校以外で何らかの団体（自治会・町会を除く、コミュニティやグループなど）に入っていますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『団体（コミュニティ・グループ）への参加状況』 件数割合

	件数	割合		件数	割合
日本人との交流団体	7	3.7	ボランティア団体	8	4.2
同国人団体	13	6.9	娯楽・趣味の団体	14	7.4
宗教団体	2	1.1	特に団体に参加していない	139	73.5
スポーツ団体	13	6.9	その他	8	4.2
※無回答 10 ※累計 (n) : 204 / 累計 (%) : 107.9			全 体	189	100.0

団体(コミュニティ・グループ)への参加状況 (n=189) 無回答10



団体（コミュニティ・グループ）への参加状況では、「特に団体に参加していない」が139件・73.5%であった。他の選択肢はいずれも10%未満で、「娯楽・趣味の団体」が14件・7.4%で最も多く、次いで「同国人団体」「スポーツ団体」がともに13件・6.9%となった。「ボランティア団体」8件・4.2%、「日本人との交流団体」は7件・3.7%、「宗教団体」は2件・1.1%であった。

■『団体（コミュニティ・グループ）への参加状況』国籍・地域割合

国籍・地域	n	日本人との交流団体	同国人団体	宗教団体	スポーツ団体	ボランティア団体	娯楽・趣味の団体	特に団体に参加していない	その他
全体	184	3.8	7.1	1.1	7.1	4.3	7.6	75.5	4.3
中国	55	1.8	1.8	-	1.8	3.6	7.3	87.3	-
韓国	20	10.0	5.0	-	5.0	-	-	70.0	10.0
朝鮮	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	14	-	-	7.1	-	7.1	14.3	71.4	7.1
台湾	19	-	5.3	-	-	5.3	10.5	84.2	5.3
フィリピン	6	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	-
英国	9	-	-	-	22.2	-	22.2	66.7	-
ベトナム	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
フランス	5	-	20.0	-	20.0	-	-	60.0	20.0
ネパール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インド	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
その他	52	3.8	11.5	-	11.5	3.8	5.8	65.4	5.8

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢（「特に団体に参加していない」は除く）。

団体（コミュニティ・グループ）への参加状況の国籍・地域別では、いずれの国籍・地域でも「特に団体に参加していない」が最も高い。

参加している団体（コミュニティ・グループ）でみると、「中国」「米国」「台湾」では「娯楽・趣味の団体」が最も高く、「韓国」では「日本人との交流団体」10.0%が最も高かった（n=10未満の選択肢を除く、「その他」を除く）。

(5) 参加しているコミュニティやグループ

【Q3 1. (A) あなたが参加しているコミュニティやグループについて教えてください。】

■『参加しているコミュニティやグループ／活動内容』記述回答のあった主な内容

- ・在日外国人交流フォーラム
- ・日本語学習会
- ・宗教団体
- ・動物愛護協会
- ・ボランティア活動団体
- ・メンタルヘルス支援グループ
- ・大学同窓会
- ・DIY工作室
- ・スポーツ団体
 ジョギングクラブ、サイクリング、ヨガ、ボクシング、レーシング、バレーボール、ウォーキング、サッカー、ダンス、ゴルフ、フットサル、テニス

(6) 地域活動時に必要なサポート 【Q32. 地域での活動を行うとき、どのようなサポートが必要だと思いますか（主なもの3つ以内に○）。】

■ 『地域活動時に必要なサポート』件数割合

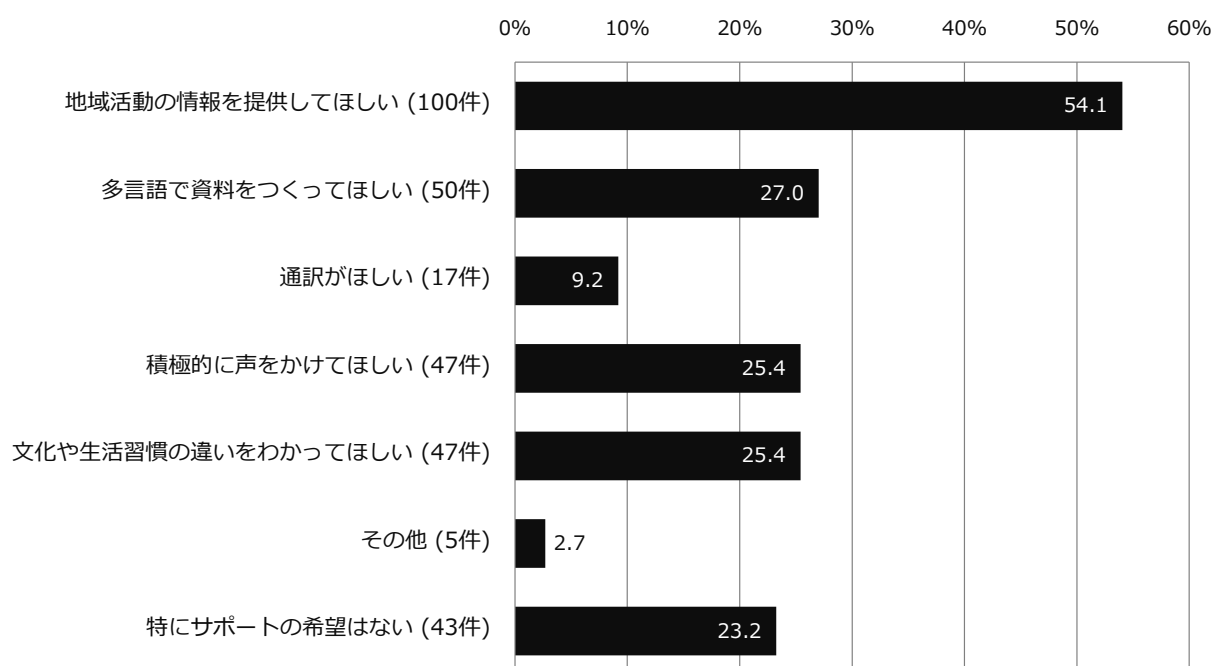
	件数	割合
地域活動の情報を提供してほしい	100	54.1
多言語で資料をつくってほしい	50	27.0
通訳がほしい	17	9.2
積極的に声をかけてほしい	47	25.4
文化や生活習慣の違いをわかってほしい	47	25.4
その他	5	2.7
特にサポートの希望はない	43	23.2
全体	185	100.0

※無回答 14 ※累計 (n) : 309 / 累計 (%) : 167.0

■ 「その他」5件内記述回答のあった内容

- ・車いすのヘルパーが欲しい
- ・場所の貸し出しやチラシ宣伝活動をサポートしてほしい

地域活動時に必要なサポート (n=185) 無回答14



地域活動時に必要なサポートでは、「特にサポートの希望はない」は23.2%で約8割がサポートを希望している。「地域活動の情報を提供してほしい」が100件・54.1%と最も多く、次いで「積極的に声をかけてほしい」「文化や生活習慣の違いをわかってほしい」がともに47件・25.4%と続いている。

■ 『地域活動時に必要なサポート』 国籍・地域割合

国籍・地域	n	地域活動の情報を提供してほしい	多言語で資料をつくってほしい	通訳がほしい	積極的に声をかけてほしい	文化や生活習慣の違いをわかってほしい	その他	特にサポートの希望はない
全体	179	52.5	26.3	7.8	25.1	25.7	2.8	24.0
中国	55	60.0	16.4	3.6	34.5	32.7	1.8	18.2
韓国	20	50.0	5.0	-	-	20.0	5.0	45.0
朝鮮	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	11	54.5	36.4	9.1	18.2	9.1	9.1	27.3
台湾	19	36.8	26.3	-	26.3	42.1	-	36.8
フィリピン	5	80.0	60.0	20.0	40.0	60.0	-	-
英国	9	44.4	33.3	-	33.3	11.1	11.1	33.3
ベトナム	2	-	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0
フランス	5	40.0	20.0	40.0	-	20.0	-	20.0
ネパール	-	-	-	-	-	-	-	-
インド	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-
その他	50	52.0	38.0	10.0	26.0	16.0	2.0	18.0

※網掛けは各国籍・地域で最も割合が高い選択肢。

地域活動時に必要なサポートの国籍・地域別では、ほとんどの国籍・地域において「地域活動の情報を提供してほしい」が最も高くなっている。

「中国」では、「地域活動の情報を提供してほしい」60.0%に次いで「積極的に声をかけてほしい」34.5%が高い。「韓国」では、「地域活動の情報を提供してほしい」50.0%に次いで「文化や生活習慣の違いをわかってほしい」が20.0%で高い。「米国」では「地域活動の情報を提供してほしい」54.5%に次いで「多言語で資料を作ってほしい」36.4%が高い。

「台湾」では「文化や生活習慣の違いをわかってほしい」42.1%が最も高く、次いで「地域活動の情報を提供してほしい」36.8%が高かった。

Ⅲ. その他

Ⅲ. その他

「Ⅲ.その他」では、Q33に記述回答のあった65件の内容から、『イベント・交流』『言語』『生活環境』『法律・税制』『申請書類・手続き・相談』『情報伝達』『その他』『世田谷区への感謝』の категорияに分類し、抜粋して掲載した。
Ⅲ-2.として今回調査で使用した調査票のうち日本語調査票を掲載した。

Ⅲ-1.世田谷区への意見要望（自由記述まとめ）

【Q33. 世田谷区をもっと住みやすいまちにするために、世田谷区に取り組んでほしいこと・やってもらいたいことなどを自由に書いてください。】

● イベント・交流について

- ・地域に詳しい日本人友達を作る契機になるイベントや活動を積極的に知らせてほしい。(男性/20代)
- ・仕事以外の場で、日本人と交流したく、ボランティアなども体験してみたい。(女性/30代)
- ・多国籍イベントとか、お互いの母国語を教え合う、異文化交流イベントがあるといい。(女性/30代)
- ・多言語教室をやってもらいたい。(性別不明/20代)
- ・もっと多くの外国人/中国人の懇親会があってほしい。(男性/20代)
- ・世田谷区外国人交流フェスティバル的なものを作ってほしい。(男性/30代)
- ・日本人と外国人との交流。スポーツ活動などもしたいです。(男性/20代)

● 言語について

- ・保護者会などの参加時に通訳を派遣してほしい。(男性/40代)
- ・支店での多言語/英語サポートをしてほしい。(男性/30代)
- ・日本語学校は学費が高いので、区内で行われる日本語交流活動に非常に参加したい。(男性/30代)
- ・日本語のカリキュラムを増やしてほしい。(女性/40代)
- ・英語が話せる世田谷区役所の職員に色々相談が出来るようになると良い。(女性/40代)
- ・地域で起こっていることを理解するために日本語を学びたい。(女性/30代)
- ・この調査で、世田谷区がボランティアの日本語教室を提供していることを知りました。今、クラスに申し込もうとしています。(女性/20代)

● 生活環境について

- ・もっとテニスやサッカーのコートが予約しやすくなってほしい。(女性/40代)
- ・無電柱化で世田谷区の景観を改善し、世田谷区の価値を向上させてほしい。(女性/40代)
- ・超高齢化社会なのに、老人が休む場が無い。ベンチと多目的トイレの増設を希望。(男性/60代)
- ・バリアフリーエリアをより増やしてほしい。(女性/70代)
- ・みどりを増やし、子ども達が育ちやすい環境作りをしてほしい。(男性/30代)
- ・無料で利用できるスポーツセンターや体育館。(男性/20代)
- ・自転車の逆走など交通マナーの周知をしてほしい。(男性/50代)

●法律・税制について

- ・予約なしで受けれる税務サービスがあると良い。(男性/30代)
- ・英語/多言語での税務サービス。(男性/30代)
- ・他区に比べて税金が高いのに給付金の金額が少ないし、条件も厳しすぎる。(女性/20代)
- ・税金が高く、外国人居住者と企業を遠ざけている。(男性/60代)

●申請書類・手続き・相談について

- ・ルールが複雑で理解できない。(男性/60代)
- ・行政手続き時にカタカナ名しか受理しないのは困る。正式な名前は英語（ローマ字）のため、カタカナ名は証明力が無い。特にインターネット上でカタカナ名を入力しないと次に進められない場合は外国人の名前を考慮していない。(男性/30代)
- ・世田谷区のオンラインと対面での多言語サポートシステムに感謝。オンラインリソースの場合、グーグル翻訳を使用できるので、外国人居住者にとってより良いと思う。(女性/20代)
- ・SNSで、個別相談や最新情報の発信をお願いしたい。(女性/40代)

●情報伝達について

- ・情報の入手方法がわかりづらい。駅にポスターを貼ったり、SNSで発信してほしい。(女性/20代)
- ・世田谷在住4年だが、世田谷区の活動や支援についての情報入手方法が分からない。(女性/40代)

●その他

- ・金銭に余裕が無いので、フリマや中古品、リサイクル品の情報がほしい。(女性/30代)
- ・学校に通っている日本の子ども達が、外国人や障害者に対して偏見や差別意識を非常に強く持っていると感じた。また、教員にもそういった意識が強い人もいる。(女性/20代)
- ・駒沢公園のプールが震災以降、11年経った今でも閉鎖されていて残念だ。(男性/50代)
- ・今は満足しているが、定期的に調査を行うように希望。(男性/40代)
- ・世田谷区の公立学校制度では、外国人の子どものためのサポートシステムが無い。(女性/50代)
- ・世田谷区はまず世田谷区以外の住民にも「ふるさと納税」をしたい場所にすべき。(女性/40代)
- ・永住権をもつ外国人に対して選挙権を。(男性/30代)
- ・インターナショナルスクールに通っている子供は、全く支援が得られない。(男性/40代)
- ・外国人ボランティアが、対応可能な国の人との相談を受ける仕組みがあると良い。(女性/40代)
- ・住宅を探すサポートをお願いしたい。(女性/50代)

● 世田谷区への感謝について

- ・地球上で最も素晴らしい場所の1つだと思います。世田谷に家を買う予定です。(男性/30代)
- ・必要な情報を得るため区役所とのコミュニケーションがとても便利です。(女性/30代)
- ・用賀出張所のスタッフはいつも夫と私に多大な支援をしてくれました。
英語で私たちとコミュニケーションをとることができてとても感謝しています。(女性/40代)
- ・北沢町のスタッフは親切です。(女性/40代)
- ・世田谷区は緑が多く、スーパーも多く、居住に適しています。ここが大好きです。
区が我々住民に安全、便利、安心な町環境を提供してくださることに感謝します。(女性/40代)
- ・コロナの時、色々と助けてくれました。世田谷区は住みやすいです。
ありがとうございました。(女性/20代)

Ⅲ-2. 調査票 (※日本語調査票のみ掲載)

この調査は世田谷区役所が行っています

世田谷区における外国人区民の意識・実態調査

この調査用紙は、質問の回答を書いて、令和4年(2022年)6月28日(火曜日)までに、一緒に封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストに入れてください。ご協力をお願いします。

令和4年(2022年)6月

調査目的

世田谷区は、国籍・地域を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生社会を目指しています。この調査は、区内に住んでいる外国人区民の皆さんに生活の様子や世田谷区に対する意見や要望を聞き、その結果を多文化共生社会を目指す施策のために活用します。

調査項目

- あなた(回答者)について(F1~8)
- 日常生活について(Q5~23)
- 交流活動について(Q29~32)
- ことばについて(Q1~4)
- 行政サービスについて(Q24~28)
- その他(Q33)

※分からないことがあったら、世田谷区生活文化政策部文化・国際課に電話してください。
電話番号 03-6304-3439 (午前8時30分~午後5時) ※土、日、祝日を除く

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒に名前が書かれてある方が答えてください。
2. 黒のボールペンまたは鉛筆で書いてください。
3. 最初から1問ずつ、最後まで答えてください。
4. 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
5. (1つに○)(あてはまるもの全てに○)など、質問によって○をつける数が違いますので、その範囲内で答えてください。
6. それぞれの質問をよく読んでから答えてください。
7. 記入日時点での情報で答えてください。

この調査票は日本語のほか、英語(English)、中国語簡体字・繁体字(中文簡体字・繁体字)、ハンガール語(한국어)、タイ語(ภาษาไทย)、スペイン語(Español)、ポルトガル語(Português)、ベトナム語(Tiếng Việt)、フィリピン語(Filipino)、ネパール語(नेपाली)、インドネシア語(Indonesian)の11言語があります。

必要な方は右の二次元コードから印刷して使ってください。

また、日本語と英語は、右の二次元コードからオンラインでも回答できます。



外国人区民の皆さん、調査にご協力ください。

皆さんの声、外国人にとっても暮らしやすいまちづくりに役立ちます。

あなた（回答者）について

F 1. あなたの性別はどれですか（1つに○）。

1. 男 2. 女 3. その他（ ） 4. 答えたくない

F 2. あなたの年齢はどれですか（1つに○）。

1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

F 3. あなたの国籍・地域はどれですか。

1. 中国 2. 韓国 3. 朝鮮 4. 米国
5. 台湾 6. フィリピン 7. 英国 8. ベトナム
9. フランス 10. ネパール 11. インド 12. その他（ ）

F 4. あなたの職業はどれですか。2つ以上あてはまる場合は、主な職業を選んでください（1つに○）。

1. 自営業者・経営者 2. 会社などの役員 3. 正社員
4. 契約社員・派遣社員など（働く期間が決まっている人） 5. パート・アルバイト
6. 専業主婦・主夫 7. 学生 8. 無職 9. その他（ ）

F 5. あなたの日本の在留資格はどれですか（1つに○）。

1. 定住者 2. 日本人の配偶者等 3. 永住者
4. 永住者の配偶者等 5. 特別永住者 6. 技術・人文知識・国際業務
7. 留学 8. 家族滞在 9. 特定活動 10. 技能
11. 特定技能 12. 技能実習 13. その他（ ）

F 6. あなたは日本にどのくらいの期間住んでいますか。来日（転入・転出）を繰り返している場合は、日本に住んでいる期間の合計を答えてください（1つに○）。

1. 1年未満 2. 1年以上～3年未満 3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上～10年未満 5. 10年以上～20年未満 6. 20年以上
7. 生まれたときからずっと

ことばについて

Q 1. 日本語以外のことばのうち、自由に使えることばは何ですか（あてはまるもの全てに○）。

- 1. 英語
- 2. 中国語
- 3. 韓国・朝鮮語
- 4. フランス語
- 5. スペイン語
- 6. ドイツ語
- 7. ベトナム語
- 8. フィリピン語
- 9. その他（ ）

Q 2. あなたはどれくらい日本語ができますか。（それぞれ1つに○）。

	話すこと	聞くこと	読むこと	書くこと
1. できる（日本人と同じくらい）				
2. だいたいできる（日常生活で使えるくらい）				
3. あまりできない（かんたんなものはわかる）				
4. ほとんどできない（かんたんなものもわからない）				

Q 3. あなたは以下の方法や場所で、日本語を勉強していますか（主なもの1つに○）。

- 1. 日本語学校で勉強している
 - 2. 世田谷区主催の日本語教室で勉強している
 - 3. ボランティアによる日本語教室で勉強している
 - 4. テレビ・ラジオ・インターネット・本など独学で勉強している
 - 5. 高校や大学・専門学校で勉強している
 - 6. 家族や友人・知人に教えてもらっている
 - 7. 特に勉強をしていない → (C) (D) の質問にも答えてください。
- (A) (B) の質問にも答えてください。
- (A) の質問にも答えてください。

(A) あなたが日本語を勉強している目的・理由は何ですか（あてはまるもの全てに○）。

- 1. 仕事のため
- 2. 日常生活（仕事以外）のため
- 3. 日本語能力を証明する資格を取るため
- 4. 日本の文化が好き
- 5. 日本人と交流したい
- 6. 家族や友人にすすめられた
- 7. 日本語教室などに通って友人を作りたい
- 8. その他（ ）

(B) あなたは、日本語教室や日本語学校をどのような方法で探しましたか（あてはまるもの全てに○）。

- 1. インターネット
- 2. SNS
- 3. 家族・親戚
- 4. 日本人の友人・知人
- 5. 外国人の友人・知人
- 6. 行政機関（窓口、広報誌）
- 7. 学校・職場
- 8. 外国人向けのボランティア組織
- 9. その他（ ）

(C) 今後、日本語を勉強したいですか。

1. したい 2. したくない

(D) 日本語の勉強をしていないのはなぜですか（主なもの3つ以内に○）。

1. 教室や講座にかかる費用が高い
2. 近くで受けられる教室や講座がない
3. 勉強する時間がない
4. 勉強できる場所を知らない
5. 勉強する必要がない
6. その他（ ）

Q 4. あなたは、どのような日本語教室であれば参加してみたいと思いますか（あてはまるもの全てに○）。

1. 夜間に利用できる
2. 土曜・日曜に利用できる
3. 子どもを預けるサービスがある
4. オンラインで利用できる
5. 自分の家や職場に近い
6. 仕事に役立つ
7. 初心者向け
8. 中級・上級者向け
9. 少人数・個別指導を行っている
10. 日本の文化を学べる
11. 生活に関する相談ができたり支援が受けられる
12. その他（ ）

日常生活について

Q5. あなたにとって世田谷区は住みやすいところですか（あてはまるもの1つに○）。

1. 住みやすい 2. やや住みやすい 3. どちらでもない
4. やや住みにくい 5. 住みにくい

Q6. 日常生活で困っていることはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. ことばが通じない 2. 日本人との交流が少ない
3. ものの値段が高い 4. 食事が合わない
5. 趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない 6. 文化・生活習慣が違う
7. 生活するうえで必要な情報が得られない 8. 困ったときに相談できる人がいない
9. 住む家が見つからない 10. 仕事が見つからない
11. 病院の医療サービスに関する問題（例えば ）
12. 宗教に関する問題（例えば ）
13. 住んでいる地域の住民との関係（例えば ）
14. その他（ ）
15. 特にない

Q7. あなたは住むところを探すときに困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 外国人であることを理由に住むことを断られた
2. 保証人が見つからなかった
3. 相談できる窓口がなかった
4. 電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった
5. その他（ ）
6. 特にない

Q13. あなたは、困っていることを誰・どこに相談しますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 家族、親戚
2. 日本人の友人、知人
3. 外国人の友人、知人
4. 近所の人
5. 行政機関（世田谷区役所 など）
6. 学校、職場
7. 外国人向けのボランティア組織
8. その他（ ）
9. 相談相手はいない

Q14. あなたは日常生活で日本人との付き合いがありますか（あてはまるもの全てに○）。

1. 一緒に働いている
2. 学校で一緒に勉強している
3. 友人として付き合い合っている
4. 自分または親戚が、日本人と結婚して日本に住んでいる
5. 国際交流のグループで一緒に活動している
6. その他、地域のグループなどで一緒に活動している
7. 日本人とあいさつ程度の付き合いはある
8. その他（ ）
9. 日本人の知り合いはいないし、付き合いもない

Q15. あなたは普段の生活の中で、「外国人」であることを理由に日本人から偏見や差別を感じたことはありますか（1つに○）。

1. よくある
 2. ときどきある
 3. ほとんどない
 4. まったくない
 5. わからない
- } (A) の質問にも答えてください。

(A) どのようなときに、偏見や差別を感じましたか(主なもの3つ以内に○)。

1. 行政機関(世田谷区役所など)での手続きのとき
2. 日本人の友人、知人と付き合うとき
3. 近所の人と付き合うとき
4. 住居を探すとき
5. 自分や家族が結婚するとき
6. 社会保障制度(保険・年金など)を受けるとき
7. 電車やバスに乗っているとき
8. 出産・育児のとき
9. 学校教育を受けるとき
10. 仕事を探したり、働いているとき
11. レストランなどお店へ入店したり、サービスの提供を求めるとき
12. まちを歩いているとき
13. その他()

Q16. あなたは次の事柄 a)～j) についての情報を、これまでどのように入手してきましたか。
 それぞれについて、1～12のうちあてはまる番号(主なもの3つ以内)に○をつけてください。

1. テレビ、ラジオ
2. 新聞、雑誌
3. インターネット
4. SNS →1つでも選んだ方は(A)の質問にも答えてください。
5. 家族、親戚
6. 日本人の友人、知人
7. 外国人の友人、知人
8. 行政機関(窓口、広報誌)
9. 学校、職場
10. 外国人向けのボランティア組織
11. 入手方法がわからず困っている
12. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	こと柄 事柄
		○					○	○				a) 住宅
												b) 買い物
												c) 趣味・遊び
												d) 仕事
												e) 保健・医療
												f) 日本での生活習慣
												g) 災害・防災情報
												h) コミュニティ・グループの紹介
												i) 地域でのイベントやおまつり
												j) 行政サービス・手続き

(A) あなたが普段利用しているSNSはどれですか(あてはまるもの全てに○)。

- | | | | |
|-------------|---------------|------------|--------------|
| 1. Facebook | 2. Twitter | 3. LINE | 4. Instagram |
| 5. WeChat | 6. Kakao Talk | 7. YouTube | |
| 8. その他 () | | | |

Q 17. 行政からほしい情報はどのようなものですか（主なもの3つ以内に○をつけ、具体的な内容がかっこの中に入れてください）。

例) 保健・医療（ 外国語のできる病院の場所 ）

1. 住宅（ ）
2. 買い物（ ）
3. 趣味・遊び（ ）
4. 仕事（ ）
5. 保健・医療（ ）
6. 日本での生活習慣（ ）
7. 災害・防災情報（ ）
8. コミュニティ・グループの紹介（ ）
9. 地域でのイベントやおまつり（ ）
10. 行政サービス・手続き（ ）
11. その他（ ）
12. 特にない

Q 18. 行政からの情報を、どのような方法で発信してほしいですか（主なもの3つ以内に○）。

1. ホームページ
2. Facebook
3. Twitter
4. その他のSNS（ ）
5. メールマガジン
6. チラシ・ポスター
7. 区のおしらせ せたがや（広報誌）
8. その他（ ）

Q 19. あなたは地震などの災害が発生したときに自分が避難できる場所を知っていますか（1つに○）。

1. 知っている
2. 知らない
3. 聞いたことがあるが場所は知らない

Q 2 2. 世田谷区では、外国人が安心して地域で生活するために、教育、住宅、就労など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは外国人に対する生活支援が充実していると思いますか（1つに○）。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q 2 3. 世田谷区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人に対する偏見や差別が減っていると思いますか（1つに○）。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q26. あなたは世田谷区が行っている以下の出版物や取組みを知っていますか。また、利用したことがありますか。a)～i)までの出版物や取組みについて、1～3のうちあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(それぞれ1つに○)。

1. 利用している・したことがある
 2. 知っているが利用したことはない
 3. 知らない

1	2	3	出版物や取組み
---	---	---	---------

<出版物>

1	2	3	a) 外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」
1	2	3	b) 「資源とごみの出し方・分け方」
1	2	3	c) 災害時区民行動マニュアル (マップ版)

<取組み>

1	2	3	d) 日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口
1	2	3	e) 世田谷区ホームページの外国人向けページ
1	2	3	f) 外国人向けの日本語教室
1	2	3	g) 帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室
1	2	3	h) せたがや国際交流センター (クロッシングせたがや)
1	2	3	i) 世田谷区パートナーシップの宣誓 (同性パートナーシップ宣誓)

Q27. あなたはどのような外国人相談窓口であれば、利用したいと思いますか(主なもの3つ以内に○)。

1. 多言語に対応している
2. 相談できる内容が充実している
3. 利用しやすい場所にある
4. 休日や祝日に利用できる
5. 窓口があいている時間が長い
6. メールやSNSで相談できる
7. その他 ()

Q28. ^{ほうりつ わんきん ほけん いりよう きょういく す}法律、年金・保険、医療、教育、^{けいやく とら ぶる}住まいや契約のトラブルなど、^{せんもんか そうだん}専門家に相談できる場（通訳付き）

^{ぼあい}があった場合、^{ないよう}どのような内容について^{そうだん}相談したいと思^{おも}いますか（^{すべ}あてはまるもの全てに○）。

1. ^{ねんきん しゃかいほけん かん}年金や社会保険に関すること
2. ^{いりよう かん}医療に関すること
3. ^{こぞだ きょういく かん}子育てや教育に関すること
4. ^{す かん}住まいに関すること
5. ^{けいやく かん}契約に関すること
6. ^{さいがい ぼうさい かん}災害や防災に関すること
7. ^{しごと かん}仕事に関すること
8. ^{ざいりゅうしかく かん}在留資格に関すること
9. ^{けっこん りこん かん}結婚・離婚に関すること
10. ^{かてい もんたい かん}家庭の問題に関すること
11. ^{かん}DVに関すること
12. ^たその他（)

交流活動について

Q29. あなたは次のような交流や活動a)～h)をしたことがありますか。1か2のどちらかを選んで○をつけてください。また、今後、次のような交流や活動をしていきたいと思いませんか。3～7のうち、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1. したことがある
- 2. したことがない
- 3. 積極的にしたい
- 4. 機会があればしたい
- 5. どちらでもない
- 6. あまりしたいと思わない
- 7. 絶対したくない

①	2	③	4	5	6	7	交流や活動
1	2	3	4	5	6	7	a) 母語や日本語を教える活動
1	2	3	4	5	6	7	b) 学校の授業への協力
1	2	3	4	5	6	7	c) 防災訓練
1	2	3	4	5	6	7	d) 防犯活動
1	2	3	4	5	6	7	e) 地域のイベント
1	2	3	4	5	6	7	f) 文化交流
1	2	3	4	5	6	7	g) スポーツ交流
1	2	3	4	5	6	7	h) 外国人支援活動

(A) その他、している(してみたい)交流や活動があれば以下に書いてください。

している交流や活動	してみたい交流や活動

Q30. あなた(あなたの世帯)は自治会・町会に入っていますか(1つに○)。

- 1. 入っている
- 2. 入っていない
- 3. 自治会・町会を知らない
- 4. 入りたいが入り方が分からない
- 5. その他()

Q3 1. あなたは仕事や学校以外で何らかの団体（自治会・町会を除く、コミュニティやグループなど）に入っていますか（主なもの3つ以内に○）。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 日本人との交流団体 | 2. 同国人団体 |
| 3. 宗教団体 | 4. スポーツ団体 |
| 5. ボランティア団体 | 6. 娯楽・趣味の団体 |
| 7. 特に団体に参加していない | |
| 8. その他（ | ） |

→7以外を1つでも選んだ方は（A）の質問にも答えてください。

（A）あなたが参加しているコミュニティやグループについて教えてください。

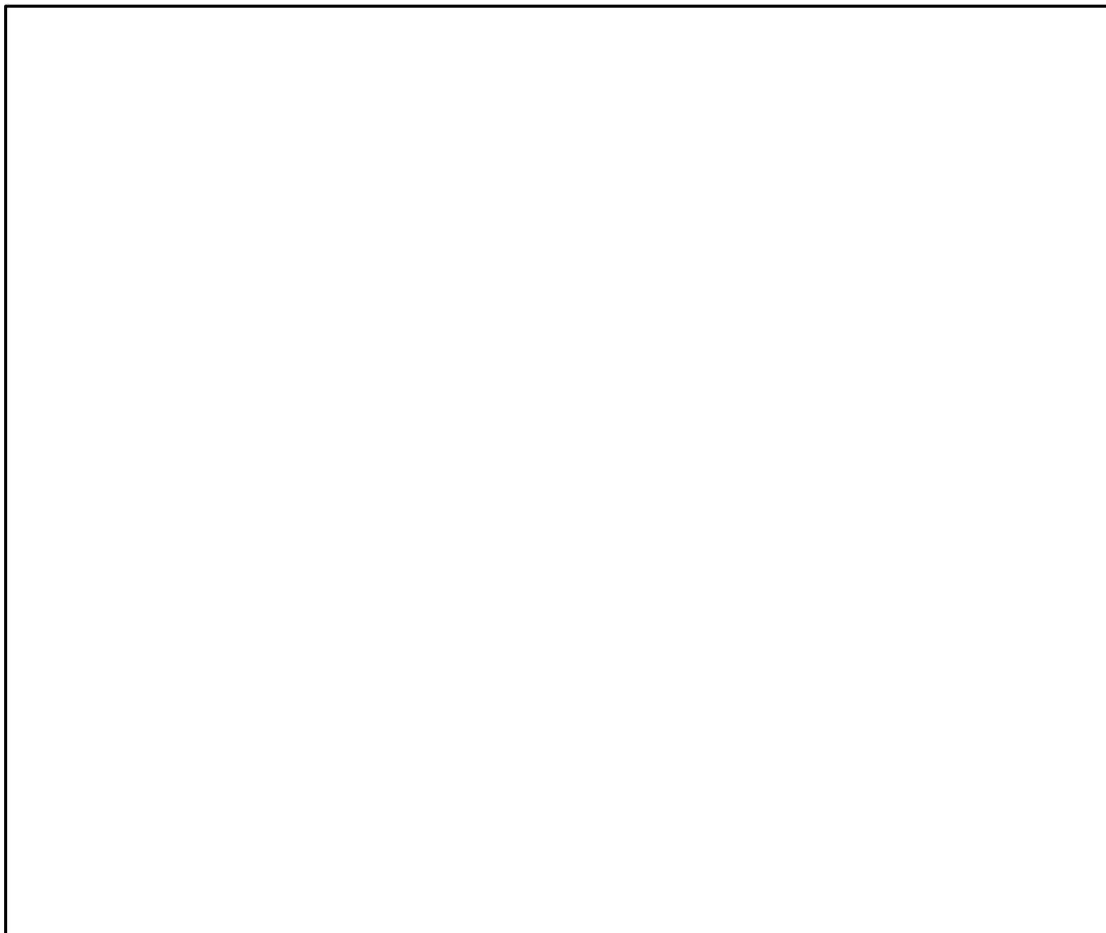
<コミュニティ・グループの名前>
<活動内容>

Q3 2. 地域での活動を行うとき、どのようなサポートが必要だと思えますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 地域活動の情報を提供してほしい
2. 多言語で資料をつくってほしい
3. 通訳がほしい
4. 積極的に声をかけてほしい
5. 文化や生活習慣の違いをわかってほしい
6. その他（
7. 特にサポートの希望はない

そ の 他

Q33. 世田谷区をもっと住みやすいまちにするために、世田谷区に取り組んでほしいこと・やってもらいたいことなどを自由に書いてください。



ご協力ありがとうございました。

世田谷区における外国人区民の意識・実態調査 報告書

令和4（2022）年12月

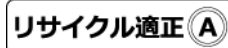
実施・発行 世田谷区生活文化政策部 文化・国際課
〒156-0043
東京都世田谷区松原六丁目3番5号 梅丘分庁舎
電 話 03（6304）3439
FAX 03（6304）3710

集計・分析 株式会社日本デイリー通信社
〒170-0004
東京都豊島区北大塚三丁目2番9号
電 話 03（3949）7221

世田谷区広報印刷物登録番号 / No. 2116



古紙配合率80%再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。